ARCHITECTURE AND SOCIETY・VOL. 53 NO. 1　1972・1

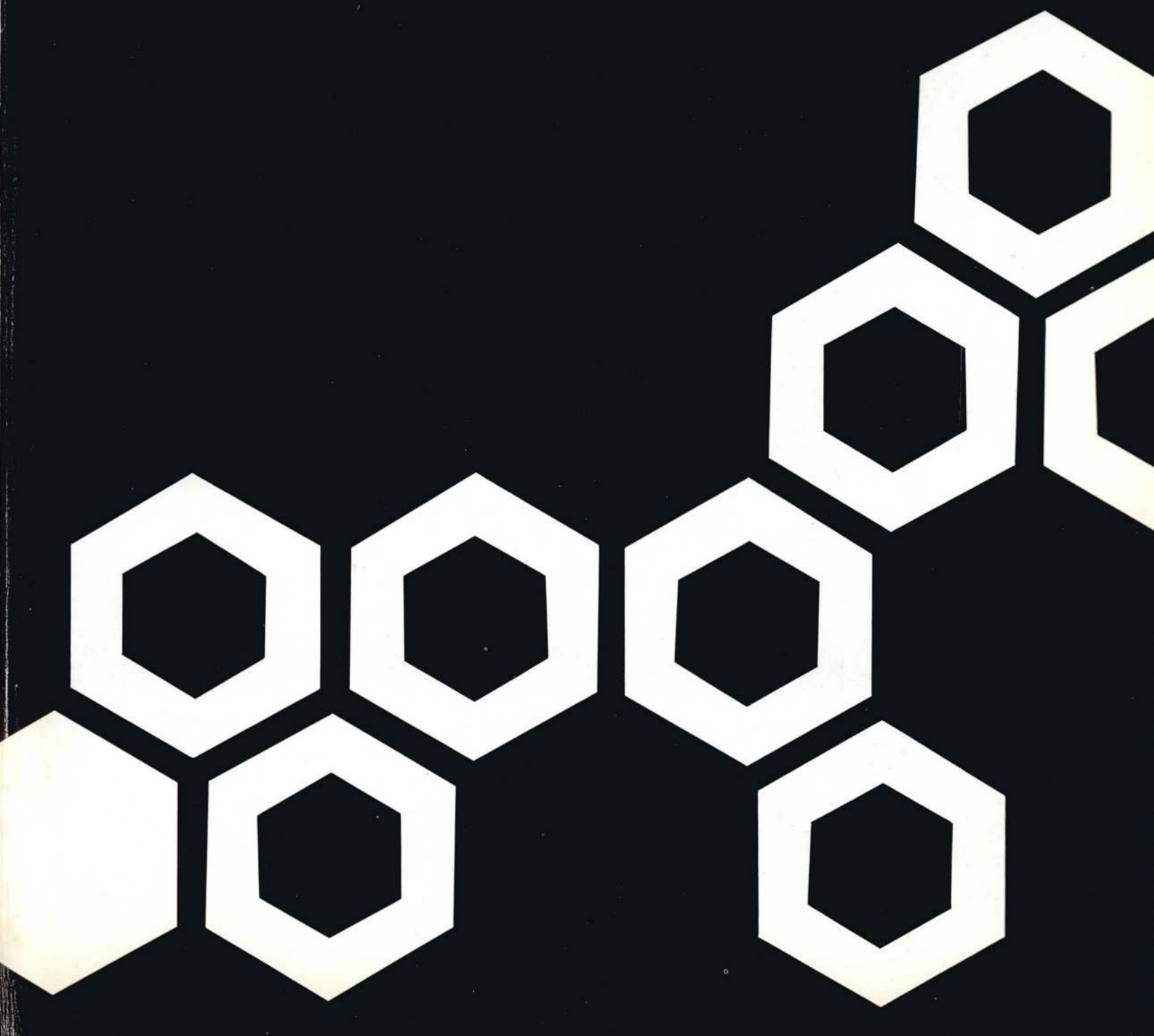
●特集　冬季オリンピックと札幌

建築と社会

1

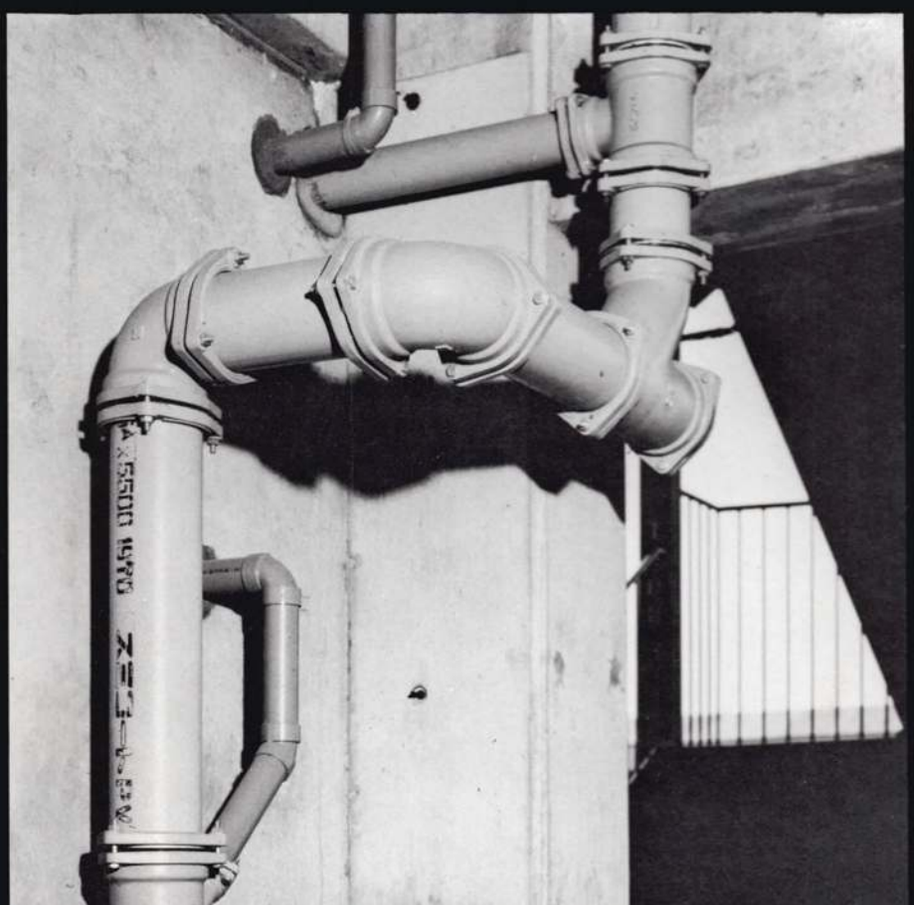
社団法人　日本建築協会
昭和47年1月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

札幌オリンピック冬季大会競技施設
札幌市の道路計画・地下鉄計画
札幌オリンピック村の基本計画
札幌市の都心部および団地の地域暖房
札幌周辺の新建築



“鉄をつくり未来をつくる”住友金属

どんな悪条件にも ビクともしないスミコートPVS おかげさまで好評です。



発売以来好評のスミコートＰＶＳ各地で着々と敷設されております。JIS規格の鋼管に塩化ビニールゾルを塗装、だから内外面からの浸食に絶対おかされず、どんな強い圧力や衝撃にもビクともしません。スミコートＰＶＳは、鋼管の利点（頑丈さ）と塩ビゾルの利点（さびない）が、たくみにいかされている一石二鳥のパイプです。もちろん加工性・施工性もすぐれており、経済性も充分に考慮し、低廉価につとめました。需要が増大している都市汚水用の配管、水道用の配管にぜひご利用ください。

●カタログをご請求ください。

住友の塩化ビニールゾル被覆鋼管

スミコートPVS

住友金属

住友金属工業株式会社

大　阪＝大阪市東区北浜５－１５（新住友ビル）　電（203）２２０１

東　京＝東京都千代田区丸の内１－３－２（新住友ビル）　電（282）６１１１

営業所＝福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・宇都宮・仙台・札幌

謹賀新年
1972

72年を迎えて

日本建築協会会長 塚本猛次

たゆむことなくG.N.P.を追求し、その間に、オリンピック、日本万国博と二つの大エベントを成功させたわが国も、昨年は、ニクソンのドルショック、繊維交渉の不調など不測の難事に見舞われ、一方、国際的には中国の国連加盟という画期的な新事態も起った。沖縄の返還もその条件については、一部の不満はあっても、実現に近づいている。沖縄の人たちが過去にはらってきた貴い犠牲に対しては、本土として誠意をもってこれを償わねばならない。

こんなときに友達だと思っていたアメリカをはじめ、欧州や東南アジアの国々が共通してあまりよい顔を見せない世界の環境の中に追い込まれた。貿易の不振は不況となってはね返り、国内は不景気風に見舞われはじめた。鉄鋼などの基幹産業をはじめ、多くの製造工業は勢を殺がれて、おのおのその活路を見出すべく、いろいろの手を打っている。いきおい国内の経済活動の沈滞を救うために公共投資に力が加わってきた。

こんな状態の経済の基調をじっくり見つめるとき、こんにちまで甘い生活に馴れたわれわれは、新たな創造力をもってそれぞれの事業や人生を開拓してゆかねばなるまい。

さらにわれわれが過去においておし進めてきた、がむしゃらな功利主義の結果が、今はいろいろな形となって提起され、その解決を迫られている。

問題は都市再開発、環境保全、緑化、住宅開発、公害など枚挙にいとまがない。これらはいずれも莫大な資金を必要とし、対象によってはネガティブの代償をはらうものすらあるが、建築界としては、いずれの場合においてもいやおうなしに力をつくしてゆかねばならない。

昨年の前東畑会長(現名誉会長)の年頭の辞に、「この辺で一度調整を必要とする時機がきているのではなかろうか」といわれたが、この課題は本年もまた続きそうである。

いたずらに迷うことなく、人間性を踏んまえてお互いに正しくわが道を力強く歩いてゆこうではありませんか。

最後に会員の皆さんのご健勝を祈るとともに、本年も従来におとらずご協力をお願いする次第である。

池袋西口民衆駅・池袋東武会館

設計監理：国鉄東京建築工事局・鉄道会館一級建築士事務所
協力設計：交通建築設計事務所・横山建築構造設計事務所
東京建築研究所
所在地：東京都豊島区西池袋１－１
建築面積：9,527m²
延面積：68,673m²（既存合計114,862m²）
構造規模：Ｂ４～２Ｆ　ＳＲＣ、２Ｆ～15Ｆ～Ｐ３Ｓ
工期：1969.2～1971.11

施工　大林組



武田薬品工業研究所

所在地：大阪市東淀川区十三西之町
建築面積：2982㎡
延面積：28,230㎡（既設合計55,918㎡）
構造規模：ＳＲＣ Ｂ２、８Ｆ、Ｐ３
工期：1969.6～1971.6

設計施工　大林組



阪急梅田駅

設計監理：京阪神急行電鉄
所在地：大阪市北区小深町38
建築面積：南地区20,160m² 北地区9,558m²
延面積：南地区167,921m² 北地区42,145m²
構造規模：ＳＲＣ Ｂ４、17Ｆ、Ｐ３
工期：第１期1966.2～1967.8 第２期1967.8～1969.11
第３期1969.12～1972.3 第４期1971.11～1973.11

設計施工　竹中工務店



竹中工務店千里山教育寮

所在地：吹田市千里山東２－17
建築面積：2,848.67m²
延面積：9,524.90m²
構造規模：ＲＣ共用棟３Ｆ、寮棟５Ｆ
工期：1970.7～1971.2

設計施工　竹中工務店



山一證券大阪店

設計：三菱地所
所在地：大阪市東区高麗橋３－12
建築面積：1,082.13m²
延面積：6,491.55m²
構造規模：ＲＣ一部ＳＲＣ Ｂ１、５Ｆ、Ｐ２
工期：1970.7～1971.9

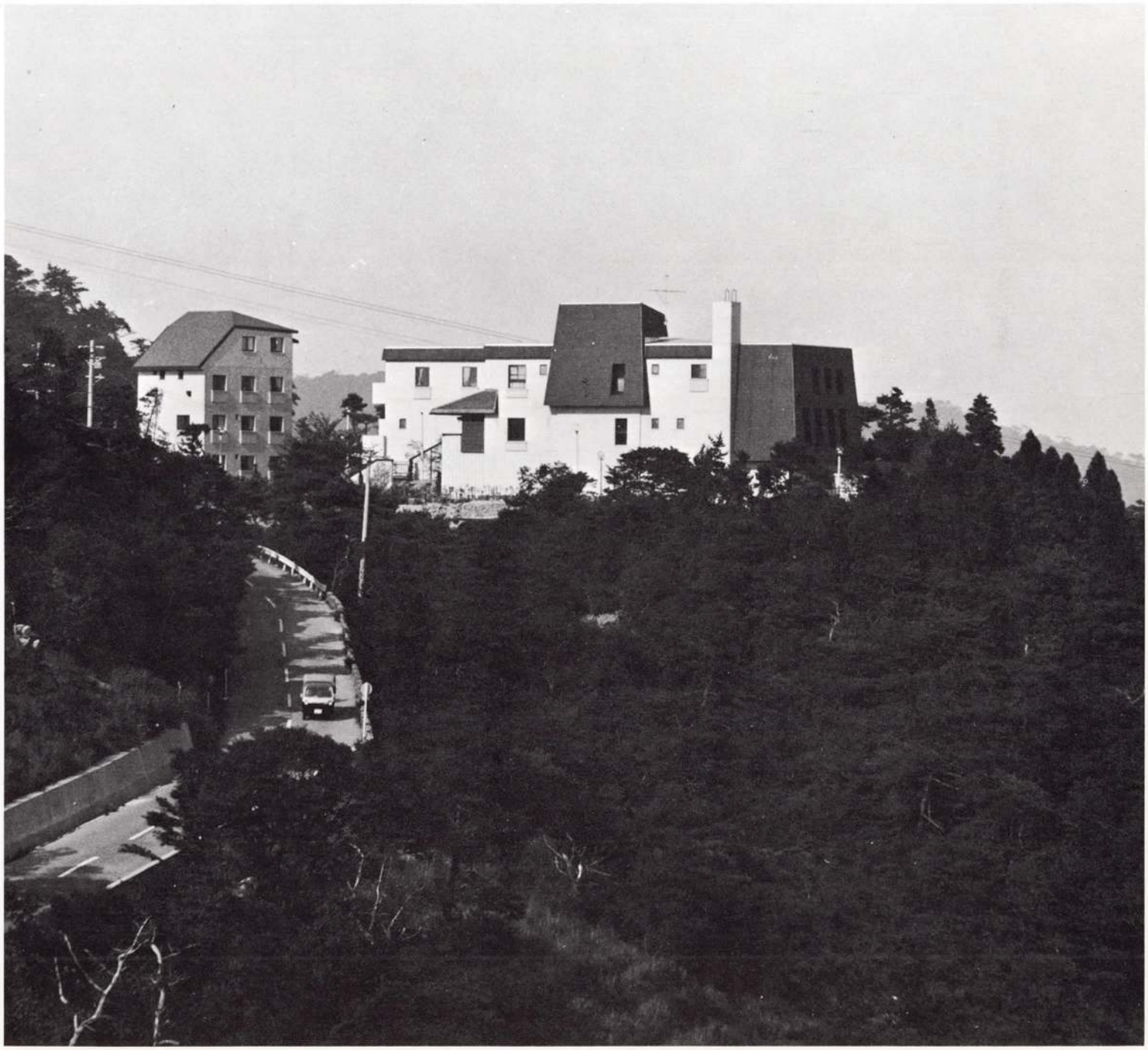
施工　西松建設



富士銀行六甲山寮

所在地：神戸市東灘区住吉町西谷山1878
建築面積：490.27m²
延面積：1,179.38m²
構造規模：本館ＲＣ３Ｆ、従業員棟ＲＣ４Ｆ
工期：1970.9～1971.6

設計施工　西松建設



国立泉北病院

設計：厚生省医務局整備課
所在地：堺市槇尾（泉北ニュータウン内）
建築面積：本棟3,709.50m²他に看護婦宿舎、公務員宿舎、動物舎
延面積：15,366.30m²
構造規模：ＲＣ Ｂ１、７Ｆ、Ｐ２
工期：1968.4～1971.2

施工　間　組



東寺ハイム

所在地：京都市南区西九条南田町１－４
管田町19－10
建築面積：465.53m²
延面積：5,504.73m²
構造規模：ＳＲＣ Ｂ１、11Ｆ、Ｐ１
工期：1970.6～1971.11

設計施工　間　組



明石市民会館

設計：安井建築設計事務所
所在地：明石市中崎町１－１
建築面積：2989.02㎡
延面積：7,301.65㎡
構造規模：ＲＣ ４Ｆ
工期：1970.7～1971.6

施工　淺沼組



住友倉庫 ボウル120（ワンツーオー）

所在地：大阪市西区道頓堀１－６
建築面積：4,023m²
延面積：15,691m²
構造規模：ＳＲＣ ４Ｆ
工期：1971.3～1971.11

設計施工　清水建設



京都市西部清掃工場

設計：大建設計
所在地：京都市右京区大枝沓掛町26
建築面積：工場棟・管理棟4,001.45m²
延面積：工場棟6,641.60m²、管理棟1,163.53m²
構造規模：工場棟ＳＲＣ Ｂ１、４Ｆ、管理棟Ｓ・ＲＣ ２Ｆ
工期：1969.7～1971.10

施工　鴻池組



高槻市庁舎

設計：山下寿郎設計事務所
所在地：高槻市桃園町２－１
建築面積：5,074.33㎡
延面積：19,461.64㎡
構造規模：ＳＲＣ Ｂ２、７Ｆ、Ｐ２
工期：1969.6～1971.1

施工　錢高組



尼信ビル

所在地：大阪市北区神明町22
建築面積：644.02m²
延面積：7,332.34m²
構造規模：ＳＲＣ Ｂ２、10Ｆ、Ｐ２
工期：1970.3～1971.9

設計施工　鹿島建設



明治生命神戸支社

所在地：神戸市葺合区磯上通８－９
建築面積：974.65㎡
延面積：13,590.57㎡
構造規模：地下ＲＣ ３Ｆ、地上ＳＲＣ 12Ｆ、Ｐ３
工期：1969.7－1971.3

設計施工　大成建設



近畿コカコーラ・ボトリング
京都工場

設計：安井建築設計事務所
所在地：京都府久世郡久御山町大字田井字新荒見
建築面積：工場棟22,750m² ＰＲ棟1,172m²その他
延面積：工場棟25,570m² ＰＲ棟2,260m²
構造規模：工場棟ＳＲＣ・Ｓ ＰＲ棟ＲＣ一部Ｓ２Ｆ
工期：1970.9～1971.4

施工　フジタ工業



秀裳苑ビル
外市本社

設計：吉村建築事務所
所在地：京都市下京区四条通烏丸東入ル長刃鉾町27
建築面積：408.90m²
延面積：4,340.10m²
構造規模：ＳＲＣ Ｂ２、９Ｆ、Ｐ２
工期：1970.6～1971.7

施工　藤木工務店



大東市立市民会館

設計：吉田建築事務所
所在地：大東市曙町400
建築面積：1,592.727m²
延面積：5,082.677m²
構造規模：ＳＲＣ ５Ｆ、一部Ｓ２Ｆ
工期：1970.8～1971.9

施工　松村組



NHK神戸放送会館

設計：ＮＨＫ技術本部・浦辺建築事務所
所在地：神戸市生田区中山手通２－63
建築面積：1,163m²
延面積：4,636m²
構造規模：ＲＣ Ｂ１、４Ｆ
工期：1970.6－1971.5

施工　村本建設



シーアイマンション桜上水

所在地：東京都杉並区下高井戸１－33－10
建築面積：558.08m²
延面積：7,177.54m²
構造規模：ＳＲＣ 14F、Ｐ２
工期：1970.7～1971.9

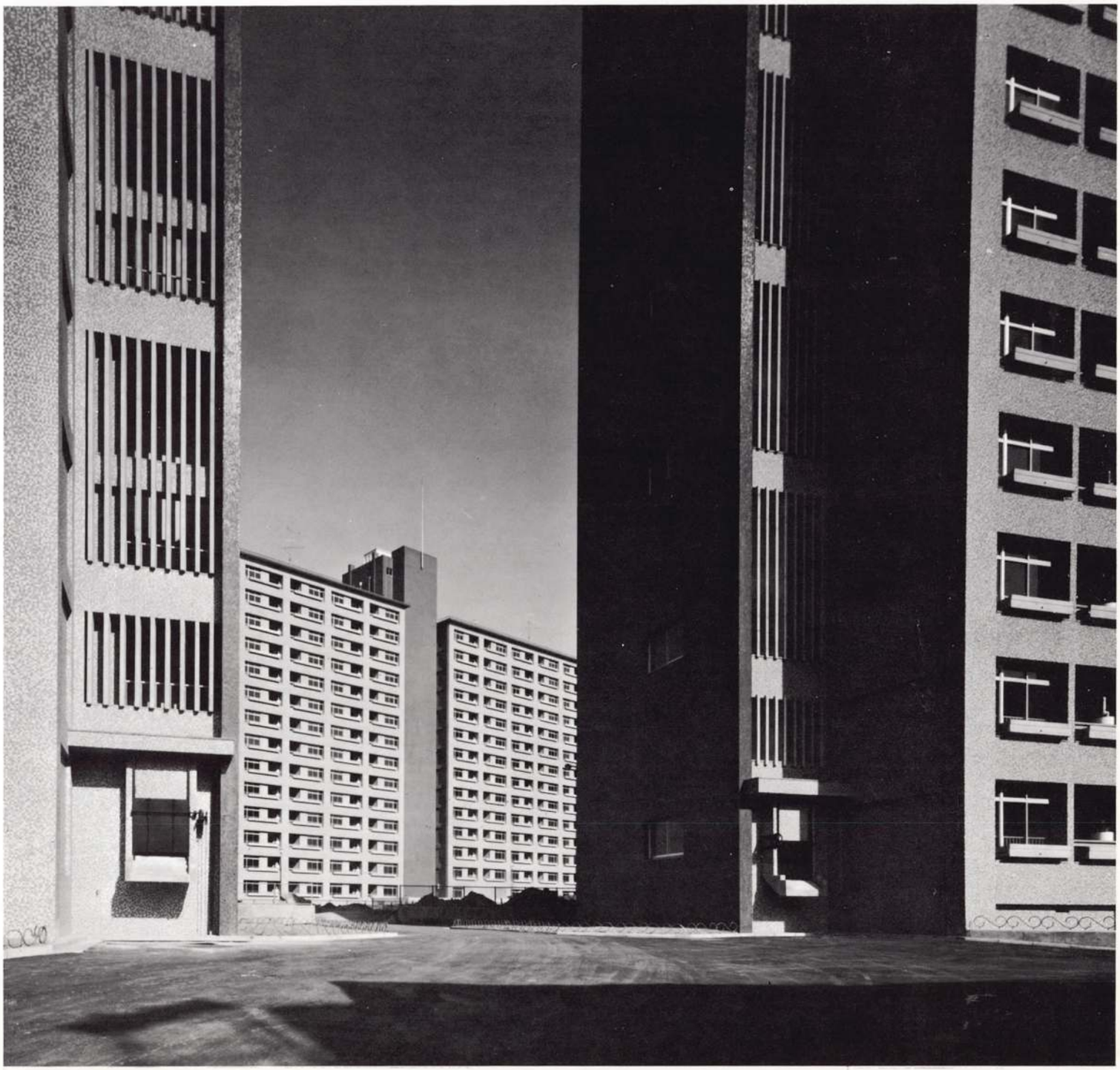
設計施工　不二建設



中津リバーサイド住宅

施工：竹中工務店・清水建設
所在地：大阪市大淀区中津浜通１－３
住宅戸数：868戸、４ＤＫ１棟、３ＤＫ３棟
延面積：76,670.56m²
構造規模：ＳＲＣ 14F
工期：1969.3～1970.12
その他：管理事務所、附属建物

設計　昭和設計事務所



佐竹台ハイツ

施工：豊国建設
所在地：千里ニュータウン佐竹台
建築面積：1,549m²
延面積：3,792m²
構造規模：ＲＣ　３Ｆ
工期：1970.6～1971.2

設計　竹内建築事務所



関西ペイント東京支社

施工：竹中工務店
所在地：東京都品川区東大井５－24
建築面積：675.164m²
延面積：3,564.754m²
構造規模：ＲＣ Ｂ１、７Ｆ
工期：1969.7～1970.5

設計　東畑建築事務所



宮崎銀行本店

施工：鴻池組
所在地：宮崎市橘通東４－３
建築面積：2,123m²
延面積：10,475m²
構造規模：ＳＲＣ Ｂ１、８Ｆ
工期：1969.10～1971.7

設計　日建設計



日本中央競馬会
京都競馬場

施工：大林組・鹿島建設・戸田建設
所在地：京都市伏見区葭島渡場島町32
建築面積：10,904.79m²
延面積：33,242.62m²
構造規模：ＲＣ Ｂ１、６Ｆ 上部スタンドＰ.Ｃ 大屋根Ｓ 亜鉛鍍折板葺
工期：1970.12～1971.12

設計　安井建築設計事務所



日本建築協会常設委員会・本年の抱負

セカンドハウス

住宅委員長　岡橋作太郎

「セカンドハウス」ということばが話されたり印刷されたりしている。私は全く不思議な気持になってしまう。ひどい家に住んでいる日本人が正気で使えることばではないと思うからだ。
もちろん、不動産業がコマーシャルとしてこのことばを使う事情は解る。しかしコマーシャル以外のところでこのことばが気楽に使われるのが私には気になるのだ。
われわれの生活の舞台は一つの住宅にのみ限られる要はないのだから「セカンドハウス的」なものが必要にもなるだろう——どんなかたちでそれが存在することが望ましく、また可能なのであろうか、それは考える要があるが——ただ単純に「セカンドハウス云々」といわれると、私は変な気持になってしまう。今日、文明国といわれる多くの国々の中で最低ともいうべき「日本の住居水準」に気がついていないのだろうか、この発言者は、と思うからである。
他の事柄とも合せ考えると、日本は自国の住居水準の低さをほんとうには分っていないように思われる。

編集委員会年頭の抱負

編集委員長　鳥田家弘

多くの行政と諸団体の動向と同じく建築関係各団体がその拠点を中央に集権化され、関西建築界はそれらのまた聞き的な間接情報に依存しているなかで、わが日本建築協会のみがそれらを横につなぐ関西における情報中心をなしている。このことは、本誌発刊600号に当る本年2月号の編集に際して、その歴史的重みとして痛感したところである。
これを十分自覚し、なお今後の新しい事態の推移を洞察しつつ、「建築と社会」の名をにないうる編集をすすめることを年頭の抱負とする。

法規委員会本年の課題

法規委員長　福田朝生

71年は基準法改正で明けた。極めて難解な改正であっていまだに建設省の統一見解さえ出されていない。もともとすっきりした法律でなかったものがますます複雑さを増し、この一年間建築界を混乱に陥れた責任は重大である。学会の構造規準の改訂も行なわれた。耐震構造の再検討の必要性も強調されつつある。
建設省はまた、「建築士事務所業務基準案」を発表してまたまた物議をかもしている。建築設計業務に対する理解の乏しさを曝露したようなお粗末さにはただあきれるばかりである。国民の利益を考えるならば、なぜもっと謙虚に「士法改正」「業務法制定」の声に耳を傾けないのか。
全国建築審査会長会議で「民間建築主事」起用の決議がなされた。永年の懸案であったこの問題もようやく今年はスタートについたといえよう。72年も多事な年になりそうである。

建材委員会の抱負と要望

建材委員長　堀内三郎

建材委員会では昨年より、従来の活動のほかに、広く一般の会員諸氏からの質疑を募り、それに対し適切な回答を行ない、本誌上にも掲載するということを始めた（本誌昭和46年6月号会告参照）。これは本委員会の任務として、単に新しい建材の紹介にとどまらず、広く会員諸氏との相互交流を通じて、より優良な建材の発展やその使用方法の適正化をはかるという目的に沿うものとして始められたものであるが、現在までのところ、まだ多くの質疑が寄せられるという状況には至っていない。当委員会としては本年も引続き昨年以来の方針を継続しつつ、それらをより発展させるべく委員一同全力を挙げる覚悟であるので、どうか会員諸氏におかれても、活発なご意見を寄せられるようお願いする次第である。

出版委員会

出版委員長　小林　清

本委員会は、ここ2～3年鳴かず飛ばずの体たらくであったが、かねてからの懸案であった「建築基礎工法と実例」を、旧ろう刊行することができた。手前みそながら、執筆陣は基礎工法および工事に豊富な経験をもつすぐれた技術者がたであるだけに、内容ゆたかなユニークな書となり、会員各位のご期待にそうことができると思う。なお、いままでは、本会の出版は自給自足を建て前としていたので、その機会をつかむことが、なかなか容易でなく、呻吟低迷している状態であった。
しかし、本年からは、本会企画編集の図書を、出版業者に委託出版する道も開かれたことでもあり、会員なかんずく初級技術者のために有益なる図書の刊行、さらに一般人のため、建築知識の普及を目的とした図書を企画し、建築を通じて社会に貢献したい念願でいる。

教育委員会本年の抱負

教育委員長　谷口尚武

教育委員会はここ数年、建築工事実務講習会、工高生デザインコンクールなど毎年の恒例の行事や、出版委員会の出版に伴なう講習を受身的に企画するだけで、いささか消極的にすごしてきた。しかし、昨年は委員の皆様のご努力によって新しい企画である「建築とコンピューター講習会」を成功させることができた。今年はこのコンピューター部門の教育をさらに一歩前進させたいし、また、本協会の特色である設計・施工・建材など各部門の方々の協力の実をあげて一つの問題を徹底的に追及する、たとえば防水工事についてのティーチインのようなものもやりたいと思っている。また、しばらく行なっていない各地への出張講習会を今年はぜひ実現して、地方在住の会員の方々へのサービスをするとともに、本協会の広域的な組織がためのお役に立ちたいものである。

本年の抱負

事業委員長　北垣智造

事業委員長として今年は第3年目を迎えることになりました。昨年の抱負として事業委員会の在り方に若干の私見を述べました。即ち「社会と遊離した建築活動は砂上楼閣である。われわれは常に社会の動向に着目し、啓蒙活動が社会性をもち、さらに漸新で、しかも確実なものであるべきである」といったようなことでした。そこで従来の6小委員会を3小委員会に集約し活動の焦点をしぼったのであります。対外的な建築活動の場としての「広報小委員会」、会員相互の技術研修の場としての「見学会小委員会」、若鮎のごときフレッシュな若い建築家の自由な活動の場としての「若い会員の集い小委員会」であります。それぞれ建築に関する自由なテーマを採り上げ、より一層社会に貢献してゆく所存であります。スタッフも熱心な討議の中で活動を開始いたしました。どうか今後ともよろしくご鞭撻たまわりますよう、また刮目たまわりますようお願いいたします。

建築データシート委員会本年の抱負

建築データシート編集委員長　井上　滉

昭和43年3月第1回発行から、昭和45年11月の第34回までに延561シート（1,122頁）が刊行されて、諸兄のお手許でご活用いただいていると思います。本年度も引続き委員会が設けられて、過去の経験をもとにさらに有効にするため、増補改訂をすることになりました。委員会でその計画を練りました結果、(1)未発行項目シートの補充、(2)新製品の紹介、(3)既刊分の改訂、を目標として準備を進め、ようやく発刊の運びとなりました。このシートが皆様のお役に立つようにと委員一同頑張っていますが、より一層充実させるには、諸兄のご協力、ご指導が必要と信じます。幸い監修は坂静雄先生に引続きお願いしてご快諾を得ました。委員一同気分を新しくしてますますご期待に沿うべく努力致す所存です。

◀阪急ターミナルビル新築工事の見学会

共催　日本建築協会・大阪府建築士会
　　日本建築学会近畿支部

日　時　2月18日（金）15.00（集合）→17.00（解散）
集合場所　阪急三番街1階北側，阪急プラザ劇場入場券売場前・目標会旗（連絡電話番号　371—6391または372—7860　竹中工務店作業所）
定　員　50名（本会割当　20名）
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上2月5日（土）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

工事概要

所在地	大阪市北区小深町27
建築主	京阪神急行電鉄株式会社
設計監理	京阪神急行電鉄㈱建設部・㈱竹中工務店設計部
施工	㈱竹中工務店
敷地面積	25,874.88㎡
建築面積	20,166.94㎡
延床面積	149,387.23㎡
基準階床面積	2,633.40㎡
構造	低層部地下4F～地上4F……SRC造 高層部　5F～P　3F……S　造
規模	地下 4F・地上 18F・P 2F
高さ	軒高……64.630m・最高部……76.030m
深さ	基準GL　−18.150m
外装	アルミカーテンウォール　自然発色
工期	昭和45年12月1日→昭和47年3月15日
見学時の状況	殆んど完成
用途	5F～6F…高級店舗・7F～16F…貸事務所・17F…レストラン　など

◀灘の生一本菊正宗嘉宝蔵の見学会

日　時　2月26日（土）13.40（集合）→16.00（解散）
〔参考〕自由行動（運賃は各自負担・阪神電車大阪より 片道 100円）
13.00 阪神梅田発特急乗車，西宮で普通に乗換「魚崎」下車
集合場所　阪神電車「魚崎」駅地下改札口前・目標会旗
見学場所　神戸市東灘区魚崎西町1丁目395，菊正宗酒造株式会社 嘉宝蔵（連絡電話　078—851—7146　大林組住吉川工事々務所）
見学順序　13.50→15.00 菊正宗酒蔵記念館（重要文化財）
万治2年（1659年）創業時に建築された酒蔵を昭和35年11月に移築保存されたもので，館内には昔から伝わる酒蔵用器具・小道具類を収集した昔をしのぶ記念館であり，これを興味深く見学しましょう。またスライドも観賞します。
15.00→16.00 菊栄工場
酒造りの近代的設備を整えた鉄筋コンクリート造，窓なし地上7階建の四季醸造工場です。原料処理→醗酵→圧搾→貯蔵と順を追うて見学します。
見学のあと，きき酒のご馳走になり，パンフレットや記念館の絵葉書並びに酒の粕を土産にいただくことになっております。ここで 16.00 解散の予定です。
定　員　30名
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上2月12日（土）までに事業課へ・ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。この見学会は㈱大林組のご斡旋と菊正宗酒造株式会社のご厚意により催すことになりました。ついては酒造業のお方は申込をうけても参加をご遠慮願うことがありますから，あらかじめご了承おき下さい。

◀会員の受章

このたび下記会員諸氏は，秋の叙勲ならびに褒章を受けられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申しあげます。

記

秋の叙勲

勲三等	瑞宝章	竹腰健造	（双星社竹腰建築事務所代表取締役）
〃	〃	松村雄吉	（松村組会長）
勲四等	旭日小綬章	松井清之助	（松井建設相談役）
〃	瑞宝章	藤島哲三郎	（安藤建設相談役）
勲五等	双光旭日章	島村佐次郎	（島村建築事務所長）
〃	瑞宝章	小滝慶太郎	（富士電気工業社長）
〃	〃	副島栄八	（高村電機製作所社長）
〃	〃	熊田繁蔵	（熊田工務店会長）

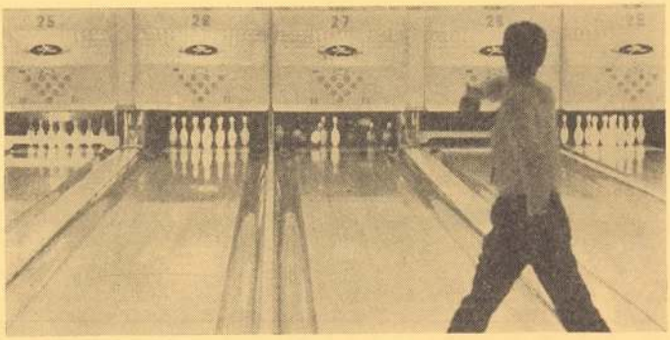
褒章

藍綬褒章	塚本猛次	（日建設計社長）
黄綬褒章	浦辺鎮太郎	（浦辺建築事務所長）
〃	黒川巳喜	（黒川建築事務所長）
〃	前野慶太郎	（あめりか屋社長）
〃	西田義郎	（西田工務店社長）
〃	西本進	（西本組代表取締役）
〃	清水愛明	（清水工業所社長）
紫綬褒章	庄野勝	（不動建設社長）

◀オール建築人ボウリング大会

主催：日本建築協会
企画：事業委員会，若い会員の集い小委員会

日　時　47年2月10日（木）集合・午後1時30分，　開会・2時，閉会・5時
会　場　ボウル国際興業・ナンバボウリングセンター4階ロイヤルフロア（大阪市浪速区敷津町，地下鉄大国町駅東出口北へすぐ）
会　費　1,000円（3ゲーム・靴代含む，別に補助があります）
定　員　160名（本会々員に限ります・年令制限なし）
競技方法　1レーンの3ゲーム総得点で順位を決定します。（同得点の際は年長者順とします）
賞　年令別による優勝者に「会長賞」を贈る外2・3位賞・ハイゲーム賞など賞品多数・参加賞。
申込方法　往復はがき（1枚・1名）に限ります。（往）には「ボウリング大会」と氏名，勤務先名，年令・生年月日，連絡電話番号を明記し，（復）には宛名・郵便番号を記入して，1月20日までに事業課宛に願います。ただし定員を超過した際は抽せんで参加者を決めて，参加証を送附いたします。



◀第6回若い会員の集い
ふるいまちとあたらしいまちシリーズ(3)

——ゲストを囲んで総括座談会——

10月23・24日は，大和郡山・橿原市今井町・大和五条市を，続いて11月13日は千里ニュータウン・逆瀬川・御影・西宮北口を訪ね，いわゆるふるいまち・あたらしいまちを体験として受けとめてきたわけですが，果して，古いまちは今もって息づいていたでしょうか？また，あたらしいまちは，現代人の生活の十分な展開を許容するまちであったでしょうか，今回は前2回ゲストとして参加していただいた先生方を囲んで，都市化と文化財・開発と保存・生活と自然・まちづくり今と昔・時間と開発・レクリエーション空間・専用住居・併用住居・計画性・住戸型式と生活……などについて，考えてみたいと思います。多数の方々のご参加を期待しております。

日　時　47年1月28日（金）午後6時～8時30分
会　場　本会4階集合室（大阪市東区北浜3—37，近畿建築会館
　　但し北浜2・3丁目中間北側）
ゲスト　工博　林　野　全　孝氏（近畿大学助教授）
　　山　地　英　雄氏（大阪府建築部住宅建設課長）
　　工博　多　胡　　進氏（大阪市立大学講師）
申　込　1月20日までに電話06（231）9640番で事業課宛に願います。
　　なお定員30名で〆切ります。

◀建築データシートの『バックナンバー』の販売について　（昭和47年2月より）

昭和43年3月（No.1）より45年11月(No.33)までに毎月発行しました建築データシートの，バックナンバーを今般下記により販売いたします。購入ご希望の方はご注文下さるようご案内いたします。

記

価　格：1シート（2頁）20円　　（例：No.130シート価格600円）
販売方法：発行号（No.）別とします。（送料：実費負担）
申込方法：「はがき」に氏名，注文の発行号，部数，勤務先，送付先を記入の上事業課宛に願います。

〈参考〉発行号別のシート数（　）内：No.1(30)，No.2(30)，No.3(30)，No.4(29)，No.5(19)，No.6(30)，No.7(27)，No.8(30)，No.9(18)，No.10(23)……

◀建築データシートの継続発行について

本会創立50周年記念出版としての建築データシートは46年1月のNo.34（総合目次・索引）の発行をもって一応完了いたしました。データシート継続発行について新しい委員会を本年4月に編成して検討を重ねてまいりましたところ，坂静雄博士には引続き監修をご承引いただくなど発行についての体制も整いましたので，継続発行の目標を季刊として一層委員一同努力いたします。何卒ご期待とご支援をお願い申しあげます。継続発行の第1号（No.35）を47年1月に発行いたしましたことをお知らせいたします。

建築データシート委員会
委員長　井　上　　滉

◆『未来の生活とインテリア』でイメージされるものを募集　—昭和47年3月号「建築と社会」

「建築と社会」昭和47年3月号はインテリア特集として企画しておりますが，そのひとつとして，「未来の生活とインテリア」についてのそれぞれの立場でイメージされているものを形象化した「図，絵」を収録いたしたく存じております。
とりあげるべきインテリアの対象は，居間でも，住宅でも，事務所でも，公共的空間でもさしつかえありません。未来の姿とインテリアとを加味して図面化して下さい。スケッチでも可。
ふるってご提出下さい。
右応募規定の要領で広く募集しますので，とくに工高生，大学生の方や若い人たちの応募を歓迎いたします。
提出されたものは，原則としてすべて収録する予定です。



応　募　規　定

1.題　「未来の生活とインテリア」でイメージされるものを適当に図面に表現して下さい。
1.図面の大きさ　A2版（420mm×594mm），A3版（297mm×420mm）またはA4版（210mm×297mm）のいずれも可。できるだけ墨入れのこと。彩色自由ですが，誌面掲載はすべて白黒の一色ですので，この点ご考慮下さい。紙質は自由です。
1.応募要領　図面裏に簡単な図の説明，住所，氏名（フリガナ），年令，職業（または学校名），連絡先電話番号，返却の有無を明記して，お送り下さい。
1.応募期日　昭和47年1月20日（木）
1.図面提出先　社団法人 日本建築協会　編集委員会
　〒541　大阪市東区北浜3—37

●掲載者には「建築と社会」誌規定の原稿料をお送りします。
●誌上掲載時のトク名使用も可。
●掲載時の縮小はだいたい図面の⅓大になる予定です。
●不明の点については本会編集部へお問い合せ下さい。
　電話　06—231—9648，9649

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

阿部貞市
株式会社建材社大阪支店 常務取締役支店長
大阪市北区中之島2-22 新朝日ビル5階 電話06(203)3721
自宅・尼崎市椎堂法師丸81-5 電話06(491)0829

阿部暢
東洋土建株式会社 取締役社長
大阪市東住吉区田辺東ノ町6丁目33 電話06(692)1331～5
自宅・大阪市東住吉区田辺本町3丁目188 電話06(621)7982

会長 青島憲輔
代表取締役 青島邦夫
株式会社 青島設計室
名古屋市中村区米屋町2 埼玉銀行ビル 電話052(582)7171
青島憲輔・名古屋市西区枇杷島通り2-35 電話052(531)1915
青島邦夫・愛知県愛知郡東郷町大字春木字白土1-64 電話052(801)6205

青盛繁男
青盛建材株式会社 取締役社長
広島市鉄砲町5番16号 電話0822(21)2281
自宅・広島市翠町1507の10 電話0822(51)6730

青柳不折
株式会社 岡本組 取締役社長
大阪市西成区玉出本通4丁目1番地 電話06(651)7775代
自宅・大阪市西成区玉出本通5丁目87 電話06(661)3370

青山正義
株式会社 二葉建築設計事務所大阪事務所 所長
大阪市西区江戸堀1の108(近畿物産ビル内) 電話06(443)0598
自宅・京都市右京区大原野上里勝山町14-6 電話075(331)8082

赤崎尚信
赤崎建築事務所 所長
大阪市西区立売堀北通1の90 第三富士ビル
電話 06(541)7625代
自宅・西宮市田代町9－4－503 電話0798(67)7129

秋田喜代治
秋田建築事務所 代表取締役
大阪市西区江戸堀2丁目47 電話06(443)4961
自宅・大阪府守口市竹町4番地の1 電話06(991)4322

秋月正兵
有限会社 秋月建築事務所 代表取締役
和歌山市北坂の上町3 電話0734(31)0286
自宅・和歌山市北坂の上町3 電話0734(31)0286

浅井貞治
株式会社双星社竹腰建築事務所 代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37 電話06(341)6671
自宅・芦屋市東山町213 ローズハイツ芦屋406号 電話0797(31)2339

浅沼猪之吉
株式会社 浅沼組 取締役社長
大阪市天王寺区東高津町8番地の1 電話06(762)0251
自宅・奈良市学園南1丁目7番15号 電話0742(45)0681

浅沼誠夫
株式会社 浅沼組 常務取締役
大阪市天王寺区東高津町8番地の1 電話06(762)0251
自宅・生駒市生駒町東松ケ丘7番30号 電話07437(3)4805

浅野真澄
株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
大阪市天王寺区城南寺町9の27
電話06(768)0201代・(761)7870
自宅・寝屋川市成田西町4の21 電話0720(31)1750

浅海正雄
浅海電気株式会社 取締役社長
大阪市北区老松町1丁目22 電話06(362)8701～8

東秀保
株式会社東建築設計事務所 社長
大阪市北区天神橋筋3丁目68 三海ビル 電話06(358)5598
自宅・寝屋川市成田東町15の25 電話0720(31)3986

姉川正男
東光電気工事株式会社大阪支社 取締役大阪支社長
大阪市東区高麗橋5丁目28番地 電話06(202)0325代
自宅・吹田市藤白台4の30の12 電話068(72)3214

網野栄
株式会社 研文社 代表取締役
大阪市北区堂山町66 電話06(361)2091代

荒木芳邦
株式会社 荒木造園設計事務所 代表取締役
池田市鉢塚2丁目8番21号 電話0727(61)8874代
自宅・池田市鉢塚2丁目9番8号 電話0727(61)8874代

伊藤喜三郎
株式会社伊藤喜三郎建築研究所
代表取締役社長
東京都千代田区紀尾井町3番地 文芸春秋ビル 電話03(263)1481代～7
自宅・東京都品川区東五反田3-16-55 電話03(441)5437

伊藤鑛一
株式会社 伊藤建築設計事務所 代表取締役
名古屋市中区錦三丁目3番6号(日経ビル) 電話052(951)1110 代
自宅・芦屋市山手町69 電話0797(22)2163

伊藤武彦
株式会社 伊藤組 取締役社長
彦根市安清東町95番地 電話 07492(2)3141代
自宅・彦根市本町2丁目1番9号 電話 07492(2)0025

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

伊藤三郎

大栄電気株式会社大阪支店　常務取締役支店長
大阪市西区京町堀2の35　電話06(443)0631
自宅・豊中市北桜塚3－8－7　電話068(54)7747

伊東正也

株式会社　伊東建築設計事務所　代表取締役
大阪市浪速区幸町通2丁目6番地 清光ビル　電話06(562)4343
自宅・西宮市松生町129番地の2　電話0798(22)3598

伊藤高

株式会社　秦伊藤建築設計事務所　代表取締役
山形市七日町4丁目14－20
電話0236(31)3223・3224・3225

井手正雄

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長
京都市中京区押小路通柳馬場東入橋町645
電話075(211)2857
自宅・京都市中京区麩屋町通二条下 電話075(231)1492

井原巌

井原築炉工業株式会社　取締役社長
大阪市大淀区天神橋筋9の8の1　電話06(372)3321
自宅・芦屋市東芦屋町5の1　電話0797(22)0270

諫早信夫

日本シルバークール株式会社　取締役社長
東京都中央区銀座4－2－2　電話03(561)3581
自宅・世田谷区南烏山2－18－4　電話06(300)3705

板垣精治郎

株式会社　板垣建築事務所　代表取締役
大阪市浪速区日本橋筋4丁目3の29　電話06(633)7535
自宅・大阪市住吉区北島町六　電話06(685)0858

井上淨夫

株式会社　井上淨夫商店　代表取締役
大阪市西区江戸堀1の101　電話 06(441)8531
自宅・西宮市甲子園三番町9の5　電話0789(41)4661

井上正一

名古屋建築設計事務所　所長
名古屋市中村区椿町4の28 国鉄会館内　電話052(452)1271大代
052(451)2025直通
自宅・名古屋市千種区下方町4の30　電話052(711)9400

井上久雄

株式会社 井上久雄建築設計事務所　代表取締役所長
大阪市西区京町堀1丁目38　電話06(443)7338
自宅・吹田市青山台3丁目20－7　電話068(31)3256

井上福藏

株式会社　井　上　組　代表取締役
大阪市都島区網島町6番25号
電話06(352)4031～4
自宅・東大阪市東石切町6丁目4番4号　電話0729(81)2526

井上達明

株式会社 井上達明建築事務所　代表取締役
大阪市北区鶴野町51番地 安田ビル　電話06(372)2821 代
自宅・大阪市西淀川区竹島町3の24　電話06(473)1069・(471)4871

飯田精次郎

共同設計株式会社　取締役社長
大阪市北区富田町9　電話 06(364)5836
自宅・豊中市本町2丁目2－24　電話068(52)5775

五十嵐昇

(資)三共建築設計事務所　所長
名古屋市中区下前津町126　電話052(321)9591代
自宅・愛知県東海市名和町 名和住宅5－203
電話0560(63)1068

石井薗

東洋基礎工業株式会社大阪営業所 取締役営業所長
大阪市西区京町堀1丁目156 中谷ビル 電話06(441)1013
自宅・大阪府豊中市新千里北町3丁目1番地
新千里北町第三団地C40の204　電話068(72)3050

石川寛三
石川宏

石川建築事務所
大阪市天王寺区茶臼山111　電話06(779)9491～2
自宅・兵庫県宝塚市切畑長尾山2の317　電話0727(59)2663

石田綽男

株式会社　石田建築研究所　代表取締役
東京都港区高輪4丁目2番6号　電話03(443)代9321－3
自宅・東京都世田谷区代沢4-31-6　電話03(422)4452

磯道秀夫

太平建設株式会社　代表取締役
愛媛県松山市味酒町2丁目13番地17　電話0899(21)2023
自宅・松山市味酒町2丁目13－16　電話0899(21)2023

泉治郎一

株式会社　熊谷組大阪支店 専務取締役大阪支店長
大阪市西区西道頓堀通2丁目1番地　電話06(538)1841

池田昭

株式会社 池田宮彦設計事務所　代表取締役
大阪市南区瓦屋町三番丁68 オートセンタービル2階
電話06(761)0360・06(762)0396
自宅・堺市東上野芝町2丁321　電話0722(52)7753

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所　代表取締役
大阪市北区真砂町48-1（オオシマビル）

今元康彦

近畿電気工事株式会社　取締役社長
大阪市北区南扇町11番地　電話 06(312)1281
自宅・豊中市北桜塚4丁目5番5号　電話068 (52) 5887

岩本義心

野村建設工業株式会社　取締役社長
大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話06(202)4791代

一宮能和

日泉化学工業株式会社　専務取締役
大阪市西区土佐堀通り1丁目27の2　タケウチビル
電話06(443)2261
自宅・神戸市灘区篠原南町2ノ23　電話078(871)3479

岩﨑甚太郎

社団法人 日本建築協会 参与
大阪市東区北浜3丁目37　電話06(231)9648代
自宅・兵庫県川西市花屋敷1丁目32の11
電話0727(59)9317

上田良治

U.A 建築事務所　代表取締役
大阪市東区谷町5丁目30 新野村ビル　電話06(768)2941
自宅・寝屋川市本町17の18　電話0720(21)0320

市川繁雄

日本管工業株式会社　取締役社長
京都市南区西九条豊田町20　電話075(681)5101～5
自宅・京都市左京区下鴨芝本町37　電話075(781)0289

岩﨑徹

株式会社 岩崎建築設計事務所　代表取締役
本社・奈良市法蓮立花町1046　電話0742(22)2283
奈良事務所・奈良市大森町57の3農協会館内
電話0742(22)2284
自宅・奈良市学園町北1丁目3096　電話0742(45)1513

上村一

株式会社 一級建築士事務所京都建築事務所　代表取締役
京都市中京区三条柳馬場東入中之町10　電話075(211)0562
075(231)5681
自宅・西宮市五月ケ丘3番5号　電話0798(34)4333

指宿真智雄

株式会社 建築デザイン1級建築士事務所　代表取締役
大阪市東区南本町4-47イトウビル　電話06(252)4905代
自宅・京都市左京区八瀬野瀬町54　電話075(781)6573

岩﨑弘

株式会社教育施設研究所大阪事務所 取締役所長
大阪市西区立売堀北通2の27　電話 06(531)0913
大信ビル2階3階　06(541)7301
自宅・奈良市法蓮町1046　電話0742(22)2283

牛場栄一郎

株式会社 牛場建築設計事務所
大阪市西成区南吉田町35番地　電話06(661)3636
自宅・大阪市西成区南吉田町35番地　電話06(661)3636

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム　代表取締役
大阪市西区北堀江通2丁目47番地　電話06(541)3051～3
自宅・大阪市西区北堀江通2丁目47番地　電話06(541)3054

岩崎善雄

恒和化学工業株式会社　取締役社長
大阪府豊中市豊南町南6丁目3番13号
電話06(332)5721大代
自宅・東京都大田区山王2の30-10　電話03(772)2651

内田成之

須賀工業株式会社　相談役
大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話06(441)5171
自宅・神戸市東灘区御影町西平野字天神山61　電話078(851)9357

今西壽雄

株式会社　今西組　取締役社長
大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1　上六ビル
電話 06(772)1251
自宅・大阪府高石市羽衣2丁目4番1号　電話0722(61)1179

岩下久哉

鹿島建設株式会社大阪支店　次長兼技師長
大阪市東区瓦町5－71　瓦町ビル
電話06(203)3381代

浦野三男

株式会社　浦野設計事務所　取締役社長
名古屋市西区山田町上小田井字中浦1254の5
電話 052 (502) 1991代
自宅・名古屋市西区山田町上小田井字中浦1254の5
電話 052 (502) 4501

取締役会長 **今村騰**
取締役社長 **立石行男**

中央電気工業株式会社
大阪市北区梅ケ枝町56　電話06(312)8881

岩下哲二

相互建設産業株式会社設計工務部　主任
大阪府泉南郡東子取町山中1134　電話0724(72)4081代

浦辺鎮太郎

株式会社 浦辺建築事務所　代表取締役
大阪市北区梅田八番地 新阪急ビル　電話06(345)6143

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

江川好巳

株式会社 山下寿郎設計事務所大阪支社 支社長
大阪市東区北浜5丁目11番地 電話06(231)4217・7321
自宅・芦屋市山手町16 電話0797(22)9269

榎栄

東峰美術建築研究所
大阪府大東市赤井1丁目325の6 電話0720(72)1850

小川卯一郎

日本電設工業株式会社大阪営業部 取締役大阪営業部長
大阪市大淀区豊崎西通1丁目20番9号
電話06(372)3531代
自宅・西宮市桜町2－23 電話0798(34)3027

小川正

株式会社 竹中工務店 常務取締役
大阪市東区本町4の27 電話06(252)1201
自宅・豊中市上野西2丁目12の47 電話068(52)3478

会長 小川実
副会長 牛場栄一郎
副会長 玉置彦一
副会長 中井隆三
社団法人 大阪建築設計協会
大阪市西区土佐堀通5丁目58 ヤマタマビル 電話06(448)4110

代表理事 小川実
専務理事 玉置彦一
大阪建築設計監理事業協同組合
大阪市西区土佐堀通5丁目58 ヤマタマビル 電話06(448)3329

小河吉之助

株式会社 小河建築設計事務所 代表取締役所長
大阪市南区瓦屋町4の8 電話06(761)2301
東京都中央区東日本橋2丁目1番13号 ニッセンビル8F 電話03(666)9606
自宅・枚方市香里ケ丘12の22の37 電話0720(54)0690

尾亀清四郎

株式会社三晃空調 代表取締役会長
大阪市北区富田町16 電話06(363)1371
自宅・枚方市岡山手町15の4 電話0720(41)3427

大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役
大阪市西区京町堀1丁目76 福岡ビル
電話06(444)4521～2
自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11 電話0727(21)4113

大澤幸平

大幸建設株式会社 取締役社長
大阪市西区西長堀北通1丁目5番地 電話06(538)0881代
自宅・豊中市玉井町1丁目8番18号 電話068(52)3237

大下繁樹

日成建設株式会社 取締役社長
広島市東白島町17の4 電話0822(28)0281

大下順三郎

平和建設株式会社 代表取締役社長
大阪市城東区関目町1丁目40番地 電話06(939)4741～5代
自宅・大阪市旭区新森5丁目5番1号 電話06(952)1240

社長 大鳥居満也
副社長 柏岡十三介
株式会社 大鳥居工業所
京都市右京区西院西田町30番地 電話075(313)2191代

大場広次

株式会社松田平田坂本設計事務所 大阪出張所長
大阪市北区堂島上3－10 電話06(344)7821
自宅・東京都杉並区西荻南4-19-13 電話03(333)2621

大旗正二

協同組合広島県設計技術センター 代表理事
広島市横川新町7番3号 電話0822(91)7245

大林芳郎

株式会社 大林組 取締役社長
大阪市東区京橋3丁目75番地 電話 06(941)0861
自宅・神戸市東灘区御影町御影字上の山1682の1
電話078(85)2501

大森久司

近畿電気工事株式会社 取締役会長
大阪市北区南扇町11番地 電話 06(312)1281
自宅・奈良市今辻子町12 電話0742(22)2390

大山昭典

セメダイン株式会社 大阪支店 支店長
大阪市南区大宝寺町東之丁41 電話06(251)3555
自宅・大阪市住吉区長居町東7丁目26
電話06(691)9002

岡田金次郎

株式会社久米建築事務所大阪事務所 取締役所長
大阪市北区堂島中1－23 堂島中町ビル
電話06(344)2096

岡田正昭

河内石材工業株式会社 代表取締役
大東市灰塚6丁目3番22号 電話06(788)7761代

岡崎寛男

伸興熱工業株式会社 代表取締役
神戸市生田区多聞通4丁目11-8 電話078(351)1212 代
自宅・神戸市東灘区住吉町堂ノ本1814 電話078(851)0466

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

岡澤　勇
岡澤建築設計事務所
大阪事務所・大阪市北区梅ケ枝町146 梅ケ枝ビル2階
電話06(362)6082代
自宅・大阪府茨木市大字清水433
電話0726(43)5230・8953

岡橋　作太郎
株式会社　日　建　設　計

岡本　行善
株式会社　昭和設計事務所　取締役社長
大阪市西区西長堀北通1丁目8番地 四ツ橋ビル
電話06(532)0415
自宅・芦屋市朝日ケ丘町103番地　電話0797(31)3201

岡本　一郎
株式会社岡本建築事務所　所長
大阪市天王寺区東高津町12　電話06(768)2021
自宅・柏原市国分本町3丁目5−2　電話0729(78)6490

岡本　全男
筧組建設株式会社　代表取締役社長
大阪市天王寺区東高津町14−5　電話06(768)1515代
自宅・大阪市西成区玉出本通1-37　電話06(661)3317

奥田　政雄
奥田設計室建築事務所　所長
守口市桜町16番地 電話06(992)5808
自宅・交野市大字私部3079　電話0720(91)1556

奥野　晴弘
株式会社 和光建築設計事務所　代表取締役所長
大阪市浪速区新川3丁目630　電話06(633)0141〜3

折井　隆博
松井建設株式会社大阪支店　支店長
大阪市北区堂島北町20　電話06(344)4135

海上　靜一
株式会社　海上靜一建築事務所　取締役社長
大阪市東区博労町2丁目41番地 中博ビル4F
電話06(271)1149・(261)4428〜9
自宅・大阪府堺市日置荘西町13番地2　電話 0722 (85) 2120

梶本　秀尾
八千代電設工業株式会社　取締役社長
大阪市東区森之宮東之町392　電話 06(941)6531代
自宅・堺市大美野1074　電話 0722 (37) 2548

金光　五郎
万年スレート株式会社　代表取締役
大阪市西成区千本通7丁目11番地　電話06(661)8181
自宅・大阪市西成区千本通3の31　電話06(661)4574

亀井　晃治
一級建築士事務所
株式会社　A·R·I建築事務所　代表取締役社長
大阪市南区谷町8丁目8の2 久寿野木ビル
電話06(768)1405代
自宅・奈良市六条緑町1丁目1537　電話0742(45)2995

川上　慶次郎
株式会社 鴻池組福岡支店　支店長
福岡市大名1丁目14番45号　電話092(75)7237
自宅・福岡市高宮1丁目13の12　電話092(53)9510

川崎　軍一
近畿電気工事株式会社　広島支社　取締役支社長
広島市稲荷町4番1号　住友生命広島ビル
電話0822(62)1471
自宅·広島市宇品御幸2丁目2番2号　電話0822(51)7535

川崎　敬三
株式会社　近畿建設　代表取締役
大阪市西区靭本町4丁目103　電話06(532)0081 代
自宅・大阪市浪速区新川2丁目666　電話06(632)7369

川田　祐三
川田株式会社　代表取締役
大阪市港区波除3丁目7番7号　電話06(583)1017〜1020
自宅・大阪市港区波除3丁目12番20号
電話 06(583)2492

川谷　勇
川谷建築設計事務所　自営
京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代
自宅・京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代

川岸　繁夫
株式会社 川岸窯業商店　代表取締役
大阪市西区靭本町2丁目98番地　電話06(532)0461

川口喜代枝
株式会社　篠田川口建築事務所　所長
名古屋市東区富士塚町3丁目2番地　電話052(962)7581代
自宅・名古屋市千種区稲舟通2丁目7番地　電話052(751)2613

川廷　誠治郎
神鋼建材工業株式会社　取締役社長
尼崎市西向島町77番地　電話06(411)−1301代

川中　正道
三協アルミニウム工業株式会社大阪支店　取締役大阪支店長
大阪市西区靱1丁目123番地 近畿富山会館ビル6F
電話 06(443)9601

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

河津喜之助

河津装飾株式会社　社長
大阪市北区堂島上1　電話06(341)1351～3
自宅・豊中市服部本町1-10-3　電話068(62)6865

木下國男

株式会社内外写真　代表取締役
大阪市北区堂島北町16番地　電話06(345)9055代
自宅・豊中市北桜塚3丁目9番15号

栗林一馬

栗林建築士事務所
和歌山市和歌浦鶴立崎527　電話0734(44)3623

河井覚弘
前川敬蔵

株式会社河井前川建築事務所　代表取締役
大阪市北区牛丸町65 小林商事ビル　電話06(372)8404 代

木村謹次

株式会社木村工務所　取締役社長
大阪市南区南炭屋町38　電話06(271)5678
自宅・大阪市東住吉区平野元町7の14
電話06(791)0834

栗山和三

㈱シエル石油大阪発売所　フリントコート施工販売部　部長
大阪市東淀川区西中島町2-76　電話06(303)7131
自宅・西宮市枝川町1-144-304　電話0798(48)9428

辛木貞夫

東海興業株式会社大阪支店　常任顧問
大阪市北区梅田町27 サンケイビル　電話06(343)0451

清田文永

株式会社梓建築事務所　代表取締役
東京都千代田区永田町2丁目14番2号 山王グランドビル5階 電話03(580)4411代
自宅・中野区中野5－37－23　電話03(387)1539

黒川巳喜

黒川建築事務所　所長
名古屋市昭和区小針町4丁目2番地 電話052(882)0281代
自宅・愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字鹿島119　電話05679(5)2255

柄谷吉太郎

株式会社柄谷工務店　取締役社長
尼崎市玄番南之町4番地　電話06(411)1451
自宅・西宮市甲子園浦風町9の14　電話0798(41)0700

工藤建夫
工藤哲夫

工藤雅三建築事務所
大阪市此花区四貫島大通2丁目12　電話06(461)0043
06(461)4198・06(461)4393
自宅・大阪市此花区四貫島大通2丁目12　電話06(461)9293

桑田正造

桑田硝子株式会社　取締役社長
神戸市生田区中野通3の5　電話078(732)6811代
自宅・神戸市長田区五位ノ池町3の3
電話078(62)3807

神崎吾明

株式会社神崎組　取締役社長
姫路市北条口86の3　電話0792(23)2021代
自宅・姫路市北条口62　電話0792(23)0210

熊澤六朗

平和建設株式会社　常務取締役
大阪市城東区関目町1丁目40番地　電話06(939)4741代
自宅・吹田市内本町3丁目23番8号　電話06(381)0451

小泉昇

株式会社新建技術研究所代表取締役
（旧社名　株式会社大建エンジニアーズ）
大阪市西区江戸堀1丁目52番地 堀田ビル　電話06(441)1366
自宅・摂津市正雀本町2－12－29　電話06(381)5559

神田正平

株式会社日本シャッター製作所　代表取締役
大阪市東淀川区田川通6の38　電話06(301)3656～9

熊倉博

関東電気工事株式会社関西支社　支社長
大阪市東区南久宝寺町3丁目41番地　電話06(253)0291

小泉善重

株式会社　栄和設計事務所　取締役社長
大阪市福島区堂島浜通4丁目14　電話06(452)1651
自宅・大阪府羽曳野市高鷲7丁目3番11号　電話0729(55)4416

岸本貞文

生活美術研究所・岸本貞文建築事務所
1級建築士事務所 東京都知事登録 第1043号　所長
東京都渋谷区恵比寿南2-21-4 電話03(719)1771
自宅・東京都渋谷区恵比寿南2-21-4　電話03(713)6137

栗林一勇

松尾建設株式会社福岡支店　取締役支店長
福岡市薬院露切町11番地の2

小坂忠勝

株式会社安井建築設計事務所名古屋事務所 常務取締役所長
名古屋市中区錦3－24－17　電話052(961)1861
自宅・名古屋市瑞穂区岳見町4-20-2 電話052(831)4459

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

小崎　修
株式会社　ミラノ工務店　取締役会長
京都市中京区夷川通河原町東入鉾田町310
電話075(231)0177
自宅・京都市左京区下鴨北園町63番地　電話075(781)0676

小島勝巳
有限会社 小島勝巳建築事務所　取締役社長
大阪市西区江戸堀北通2丁目23 日邦ビル2階　電話06(443)9127
自宅・西宮市五月ケ丘6番35号　電話0798(33)5120

児島義矩
株式会社　巴商会　大阪支店長
大阪市北区堂島上2－38　電話03(344)1441大代

小杉茂治
シャープ株式会社　機器営業本部　企画部長
大阪市阿倍野区長池町22番22号　電話 06(621)1221
自宅・大阪府羽曳野市野々上5丁目6の7　電話0729(54)4488

小中村繁次郎
富士建設機工株式会社　代表取締役
京都市南区東九条河西町27番地　電話075(691)0791-2
自宅・京都市南区東九条河西町27番地　電話075(691)8224

小西岬
株式会社　田中小西建築事務所　取締役社長
大阪市西区阿波座南通2の60　電話 06(532)4051代
自宅・大阪市東住吉区平野西脇町373の4　電話 06(701)0297

小守義人
相互建設産業株式会社設計部　会社役員
大阪府泉南郡東与取町山中1134　電話0724(72)4081代

小林清
株式会社 新住宅社　代表取締役
大阪市北区常安町17番地　電話06(444)4677
自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号　電話06(651)1594

小林三甫朗
小林住宅産業株式会社 社長一級建築士
大阪市東区南久宝寺町5－18　電話06(251)8371

小林四郎
太陽工藤工事株式会社　社長
大阪市福島区上福島北2丁目1番地
電話06(452)1151代

小林清一郎
大同鋼板株式会社　取締役社長
尼崎市杭瀬字午新田22番地　電話06(488)1181

小林得志
株式会社　小林得志建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島北町20番地　電話06（341）5658代
自宅・西宮市丸橋町6の16　電話 0798（66）2394

小松英二
東海興業株式会社大阪支店　専務取締役支店長
大阪市北区梅田町27 サンケイビル　電話06(343)0451

小向正雄
株式会社 小向商会　代表取締役社長
和歌山市小松原通3の1　電話0734(24)6141
自宅・和歌山市大泉寺丁6　電話0734(22)7771

高武主計
コータケ建築設計事務所　所長
大阪市西区江戸堀5丁目155　新山越ビル2階
電話06(448) 2408
自宅・大阪市西区北堀江御池通り4の20　電話06(531)2812

河内義就
有限会社　河内義就設計事務所　代表取締役
広島市上幟町2番37号　電話0822(28)2271
自宅・広島市上幟町2番37号　電話0822(21)4808

鴻池藤一
株式会社　鴻池組　取締役社長
大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地　電話 06(252)3100大代
自宅・京都市北区平野鳥居前町86　電話075(461)1526

雑賀孝夫
株式会社 雑賀建築設計事務所　代表取締役
和歌山市西汀丁1番地 電話0734(31)1371代
大阪市浪速区元町1丁目742番地　電話06(641)6736
自宅・和歌山市小松原通り5丁目1番地　電話0734(23) 5888

佐藤音松
株式会社　今西組　取締役会長
大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1　上六ビル内
電話06(772)1251
自宅・芦屋市六麓荘町97番地　電話0797(22)2226

佐藤四郎
株式会社　大佛　取締役社長
京都市東山区今熊野大佛池田町9の9
電話075(541)3344代
自宅・京都市東山区今熊野池田町8の4
電話075(561)3725

代表取締役所長 **佐藤武夫**
代表取締役社長 **佐藤次夫**
株式会社 佐藤武夫設計事務所
東京都港区新橋4丁目6番15号　電話03(436)3511代
自宅・東京都港区南青山3－8－38　青山マンション
電話03(408)6350
自宅・東京都世田谷区赤堤1－16－13
電話03(420)5810

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

佐野正一

株式会社　安井建築設計事務所　代表取締役社長
大阪市東区島町2丁目7番地　電話06(943)1371代
自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798(22)1569

佐野友二

社団法人 日本カーテンウォール工業会　会長
東京都港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)　電話03(409)6981・6983
自宅・東京都太田区山王2丁目12番地の2号　電話03(771)5410

佐野春吉

森井電業株式会社大阪支店　専務取締役
大阪市北区常安町16　電話06(443)8381代
自宅・尾崎市東園田町3丁目85-11　電話06(491)9402

斎藤博

株式会社　三晃空調　取締役社長
大阪市北区富田町16　電話06(363)1371
自宅・箕面市百楽3－4－2　電話0727(21)2341

阪口重一

阪口建設株式会社　取締役社長
大阪市東区京橋3の68 北浜ビル2号館
電話06(941)8441

坂本承明

阪神建鉄株式会社　取締役社長
東大阪市中野214　電話0729(62)1234大代

佐々木孝治

真柄建設株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市西区京町堀3の12　電話06(443)0641
自宅・京都市東山区山科東野井上町2-48　電話075(581)5713

笹川基

株式会社　笹川組　取締役社長
滋賀県大津市打出浜13番15号　電話0775(23)2314代
自宅・滋賀県大津市西ノ庄5番4号　電話0775(24)5145

四方靖郎

四方設計工務株式会社1級建築士事務所
京都市伏見区深草関屋敷町32　電話075(641)6324
自宅・京都市伏見区深草芳永町666の28　電話075(641)3080

志賀信男

志賀設計株式会社　代表取締役
福岡市鳥飼5丁目20番11号　電話092(82)5631～4
自宅・福岡市田島友泉亭942の21　電話092(87)6110

塩路寅雄

株式会社 塩路建築事務所　代表取締役
大阪市南区塩町通り3の14 芦池ビル
電話06(251)3231・(271)2495

品川二三男

株式会社 品川建築事務所　代表取締役所長
福井市順化1丁目1番19号　電話0776(22)6683
自宅・福井市経田町薬島幼稚園南隣
電話0776(23)3552

渋谷幸雄

渋谷金属産業株式会社　取締役社長
大阪市南区鍛冶屋町52　電話06(211)7333
自宅・八尾市二俣252の7　電話0729(22)8644

島田勢喜

西松建設株式会社 大阪建築支店　取締役支店長
大阪市東区釣鐘町2丁目41番地　電話06(942)1131代
自宅・豊中市永楽荘2－6－28　電話068(53)5379

清水愛明

株式会社 清水工業所 代表取締役
大阪市大淀区南浜町3－14　電話06(372)2851代
自宅・兵庫県西宮市南郷町3－12　電話0798(22)1184

清水章裕

須賀工業株式会社 福岡支店　支店長
福岡市千代栄町6の2　電話092(65)4731
自宅・福岡市高取2丁目5の16　電話092(82)1451

庄野勝

不動建設株式会社　代表取締役社長
大阪市東区平野町5丁目30番地　電話06(201)1121
自宅・大阪市住吉区帝塚山西5-18

白井周二

清水建設株式会社　代表取締役副社長(大阪駐在)
大阪市西区土佐堀通2丁目2番地
清水建設株式会社　大阪支店　電話06(443)5431大代表

白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事
大阪市東区両替町1丁目13番地　電話06(942)1461
自宅・大阪市住吉区墨江中1の68　電話06(671)3792

須賀孝

須賀工業株式会社　取締役社長
大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話06(441)5171
自宅・西宮市雲井町6番14号 電話0798(33)0269

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

杉村正三郎

阪急電気工事株式会社　取締役社長
大阪市東淀川区十三西之町3丁目34番地　電話06(302)0231-5
自宅・兵庫県宝塚市栄町3丁目9番20号　電話0797(86)3623

田谷清三郎

清光商事株式会社　社長
大阪市西区西道頓堀通3丁目4番地　電話06(541)1661
自宅・神戸市東灘区魚崎中町4丁目5番10号112　電話078(411)3396

高杉善久

株式会社大成鉄工所　代表取締役
枚方市大字出口383番地　電話0720(31)7001代～8

隅田正美

第一工業株式会社　大阪支店　取締役支店長
大阪市北区富田町30番地　電話06(364)6661

田中清眞

太洋組株式会社　代表取締役
大阪市北区梅田町47 新阪神ビル　電話06(344)2791代
自宅・兵庫県芦屋市西山町50番地　電話0797(22)0249

高田伊三郎

昭和アルミニウム株式会社　取締役社長
堺市海山町6丁224番地　電話0722(33)1181

瀬戸本典治

三建設備工業株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市都島区都島本通4丁目10番30号　電話 06(922)6251代
自宅・宝塚市御殿山2丁目19の1　電話0797(86)1437

田中幸三郎

田中建設株式会社　取締役社長
大阪市天王寺区北河堀町54　電話06(771)2391～4
自宅・大阪市阿倍野区阪南町5-9-24　電話06(622)0494

高橋浅一

五洋建設株式会社　支店長
大阪市北区梅田町47 新阪神ビル　電話06(345)0631

錢高輝之

株式会社　錢高組　取締役社長
大阪市西区阿波座上通3丁目2番地　電話06(531)6431大代
自宅・大阪府高石市東羽衣1丁目7番55号
電話0722(61)0990

田中政二

大島應用化学工業株式会社　取締役社長
東大阪市新庄1114番地　電話06(782)4171～3
06(782)6734～8
自宅・大阪市城東区野江東ノ町4の99

高橋慶夫

株式会社大建設計　取締役社長
大阪市西区京町堀2丁目75　電話06(441)9351
自宅・大阪市東淀川区相川中通2-2-4　電話06(328)0935

副島榮八

株式会社　高村電機製作所　取締役社長
大阪府八尾市佐堂町3－3－12　電話0709(99)0151
自宅・大阪府八尾市長池町5－4　電話0729(22)5112

田渕誠也

株式会社　田渕建築設計事務所　代表取締役
和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261～2
自宅・和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261～2

竹腰健造

株式会社　双星社竹腰建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37番　電話06(341)6671代
自宅・西宮市松園町7番22号　電話0798(34)2650

田口信夫

株式会社　恵美須建設　代表取締役
京都市左京区浄土寺馬場町151
電話075(761)1151～3
自宅・京都市左京区鹿ケ谷法然院町7
電話075(771)3543

田村厚

田村商会　代表者
神戸市生田区京町72(クレセントビル)　電話078(391)0881
自宅・神戸市垂水区五色山2丁目1番16号　電話078(707)8839

竹原永一郎

株式会社伊東建築設計事務所　取締役
大阪市浪速区幸町通2丁目6番地　清光ビル
電話06(562)4343代
自宅・豊中市蛍池西町1丁目1－4　電話068(55)0230

田賀勉

株式会社　田賀建築設計事務所　取締役社長
大阪市西区北堀江通5丁目55番地　原田ビル
電話06(531)7193代
自宅・神戸市東灘区魚崎南町1丁目2番　魚崎コーポ2－1117号

高須洪一郎

株式会社　朝日工業社　取締役社長
大阪市東淀川区加島町357番地　電話 06(302)2271
自宅・西宮市甲子園町3番8号　電話0798(41)0494

谷口尚武

株式会社　大林組　専務取締役
大阪市東区京橋3丁目75番地　電話06(941)0861

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

谷川丈夫

株式会社 西原衛生工業所大阪店　専務取締役
大阪市大淀区中津南通4丁目11番地 電話06(458)3531代
自宅・吹田市千里山西3丁目14-29　電話06(384)8706

千原大五郎

株式会社 大建設計　取締役副社長
東京都港区新橋1－10－7　大和銀行新橋ビル
電話03(572)4595代
自宅・神奈川県藤沢市鵠沼松が岡1－15－25
電話0466 (23) 3124

寺田徳重

大成建設株式会社　取締役
大阪市東区本町4丁目27　電話06(262)1131
自宅・大阪府箕面市桜井2丁目4－39
電話0727(21)4641

玉置巖

玉置建築設計事務所
大阪市浪速区西圓手町1009番地
電話06(562)1513. 3355. 3726
大阪市浪速区西圓手町1009番地
電話06(562)1513. 3355. 3726

千原弘治

日本化成株式会社　関西事業所　技術開発部長
大阪市北区末広町17(ニュー大成ビル)　電話06 (312)6694
自宅・堺市鳳北町6－325　電話0722(62)5834

傳馬正明

サン建工株式会社　取締役営業部長
大阪市西区北堀江上通3丁目22番地(久竹ビル)
電話06(538)2007
自宅・大阪市大淀区中津浜通1丁目3番地
中津リバーサイドコーポC-929　電話06(371)0385

橘春重

橘建築事務所　所長
大阪府東大阪市御厨16　電話06(781)0937
自宅・奈良県生駒市新旭ケ丘11番34号
電話07437(3)2401

塚本猛次

株式会社 日建設計　取締役社長

東畑謙三

株式会社 東畑建築事務所　代表取締役
大阪市東区伏見町5－19　電話 06 (202) 0391
自宅・神戸市東灘区住吉町縄手下1680　電話 078 (851) 5043

橘泰治

東邦パーライト株式会社　代表取締役
(旧共栄)
大阪市東区森之宮西の町594　電話06 (941)9243
自宅・堺市若松台3丁26番3号　電話0722(91)2267

辻本豊

辻本豊設計事務所　所長
和歌山市東長町中の丁12－3　電話0734(24)6346
自宅・和歌山市東長町中の丁12－3　電話0734(24)6347

時山龍太郎

時山設計事務所　所長
大阪市北区曽根崎上2丁目21番地 美都ビル　電話06(361)6248
自宅・大阪市東淀川区三国本町2の127　電話06(393)9557

丹司徳藏

アサヒ衛陶株式会社　取締役社長
大阪市住吉区上住吉町1　電話06(673)6001
自宅・大阪市住吉区粉浜東之町4丁目30番地

恒成一訓

合名会社 つねなりすたじお　代表者
大阪市東区北浜3丁目40　電話06(231)0141
自宅・豊中市玉井町2－8－20　電話068(41)2659

富田光男

丸善冷熱工業株式会社　代表取締役
大阪市浪速区河原町2丁目1470番地(丸善ビル)
電話06(631)1431代
自宅・大阪府枚方市三栗1丁目13ノ5　電話0720 (56) 4451

知見義夫

株式会社 斎藤省三商店大阪店　取締役支店長
大阪市西区土佐堀通1丁目1番地 大同ビル6階
電話06 (443) 3361代

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　取締役社長
尼崎市昭和南通り3丁目26番地（松本ビル）
電話06(412)5131
自宅・埼玉県大宮市高鼻町3丁目58
電話0486(41)0204

友田俊夫

友田工業株式会社　代表取締役
大阪市都島区都島中通3丁目3番6号　電話06(921)0331
自宅・大阪府交野市大字私部2851　電話0720(91)5085

地頭政人

小俣シャッター工業株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市北区若松町30番地　電話06 (364) 4825・9004・9016
自宅・尼崎市武庫庄字正の上195の3　電話06(421)5228

寺嶋末男

日米パーテイション株式会社　常務取締役営業部長
大阪市西区本田2番町38 辰巳ビル
電話06(581)1131代

内藤一真

株式会社　竹内建築事務所　代表取締役
大阪市南区長堀橋筋35の1　日亜ビル　電話06(211)2706代
自宅・大阪市阿倍野区王子町4丁目1番8の303号
電話06(623)7385

謹賀新年　昭和47年元旦　（50音順）

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役所長
兵庫県小野市上本町240小野ビル　電話 07946（2）4757代
自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話 07946（2）4668

中田亮吉

株式会社 日本総合建築事務所　社長
東京都渋谷区神南1－12－16　電話03(463)5020代
自宅・東京都太田区山王1-29-3　電話03（771）2408

野網俊雄

西日本規格サッシ株式会社 代表取締役
大阪市浪速区敷津町3の20（建団連会館）
電話06(641)5859・6018

代表取締役 **中井惣一郎**
取締役副社長 **中井康勝**
株式会社 中井總組
尼崎市常光寺元町1－3　電話06(481)5461代

中村豊

株式会社 日邦建築企画設計 代表取締役
大阪市北区梅ヶ枝町114 関西ビル　電話06(362)1767・9697
自宅・京都市下京区七条通東堀川西入八百屋町12
電話075(371)2755

萩正勝

株式会社 萩建築設計事務所 代表取締役
東京都目黒区青葉台2－20－14　電話03（719）1734代
自宅・東京都目黒区平町1－16－6　電話03(723)1074

中川匠

中川匠建築設計事務所 所長
大阪市北区浪花町38 新興ビル　電話 06(371)3651
自宅・宝塚市米谷石田18　電話0797(86)2391

理事長 **中村文夫**
所長 **坂静雄**
財団法人 日本建築総合試験所
本所・大阪府吹田市藤白台5の125　電話068（72）0391
大淀分室・大阪市大淀区長柄西通2の35　電話 06(351)7217

橋本正二

鹿島建設株式会社大阪支店 常務取締役支店長
大阪市東区瓦町5－71　電話06(203)3381大代

中川真佐吉

アポロ印刷株式会社 代表取締役
大阪市東区北新町2丁目7　電話06(942)2951～5

永井賢城

株式会社 久米建築事務所 取締役社長
東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話03(4u3)0251大代
自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26　電話0466(36)7706

橋本久清

吉野石膏株式会社 大阪支店 取締役支店長
大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話06(344)6691
自宅・西宮市甲子園6番町7－6　電話0798(41)1361

中川道夫

日研工業株式会社 代表取締役
大阪市北区大工町50（千代田第一ビル）　電話06（352）3035
自宅・高槻市日吉台2－11－3　電話0726(82)5923

長屋齊

株式会社 朝日建築事務所 代表取締役所長
大阪市東区内本町橋詰町39番地　電話06(941)3928
自宅・吹田市青山台3丁目1の19

長谷川幸雄

株式会社桜井建築設備研究所大阪事務所 取締役所長
大阪市西区靭本町1－50 第2富士ビル
電話06（443）7891
自宅・京都府乙訓郡向日町鶏冠井荒内35－26
電話075(922)6379

中澤誠一郎

株式会社 中澤建築事務所 代表取締役
大阪市北区富田町38 高橋ビル北5号館
電話06（363）3881
自宅・守口市滝井元町3の27　電話06（991）1848

西嶋徳太郎

株式会社 大建設計 取締役副社長
大阪市西区京町堀2－75　電話06（441）9351
自宅・大阪府箕面市桜ケ丘3－11－35　電話0727(21)2432

浜口幹三郎

株式会社 淺沼組 専務取締役
大阪市天王寺区東高津町8の1　電話 06(762)0251
自宅・奈良市南登美ケ丘3336の7　電話0742(44)3237

中原茂

株式会社 中原茂建築事務所 代表取締役
大阪市西区靱本町3丁目90番地 岡崎橋ビル
電話06（445）0039

根津耕一郎

株式会社根津建築事務所 代表取締役
大阪市東区安土町2－15 佐々木ビル5階
電話06(262)0595代
自宅・宝塚市川面6丁目19番10号　電話0797(86)7862

原正太郎

アスニュー工業株式会社 取締役社長
大阪市東淀川区西中島町1丁目125番地
電話06（301）9081

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

原　精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役
大阪市東淀川区十三西之町4丁目3番地5　電話06(302)1551代
自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(22)1504

原田　重信

原田セメント化工株式会社
大統商事株式会社　代表取締役
泉州生コンクリート工業株式会社
大阪市此花区朝日橋通2－13　電話06(462)1212 電話06(462)1471 電話06(462)1421
自宅・尼崎市塚口町3丁目41の8　電話06(461)4518

原田　守蔵

原田今商事株式会社　代表取締役
大阪市西区西長堀南通3の8　電話06(541)7455代
自宅・大阪市天王寺区生玉寺町6番地の2　電話06(771)9792

林　唯夫

株式会社 昭和設計事務所　代表取締役専務

平田　作太郎

株式会社　平田タイル　社長
大阪市西区阿波座中1の5　電話06(532)1234代
自宅・京都市下京区綾小路通大宮東　電話075(801)1806

平川　浩行

大阪化構材工業株式会社　代表取締役
大阪府八尾市弓削266－1　電話0729(49)4501代

広谷　嘉秋

合資会社 中建築設計事務所　代表社員
名古屋市中区西瓦町19(石瀬ビル)　電話052(261)4411
自宅・名古屋市千種区月ケ丘2丁目－2－83　電話052(711)8010

福田　朝生

株式会社 双星社竹腰建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37　電話06(341)6671
自宅・西宮市甲子園砂田町2番8号　電話0798(48)0989

伴　秀雄

株式会社西原衛生工業所大阪店　取締役会長
大阪市大淀区中津南通4丁目11番地　電話06(458)3531

福田　博臣

西日本建設業保証株式会社　取締役社長
大阪市東区上町5番地　電話06(762)5701代
自宅・奈良市学園大和町1丁目179　電話0742(45)8817

日名　命雄

建築コンサルタント事務所 関西　所長
大阪市東区安土町2の12 トヤマビル　電話06(271)4103
自宅・豊中市旭ケ丘9番64の1　電話068(56)0200

福田　好雄

社団法人 日本サッシ協会関西支部　関西支部長
大阪市浪速区敷津町3－20(建団連会館内)　電話06(641)5859・6018

久田　良吉

株式会社 東洋建築設計事務所　代表取締役
大阪市南区上本町4丁目610番地(昭和ビル3階)　電話06(768)2029・2020
自宅・八尾市山本町南4丁目73番地　電話0729(22)3095

福中定三郎

社団法人 日本建築協会　常務理事
大阪市東区北浜3の37　電話06(231)9648
自宅・枚方市香里園町26の68　電話0720(31)0549

代表取締役 **福永　薫**
専務取締役 **福永健一**

株式会社福永建築設計事務所
大阪市南区順慶町通4の61　電話06(251)3102・5189
自宅・大阪市南区順慶町通4の61　電話06(251)3102・5189

福西　清左衛門

株式会社　福西工務店　代表取締役
堺市浜寺石津町西4丁185－3　電話0722(41)1465代
自宅・堺市浜寺石津町西4丁185-3　電話0722(41)2918

福村　久

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所　理事兼支所長
大阪市北区富田町46番地(第二富田町ビル)　電話06(313)3321
自宅・吹田市竹見台2丁目2番4号　電話068(31)8971

福頼　圭藏

株式会社 新興建材工業所　代表取締役社長
大阪市西区南堀江通6の39　電話06(541)5757代
自宅・大阪市住吉区住吉町242の22　電話06(673)5120

船橋　明

高砂熱学工業株式会社 大阪支店　取締役大阪支店長
大阪市北区芝田町55(北阪急ビル)　電話06(372)2511

藤井　章

株式会社　藤井工業所　取締役社長
大津市本宮2の2の9　電話0775(23)0119代
自宅・京都市左京区松ケ崎泉川町23　電話075(781)5333

藤木　鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長
大阪市東区両替町1の13　電話06(942)1461代

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

藤田邦昭
株式会社 都市問題経営研究所 所長
大阪市北区太融寺町98－5（阪急東ビル）
電話06(312)3918
自宅・神戸市東灘区本山町岡本宝蔵岡本ハウス605
電話078(411)3989

星野昌一
プラスチック建材協議会 会長
東京都千代田区霞が関3の2の6（東京倶楽部ビル）
電話03(580)0774
自宅・豊島区目白4の23の23 電話03(404)6838

前原明治
株式会社 前原設計事務所 代表取締役社長
岡山市富田町2丁目7－4 電話0862(24)1400
自宅・岡山市富田町2丁目7－4 電話0862(23)5340

藤田隆志
広島県建築設計事務所協会 会長
広島市横川新町7番3号 電話0822(91)7245

堀田雅邦
新日本空調株式会社 大阪支店 支店長
大阪市北区堂島浜通り1丁目25番地の1
電話06(344)6031代
自宅・尼崎市七松町2－13－4 電話06(417)3613

松井秀一
亀井株式会社 取締役社長
大阪市東区南久宝寺町4丁目47 電話06(251)1353

藤村清一
株式会社 日新建築設計事務所 代表取締役
大阪市北区壺屋町1丁目66番地 電話06(352)6161
自宅・奈良市中山町937番地の37 電話0742(44)0201

布袋國雄
東西建築サービス株式会社 取締役社長
大阪市東区横堀2丁目48番地 電話06(202)3626代
自宅・和歌山市新堀南の丁2－6－1 電話0734(22)9382

松岡晃一郎
アイエム換気工業株式会社 代表取締役
大阪市浪速区芦原町1183 電話06(561)3901～3
自宅・堺市車之町東1丁2番9号 電話0722(38)2582

藤本庄之助
株式会社 工盛社 代表取締役
大阪市城東区西鴫野6丁目43 電話06(961)4460
06(962)1288

堀元也
神戸材料株式会社 取締役社長
兵庫県土木用コンクリートブロック協会 会長
神戸市葺合区熊内町2丁目88 電話078(231)1421
自宅・神戸市長田区花山町1丁目79 電話078(691)8350

松田昌平
松田順吉
株式会社 松田設計事務所 代表取締役
福岡市綱場町2番1号 明治屋ビル 電話092(27)7441
自宅・福岡市今泉1丁目16番5号 電話092(74)2497

古屋才兵衛
日新工業株式会社大阪支店 取締役支店長
大阪市東淀川区瑞光通4丁目30番地の2
電話06(329)7737代
自宅・和歌山市西小二里1丁目3番地 電話0734(44)5037

本庄弘樹
株式会社 三晃空調 専務取締役
東京都千代田区神田小川町2－1 電話03(292)7756
大阪市北区富田町16 電話06(363)1371
自宅・東京都杉並区久我山3丁目35－15
電話03(333)8843
自宅・箕面市桜ケ丘3丁目6－11 電話0727(21)2655

松丸哲也
豊國建設株式会社 代表取締役社長
大阪市北区天満橋筋4－30 電話06(353)1001代
自宅・西宮市甲子園口北町20－21 電話0798(67)2787

星廣文
平和建設株式会社 常務取締役
大阪市城東区関目町1の40 電話06(939)4741～5代
自宅・門真市城垣町7の6 電話0720(81)1318

取締役会長 **本田史郎**
取締役社長 **鈴木利定**
本田工業株式会社
大阪市北区芝田町65 電話06(372)0371代

松村雄吉
株式会社 松村組 代表取締役会長
大阪市北区空心町1の70 電話06(353)1131

星野健児
日生不動産株式会社 代表取締役社長
大阪市東区本町4丁目1 電話06(262)2841代

前野慶太郎
株式会社 あめりか屋 取締役社長
大阪市北区常安町17番地 電話06(444)1501代
自宅・芦屋市翠ケ丘町4番18号 電話0797(22)2005

松村雄二
株式会社 松村組 代表取締役社長
大阪市北区空心町1の70 電話06(353)1131

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

松本六郎

松本金物株式会社　取締役社長
大阪市天王寺区上綿屋町6　電話06(779)1581大代

水野喜一郎

水野建設株式会社　取締役社長
本社・京都市下京区西七条市部町77番地　電話075(312)0431代

村田鞆二

明研化学工業株式会社　代表取締役
明石市藤江中谷町888番地　電話078(913)3456代
自宅・神戸市垂水区塩屋町西の田164
電話078(751)4186

丸田操

株式会社　マルタ建築事務所　代表取締役
東京都千代田区神田須田町1－24(西場ビル)
電話03(254)1956
自宅・埼玉県浦和市岸町7丁目10番10号
電話0488(22)9405

南寛一

南電設株式会社　代表取締役
和歌山市北町28番地　電話0734(31)1346
自宅・和歌山市北町28番地　電話0734(31)1346

村田隆次

安藤建設株式会社　大阪支店　取締役大阪支店長
大阪市福島区上福島北通1丁目17番地の1
電話06(453)2190
自宅・西宮市殿山町13番24号　電話0798(331)1861

丸山信

株式会社　丸山建築事務所　代表取締役
東京都港区北青山3丁目5番25号　電話03(401)2287・6703
自宅・東京都港区南青山3の11の1　電話　03(401)3328

南長吉

斎久工業株式会社　大阪支店　代表取締役支店長
大阪市北区常安町11番地　電話06(443)5041
自宅・尼崎市塚口町6丁目2017番地電話06(421)5136

村橋阪太

株式会社　かおる建築研究所　代表取締役
東京都千代田区富士見町2の7の18(飯田橋ビル新館)
電話03(264)8451・8452
自宅・渋谷区恵比寿2の14の4　電話03(441)7791

三上清一

株式会社　三上建築事務所　取締役社長
茨城県水戸市大町3丁目4番45号　電話0292(24)0606
自宅・茨城県水戸市見和町囲裏375－3
電話0292(52)2741

宮飼克二

社団法人　日本建築協会兵庫支部　支部長
神戸市生田区下山手通5丁目23　兵庫建設会館内
電話078(35)2800
自宅・明石市人丸町2の47　電話078(911)2298

村本豊嗣

村本建設株式会社　代表取締役
奈良県北葛城郡広陵町大字安部547番地
電話 連絡06(779)1571代
自宅・奈良県北葛城郡広陵町大字安部547番地

三上富三

株式会社　汎美建築設計事務所　社長
京都市中京区御池通堺町西入御所八幡町225
電話075(231)4638・6472
自宅・京都市中京区御池通堺町西御所八幡町225
電話075(231)4638・6472

宮後健

株式会社　宮後建築事務所　代表取締役
大阪市天王寺区上汐町6の35　電話06(772)0165代
自宅・大阪市東住吉区山坂町1丁目5番地
電話06(622)5130

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役社長
神戸市生田区北長狭通4丁目1　英和ビル
電話078(331)0881
自宅・神戸市生田区山本通4丁目108の37
電話078(221)5050

三好幸男

第一建設工業株式会社　取締役社長
大阪市東区今橋1～2　電話06(203)2931

村石秋吉

浪速合板株式会社　代表取締役社長
大阪市浪速区幸町3丁目2番地の1　電話06(561)2201代
自宅・芦屋市岩園町10番16の401号
電話0797(31)2643

森三郎

日刊建設通信関西支社　常務取締役
支社長
大阪市西区京町堀1の68　電話06(444)4451代

三輪泰司

株式会社 地域計画・建築研究所　代表取締役所長
京都市左京区下鴨上川原町69
(市電植物園前　富士ビル内)　電話075(711)2161
自宅・京都市伏見区桃山南大島町95の45
電話075(601)3962

村川一雄

株式会社 パンデックス・ジャパン　代表取締役
本社・東京都中央区八丁堀2の27の10
東京建物東八重洲ビル　電話03(552)6954
関西営業所・大阪市北区伊勢町19の2
高橋ビル北2号館　電話06(312)5765

盛道雄

株式会社 盛　工　務　店　代表取締役
大阪市北区南森町47番地(成興ビル)
電話06(364)1581代
自宅・宝塚市清荒神4丁目14－18
電話0797(86)2431

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

八十島健二

株式会社 竹中工務店 常務取締役
大阪市東区本町4丁目27 電話 06(252)1201
自宅・西宮市甲子園2番町5の30 電話0798(41)0598

大和 正

株式会社 バンデックス・ジャパン 関西営業所 取締役所長
大阪市北区伊勢町19－2（高橋ビル北2号館7階）
電話06(312)5765～7代

大和正信

株式会社 大和建築事務所 取締役社長
大阪市西区京町堀2丁目173 電話06(441)0741代
自宅・大阪市東住吉区平野野堂町367
電話 06 (709) 3928

安田誠一

安田株式会社 会長
大阪市南区末吉橋通1丁目17 電話06(251)7091代
自宅・尼崎市南塚口町2丁目40－19 電話06(429)1555

藪本芳一

藪本建築士事務所
和歌山市東長町10丁目13 電話0734(22)9930
自宅・和歌山市東長町10丁目13 電話0734(22)9930

山内栄一

近庄化学株式会社 代表取締役
京都市中京区四条大宮西入る壬生川通角
電話075(821)2111代
自宅・京都市下京区黒門通高辻上る今大黒町
電話075(801)6828

山口吾郎

不二建設株式会社 取締役社長
大阪市西区阿波座上通4丁目8番地 電話 06(541)5534代
自宅・宝塚市雲雀丘1丁目13番番25号 電話 0727(59)2018

山口由美

神東塗料株式会社 社長
尼崎市南塚口町6丁目10番73号 電話 06 (429) 6261
自宅・大阪府箕面市百楽荘3丁目4番18号
電話0727(22)2522

山崎晃一

田島応用化工株式会社 大阪営業所 所長
大阪市西区京町堀1－74 電話06(441)5951

山崎敏明

辰巳興業株式会社 取締役社長
神戸市生田区栄町2丁目21 電話078(321)0655代
自宅・西宮市五月ケ丘5の7 電話0798(26)2763

取締役会長 **山下寿郎**
取締役社長 **野崎謙三**

株式会社 山下寿郎設計事務所
東京都中央区八丁堀2－7－1（大石ビル）
電話03 (552) 8311代

山下密男

合同特許建材工業株式会社 代表取締役
大阪市東住吉区駒川町3の54 電話06(702)7814～7
自宅・大阪市東住吉区田辺東之町3の193 電話06(621)9086

山田新治郎

株式会社 山田建築事務所 代表取締役
大阪市北区万才町43 浪速ビル 電話06(312)0937～8
自宅・摂津市千里丘5丁目9番21号 電話06 (388) 0119

山田恒治

株式会社 山田工務店 取締役社長
神戸市葺合区八雲通1丁目4番地 電話078(221) 1013
自宅・神戸市兵庫区山田町上谷上字古々山29
電話078(581)2055

常務取締関西駐在 **山田豊**
常務取締役支店長 **高木政夫**

大日本土木株式会社 大阪支店

山中茂一

栄興建築株式会社 取締役社長
大阪市大淀区中津浜通2－66 電話06(371)5056～9
自宅・大阪市東住吉区西鷹合丁3丁目21号
電話06(691)8771

山本一

社団法人 日本管工事工業協会 専務理事
東京都中央区京橋3－6（下村ビル）
電話03(271)5317代

山本敏彦

日鐵エコン株式会社大阪支店 支店長
大阪市東区平野町5丁目40番地 電話06(203)5371
自宅・豊中市蛍ケ池北町3丁目16－7
電話068(52)2720

山本成良

株式会社 香陽建築設計事務所 代表取締役
大阪市北区絹笠町13番地 絹笠ビル 電話06(363)1705

山本徳三

株式会社 山本工務店 代表取締役
大阪市東住吉区田辺西之町2の81の3
電話06(628)7871～4代
自宅・大阪市東住吉区山坂町1丁目10番地
電話06(622)1871

山本博三

朝陽電気株式会社 代表取締役
大阪市北区中之島3の3 朝日ビル内
電話06(385)1361 代
自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号 電話068(72)9087

謹賀新年

昭和47年元旦

（50音順）

山本　良勝

佐藤工業株式会社大阪支店　常務取締役大阪支店長
大阪市東区北浜1－25　電話06(203)7221
自宅・豊中市末広町1丁目6－27　電話07633(2)2763

山本　禎彌

山本窯業化工株式会社　代表取締役
大阪府摂津市東別府1丁目3番6号
電話06(381)9131～5

湯浅　武夫

湯浅建築設計事務所　所長
大阪市東区南久太郎町3丁目32　電話06(245)0701～2
堺事務所・堺市浅香山町3丁10の3　電話0722(32)8714

吉川　秀信

タカラスタンダード株式会社　代表取締役
大阪市城東区新喜多町4ノ1　電話06(962)1531
自宅・大阪市住吉区遠里小野町1の16

専務　**吉村　幾蔵**
常務取締役支店長　**神部　節男**

株式会社間組大阪支店
大阪市東区横堀2丁目70　電話06(203)2821

取締役会長　**吉田　信武**
取締役社長　**佐治　誠次**

株式会社吉田建築事務所
大阪市西区北堀江上通3の22　電話06(538)2991代
自宅・吉田、大東市住道1丁目7－5
電話0720(72)0406
自宅・佐治、西宮市若楽園1番町1番36

吉田　廣助

株式会社ナニワ　代表取締役
大阪市生野区巽大池町132　電話06(757)1101～8
自宅・大阪市天王寺区鳥ケ辻町61　電話06(771)9123

米田　良男

株式会社米田工務店　代表取締役社長
大阪市天王寺区逢阪上ノ町7番地　電話06(777)7771代
自宅・大阪市天王寺区逢阪上ノ町7番地
電話06(771)0155

若林　繁吉

二葉屋装備工業株式会社　社長
大阪市大淀区本庄川崎町2丁目6番地
電話06(371)3321～3・3630
自宅・京都市東山区清水2丁目232番地　電話075(561)6283

鷲尾　健三

明石工業高等専門学校長
明石市魚住町西岡　電話07894(6)0375～9

和田　滋

株式会社パンデックス・ジャパン関西営業所　取締役所長
大阪市北区伊勢町19－2　高橋ビル北2号館
電話06(312)5765

和田　眞一

株式会社東和組　代表取締役
大阪市北区梅ケ枝町175　電話06(363)4051
自宅・芦屋市公光町3番8　電話0797(22)3282

渡辺　勇

株式会社間組広島支店　支店次長
広島市大手町5丁目3番18号(共立ビル)
電話0822(44)1241代
自宅・名古屋市千種区神丘町2の48の3
電話052(701)4203

渡辺　恵

東洋シャッター株式会社　取締役会長
大阪市東区谷町5丁目30番地　新野村ビル
電話06(762)5861代
自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号　電話068(56)0988

渡辺　正雄

株式会社大都リッチランド　代表取締役
大阪市北区南扇町5番の1　電話06(313)2921代

渡辺　道輝

渡辺建築事務所　所長
大阪市東区今橋2丁目21番地　藤浪ビル
電話06(231)1696
自宅・芦屋市岩園町21－13　電話0797(22)2266

渡辺紋左衛門

渡辺建築設計事務所　所長
四日市市中部11－9　電話0593(53)5505代
自宅・四日市市東富田13－8　電話0593(65)2523

追補

菅澤　英夫

大成建設株式会社大阪支店　専務取締役支店長
大阪市東区本町4の27　電話06(262)1131
自宅・大阪市東区船越町1－30大成建設関西寮電話06(941)4743

上蓑　義一

共立建設株式会社　大阪支店　取締役支店長
大阪市東区谷町5丁目30番地　電話06(761)0112
自宅・池田市天神1丁目6－3　平安マンション31号
電話0727(61)1455

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

建築基準法第38条の建設大臣の認定基準について（案）

去る10月８、９の両日、日本建築センターにおいて全国建築行政連絡会議が開催されました。会議は、全体会議と４つの分科会に分かれて行なわれましたが、今回は、防災・設備分科会で討議された中から、「建築基準法第38条の規定に基づく建設大臣の認定(案)」と、「共同住宅における建築基準法施行令第129条の13の２第３号および同第112条第５項の解釈について(案)」の両案をご紹介いたします。前者については46年12月の技術審査会を通過した後、後者については実験の結果を見て、告示される予定です。

11月４日大阪で開催された近畿建築行政連絡会議では、両案とも近畿ブロックの特定行政庁としては、告示前でも暫定措置として運用していくことが決議されました。なお本号が発行される頃、すでに告示が出ている場合は、当該告示にならってください。

「建築基準法第38条の規定に基づく建設大臣の認定について(案)」

案の１　排煙設備の適用除外（建築基準法施行令第126条の２）

下記の各号の１に該当する建築物またはその部分には、排煙設備を設けないことができる。

１．31ｍ以下の建築物の部分のうち次の第一号または第二号

一　室(居室を除く)にあっては次のイまたはロ

イ　当該室の壁および天井（天井のない場合においては屋根）の室内に面する部分の仕上げを不燃材料または、準不燃材料でした場合。

ロ　当該室の床面積が100m²未満のものにあっては、その他の部分と防煙区画された場合。

二　居室にあっては、当該床面積が100m²以下のもので、その他の部分と防火区画または防火構造区画され、かつ壁および天井の室内に面する部分の仕上げを不燃材料または準不燃材料でした場合。

※開口部については、不燃材料程度で仕上げた方がよいと思われます。

２．31ｍをこえる建築物の室または居室で、床面積100m²以内ごとに防火区画され、かつ当該部分の壁および天井の室内に面する部分の仕上げを不燃材料または準不燃材料でしたもの。

３．法第27条第２項第２号に該当する危険物の貯蔵場、自動車車庫、通信機械室、その他これれに類する建築物または建築物の部分で、不燃性ガス消火設備を設けたもの。

※排煙設備を設置しますと、せっかくの不燃性ガスが排出されますので当然の規定だと思われます。なお泡消火設備はこの中に含まれません。

案の２　排煙上有効な部分（建築基準法施行令第126条の３第３号）

天井の高さが３ｍをこえる建築物または建築物の部分にあっては、排煙上有効な開口部は、天井または天井面から2.1ｍ以上で、かつ天井面から天井高さの1／2以内の部分にある壁に設けたもの。

案の３　排煙区画面積の緩和（令第126条の３第１号）

令第112条第１項第１号に該当する建築物の部分で、天井の高さが３ｍをこえ、かつ当該部分の壁および天井の室内に面する部分の仕上げを不燃材料または準不燃材料でしたものは、他の部分と防煙区画すればたる。

案の４　排煙口の閉鎖状態、手動開放装置の設置、制御および作動状態の監視の緩和(令第126条の３第４号、第５号、第６号および第８号)

１の排煙設備が１の防煙区画のみに係る場合の排煙口で、常時開放状態を保持するものにあっては、排煙口の閉鎖状態の保持、手動開放装置の設置並びに排煙設備の制御および作動状態の監視の規定は適用しない。

※換気口と排煙口の兼用は支障ありません。

案の５　非常用の照明装置の設備緩和(令第126条の５)

令第116条の２第１項第１号に該当する開口部を有する居室で、当該居室の各部分から屋外への出口（避難階もしくは地上に通ずる屋外に設ける避難階段に通ずるものに限る）に至る歩行距離が避難階にあっては30ｍ以下、避難階の直上階にあっては20ｍ以下のものは非常用の照明装置を設けないことができる。（**図1～図4**参照）

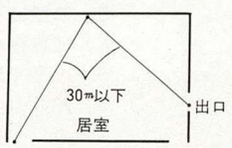


図1 避難階の場合

居室の各部分から屋外への出口の１に至る歩行距離は30ｍ以下

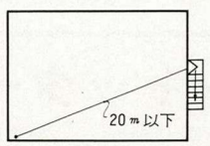


図2 避難階の直上階の場合

●屋外に設ける避難階段がある場合

居室の各部分から屋外に設ける避難階段への出口に至る歩行距離は20ｍ以下

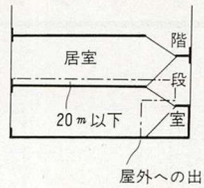


図3 避難階の直上階の場合

●屋外に設ける避難階段がない場合

居室の各部分から屋外への出口の１に至る歩行距離は20ｍ以下

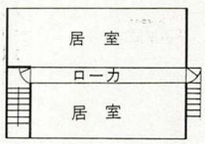


図4 緩和の範囲

緩和されるのは、居室のみで廊下等の部分は適用を受けます。

案の６　階数が２以下で、延べ面積が 200m²以下の独立住宅（併用住宅を含む）、長屋建住宅の住戸には排煙設備は適用しない。

※長屋建住宅の場合は１戸の延べ面積です。

「共同住宅における建築基準法施行令第129条の13の２第３号および同第112条第５項の解釈について(案)」

共同住宅における非常用昇降機設置の代替措置として、建築基準法施行令（以下「令」という）第129条の13の２第３号の規定に基づき、高さ31ｍをこえる建築物の部分を、床面積100m²以内ごとに区画する場合、区画に用いる甲種防火戸（廊下に面する窓で開口面積が１m²以内のものに設けられる鉄製網入りガラス入りの戸を含む）は、次の各号が満たされている場合は、令第123条第１項第６号イの規定（※ヒューズ付き防火戸）と同等の効果があるものとして取扱ってよい。また、令第112条第５項の規定に基づき、共同住宅の11階以上の部分を床面積の合計 100m²以内ごとに防火区画する場合に用いる甲種防火戸または乙種防火戸も次の各号が満たされている場合は、令第112条第14項第１号の規定（※ヒューズ付防火戸）と同等の効果があるものして取扱ってよい。

(1)　開放しうる部分の面積が1m²以内であること。

※現行法の規定は、開口面積が１m²以内となっていますが当案では開放しうる部分の面積になっています。なお１m²というのは全体の合計ではなく部分の面積です。

(2)　開放しうる部分が床面から 1.2ｍ以上の高さの位置にあること。

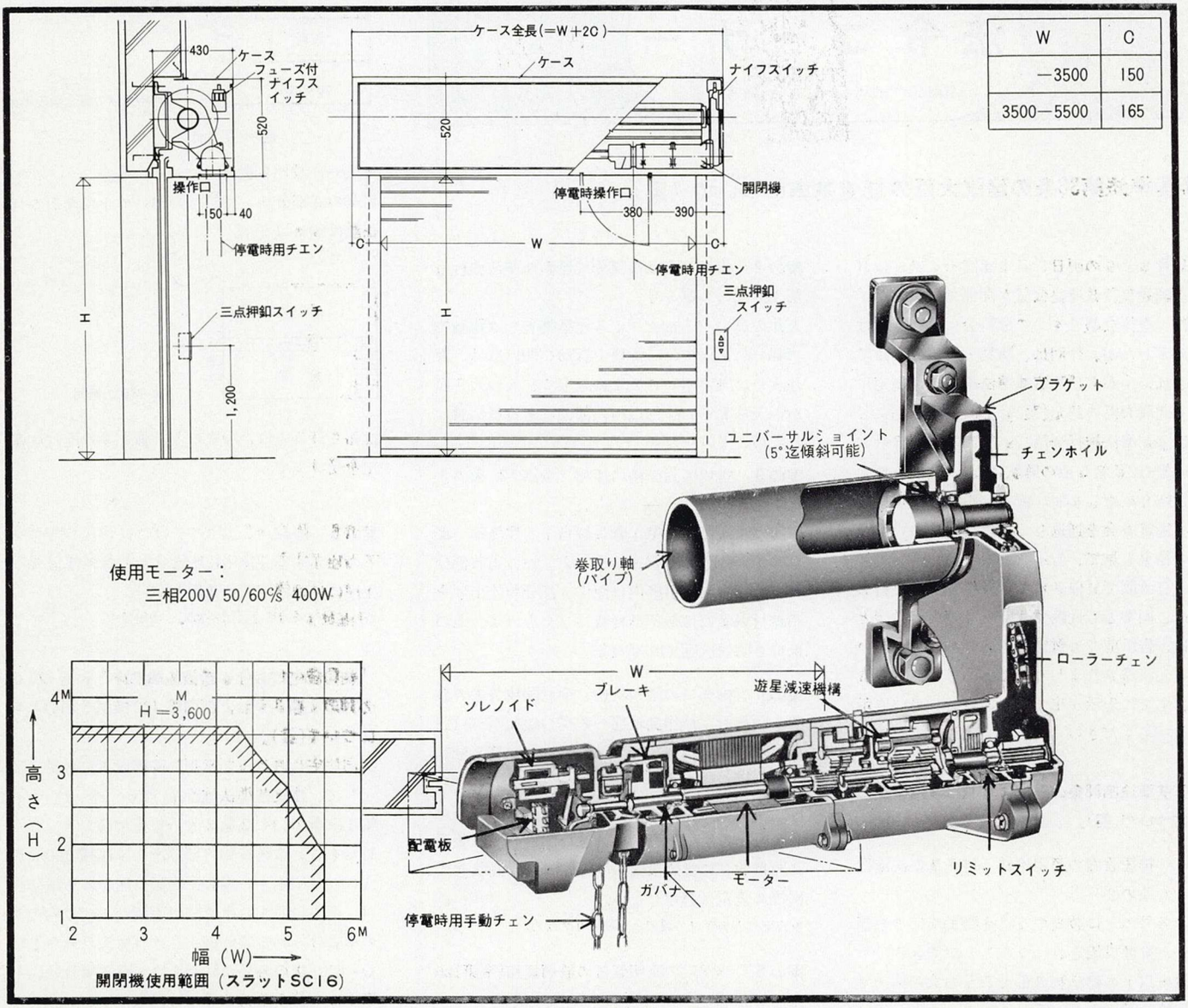
(3)　開口部が廊下に面し、当該廊下が十分外気に開放されていること。

※片側廊下でオープン形式のが対象になりますが、腰壁程度は支障がないと解釈されます。

(4)　廊下に、天井から50cm以上下方に突出した垂れ壁等煙の流動を妨げる効果のあるものがあること。ただし、廊下外周に小梁等がある場合、当該垂れ壁等は小梁下端からさらにつき出していること。

（大阪府建築部　伊地知徳春）

日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!



L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　ガバナー機構　手動機構　実用新案　巻取り軸との連結機構およびL型機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。

株式会社 日本シャッター製作所

東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話(代)中原(41)6325
大阪工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(代)(301)3656
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727番地　電話(代)(65) 6131
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話(代)(361)7441

営業所　仙台　静岡　高松　北九州
東部　北陸　広島　鹿児島
城西　神戸　大分
横浜　岡山　宮崎

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

■京都の景観はみんなのもの

―シンポジウム―

「京都の景観はみんなのもの」とのテーマで、市民参加のシンポジウムが、京都市主催、京都府・京都商工会議所後援で、11月1日(月)午後1時半から4時にわたって、京都会館会議場において行なわれた。討議参加者には、井島勉（京大教授・美学)、伊藤ていじ（建築評論家・建築史)、上田篤（京大助教授・地域計画)、梅原猛（歴史哲学・評論家)、加藤秀俊（社会学者・文明論)、西川幸治（京大助教授・都市史）の専門家6名の他市民約30名が参加した。京都市風致審議会が今年6月に出した「市街地景観の保全整備に関する答申」において、京都の歴史的伝統的な景観が市民にとってどんな意義をもっているかについて問題提起をしたが、今回のシンポジウムでは、各分野の専門家をまじえて市民が都市景観の公共性を考え、討議された。

■「難波宮址を守る会」要望書

このたび、難波宮跡の中心部分を通過予定の高速道路の建設計画の中止と宮跡の保存対策の確立を求める要望書が、「難波宮址を守る会」から提示された。以下その概略。

高速道路計画を地下および迂回案の検討実施により、宮跡を破壊から守ること。

現在の史跡指定に加え、懸案の広域指定を早期に実現させ、さらに広い地域の保存対策をも考慮すること。

ランプウェイ予定地は難波宮跡のみならず大阪城跡についても重要な遺跡が存在する地域であるので、すみやかに建設計画を中止すること。

難波宮址を守る会　代表直木考次郎

■近鉄学園駅駅前総合開発計画の表彰式

大阪府建築士会は、近鉄不動産の後援を得て、奈良市の「近鉄学園駅・駅前総合開発計画アイデア募集」を実施し、かねてから慎重に審査(岡橋作太郎・日建設計副社長ら6名で構成）を進めていたが、このほど金賞に安藤忠雄氏の作品を選定するとともに、銀賞5名も決め、これら入賞者の表彰式が、11月16日午後4時から大阪市東区の日本綿業クラブで行なわれた。

■文化・芸術を発展させる行政を要望

明るい革新府政をすすめる文化人の会は11月12日午後2時から、都島区・大阪府私学教育文化会館で黒田知事との第2回文化芸術懇談会をひらいた。この日の会には、詩人、画家など文化、芸術、芸能関係者ら100人余が出席。総合文化会館の建設など10項目の文化行政施策を要望した。

■虹の街と滝の街オープン

大阪では、このほど、南と北にそれぞれまた新しく地下街がオープンした。南の湊町から日本橋にかけて東洋一を誇る「虹の街」が12月1日にオープンし、北では、阪急三番街に延長工事として「滝の街」が11月28日にオープンして話題をよんでいる。

■セキスイハウスPACシステム

設計システムの合理化の一方法として開発されたシステムで、従来の個別設計を大量設計に置きかえようとしたものである。

高級住宅イコール自由設計という形で把え、全ての注文に対して、ラフスケッチ段階から個別に設計してきた当社の方式が、飛躍的な売上増加や高級化の波に、質的にも量的にもついてゆけなくなる日がやがてくるだろうという見通しと、設計エネルギーを単なる一般図作成にとどめることなく、より分化し複雑化してきた客の要望に対して燃焼させることが真のサービスであるという考え方を具体化したものといえる。

すなわち設計の基本である間取り決定については、当社の数多い実績を基にした一定水準以上の基本図を充実させることによって、これにあて、プランの品質保障と提出の迅速化、省力化、初期折衝回数の削減を図り、それによって得た設計マンの余力を、プラン決定以後の個別サービスに向けようという主旨のものである。

同時にこのシステムによって、無意味に多様化するプランを抑え、プラン並びに部分設計の標準化を図り、真のプレファブ住宅のメリットを育ててゆこうとする姿勢の表現でもある。

セキスイハウス技術部ＰＡＣシステム室

■大阪科学シンポジウムで都市問題

大阪科学シンポジウムが「70年代の民主主義と科学者の役割」を統一テーマとして、11月27日28日、大阪市大工学部で開催された。そのうち、「地方自治体と都市問題」のテーマで、日本科学者会議、新建、関西文化財保存協議会、青年法律家協会などの共催で、大阪の新空港問題、地下街問題、高速道路問題、ナニワ宮跡保存問題などについて、住みよい環境をつくる運動のシンポジウムが行なわれた。

■市庁舎建設をめぐる中の島問題

大阪市役所をとりこわして、新しく総合市庁舎（延約10万m^2）をつくろうという市当局の計画に対して、慎重な配慮をのぞむ声が各方面からあがっている。とくに、新聞紙上（6月24日日経紙など）によれば、その際、東接する大阪府立図書館、大阪市立中央公会堂をもとりこわして、人工地盤をつくり、中の島東部地区を再開発し、超高層化する構想が伝えられて、よりその動きは活発になった。

日本建築学会近畿支部（支部長：鳥田家弘）では、この問題は、大阪における歴史的建造物や景観の保全問題ともかかわるものだとして、「中の島地区再開発特別委員会」を設置して、検討していたが、11月1日、大阪市当局へこのほど要望書（下記）を手渡した。これに先だち、大阪市では、「大阪市庁舎問題調査委員会」(委員長：福山真三郎）が設置され、立地の問題なども含めて、一応白紙の状態で昭和47年度中までに調査検討するとのことである。

要　望　書

今般貴市におかれては「市庁舎問題調査委員会」を発足させ、新市庁舎計画について諸般の調査検討を進められているやに受承りますが、数少ない歴史的遺産と・景観の保全について慎重なご配慮を願いたく、下記意見を付して要望いたします。

記

(1)　歴史的遺産の正当な評価

わが国の大都市、ことに大阪市では建造物の構造上江戸時代以前のものがほとんど残存せず、ようやく百年間に蓄積されてきた記念すべき歴史的建造物も稀少となってきている。さきに本会は大阪市総合計画局の依頼により、再開発にそなえて保全すべき建造物および景観の調査を行ない、その答申として「大阪市近代建築物調査報告書」(昭和46年2月）をまとめ特に55件の対象を選定評価した。これら数少ない建造物は大阪市近代化の基盤・道程を示す貴重な遺産で都心景観に歴史的な厚みを付与するものであって、これらに対する正しい認識と評価が望まれる。

(2)　再開発における保全修景計画

従来の都市再開発は都心機能の再編や土地の高度利用のために経済合理性や機能効率性に偏していた。こうした過去の誤りに対する深い反省にたって今後は、歴史的遺産を新都心の中に積極的に再定立することが必要である。とくに中の島東部には近代大阪の発展を象徴する建造物が集中しており、それらは川と緑に融合し、広く市民に親しまれてきたのみでなく、このような景観は今や全国的にみても中の島以外にな見出せなくなっている。それゆえに個々の建造物のみでなく、この景観を保存することを大阪市再開発の長期的計画の起点とすべきである。

(3)　新市庁舎の立地

新市庁舎の立地については上記(1)、(2)の条件をふまえて市民の利便と市民広場や、大阪市に特に欠除している文化的諸施設の今後の配置などを考慮した検討が必要であり、市の総合計画の中で考究すべきである。

■新建大阪も要望書提出

新市庁舎計画に伴なう中の島地区問題について、新建築家技術者集団大阪支部も検討を行ない、「再開発ゼミ」などで討議を深めてから、つぎの4項目からなる要望書を、12月6日付で当局関係方面へ提出した。

1．住みよい生活環境への再検討
2．大阪の歴史的遺産の評価と都市景観の保全計画
3．モータリゼーションの問題と緑道構想
4．市民の手による中の島保存計画

以上、この要望書は都市再開発を根本的に考え直すこと、「大阪市内に緑ときれいな水をとりもどし、人間のための緑道構想を」と訴えている。



倉敷レイヨン中央研究所

●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

特　徴

●色　彩	高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
●防 水 性	通気性、防水皮膜を形成します。
●耐薬品性	弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
●耐 寒 性	－20℃に４時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
●下　地	コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc. 鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。

山本窯業化工株式会社

本社・工場／大阪府摂津市別府３６５　☎(06) 381－9131～５
東京営業所／東京都千代田区麹町３－６(藤井第２ビル)　☎(03) 265－8888～９
名古屋営業所／名古屋市中区栄３－２３－１４(山市ビル)　☎(052)262－6774～５
福岡営業所／福岡市博多駅前４－３－１４(菅原ビル)　☎(092) 43－６９４０
広島営業所／広島市中広町２－２０－９(みのるビル)　☎(0822)91－６２００
仙台出張所／仙台市上杉２－４－４６(森林会館ビル)　☎(0222)22－１２９９

■ライト設計の旧山邑邸保存の動き

芦屋市の旧山邑邸は、大正８年、フランク・ロイド・ライトの設計で完成した、大谷石と鉄筋コンクリートを使っての階段状の建物である。最近、所有者がこれを取りこわして寮をつくる動きがある。（所有者は淀川製鋼所）

これに対して、旧山邑邸は現地で現存するライトの偉風を伝える唯一の建物であるので、関係者の間で保存運動がおこってきた。

11月４日、稲垣栄三氏ほか17氏による保存要望書が関係方面へ送られた。また学会近畿支部では11月24日、下記の要望書を、兵庫県知事、同教育長、県会議長、芦屋市長、淀鋼社長あてに提出し、さらに、「旧山邑邸保存に関する特別委員会」（浅野清委員長ほか20名）が設置された。

こうした動きのなかで、「旧山邑邸と芦屋川の環境について考える会」が、11月下旬から12月にわたり、芦屋市民会館で数回、この保存問題をめぐってシンポジウムがもたれた。

旧山邑太左衛門邸　（現株式会社淀川製鋼所芦屋寮）の保存に関する要望書

旧山邑太左衛門邸は国際的に高い評価が与えられている建築家フランク・ロイド・ライトがわが国に遺したわずかな住宅作品のうち現存する唯一の建築であります。

近代建築のなかに占めるライトの業績は大きく、わが国の建築界のうえにも少なからぬ影響を与えていますが、この旧山邑邸は彼の作品のなかでも、学術的、芸術的にみてその価値がきわめて高く、社会的にも広く関心がもたれている重要な建築であります。また、この環境はライトが特に指向した自然と建築との融合、調和の意図にふさわしく、まわりを緑の樹林地に囲まれた景勝の地に建っております。本学会はこの建築のもつ重要性にかんがみ、建物の永久的保存とその環境の保全について特別の措置を講ぜられるよう要望いたします。

なお、この件につきましては先般とりあえず本学会員有志18名連名にて建物保存に関する要望書を提出いたしましたが、施行代理業者では本年12月１日に解体に着手したき意向もあり、今回重ねて学会近畿支部の総意をもって上記のとおり要望する次第です。

□ 旧山邑邸について　　谷川正己

Franle Lloyd Wrightの設計になる旧山邑邸が、その持ち主および建設業者によって、葬り去られようとしている事実は悲しむべきことだと思う。彼らは、Wright自身の設計になるものではなくて、弟子（遠藤新・えんどうあらた）の設計であるゆえに、それほど貴重な作品であるとは考えていなかったという理由をもってマンション建設を遂行しようとしているようである。

Wrightの作品である証

Wright未亡人の著書に、Frank Lloyd Wright, His Life, His Work, His Words, Horizon Press, New York, 1966というのがある。この本の巻末には、Frank Lloyd Wright FoundationのBruce Brooks Pfeifferが編集し、未亡人自身が監修したWrightの作品リストがある。Wright没後まもなくEdgar KaufmannとBen Raeburnによって編集されたWrightの全貌をコンパクトに纏めたFrank Lloyd Wright Writings and Buildingsの巻末には、Wrightの作品の現存するもののリストが掲載されている。これらによれば、Yamamura House, Ashiya, Japanが1918年に建設されたことは明らかである。

山邑邸の価値

① 住宅建築であること

巨匠Wrightが、たとえばJohnson WaxやPrice TowerやGuggenheimの設計者として、より一般的に理解されていることに、私はいささかの疑義がある。むしろ、近代建築史上、特異な住宅建築の巨匠であったと解すべきだし、Wrightの住宅作品は殊のほか大切にされるべきだと思う。

② 中期（有効な休暇の時期）の作品であること

この時期は、次から次へとやってくる設計の注文を、どんどんこなしていかなければならない隆盛（？）の時代ではなかった。それだけに、この時期の作品はそれぞれに密度の高いものが期待できたわけである。

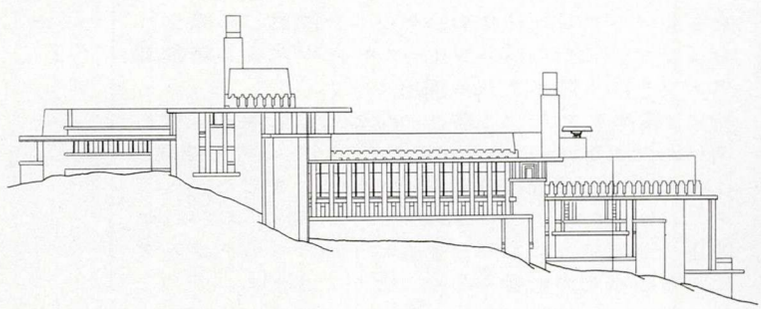
③ わが国の作品であること

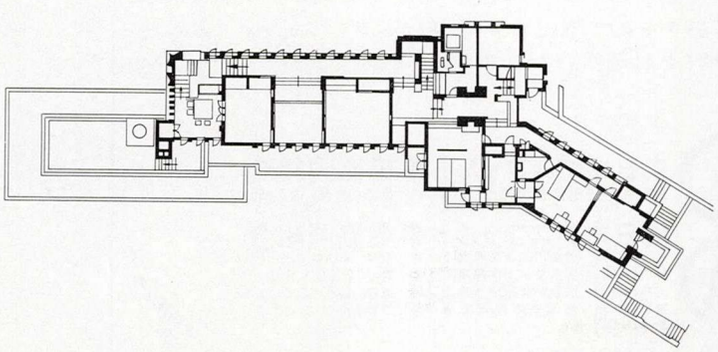
しかも、Wrightは、帝国ホテルの「帝国」をしばしば「天皇の」と読み換えている事実から、この異国での仕事に精魂を込めたであろうことは予想される。帝国ホテルの不首尾（彼は予算をオーバーしすぎるという理由で途中で設計者の地位を罷免される）とは逆に、Yamamura Houseは、ある意味で彼の会心の作品となり得たはずである。

④ 機能が生きつづけているということ

Yamamura Houseの場合、建築が死に絶えねばならない理由が見出せない。むしろ機能が設計されたときの企意に添って使用されていないことの方が問題だ。別荘建築として作られたこの住宅が、独身寮として使われていることこそが問題だと思う。Yamamura Houseは、良き住み手を得て甦るはずだと思う。最も適切であることという、その意味を敷衍して、その敷地、環境への融和を説くこともできると思うし、芦屋市の山手の丘の上に建っていることが、Yamamura Houseにとって意味がある。それは、自然と融和しているというよりは、いまやあの地の自然の一部となってしまっているのである。

山邑邸

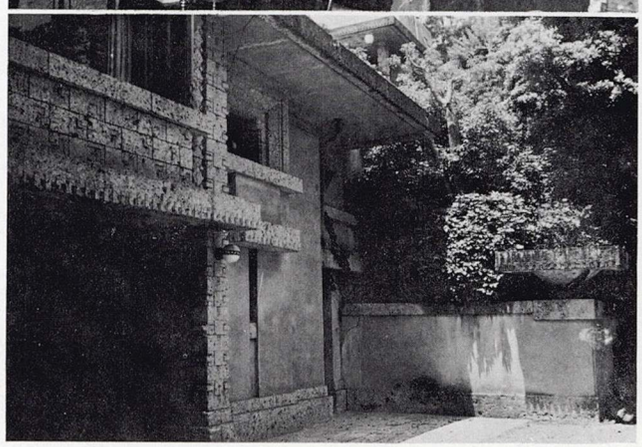




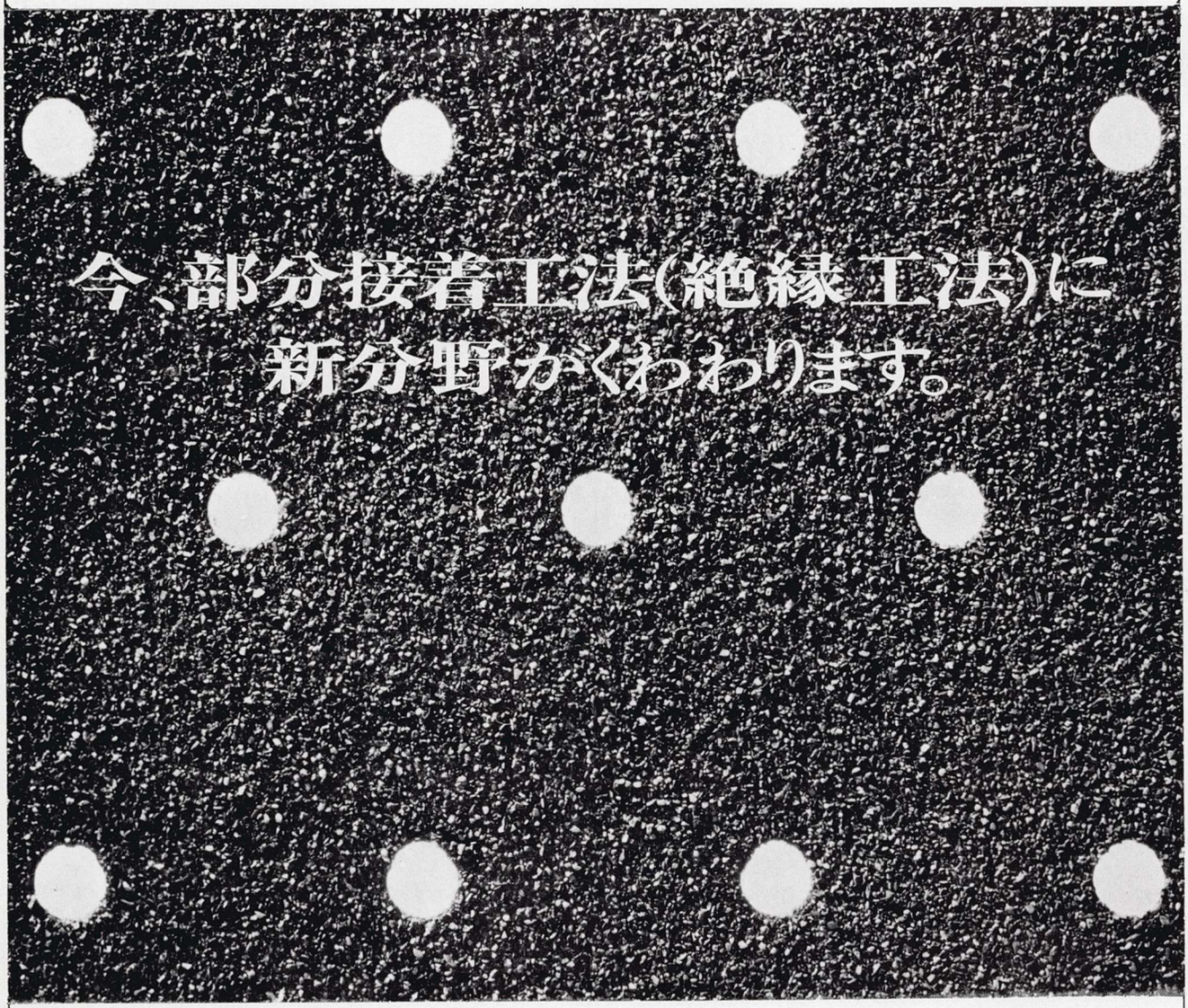
出典　The Prairie School Rev. 3rd Quanter. 1966　VOL. III. NOV. 3 －P. 20
（谷川正己氏所蔵）

撮影：谷川正己





防水革命をすすめる「新防水仕様」誕生！



画期的な
ふくれ防止システムを採用した
新露出防水工法が完成！

このたび完成した「新防水仕様」で最も画期的な点は強力アスロン（強力ギルソイド2層分以上の防水効果をもつメンブレン防水の高級プレハブ材）の開発、およびフリースポット・フリースキャップによる新露出アスファルト防水工法の採用です。
特に、露出アスファルト防水の分野では無機質基材を用いた穴あきルーフィング“フリースポット”を開発、この分野での部分接着工法を可能にしました。
それによって、長年またれていた防水層の「ふくれ」が防止できるようになり、さらに下地からのクラックによる防水層の影響も防ぐことができます。
革命的なこの新防水仕様に関するお問合せは資料請求券をそえて下記までお申し込みください。くわしい資料をお送りいたします。

田島ルーフィング株式会社
本　　社　東京都足立区小台１－３－11　電話(03)912－1131(代)
神田営業所　東京都千代田区岩本町３－11－13　電話(03)862－8531(代)

田島応用化工株式会社
東京営業所　東京都千代田区岩本町３－11－13　電話(03)866－6101(代)
大阪営業所　大阪市西区京町堀１－74　電話(06)441－5951(代)

東日本アスファルト事業協同組合
東京都千代田区岩本町３・11・13　電話(03)866-6101(代)

西日本アスファルト事業協同組合
大阪事務所　大阪市西区京町堀１・74　電話(06)441-5951(代)
名古屋事務所　名古屋市西区桜木町3・8　電話(052)571-6361
広島事務所　広島市鉄砲町５番の16号　電話(0822)21-0266
福岡事務所　福岡市冷泉町５番７号　電話(092) 28-2807

資料請求券
建築と社会

読者の頁

□鼓動の年から躍動の年へと誓う「新建」第１回大会

新建事務局次長　**蓮佛　亨**（れんぶつ・とおる）

さる11月14日、東京大手町農協ビルにおいて、全国から参集した 104名の代議員およびオブザーバー（外に非会員16名）によって**「新建築家技術者集団」**（以下**「新建」**と略す）の**第１回大会**が成功裏に開かれました。

1970年12月６日に設立した「新建」は、満１才を迎えたわけで千余名の会員、13の都府県に支部を設立し、14の道県に支部設立の準備が広がりつつある状況のなかで開かれました。大会は第１年度の活動をまとめ、次の１年間の活動方針を決定し、新役員を選出しました。住みよい環境をめざす建築運動の息吹きは、開拓し鼓動する段階から、成長し発展する段階へとすすみはじめたのです。

水路は、小さなせせらぎから小川へとつながりいくつもの小川が川へと注ぎ、そして大河へと流れていくかのように、'60年代まではせせらぎや小川がそれぞれ別個に流れ、伝統としての歴史的なながれはあってもそれが断続しがちであったし、一つの流れに容易にならなかったが、70年代の初頭から、その様態をかえ建築分野の全国単一の組織として大きく流れ動き始めたのです。戦後初頭に設立した新日本建築家集団（ＮＡＵ）の最大会員数、約 800名をすでに陵駕し、とくに現在の建築界の状況を反映してか若い世代の多くの会員を擁している点、その息吹きとエネルギーは歴史始って以来のことであるといって過言ではないでしょう。

◇　　◇　　◇

大会前日の13日、渋谷区金属労働会館で**「新建まつり」**が開かれました。東京支部が予定していた「文化祭」をくりあげ「新建」第１回大会を成功させるためにとくに東京支部会員の奮とうと努力により開かれたものです。全国でくりひろげた多面多様な活動と運動をまとめパネル化して、展示をし、その囲いの中で独創的で熱気にみち溢れたパーティが開かれました。飲み食いしながらの各県、支部の紹介、スピーチ、懇親は一堂に会した会員、非会員の親密さを高め、翌日の始めての大会の前夜祭にふさわしい盛り上りをみせました。13日23時より各地から参集した参加者を軸に東京支部会員も合流して、宿舎における**深夜交流会**を開きました。翌朝明けがたまでの日頃の生活、活動経験の交流は第１回大会の限られた討議時間を補強し、参加者の運動に対する自信と情熱を高めたことは言うまでもありません。

◇　　◇　　◇

第１回大会は予定時刻に開会し規約にもとづく民主的運営によって約７時間30分にわたって開かれました。全国いたるところで環境破壊に対する国民の不満はますます強まり「新建」会員の各地での住民運動へのとりくみを始めとして、多くの建築家技術者が、積極的に住民運動にかかわり、同時に都市問題、環境破壊の問題に対しても積極的にかかわろうという姿勢をとり始め、さらに大きく発展していくでありましょう。このことはまさに「建築を社会の発展とつながりのなかでただしくとらえよう」「国土を荒廃から守り、住民のための住みよい豊かな環境の建設をめざそう」という「新建」の綱領が、現在の状況の必要としている内容であること。二つ目に、技術開発は大企業中心であり、技術の非常なかたよりはますます進行し、建築家技術者の分断化、部品化、孤立化の現象もますますすすんでいるなかで、「新建」が建築家技術者のおかれているこのような状況を指摘し、全国の単一組織に結集することをよびかけたのを始めとして、建築家技術者のおかれている状況をたゞしくつかみ、地道な改善の努力をしようとする動きが、多くの建築家技術者のなかから起ってきている点、そして人間のための有用な空間・環境をめざす評論や、建築家技術者のあり方を問いなおす動きなど、いろいろな評論活動がすすんでいる点、「新建」の綱領「各分野、各職場の建築家・技術者の交流をはかり、相互理解を深めて、生活と技術の向上、諸問題の解決につとめよう」「建築のすぐれた伝統と理論をただしく継承し、その発展と創造につとめよう」も、現在の状況が必要としている内容であろうと、**大会報告**は“最近の建築界の状況の特徴点”のところで指摘しています。

報告は更に、他団体との交流、国際交流について、全国レベルでの他団体との交流は積極的にはまだすすんでいるとはいえないが、建築学生連絡会、全日本土建総連合、中央民主団体災害対策会議などとの交流と共同参加、各支部における日本科学者会議各支部、各種グループ、建築家クラブ、市電を守る会、建築士会、建設業協会などとの共催、共同参加など多くの共同行動の経験が積み重ねられ、国際交流ではヴエトナムの建築家に対し連帯の意を表明するメツセージと資料を送るなど「さまざまな分野の科学者・技術者、民主的諸運動と連帯し、建設労働者や広範な住民と手をむすぼう」「世界の建築家・技術者との自主平等の交流・連帯をつよめよう」の綱領を実践してきたことを“１年間の活動の成果と問題点”のなかで報告しています。とくに各界の「新建」に対する期待と激励は大会によせられた祝辞とメッセージで表明されました。設立総会にもまして多くの団体、個人からよせられたのは、日本科学者会議、建学連、日建協、日住労、全日本建築士会、全国建設、文団連、民災対、公害反対市民連合、各政党、美濃部都知事、市浦健、丹下健三、武基雄、横山不学、織本道三郎各氏でした。

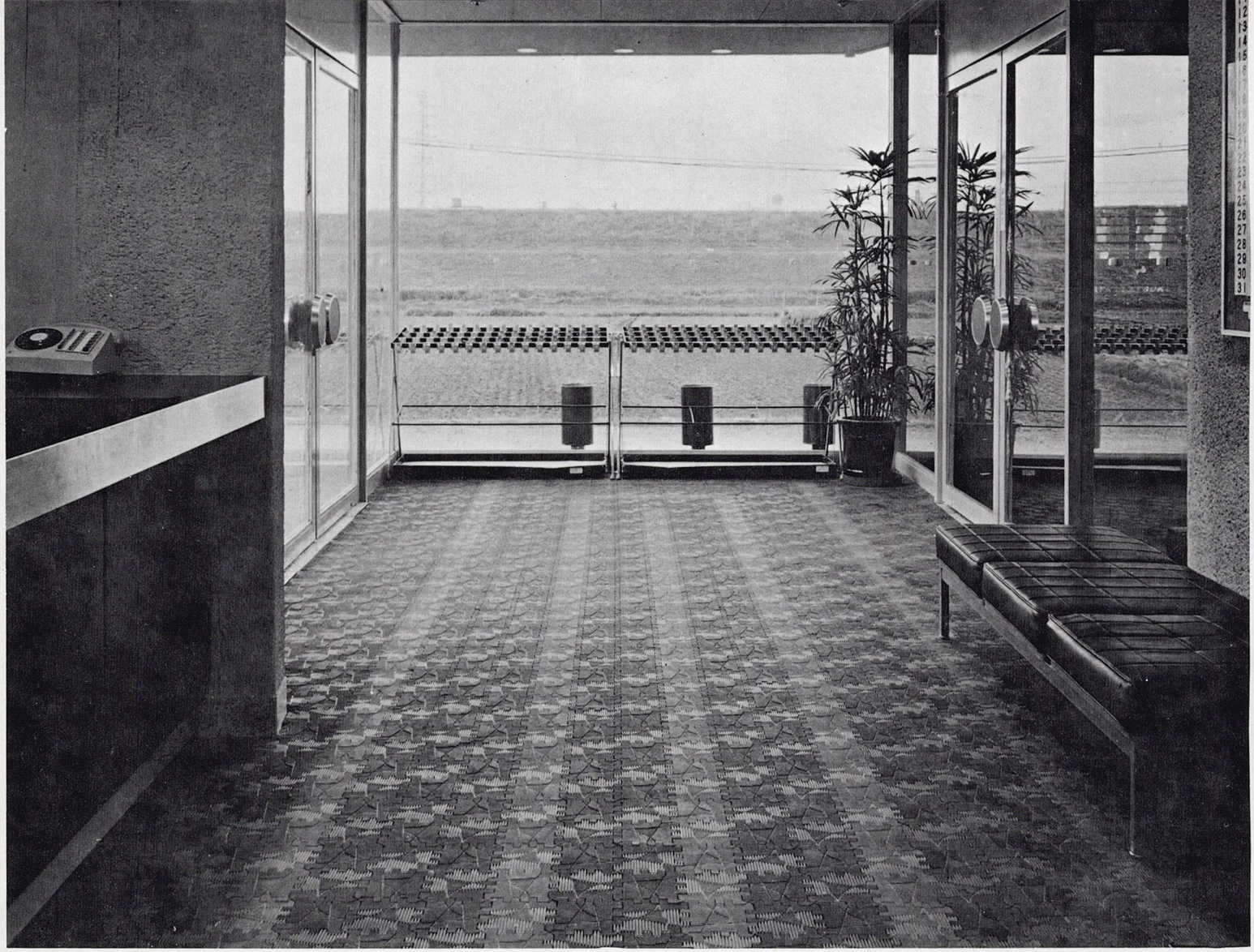
以上のように「新建」６つの綱領は、この１年間の全国各地、各支部、各班、各部会での会員のたゆまぬ活動によって深め、ひろげられ、更に多くの建築家・技術者の共感と賛同を得ることによって、その正しさが検証されたことが、各

新建第１回大会（71. 11. 14）



新建まつり風景（71. 11. 13）



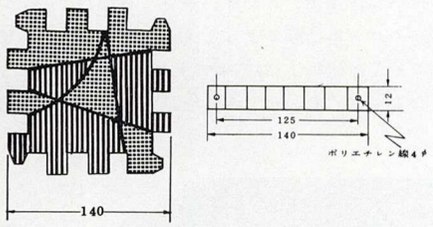


各種玄関マット設計製作　ミヅシマ

ウルトラインマット

（ウルトラセン）

〈詳細図〉



〈規格色〉赤・白・緑・鼠・青

玄関に
ハイセンスを！

マットは
トップメーカーの
ミヅシマ製品を
お選び下さい

ウルトラインマット試験表

- **耐摩耗試験**－摩耗減量 0.0035グラム
  試験条件　テーバー摩耗試験機 荷重 500グラム
  回転速度 57r.p.m.1000回転
- **熱収縮試験（膨張）**
  40℃±1℃3時間変化なし－5℃3時間 縦（－0.10%）横（－0.17%）
- **耐薬品試験**　浸漬条件30℃×31日間重量変化率
  3% H_2SO_4（≦0.1%）10% NA_0H（≦0.1%）
  植物油（白絞油）（5.2%）（30℃×5日間）
- **耐水試験**　浸漬条件23℃×24時間0.07%

ミヅシマ

おそうじ百貨

ミヅシマ工業株式会社

営業本部／大阪市西区北堀江上通一丁目20　TEL（531）7571～4
本社工場／京都市南区久世築山町 380の2　TEL（921）6361～3

〈営業所〉
東　京／TEL（667）8844（代）
名古屋／TEL（911）4306～7
京都第1／TEL（221）5363・0214
京都第2／TEL（312）6051
大　阪／TEL（531）7571～4
福　岡／TEL（27）2331（代）
北九州／TEL（57）3579

代議員の具体的活動の報告と討議によって更に肉づけされ確認されました。

2年目の**活動方針**は、具体的な技術運動、技術者運動を発展させるために、1)支部活動の強化2)支部間の経験交流に果す本部活動の強化3)全国規模での活動の強化など採択、決定しました。多面的な活動を行い飛躍的発展を遂げねばならない「新建」の態勢に見合う32名の新幹事団と2名の監査が選出されました。大会直後に開かれた第1回全国幹事会は代表幹事に、西山夘三、上林博雄、平松義彦の3氏を選出し12名の常任幹事を選出し、事務局長2名の次長、機関誌編集委員長を任命しました。

大会が採択した**大会宣言**はつぎのとおりです。

＝「新建」設立後約一年、住民無視の国土開発はさらにすすみ、不況、「ドルショック」など経済不安が激化するなかで、建築家技術者のさまざまな問題、矛盾はさらに広まり深まっています。70年代の初頭にはじまったわれわれの住みよい環境をめざす建築運動は、わずかな期間で全国に広がり、その活動はますます多くの建築家技術者に注目され、綱領にたいする共感、支持が広がってきています。

1年間の具体的な活動のなかで、われわれの綱領、運動の基本的なただしさは、まさに検証されたといえましょう。

われわれの今後の課題は、この成果の上にたって、さらに質の高い技術運動・技術者運動を具体的に発展させ、日本の建築の真の発展に寄与しうる大きな力に育っていくことであります。

第1回大会に全国各地から結集したわれわれは、そのために今後力をふるって活動することを大会の名において宣言します。同時に、再び全国の建築家技術者諸君に、新建築家技術者集団への参加を心からよびかけるものであります。

＝とむすんでいます。

◇　　◇　　◇

大会終了後ひきつづき**「21世紀の設計と技術者、科学者の役割」**と題して西山夘三氏の**記念講演**が行なわれ多くの学生が合流して出席しました。70年代の日本の進路が、そして21世紀への日本の展望がまことにきびしい現在の状況のなかで展開されようとしていること、建築家技術者、科学者の将来像は求め、求め、求めてやまないものであること、それぞれが連帯を強め、任務を明らかにし後世の子や孫にはじない役割を果さねばならないことが強調され参会者に感動を与えました。

◇　　◇　　◇

延25時間にわたって開かれた「新建まつり」「深夜交流会」「第1回大会」「記念講演会」は無事終了しました。多くの人びとに役立つ建築を、人間の生活環境をより豊かにするというすべての建築家技術者のねがいの先頭にたって、自からの技術的、文化的な諸問題を解決しながら、多くの人びとが安全で住みよく豊かな環境で生活できるよう努力し、建築の自由で総合的な発展をめざすことを参加者全員が心に誓ったものと確信します。

1971. 11. 23.

□建築家第2回大会開かる－「建築家の危機」をテーマに－

11月18日より3日間にわたって建築家第2回大会が京都会館で開かれました。

1970年秋に第1回大会が開かれ活発な討議が展開され、対外的にも大きな反響をよびましたが、第2回大会は第1回より多くの出席者（二百数拾名）のもとに盛会に行われました。

大会は、会員が具体的な日常業務でぶっかつている問題や、協会の当面している基本的な問題に関して、多くの会員が意見の交換を行う場を魅力的な形で設定しようとして生れたものであります……とよびかけはのべています。

◇　　◇　　◇

統一テーマは**「建築家の危機」**－プロフェッションとビジネスとの矛盾－であり、建築界の現在の状況のきびしい諸矛盾や課題を反映して日本建築家協会会員のみならず、多くの建築家技術者の衆目のうちに開かれたといってよいでしょう。更に3つに分解した問題別テーマ及具体的小テーマについて、第2回大会へむけての準備段階における事前討議を行い、問題点を深めて大会へ結集してきたのです。建築家が自己をとりまく現状を正しく摑み、建築家のあるべき姿について問いただし、問題点についての認識を深め、こんごどのような姿勢で創造活動を実践していかねばならないかを参会者一同が腹蔵なく討議しました。同じ職能に生きる者として可能な限り共通の問題意識を発見し、連帯感を高め、職能団体としての行動を内より補強することを大会の目的としたのです。

大会実行委員会は－建築家の危機は、建築家という職能だけがこんにち背負っているわけではありません。見かけの繁栄とはうらはらに、医師・弁護士・教育家等の職能人が直面している事柄と、全く根は共通しているといえましょう。これらの職能は、発生の時期的づれがあるとしても、産業革命以後急速に発展した資本主義的社会機構の中で、職能分化の道を逆り、それぞれが異ったパターン（で確立へ）の道程を歩みつづけております。しかし、その進行について職能が社会に対して負っている使命と、その遂行を支える経済行為が矛盾する状況が顕著になって参りました。わたし達が意志決定をする際の意識の中において、また意志決定後に行動する建築家相互において撞着する機会が多くなってまいりました。この現象は、建築家をとりまく社会の状況変化に起因するのは当然でありますが、職能の領域が拡大したことや、これに伴って建築家の型が多様化している事によって激しさが増しております。

そこで、建築家が社会とかかわっている局面や、建築家が設計体制の中で当面しているもろもろの問題を卒直に披瀝し、個人的体験を共通の体験におきかえ、さらに体験に対する意識を相互に認識する作業が、この際どうしても必要な一過程だと考えられます。－と委員長名で述べています。

3つに分解した問題別テーマ「建築事務所内部の問題」「建築事務所間及び対外部の問題」「集団としての協会の問題」は3つの分科会に別かれて討議がなされ、更に全体会議で総括的に討議されました。（註）第1回大会の統一テーマは「建築家の職能」－70年代の建築家の役割－であり4つの分科会「建築家と職能」「建築家と行政」「建築家と教育」「建築家と公害」であった。それぞれの分科会には2名のリポーターが席につき、分科会に関連する会員よりのアンケートの回答（60余名）の報告と併せて、リポーター自身の意見を提起しこれをいと口にして討議が始められました。

個人加入を基本とする協会の組織形態と、会員が何らかのかたちでファーム（設計体制）を代表し統括していることの現実のなかで「プロフェッションとビジネスとの矛盾」というテーマによって論議が展開されたため、建築家としてどちらを選ぶかという二者択一論になりがちであったり、古参会員と若い世代の会員の立場や歴史的条件のちがいからくる次元の異る発言が出てきたりしました。しかし全体会議はプロフェッションの問題とビジネスの問題は同位の次元で両極であるかのような位置に位置づけるものではなく現実的には併存させなければならないこと、建築家の職能が社会に対する責任を果すという立場のなかで、どのように問われ、建築家や協会がどのような姿勢ですすんでいかなければならないかを深めることのいと口としてつかみ、こんご更にこの問題の検討をつづけることが必要であると確認しました。

とくにビジネスということばを会員相互があいまいなままでなく全体で承認できる正確な理解をしながら論議をしなければならないと指摘されました。

全体会議は特別提起として「関西国際空港建設に関する事項」が報告されましたが協会としてこの事項に関与することの是非論、提起の手続上に対する意見などがあり、取扱いについてこんごに課題が残されました。このことは、社会に対して「協会」のあり方を問い、社会とどのようにかかわりをもつかを明確にしていかねばならない一里塚になったといってよいでしょう。

大会は「現代社会において創造とは何か」をテーマに、湯川秀樹氏の記念講演会を行い出席者に共鳴を与えました。

大会終了后、懇親のための宴会を祇園歌舞練場で開き京都の情緒と西陣千本六斉（郷土芸能）を満喫し、最終日住友有芳園、表・裏千家茶室、千里ニュータウンを見学しておわりました。

全国の会員が一堂に会することに意義があり、会員のその要請が強いことは多くの出席者があったことで明らかですが、ひきつづいて来年も第3回大会が開かれ、会員の連帯性を強め、協会の発展強化が計られることを切に願うものです。

1971. 11. 23.

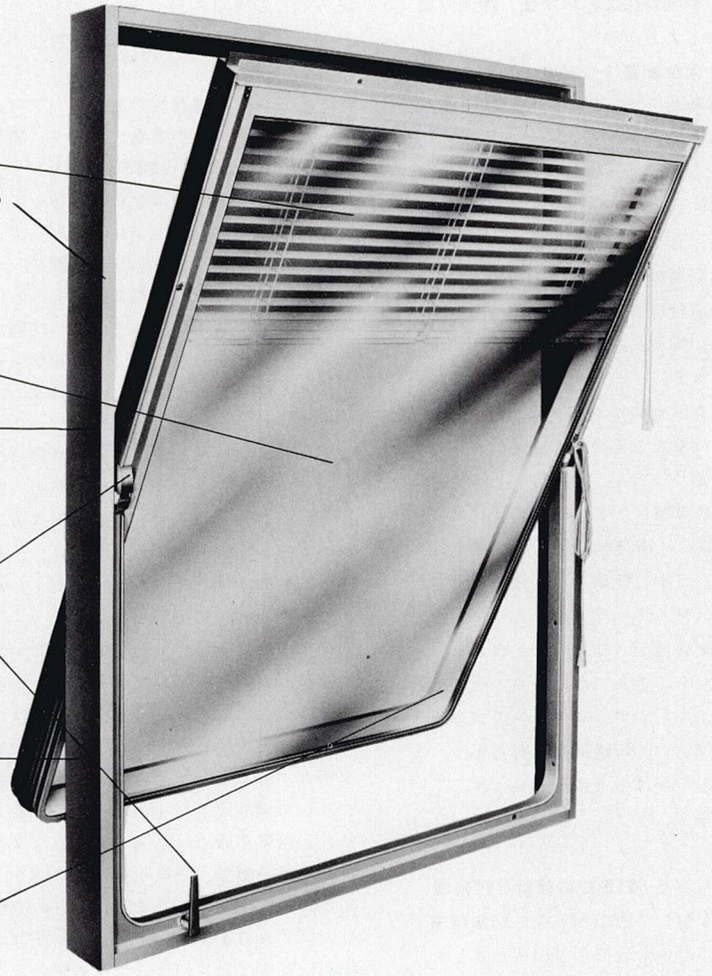
○日本建築家協会会員　**蓮佛　亨**

○札幌オリンピック施設－競技場・選手村・関連施設などの記録－
編集：札幌オリンピック施設編集委員会
発行：工業調査会
B5・280頁（カラーグラビア60頁）¥3,800－

エルミン窓は

「はめ殺し」窓に近い気・水密性能を持っている施工環境

ビルの高さに応じてその威力は充分に発揮される――



●二重ガラスの間に内蔵されたブラインド。
上げ下げ、角度調節は室内の紐で。

●枠本体も断熱材によって内部・外部が絶縁されている。

●二重ガラス内面の清掃も容易。

●枠と障子と一緒に取りつけられる総合窓。

●障子を枠に引きつける方式の特殊なロック。

●このヒンジにより窓は180度完全に回転。

●P C工法に最適。

●U型に曲げられた障子。
特殊なベンディング・マシンにより曲げ加工される。

ブラインド内蔵・アルミ二重ガラス窓

エルミン窓

戸外の騒音を防止します
180度横軸回転機構により清掃管理が簡単です
大型窓の使用が可能です
きわめてすぐれた気・水密性能を持っています
空調設備費・維持費を大巾に低下させます
ガラス、サッシの結露を防止します
ブラインドは損傷しにくく維持管理が容易です
ブラインドはきわめて高い遮光率を持っています

日本エルミンサッシ株式会社

大阪営業所　大阪市西区京町堀1の125(東洋ビル) TEL 441－1978(代表)443－1461(ビル交換)
本　　社　東京都千代田区岩本町1丁目11番2号(三泉ビル) TEL861－1891(代表)

都市再開発と地下街問題

角橋徹也

1 ひろがる地下街

去る12月1日、大阪ナンバの地下街が華々しくオープンした。これより前1970年春、賑橋—御堂筋間の千日前通地下に通称〝虹の町〟が完成したが、今回はさらにここから東へ堺筋まで 400M延長して計 800Mの大地下街となった。床面積3万6千M²、310店舗の大模規なもので、大阪ではキタの梅田地下街についで二番目の大きさである。

これで大阪のキタとミナミの主要なターミナルは地下街で埋めつくされたことになり、大阪は名実ともに地下街のまちとなった。全国的にも地下街の計画は花盛りで、北は北海道旭川市から南は九州佐世保市まで全国の主要都市、50ヶ所で、地下街建設が目白押しにすすめられている。

日本で最初の地下街らしきものは、昭和9年に出来た大阪駅前から阪神を結ぶ地下道であるから、大阪は地下街建設では先駆者ともいえる。

地下道が地下街へ発展していく過程をみてみると、最初は地下道の壁面に奥行の浅い凹所を設け、広告用陳列窓として利用された。その後この陳列窓は次第に大型化し、特に百貨店の近くでは大きなショーウインドーに発展するが、一方ではこれが店舗の形へと変容していった。地下通路に店舗が張りついた形の地下街が出現したのは昭和32年に完成した名古屋の地下街が最初であった。この時をもって、地下空間は単なる交通空間から商業空間の機能もかねるようになってくる。その後、名古屋方式による地下街が、ターミナルを中心として全国的に続々と誕生するようになった。大阪では昭和38年、本格的な地下街である梅田地下センター（第一期）が完成した。

モータリゼーションの進行は次の2点において、交通の流れに重大な影響を与えてきた。　その第1は、ターミナルではくるまが地表面を占領してしまい、歩行者は止むを得ず地下へ追いやられた。第2点は、路面電車とバスがくるまの増加で邪魔もの扱いされて、それに代るものとして地下鉄の建設がすすめられた。この結果、歩行者の移動レベルがすべて地下に押し込められてしまうために、地下道がそれにつれてだんだんと延びていく。これがある程度はりめぐらされると、地下を歩く方がずっと便利で安全だということになり、歩行者はますます地上から遠ざけられてしまう。

一方、地下鉄のプラットフォームと地上路面のレベル間に相当なスペースがあるので、これを利用してもう一つの床面を設け、これを単に地下鉄利用者のための交通空間としてではなく、新たに商業的な目的に用いられるようになってくる。地下鉄の建設がすすみ、郊外鉄道の都心乗り入れが進行してくると、都心のターミナルには大量の乗降客がはき出され、地下街はそれを呑み込むべく漸時拡張されていく。

乗り換え口を結ぶ連絡通路から外れたところでは、乗降客をさらに引きつけようとして地下商店街がタコの足のように延びていく。そしてこれらの通路は大規模なビルの地下室や百貨店に直接連絡するようになり、地下街はツギハギ式にビルの地下階とつながっていく。かくして地下街はとどまるところを知らず拡張されて、ついには大阪全体が、アングラ・タウン、にならんばかりの勢いである。

ところが地下街がこんなに膨張し、そして利用者が年々増えていくのに、地下街と電車の乗り換え口とがつながるネックのところが一向に改善されていない。そのために朝夕の混雑ぶりは、その中を歩いているものに一種の恐怖感を与える。しかしこのネックの部分は、両側が店舗になっているために拡巾はむづかしい。現に15年前につくられた名古屋駅前の地下街は今となっては巾員が狭まく、平常時でも混雑が激しい。梅田の阪急の旧正面改札口から地下街へ降りたところでもすでにそのような事態が起りつつある。こういう状態では近い将来、梅田の地下街で大規模な群集事故が起り得ないとだれが保障しえようか。

2 危険な地下街

数年前、梅田地下街でマンジュウ屋の店員がふとしたはずみにマンジュウを床にバラ撒いてしまった。何が起ったのかと通行人が次々と足をとめ、その場所では約2時間も人だかりが消えず、あげくの果ては警官が整理に乗り出すような騒ぎが起ったことがある。このことは地下街における群集心理の特異性をはっきりと物語っている。地下街は全く迷路のような空間で、天井も低く目標物がないために歩行者は方向覚感を失いやすく絶えず不安にとりつかれている。だから何かハプニングが起ると付和番同的に群集が動いて、それが大惨事を引き起すおそれが多分にある。

地下街でのパニックは単に火災や地震だけによって起るものではない。例えばちょっとした危険物・発火やいたずら半分に大声を上げたり、音や光を出しただけでも群集はあたかも水島の羽ばたきに驚いたように、一定方向になだれを打って動き出すおそれがある。

わけても火災はもっとも起りやすく、危険で被害が大きい点でも地下街災害のなかでもっとも重要な問題である。

1967年10年、名古屋の地下街で中華料理店の鍋の過熱から火災が発生した。火はすぐに消し止められたにもかかわらず、逃げまどう人びとでかなりの混乱が生じ、煙がものすごい早さで地下街のすみずみまで拡がったという。地下街は地上に比べて湿度が高いために、火災発生の確率は小さいが、ひとたび出火し初期消火に失敗すれば地上火災よりも多量の煙やガスを発生することになる。とくにコンクリートビル火災特有の問題として、これらの煙やガスが室内にこもり、立体化され密室化された地下街の通路や階段をかなり早い速度で通り、短時間のうちに地下街およびそれに連絡するビルに拡がる。これまでの実験結果からすれば、煙の拡がる速度に普通人間の歩く速さ（1m／秒）と同じであって、このことはもし人間が危険を感知してから避難を始めるのが遅れたり、階段部分で滞留してしまうとすぐに煙に追いつかれてしまうことになる。人間が仮に冷静に判断して行動したとしても、以上のような危険が予想されるのに、ひとたび煙にまかれて視野がさえぎられると群集は狭い通路を逃げまどいパニック状態におちいる危険がある。

地下街は後述するように、公共道路の地中を占用しているために避難通路や階段を地下街の通路部分にはとりにくく、おのずからビルの地下階に設けられている場合が多い。したがってその位置はバラバラで判りにくく、全般にその数も少ないし巾員も狭い。これではスムーズな避難に支障をきたすし、そのうえ無数に貼りつけられた広告板や照明灯が数少ない避難誘導標識をさえ識別しにくくしている。

一度火が出れば長時間手がつけられなくなり、多数の窒息者を出すのが地下街火災の特徴である。その対策のまず第一は火を出さないようにすることであるが、現実には出火危険度の高い飲食店や料理店などが多数を占めている。

それに加えて地下街にはおびただしい可燃物が持ち込まれており、衣料品店や装飾品店では床面積1M²当り100㎏以上の可燃物量が収納されている状況である。このような危険な場所では、出火防止と同時に徹底

した内装の不熱化、可燃物の持ち込み制限を行ない火災が発生しても小規模なものに抑えなければならない。

それでは消防活動の方は万全かというとこれもどうやらお手上げのようだ。第一、階段が少なすく入り込んでいるので、避難者と消火作業員がぶつかって消防士の進入も容易ではない。仮に進入できたとしても排煙装置が不十分なので消火活動ははかどらない。やたらと放水するばかりでは水損による被害も大きくなる。排煙を容易にするには、結局これまでのような地下街の構造や形式を大巾に変え、天井に相当大きな開口部を設ける以外抜本的な解決法はない。

最近の地下街では、スプリンクラー、自動煙感知器など近代的な消防設備が設置されていると報ぜられているが、これらはすべて初期消火にのみ役立つものである。もし初期消火に失敗すればいかなる方法で対処しようとするのか。地下街の構造変更を含めて予測しうる大惨事を未然に防止するための緊急対策が早急に講じられなければならない。

3 地下街建設のメカニズム

〝都市再開発〟という言葉のなかには、一見さわやかなイメージがひそんでいるようだ。　人口が密集し木造住宅や喰べもの屋、何んでも雑貨屋などが雑居した混合街区や、歩・車分離のない入り込んだ狭い道路に人とくるまがあふれ、過密と老朽が同居したスラム同然の地区は、再開発の名のもとに、ブルドーザーでおしつぶされガレキとなっていく。整然とクリヤされた敷地には、真新しい高層住宅やオフィスが建ち並ぶ。道路は広くなり、ところどころにひろばが設けられて小ざっぱりとした身なりの人たちが噴水のまわりで緑に映える陽光を楽しむ。しかし、かってそこに住んでいた人たちはどこへ行ってしまったのか。老朽建物に代って新しく銀行や立派なオフイスが建てられるが、結局都市再開発はだれのために行われたのかということに思いをめぐらす人はほとんどない。

都市再開発に連想されるきれいごとのイメージは今やゆるされなくなってしまった。雄大な再開発の構想はたびたび華々しく打ち出されるが、どれもうまくいったためしがないようだ。

地下街建設もまぎれもなく都市再開発の一つである。一般の再開発は立体的に容積密度を高めているが、平面的に地下空間を横に延しているのが地下街である。しかし一方がいろいろな面で行き詰まりを見せているのに、地下街建設だけは不思議とうまく事が運んでいる。その秘密を解き明かせば次のとおりである。

第1点は、地下街建設はお金のかからない安上がりの再開発であるということである。地下街は道路下を堀り下げてつくるので用地費が不要である。地下には地主がいないので用地買収に手間がかからないし、一般の再開発のように権利関係の調整にわずらわされることもない。第2点は、地下街建設費の大部分は、地下店舗から徴集する権利金（入居保証金）によってまかなわれるので、地下街建設の事業主体である地下街株式会社の持ち出し資金は大巾に軽減される。さらに地下街建設は地下鉄の建設（地下鉄四ツ橋線）や高速道路の建設（阪神高速道路大阪堺線）と同時施工される場合が多いので工事はさらに安上がりとなる。第3点は、個人の地主がいないということは、事業報行にあたって直接的に利害関係をもつ人びとが存在しないということである。したがって地下街建設は世間の耳目に触れることなく、こっそりとすすめられる条件が整っている。そして、地下街株式会社は大阪市が資本の大半を出資し、市の高級官僚で役員を構成している。これでは、市の息のかかった外郭体が地下街を計画し、市が許可するようなものである。したがって、事業化の手続きに極めて簡単で、市民のチェックをうけることなくひそかに画策され建設されやすい。

地下街建設には、用地買収は不要であり、事業化の障害は全くない。それだけで事業達成の特急券を手に入れたようなものであるが、おまけに事業主体は建設費を大して負担する必要がないとあっては、全国的に地下街の新設、増設が次々と容易に生まれてくるのは理の当然である。地上ではモータリゼーションの激化という外的条件が加わり人間を地下へ押し込め、地下内部においても地下街建設を許容し、それを促進する諸条件が整っているわけであるから地下街は雪ダルマ式にふえていくのである。つまりモータリゼーションと地下街建設とは密接な相関々係にあり、もし仮に地下街が上記のようなメカニズムでかくも容易に建設されるようなことがなかったら、地下街建設は当然高価なものとなり、ここまで大規模に手掛けられなかったであろう。そうすれば市当局はモータリーゼーションの進行とターミナル利用人口との間で板ばさみとなり、結局都市改造そのものについて抜本的な対策の選択を迫られることになったかも知れない。ここでも外部矛盾の内部化が進行している。

しかしそれにしても、地下街はモータリゼーションと地下公共空間の私物化という論理だけを主軸にして拡張されていくのだろうか。地下街はそこに入居する多数の店舗経営者の資金負担によって増殖されていくのであるが、こんなに沢山店舗をつくって実際にその経営が成り立っているのかという疑問も出てくる。しかし現実に、店舗がはやらなくて店じまいをしたという話も聞かないし、どうやら確実に採算が合っているようだ。

結局、地下街は既存の地上商店街あるいは別のターミナル商店街を喰いつぶし、かれらを譲性にしながら拡張されていることが判る。別の言葉でいえば、商業資本による利潤吸収源の奪い合い（転移といってもよい）が行われているのである。大阪ナンバのミナミの地下街を例にとってみても、このことが典型的にあらわれている。虹の町（第一期）が完成することで、ナンバ新川町一帯はめっきり人通りが少なくなり、現にたばこ屋の売り上げが20～30%も落ちているという。また第2期工事で千日前通りに巾44Mの道路ができ、その上に高速道路が走ることになり、大阪名物の歩行者天国戎橋筋商店街と千日前商店街が南北に完全に分断された。それに加えて千日前筋にある地下街の階段の位置は南から流れてきた歩行者がすべて地下街に吸い込まれるような設計になっている。これでは千日前通り北側にある地上商店街の衰退は目に見えている。これが大阪市のいう〝ミナミに新しい魅力を加え、(その）発展を約束する……〟ものなのだろうか。

地下街建設によって、地上商店街のネットワークを完全に破壊し、地上の環境は悪化するがまゝに放置されて、一方において、〝川のあるまち〟〝七色の光〟〝みどりのひろば〟はては〟〝空のあるまち〟などばかげたキャッチフレーズを用いて客を地下へ誘い込む。〝失なわれた〟美しい空や川、緑と太陽をいろいろと取り揃えています。どうぞお越し下さい。というわけである。してみると地下街は、公害によってもうけようとする公害防止産業なるものと何ら変るところがない。

〝大阪市だより〟（今年8月号）の見出しには、地下街の〝環境は地上より快適に〟とある。このように〝地上を歩行者のものに〟〝都市に緑と太陽を〟という市民の素朴な願いをよそに、一見地上よりも地下の方がすぐれているのだという妙な錯覚を与えながら、地下街建設はすすめられている。

4 提言—梅田ターミナル地区再開発構想

地下街は防災上、都市再開発のあり方などからみて、極めて問題の多い体質をかかえていることは明らかであるが、しかし地下街を全く否定するわけにはいかない面もある。現実に地下鉄や私鉄の乗り換え客が地下通路を移動するので、交通空間としての機能は存続するからだ。われわれが問題にしているのは、自動車優先政策によって地下街をつくり出していくような都市改造の方向そのものである。またこのようにしてつくられた地下街は防災上非常に危険であるし、利用者の安全と利便、あるいは状適性などほとんど孝慮されていない。

そこでわれわれは、単に地下街に反対するだけではなくして、将来の梅田ターミナルのあるべき姿を具体的に市民に提共し、市民のためのまちづくりをめざした足掛りとなるようなものをつくろうということになった。この梅田ターミナルの将来像がひろく市民の共感を得て、それが市民によって支持されるならば、一つのモデルターミナルづくりが最後は大阪の都心全体を市民のまちに変えていく大きな運動へと発展していくことを期待して〝梅田ターミナル地区再開発構想〟がつくられた。

大都市への入口集中がすすみ、都心の高度利用と効外の住宅地開発が

進行すると、大都市の構造は都心は業務地、郊外は住宅地へと2極化されていく。このことは必然的にターミナル利用人口を増加させ、その混雑を激化させる。したがって梅田ターミナルの改造計画は、大都市への人口集中の抑制とターミナル利用人口の軽減を地域計画と都市計画の観点からとらえ、全体をマクロ的に把握するところから始められなければならない。

□鉄道と道路のネットワークを再編成し梅田の混雑を緩和する

北大阪の中心地梅田は、日本国土と近畿都市圏を縦横に走る主要な鉄道と道路が集中する総合ターミナルの機能をもっている。このために梅田ターミナルでは、1日約120万人の乗降客がはき出され、朝夕のラッシュには30万人の通勤客が通過している。大阪市の調査によるとこれらの通勤客のうち70%が乗り換え客であって、残りの30%が梅田地区への直接の通勤者であるという。

一方、道路体系も同様に一点集中型となっているために、1日約30万台の自動車交通のうち約75%が通過交通であり、残りが梅田ターミナルに直接発着する自動車交通である。

したがって梅田の混雑を緩和し、地区の環境をよくするためには鉄道利用者や自動車がわざわざ梅田を経由しないで、出発地から目的地までストレートに速く到達できるように、鉄道と道路の体系を根本的に組みかえていかねばならない。

鉄道利用者を迂回させるには、梅田へ乗り入れている郊外鉄道と地下鉄あるいは国鉄環状線との交差点に乗り換えターミナルをつくり、郊外から都心業務地への通勤者はなるべく梅田を経由しないでここで乗り換えさせる。(**図－1**) 乗り換えターミナルをつくり出すには、既設の2つの鉄道が交差する地点でターミナル再開発を実施するのと、地下鉄線を国鉄あるいは私鉄の既設駅まで延長して、積極的に乗り換えターミナルをつくるのと2つ方法がある。

一方、自動車交通についても梅田をとりまく環状道路をつくって通過交通を迂回させる (**図－2**)。梅田をとりまく新御堂筋線・国道一号線、西横堀線 (延長) ならびに北野都島線が一方通行、4車線の環状道路とする。そして梅田に集中している御堂筋線など6本の道路を、阪急・阪神前で遮断し、行き止まり道路 (クルドサック) とする。梅田地区だけに発着する自動車交通は、環状道路から分岐するクルドサックに沿って出入りするので、スーパーブロック内部での通過交通は一切消滅することになる。(**図－3**)

しかし、かって梅田に集中していた大量の自動車交通を一度に遮断し、これを4車線の平面道路に乗せるこの案は、現在でさえ交通渋滞をおこしているのにこれではとてもさばき切れないという懸念もある。この環状道路方式は、梅田スーパーブロック内の交通混雑を外部の周辺地区へ押しやるものであるという批判もある。

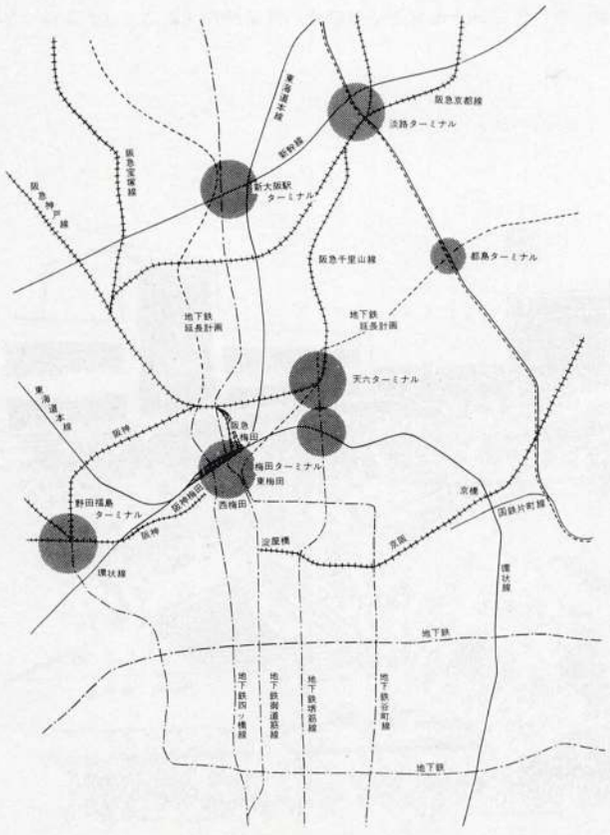
大阪市では過去10年間において、5年毎に自動車台数は倍増している。もし自動車の増加に見合った形で道路をつくっていけば、本環状道路は二層・三層の立体道路にせざるを得ないだろう。たとえ道路建設によつて一時的にくるまをさばくことができたとしても、いづれは自動車の増加と道路建設のイタチゴッコが始まり、結局自動車が都市を喰いつぶしてしまうことはロスアンゼルスの例をみるまでもなくアメリカの歴史的経験が証明している。

この問題は結局、公共交通機関を育成し、自動車優先政策をあらためるとともに、都市全体の土地利用の再編成と職、住近接の交通体系をつくり出していくことによって解決の方向が見い出されるものである。

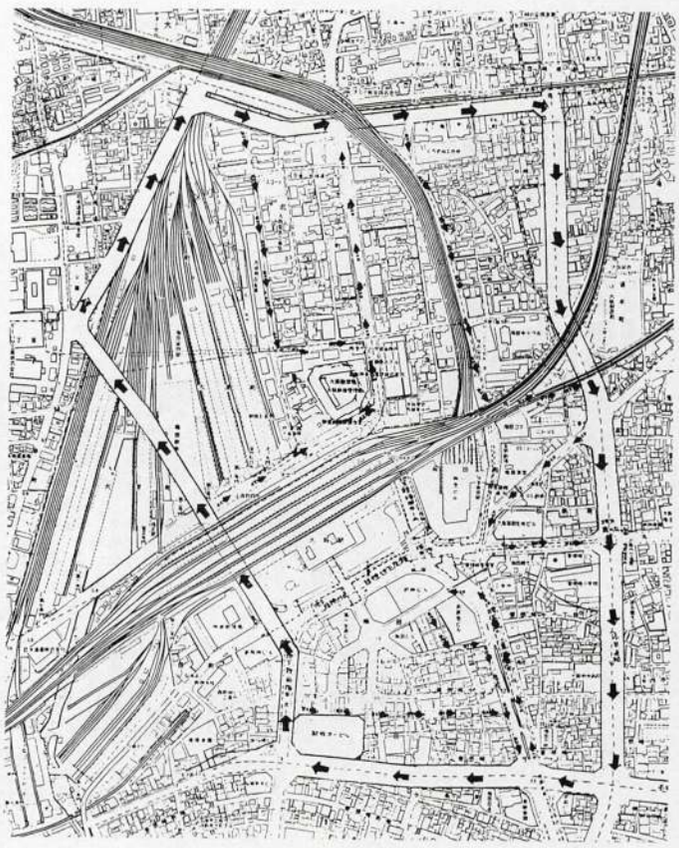
□歩行者天国の実現

梅田スーパーブロックの中央部に広大な歩行者天国を実現する。歩行者天国は3つのひろばから構成される。第1は、ターミナルの機能をもつ国鉄大阪駅・阪急・阪神前付近を〝ターミナルひろば〟とする。第2は、ダイヤモンド地区 (新阪急ビル、阪神ビル、第一生命のある大ブロックで、市はこの地区も地下街化しょうとしている) の中央部を〝市民ひろば〟として解放し、ここを市民が集まり交流する場所とする。第3は、国鉄大阪駅北側にある梅田貨物駅を都心の外側に移転させ、その跡地を〝文化・緑地ひろば〟とする。

モータリゼーションが激化してくると、だれでも〝地下は地上よりもすぐれている〟と思い込みがちになる。なるほど、地下では自動車の騒音や排気ガスに悩まされることがないし、交通事故の心配もいらない。雨風や夏の強い日射しをさけることもできる。しかしこれらのことは、単に地下街だけがもっている利点ではない。歩行者天国の創出によって地上でも立派に実現することができるし、第一、地上にはちゃちなアン



図－1　高速鉄道網ターミナル配置図



図－2　交通計画図

グラ・スカイやアングラ・グリーンとは比較にならない太陽と自然の空と緑がある。

問題はいかにしてこのような地上空間をつくり出していくかということである。これは単にくるまをシヤットアウトしただけでは実現できるものではなく、美しい空を取りもどすための公害対策、自動車を抑制する抜本的な交通体系の再編成などを含めた総合的な対策が必要である。特に重要なことは、地下街のもっている利点に充分対抗できるような、魅力ある建築空間を地下につくり出していくことである。地上を歩行者にとって楽しく、快適で、安全でかつ建築的に豊かな空間につくりかえていくことができれば、かって地上を利用していた人たちは地上にはい上ってくるに違いない。

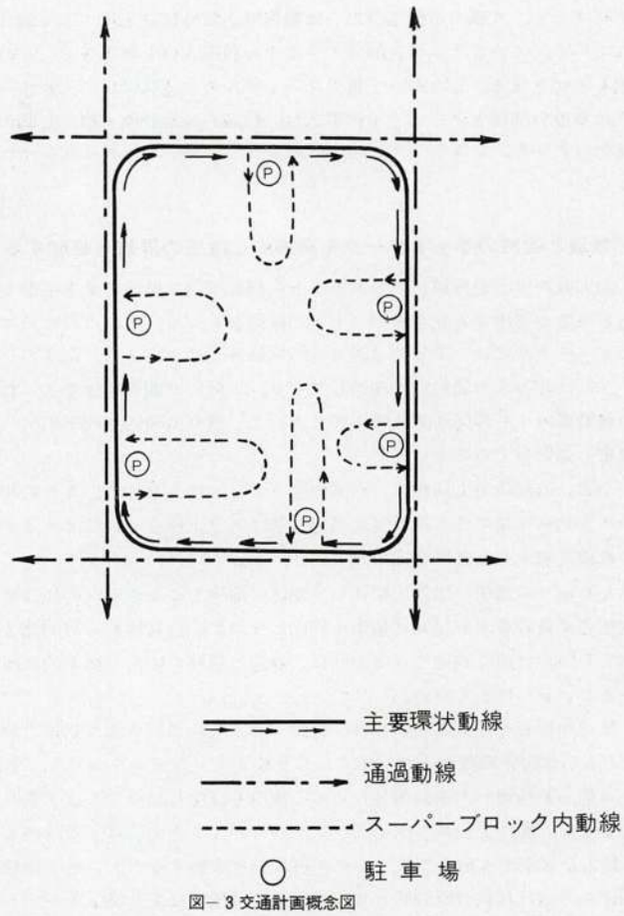
そのために、歩行者天国の主要な動線路には、日除けやひさしを設けて雨風や夏の日射しをさえぎるようにする。地上には各種専門店や飲食店、コーヒーショップなどをつくり、ひろばの中心には彫刻、花壇、噴水、植込みなどやストリート・ファーニチュアをふんだんに取り入れて市民が充分に憩えるようにする。

しかし、現実に電車の乗り換え口が地下にあり、そのために地下街ができてしまった以上、たとえ素晴らしい地上空間を創出してもそう簡単に歩行者を地上へさそい出せないかも知れない。多分電車の乗り換えは地下で、レクリエーションは地上で、買物については地上と地下の間で歩行者の〝争奪合戦〟が演じられるかも知れない。また天候・気候等の条件によって地上と地下との使い分けが行われるであろう。いずれにしても、地下から地上へまたはその逆の移動を便利にするために、歩行者天国の各所にオープン・カットの昇降口を設けてエスカレーターなどを取り付ける。また地下街の天井をぶち抜いて地下街をオープン・カットとし、そこへ太陽の光を導入する。ここでは歩行者は動線的にも視覚的にも地上と地下との断絶を意識しなくなり、両者の空間的な連続性にある程度確保される。

歩行者天国の創出によって、徐々に地上が地下を制圧し、くるまのまち、アングラ人間のまち梅田が最後に太陽と緑のあふれる歩行者のまち、人間のまちにつくりかえられていくのである。

5 市民運動と対案づくり

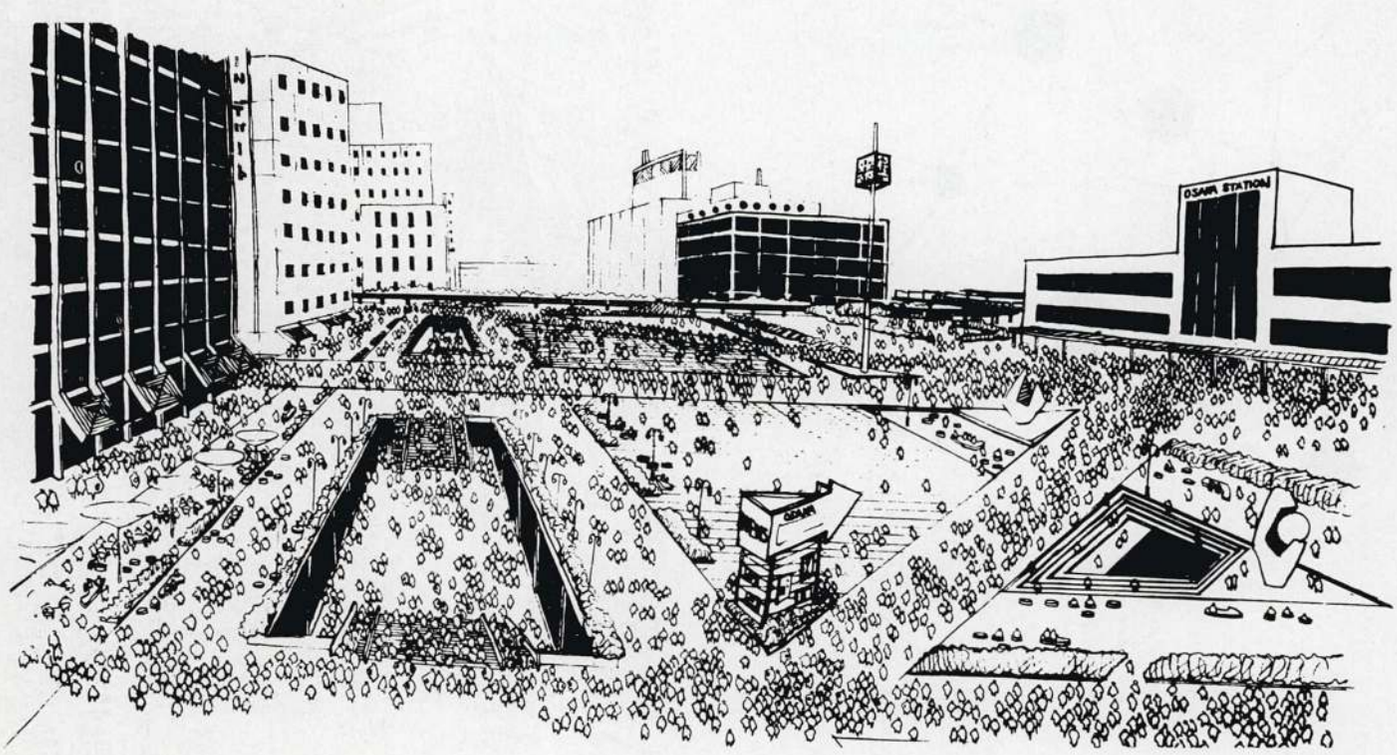
1970年4日、大阪の天六でガス爆発事故が発生した。これを契機として従来のように、事故発生後に原因を糾明するのではなくして、あらかじめ大きな災害が予測されるようなところを問題として取り上げ、警告



図－3 交通計画概念図

するという方向で調査と研究を行なうものとして、日本科学者会議、地下街労働者の組合である全日本商業労働組合と新建築家技術者集団（略称新建）の3団体が大阪地下街問題研究会が結成された。この中で新建は主として 梅田ターミナル地区再開発構想の絵づくりを担当した。

過去の建築運動をふり返ってみると、当局側がおしすすめようとしている開発行為に反対するために、市民あるいは住民の側から対案づくりが行われることは稀であったし、それはむしろ運動の発展にとって危険なものであるとさえいわれてきた。従来の建築運動は、京都タワー、奈良県庁舎、帝国ホテルあるいは鎌倉の景観保存運動に見られるように、



図－4 駅前広場

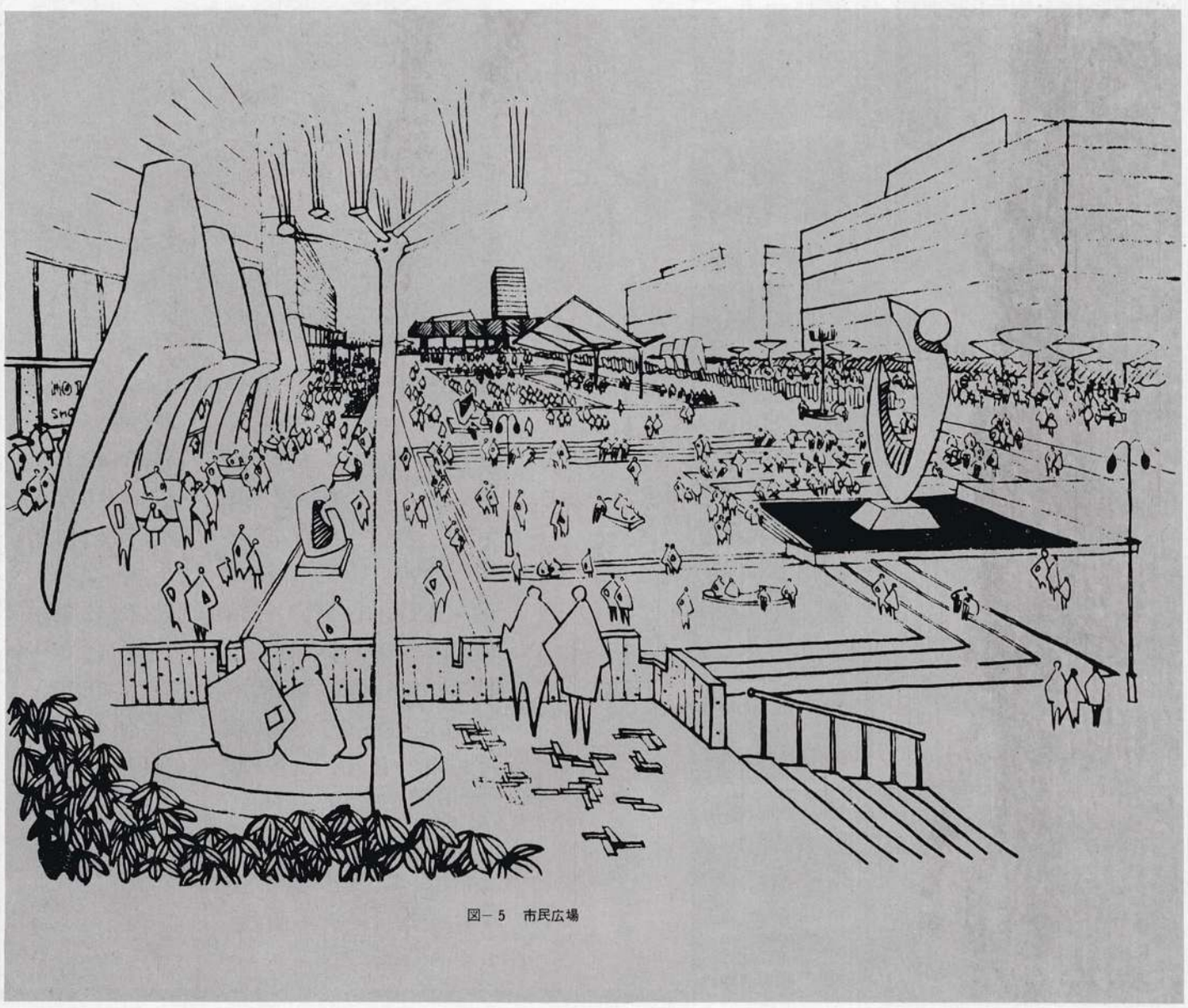
そのほとんどが文化財保存運動と深いかかわり合いをもっていた。このような状態の中では〝何もさせないこと〟〝破壊行為を中止させること〟が運動の目的であったから絵づくりなど必要なかった。また別の面からいえば、開発のスピードが速くて市民側は守勢一方で絵など描いている余裕がなかったという事情もあった。仮に市民の立場からヴイジョンを描くことができても、開発側が結局よいとこ取りにその計画を換骨奪胎してしまうおそれもあった。またヴイジョンが夢物語りになってしまっては、市民が安易な楽観主義におちいるという危ぐもあった。

しかし地下街反対運動はターミナル改造の運動であって文化財保存運動とはちがうこと、この運動を市民運動として発展させていくには具体的なイメージづくりが必要であったこと、そして最後の点は現在の市民運動の力はかつて見られなかったほど大きな盛り上がりを見せてきていることなどを確認したうえで、対案づくりがすすめられた。生活環境をよくしょうとする市民運動は、かってのように〝反対のための反対〟の段階から〝反対のための逆提案〟をする段階へと質的な転換期にさしかかろうとしている。

対案づくりにあたって、まず最初の提案は建築家、技術者から行われても、それが具体的にまとめられていく過程においては、市民参加による市民の提言として打ち出されてなければならない。そこでは、市民と建築家との間で批判と提言のフィートバックがたびたびくり返されながらマスタープランが市民のもととなっていく。このようなフイードバックの過程において、さらにきめ細かい段階提案（プログラミング）が生み出され、このことによって市民はヴイジョン達成のための運動の具体性と現実性を認識していくのである。しかしわれわれの運動はまだこのような段階には至っていない。

今後は、梅田ターミナルを利用する多くの市民が、まちづくりに対する積極的な提言と討論を深めていく中で、当初はほんの素案に過ぎなかった本構想案が運動の発展とともに、一つの確固たる青写真へと集約されていくものであると信ずる。

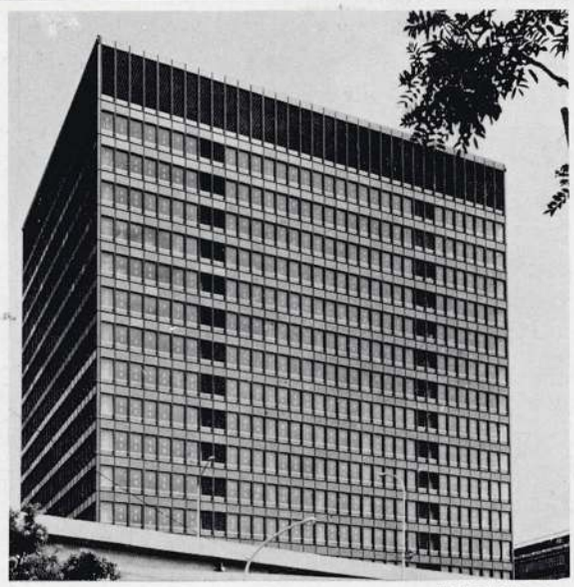
新建築家技術者集団大阪支部



図－5　市民広場



成果多きカーテンウォール一〇年



住友商事ビル



大阪銀行本店

■カーテンウォールの主な納入実績

イケマンビル	（昭和38年）
大阪証券会館	（昭和40年）
京都産業会館	（昭和40年）
大松ビル	（昭和41年）
麻布ビル	（昭和42年）
大阪駅前市街地ビル	（昭和45年）
住友商事ビル	（昭和45年）
竹平加入電報電話局	（昭和45年）
大阪銀行本店	（昭和45年）
尼崎信用金庫	（昭和46年）

※住友商事ビル、大阪銀行本店のアチーブメントを本社技術部までご請求ください。

ダイケンサッシ株式会社

本社　堺市松屋町1－6
〒590　TEL（0722）38－1141（大代表）
東京支社　東京都千代田区岩本町1－11－2（三泉ビル）
〒101　TEL（03）861－9421（大代表）
大阪支社　大阪市東区南本町5－14（南本町ビル）
〒541　TEL（06）252－1881（大代表）

データ通信と建築

●SERIES：3



DEMOS FRAP GEN

守谷　一彦

1．FRAPの特徴

FRAP（Frame Analysis Program）は立体あるいは平面骨組構造物が種々の荷重を受けた時に生じる節点変位，部材応力，支点反力を弾性域で求めるプログラムである。

このプログラムは任意の形をした構造物を対象とした任意形状骨組応力解析（以下、GENと呼ぶ）と、通常の建物のように、柱・はりで格子状に構成された構造物を対象とした建築骨組応力解析（以下、BLDと呼ぶ）との2つの部分から成り、データ通信用のプログラムとして十分なサービスを提供できるよう、つぎのような特徴をもっている。

1．1．入力の特徴

データの入力は自由書式によっているので、あらかじめ定まった欄に記入せず、自由にコンマで区切って記入すればよい。これによってデータは密につまり伝送時間が少なくてすむ。

入力レコード（データの1行分。カード1枚分に相当する。）の順序は一部のレコードを除いて、すべて任意である。各レコードには4桁以下の識別番号とコード名がふられる。識別番号により、すでに入力されたレコードを訂正したり消去したりすることもできる。訂正、消去の必要がなければ識別番号は入力しなくてもよい。レコードの内容はコード名によって区別するが、同じものが続く場合は、最初にコード名を入力すれば、それ以下は入力しなくてもよい。

また通常の形の断面の諸常数は、断面の形の寸法を入力するだけで自動的に求めることができる。部材にかかる荷重もほとんどの場合、手計算の必要がなく荷重の形と大きさ、及び寸法を入力するだけで自動的に等価な節点荷重に変換し、解析することができる。以上のような工夫を行なって入力データ量の軽減をはかっている。

1．2．ファイル

FRAPは入出力データをセンターの磁気記憶装置（ファイルと呼ぶ）に保存しておくことができる。入力データを保存しておくファイルをマスタ・ファイル、出力を保存しておくファイルをレポート・ファイルと呼ぶ。

FRAPはマスタ・ファイルを作成、更新する機能をもっている。入力量が多い場合、この機能により、エラー・データの修正や構造物の設計変更に対し、容易に応じることができる。

1．3．エラー・チェック

3段階のチェックを行なう。

第1段階は書式上のエラー・チェックであり、たとえば数値に小数点が2つある等を検出する

第2段階は1レコードのみに関するプリチェックである。このための限界値（たとえば最大の座標値とか節点番号など）はあらかじめデータとして入力する。

第3段階はレコード相互のエラー・チェックである。以上3段階のチェックを全て通過して、はじめて計算が実行される。したがって、誤ったデータで計算を行なうことはほとんどない。

1．4．出力の特徴

計算結果は出力用のファイル（レポート・ファイル）に出力される。

レポート・ファイルの出力量が多く、データ宅内装置（端末機）に出力するのが不経済か、時間的に不可能な場合には、センターのライン・プリンタにこれらを出力することができる。この場合、結果の一部を早く知りたければ結果の一部を別のファイルに出力し、このファイルを端末機に出力することもできる。このファイルをモニタ・ファイルと呼ぶ。また補助的な内容で、出力する必要のないものは、利用者の要求により出力から省くこともできる。

2．任意形状骨組応力解析（GEN）

2．1．GENの機能

GENは直線材で構成された任意の形をした骨組の応力解析をするプログラムで、骨組の形としては、立体フレーム・立体トラス・平面格子ばり・平面フレーム・平面トラス等が可能である。

応力解析は変位法による精算法（半バンド・ガウス消去法）で行なっている。マトリックス演算は構造体のもつ最小の自由度〔節点数×節点当りの自由度（立体フレームは6、立体トラスは3、等々）〕で行なうため計算時間が早い。

また種々の荷重状態を重ね合わせることもできさらにそれらを組み合わせた部材応力、反力を求めることもできる。傾斜座標系、断面主軸の傾き、等も考慮することができる。その他、強制変位、温度応力、初期ひずみ応力等も扱うことができる。表・1にGENの概要を示す。またGENは使用する内部記憶容量を160K字に限ったため、表・2のような制限がある。

2．2．入力

入力データの一覧表を 表・3に示す。入力データは一般に4種類に分けられる。計算上の条件に関するデータ、節点に関するデータ、部材に

表・1

骨組の形	種類	立体フレーム（6自由度） 立体トラス（3自由度） 平面格子ばり（3自由度） 平面フレーム（3自由度） 平面トラス（2自由度）
	形状	任意
	部材と節点の接合	剛、半剛、自由（ピン） （自由度のすべての方向に可能）
	支点	固定、半固定、自由（ピン、ローラー） 傾斜支点
荷重	外力・モーメント	部材および節点に作用
	その他	支点移動（強制変位） 温度応力 初期ひずみ（組立力）
計算	変形	軸方向 曲げ ねじれ せん断
	計算法	精算 最小の自由度で行なう
	応力の組合	可能

表・2

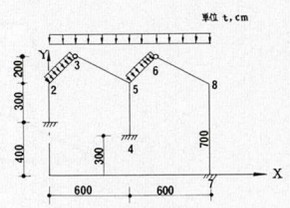
項目	制限値
節点数（支点を含む）	500
部材数	制限なし
荷重条件数	15
荷重組合せ数	15
部材断面形の種類	100
傾斜支点数	50
半固定支点数	50
支点移動数	全荷重条件を合計して 100
部材両端の節点番号差	（6自由度）　約25 （3自由度）　約50 （2自由度）　約75

表・3

分類	コード	内容	OP(注)
タイトル	TTL1	略称、タイトル	
プリチェック1用	GEN1	プリチェック1用データ	
コントロール	CNT1	せん断力考慮、ヤング係数等共通データ	OP
	CNT2	計算用パラメータ	OP
	CNT3	荷重条件の組合せ	OP
出力指定	O-G1	レポート・ファイルへの出力指定	OP
	O-G2	モニタ・ファイルへの出力指定（節点）	OP
	O-G3	同上（部材）	OP
節点	JNT1	節点の座標と状態	OP
	JNT2	傾斜支点	OP
	JNT3	半固定支点	OP
	JNT4	節点の座標（JNT1の代用）	OP
	JNT5	節点の状態（同上）	OP
断面形	SCT1	任意の断面形	OP
	SCT2	指定の断面形	OP
部材	MMB1	部材一般	OP
	MMB2	部材の断面常数	OP
	MMB3	半剛接合部	OP
	MMB4	部材一般（MMB1の代用）	OP
節点荷重	J-L1	節点荷重	OP
	J-L2	支点移動	OP
部材荷重	M-L1	通常の部材荷重	OP
	M-L2	任意の部材荷重	OP
	M-L3	温度応力	OP
	M-L4	初期ひずみ（組立力）	OP

（注）OP：場合により入力しなくてもよいもの

図・1　例　平面フレーム



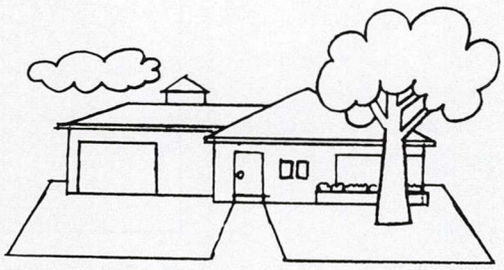
①部材（E＝2100t／cm²）

		A	I
はり材	H－194×150×6×9	39.01	2690
柱材			
①－②、④－⑤	H－150×150×7×10	40.14	1640
⑦－⑧	H－200×200×8×12	63.53	4720

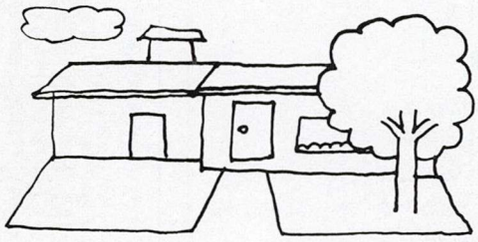
②荷重

荷重条件1.	風荷重	－0.003t／cm
荷重条件2.	等分布鉛直荷重	－0.001t／cm
荷重組合せ1.	（条件1×1）＋（条件2×0.4）	

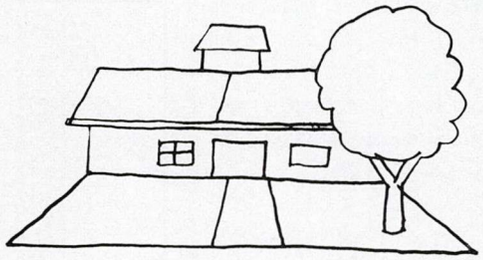
正確なコミュニケーションは、



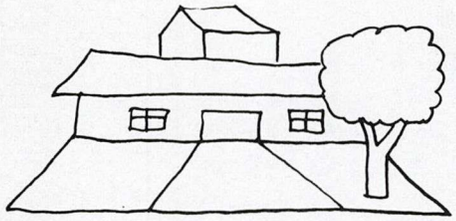
Aさんから……Bさんへ



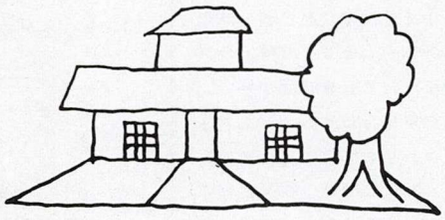
Bさんから……Cさんへ



Cさんから……Dさんへ



Dさんから……Eさんへ



目と手で伝えていくコミュニケーション…

耳から耳・口から口へのコミュニケーション…

そして、書類によるコミュニケーション…

いずれも“正確さ・ハイスピード”が第一条件です。

ゼロックスなら、文書や図面やグラフや図形など

あらゆるグラフィック情報を、送り手から受け手へ

正確・迅速にコミュニケーションできます。

そこから、お互いの理解が生まれ、信頼が深まります。

好ましい人間関係が形成されます。

これこそ、正確なコミュニケーションのもたらす

大きな利益といえますね。

ビジネスをビューティフルに

XEROX®

富士ゼロックス株式会社
〒107 東京都港区赤坂3−3−5 TEL(585)3211(代)

あなたに何をもたらすでしょう。

関するデータ、荷重に関するデータの4つである。この4種類のデータが満足されればよい。

図・1のような構造物（平面フレーム）を使って具体的な入力を説明する。（表・4参照）

構造物を、架構計画にしたがって線材でモデル化する。構造の種類・荷重条件の数・節点数・部材断面の種類数・解析条件・出力指定、等々の与条件を設定する。（表・4において、8行目から11行目、即ち識別番号2まで）つぎに座標軸を設定して節点の座標値を決め、節点、支点の支持状態を決める。（識別番号3～10まで）各節点を結ぶ部材に対して断面を設定し、部材端の支持状態を決める。（識別番号11～17まで）つぎに荷重条件にしたがって、節点荷重、部材荷重を設定する。（識別番号18～23まで）識別番号24は注釈行である。データ記入欄でブランクが10桁以上続くとそれ以下はデータと見なされない。したがって注釈を入れることもできる。

以上のデータに、入出力のファイル関係の指定を行なう基本レコード（6、7桁目）と、ライブラリ・コマンド（1・4・5・33・34行目）を加えて、入力データは完成する。2・3・35行目はセンタからの応答で、BSNは一括処理の曜日（Cは火曜日）と受付番号を、BRTは受付時刻を示している。

以上のような入力方法の他に、節点あるいは部材の入力は、まとめて入力することもできる。たとえば上記の例では、節点ごとに各座標値を入力したが、座標値が同じものが多い場合（例題の1節点と2節点のX座標値は同じである。その他、格子状のものに多い）、座標値ごとにまとめて節点番号を入力することもできる。部材についても同様の手法が用意されている。

以上のように、入力方法も構造物に適した方法を利用することによって入力の省力化をはかることができるようになっている。

2.3. 出力

計算結果としてつぎのものが求まる。

1）部材の総延長と総体積
2）等価節点荷重
3）節点の変位と回転
4）部材応力・および応力の組み合わせ
5）支点反力・および反力の組み合わせ
6）不平衡力・およびその最大値、平均値

単位は入力の単位がそのまま出力の単位になるので、入力データ内で統一されていなければならない。

表・5に例題の出力の一部（節点変位、部材応力）を示す。

節点変位は入力時に設定した座標系（基準座標系と呼ぶ）で表わされ、部材応力は材軸方向をX軸とする座標系（部材座標系と呼ぶ）における材端反力の形で表わされている。共に右手系直交座標系である。

（もりや　かずひこ　日本電信電話公社設計課）

```
BAT

      ｺﾁﾗ ﾊ DEMOS 631ｾﾝﾀ ﾃﾞｰｽ

      ﾃﾞｰﾀ ﾗ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ON
LIB FRAP
111
      ,T
      TTL1EX-02   *** PLANE RAHMEN  (EXAMPLE-02)  ***
      GEN1 2,2,8,3,1200,900                    DIMENSION (TON, CM)
    1 CNT1  ,2100
    2 CNT3 1,1,1,2,0.4
    3 JNT1 1,    ,400,,110001
    4       2,    ,700
    5       3, 200,900
    6       4, 600,300,,110001
    7       5, 600,700
    8       6, 800,900
    9       7,1200,    ,,110001
   10       8,1200,700
   11 SCT1 1,39.01,,,2690                    GIRDER
   12 SCT2 2,4, 15.0, 15.0, 0.70, 1.0            COLUMN-1 (1-2, 4-5)
   13      3,4, 20.0, 20.0, 0.80, 1.2            COLUMN-2 (7-8)
   14 MMB4 1, ,1,, 2,3, 5,6
   15      1,1, ,, 3,5, 6,8
   16      2, , ,, 1,2, 4,5
   17      3, , ,, 7,8
   18 M-L1 2,3,1,10,2,,-0.003
   19      5,6,1,10,2,,-0.003
   20      2,3,2,10,5,,-0.01
   21      3,5,2,10,5,,-0.01
   22      5,6,2,10,5,,-0.01
   23      6,8,2,10,5,,-0.01
   24 C    ** THE END **
OFF
/EOJ

      RSN=C_18, BRT=12-36-23
```

EX-02 - 6

***** JOINT DISPLACEMENT *****

NO	L		D-X	D-Y	D-RZ
8	1		1.486E+00	-1.890E-03	-1.721E-03
	2		2.422E+00	-1.855E-02	4.593E-04
7	1	SPT	0.000E-01	0.000E-01	0.000E-01
	2		0.000E-01	0.000E-01	0.000E-01
6	1		1.405E+00	-1.689E-01	0.000E-01
	2		1.867E+00	-1.145E+00	0.000E-01
5	1		1.239E+00	-3.079E-03	-1.502E-03
	2		7.710E-01	-3.685E-02	-1.494E-03
4	1	SPT	0.000E-01	0.000E-01	0.000E-01
	2		0.000E-01	0.000E-01	0.000E-01
3	1		1.038E+00	-4.109E-01	0.000E-01
	2		3.676E-01	-8.645E-01	0.000E-01
2	1		6.272E-01	-7.891E-04	-2.802E-03
	2		-4.723E-01	-1.309E-02	-2.083E-03
1	1	SPT	0.000E-01	0.000E-01	0.000E-01
	2		0.000E-01	0.000E-01	0.000E-01

EX-02 - 7

***** MEMBER FORCE (MEMBER AXIS) *****

I- J	L	AXIAL	SHEAR-Y	BEND-Z	AXIAL	SHEAR-Y	BEND-Z
1- 2	1	2.160E-01	3.091E-01	7.777E+01	-2.160E-01	-3.091E-01	1.498E+01
	2	3.583E+00	-1.172E+00	-1.525E+02	-3.583E+00	1.172E+00	-1.992E+02
CMB	1	1.649E+00	-1.598E-01	1.676E+01	-1.649E+00	1.598E-01	-6.471E+01
2- 3	1	-6.588E-02	3.713E-01	-1.498E+01	6.588E-02	4.772E-01	0.000E-01
	2	3.362E+00	1.704E+00	1.992E+02	-1.362E+00	2.957E-01	0.000E-01
CMB	1	1.279E+00	1.053E+00	6.471E+01	-4.791E-01	5.955E-01	0.000E-01
3- 5	1	4.319E-01	-2.134E-01	0.000E-01	-4.319E-01	2.134E-01	-9.544E+01
	2	7.113E-01	1.199E+00	0.000E-01	-2.711E+00	2.801E+00	-3.582E+02
CMB	1	7.164E-01	2.662E-01	0.000E-01	-1.516E+00	1.334E+00	-2.387E+02
4- 5	1	6.320E-01	5.916E-01	1.309E+02	-6.320E-01	-5.916E-01	1.057E+02
	2	7.564E+00	2.975E-01	7.206E+01	-7.564E+00	-2.975E-01	4.695E+01
CMB	1	3.657E+00	7.106E-01	1.598E+02	-3.657E+00	-7.106E-01	1.245E+02
5- 6	1	-3.728E-02	3.880E-01	-1.026E+01	3.728E-02	4.605E-01	0.000E-01
	2	3.338E+00	2.101E+00	3.113E+02	-1.338E+00	-1.006E-01	0.000E-01
CMB	1	1.298E+00	1.228E+00	1.143E+02	-4.979E-01	4.203E-01	0.000E-01
6- 8	1	4.251E-01	-1.810E-01	0.000E-01	-4.251E-01	1.810E-01	-8.094E+01
	2	3.276E-01	1.301E+00	0.000E-01	-2.328E+00	2.699E+00	-3.126E+02
CMB	1	5.562E-01	3.394E-01	0.000E-01	-1.356E+00	1.261E+00	-2.060E+02
7- 8	1	3.520E-01	2.993E-01	1.286E+02	-3.520E-01	-2.993E-01	8.094E+01
	2	3.455E+00	8.749E-01	2.999E+02	-3.455E+00	-8.749E-01	3.126E+02
CMB	1	1.734E+00	6.492E-01	2.485E+02	-1.734E+00	-6.492E-01	2.060E+02

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス

SIPOREX



軽量

比重0.5

コンクリート¼の重量

断熱

コンクリートの10倍の断熱性

耐火

法定耐火材料

宝塚市・I邸
設計　シポレックス販売株式会社
施工　シポレックス販売株式会社
使用場所　ヤネ・ユカ・カベ・マジキリ

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

シポレックス販売株式会社

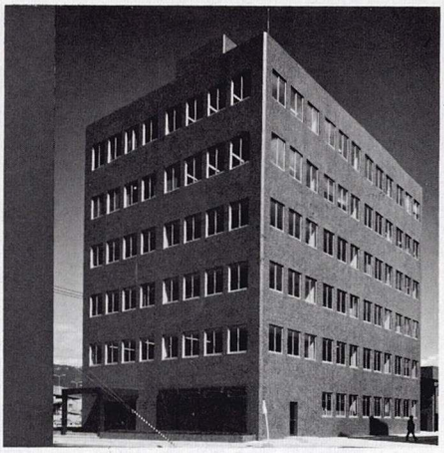
本社・東京支店　東京都千代田区神田司町２－６（平沼ビル）
電話　東京（256）代表３４５１
大阪支店　大阪市西区立売堀北通１－90（第三富士ビル）
電話　大阪（538）代表０５２１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３－２（大商ビル）
電話　名古屋（581）代表７４２１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



721．南大阪ボーリング場

設計：KK大建設計
施工：KK竹中工務店
a．大阪市西成区津守町東6丁目57
b．4,116.08 m²
c．8,378.63 m²
d．RC造3F、外壁ALC
e．昭和46年2月～昭和46年8月



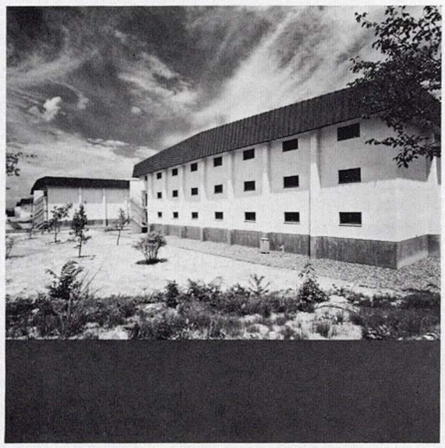
722．神戸税関監視部

設計：近畿地建営繕部
施工：東急建設KK
a．神戸市葺合区浜辺町8丁目
b．本館417.48 m²他計741.67 m²
c．本館2,504.88m²他計2,943.63 m²
d．本館RC造、6F、P1、付属屋RC造、2F
e．昭和45年9月～昭和46年10月



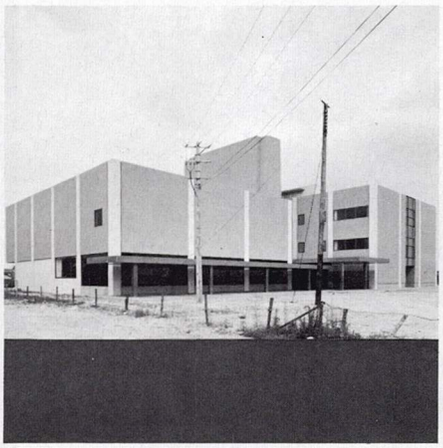
723．住宅商事メーゾン千里

設計：KK日建設計
施工：鹿島建設KK大阪支店
a．豊中市新千里東町2丁目4の3
b．541.426 m²
c．7,458.56 m²
d．SRC造、14F、B1
e．昭和45年5月～昭和46年8月



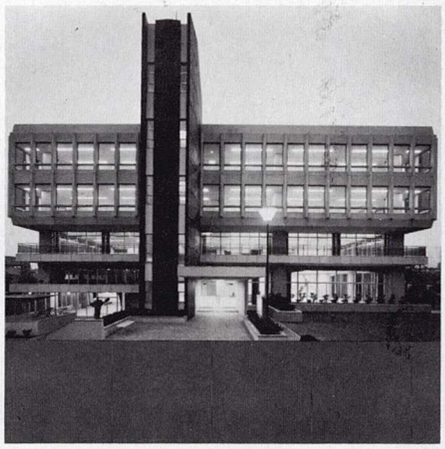
724．サントリー八日市蔵置場

設計：KK安井建築設計事務所
施工：鹿島建設KK大阪支店
a．滋賀県八日市尻無町字布引山1437
b．1,461.57 m²
c．2,923.14 m²
d．壁柱RC造、屋根S造
e．昭和46年1月～昭和46年7月



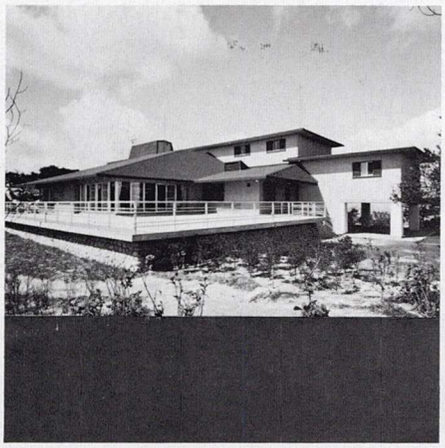
725．伊丹図書館資料館

設計：KK山下寿郎設計事務所
施工：大成建設KK大阪支店
a．伊丹市千僧寺今池
b．1,500 m²
c．4,216 m²
d．RC造、図書館3F、PH1
資料館2F、B2
e．昭和45年7月～昭和46年8月



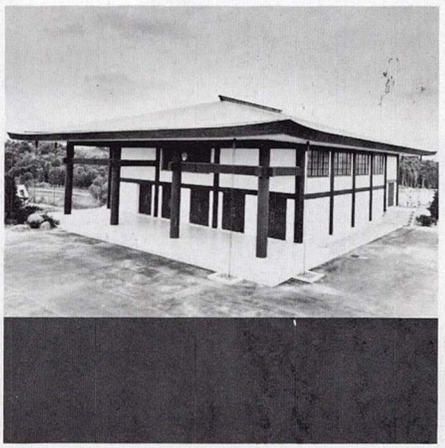
726．吹田市立図書館

設計：KK関西建築事務所
施工：鹿島建設KK大阪支社
a．吹田市出口町787
b．856.981 m²
c．3,296.996 m²
d．RC造、4F
e．昭和45年12月～昭和46年11月



727．六甲保養所

設計：KK大建設計
施工：阪神土木工業KK
a．神戸市兵庫区有野町
b．820 m²
c．1,466 m²
d．RC造、1部3F
e．昭和45年10月～昭和46年6月



728．公益センター

設計：井原建築士事務所
施工：KK松村組
a．大阪府吹田市新田
b．1,255.136 m²
c．1,994.141 m²
d．大斉場棟RC造、2F、事務所室棟S造、2F、その他
e．昭和46年2月～昭和46年10月



729．大東市立市民会館

設計：KK吉田建築事務所
施工：KK松村組
a．大東市曙町400番地
b．1,592.727 m²
c．5,082.677 m²
d．SRC造、5F、1部S造、2F
e．昭和45年8月～昭和46年9月

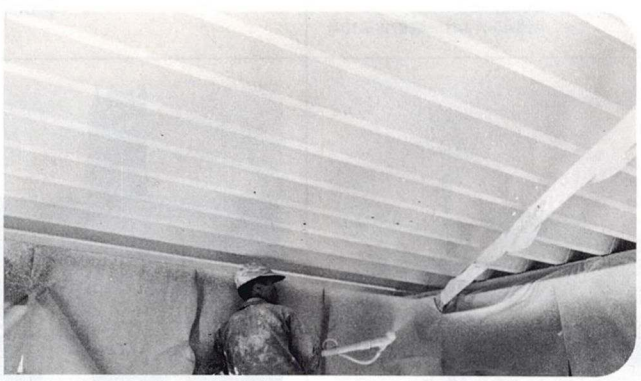
A rchitect

湿気に強い **ウォールコートM**
建設省不燃認定 第0004号

吸音率の高い **ミクライトAP**
建設省不燃認定 第0003号

B uilder

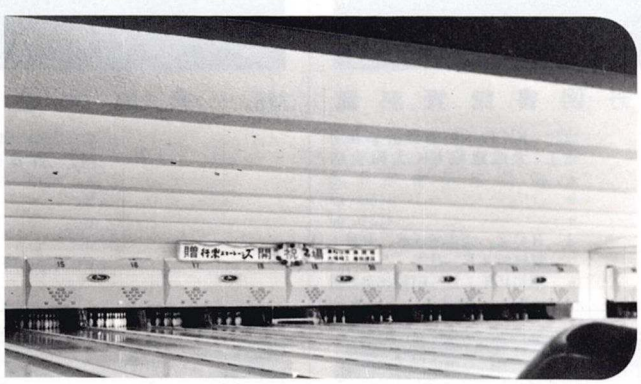
もう水適はおちません





厚6㎜吹付で18時間結露しません。
ただし温度差30℃・湿度98%の悪条件

小さな声でも聞こえます



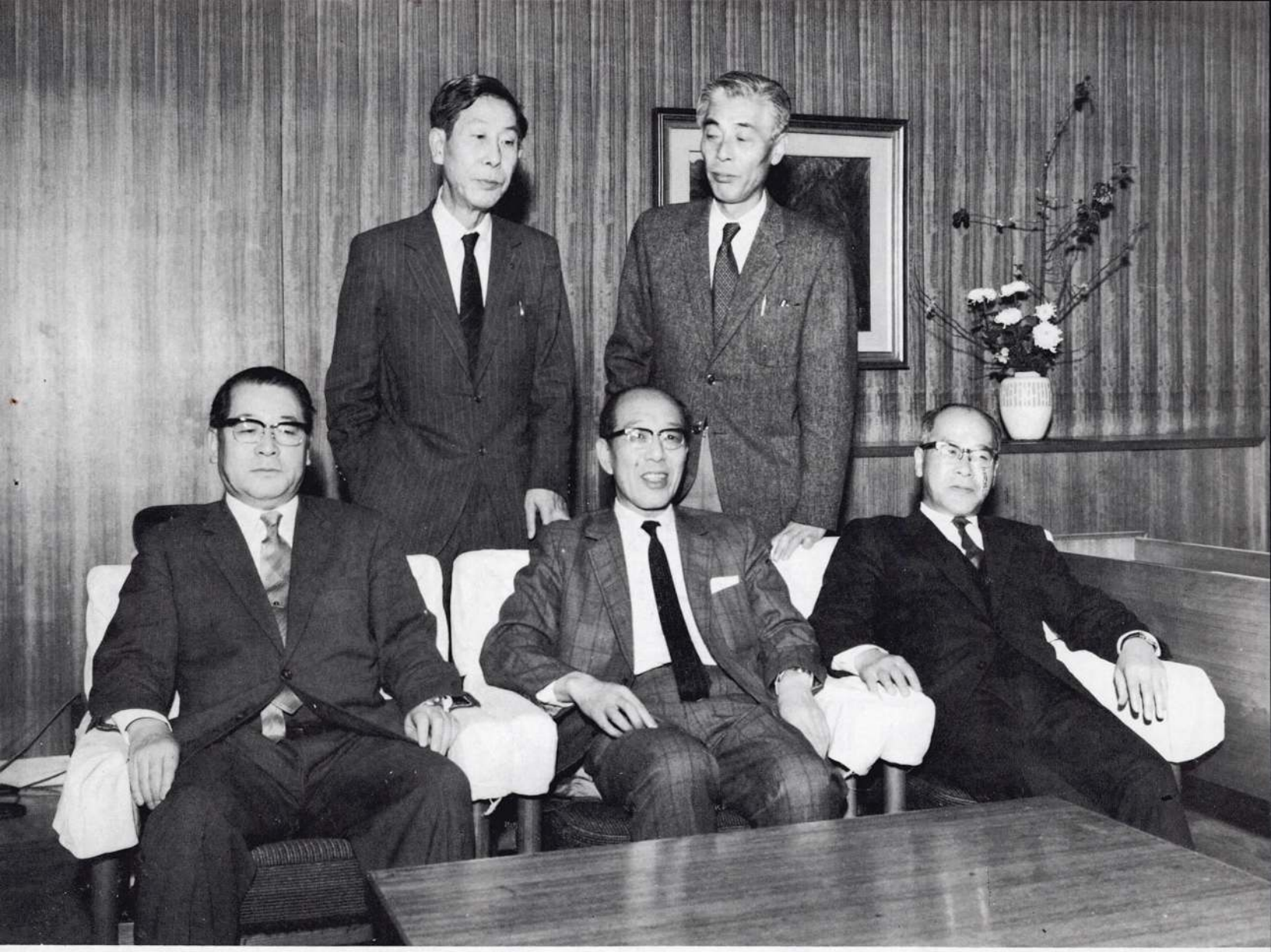


厚9～12㎜吹付工法で約65～78%の
吸音率があります。

C onsultant

ひる石吹付材に取組み品質・工法の改良を重ねて10年．製造から現場責任施工の一貫体制で多くの実績を残してまいりました

ABC の建材
(株) ABC商会
大阪市東淀川区西中島町4－8－3
☎〈06〉303－1171（代表）
京都〈075〉312－6712～3　神戸〈078〉231－0282～3
水島〈0864〉46－1515　高松〈0878〉62－6221
松山〈0899〉43－7760　ショールーム〈06〉943－2831
本社・東京都千代田区永田町2-12-14 ☎〈03〉580－1411



クラスメート

80 〔京都大学　昭和12年卒〕

左より（敬称略）

大賀郁夫　（文部省管理局教育施設部）
村島　彰　（KK 田中小西建築事務所）
白石博三　（京都工芸繊維大学）
渡辺道輝　（KK 渡辺建築事務所）
齋藤次郎　（大阪工業大学）

昭和46年11月20日
科学技術センター・サイエンスクラブにて

昭和12年京大建築学科卒業生は、16名だった。そのうち2名が亡くなり、現在関西にいるのはこれだけである。実に久しぶりに顔が揃ったのだが、卒業以来、永かったような、短かったような気がする。お互いに、頭は白くなり、あるいは禿げた。孫がふたりもいる者までである。9時になったら、もう帰ろうという者もいる。卒業後、35年たっているのである。

しかし、気持だけは、卒業当時とほとんど変っていないように思える。水割りを2杯飲んだら、ものいいっぷりは、たちまち昔に戻った。35年の経過が信じられなくなる。

村島は、大阪市役所に永くいて、その後、松村組を経て現在は、田中小西建築事務所の取締役である。学生時代から熱心だった碁は、ますます強くなって、5段ぐらいになっているのではないか。

ナベさんこと**渡辺**は、清水、兵隊、鹿島を経て、昭和26年から、おとうさんの事務所に戻り、今は所長の身である。学生時代のアイスホッケーのスティックをクラブに握りかえ、当日もゴルフで遅刻してきた。

ガーチャンこと**大賀**は、朝鮮総督府の役人から、引揚げてきて文部技官となり、あちこちの大学の施設課長を歴任し、40年から文部省の大阪工事事務所長をしている。

斉藤は、東洋鋼材で構造計算をしていたのが、昭和22年から労働省に移り永年勤続し、43年からは大阪工大教授になっている。

かく申す**白石**は、日本を飛び出して大連の南満工専の先生となり、18年の暮れに京都に舞い戻って以来、京工大の古狸となってしまった。学生時代、建築の勉強をそっちのけにして描いていたヌードは、今も研究室の壁に掛けてあるが、近頃は雑務多忙で絵を描く暇は作れそうにない。

卒業後の同級生の経歴を話しあってみると、かなり何度か転職している。一度しか転職していない者もあるが、普通は二・三度、多い者は五度変っている。そのほかに兵隊の経験がある。

本当にのんびりしていた、古き良き学生時代。空腹で寒かった戦時中。繁栄しているのかしらないが、あまりにあわただしく追い立てられるような現代。戦前、戦中、戦後の三時代を生きてきた者の感慨は多い。京大建築科の本館は残っているが、テニスコートのあったところには、5階建の校舎が建ち、当時の先生は、もはやひとりも京大にはおられない。今から、さらに35年後、いや、そうは命がもつまい、15年後には、私たちはどうなっているだろうか。

（白石記）

人間尊重時代の
インテリアづくりに…

新光クロスのユニシリーズ

ユニテックス
ユニウォール
ユニロン

ハウジングの先端をゆく感覚と技術で業界をリードする新光クロス。その高級壁装材―総合見本帖ユニシリーズ。
'72年'73年のための新作を取りそろえていよいよ登場！
激動する'70年代を生きぬくための仕事の場、憩いの場をずばり、インテリアする業務用から家庭用まで、あらゆるフィーリングと目的にかなった素材と色柄を豊富にコレクトしています。

SHINKOS
WALL COVERING

新光クロス
株式会社

本社／〒550 大阪市西区北堀江御池通り3-18 ☎06(538)7321大代表
支店／〒103 東京都中央区日本橋人形町3－4 ☎03(661)0271～5
出張所／〒730 広島市外安芸町下温品 2 5 4 ☎0822(89) 1248～50

建築の眼

□組織を考える

近代は個人主義の時代であったが、現代は組織の時代であるという。

建築設計の分野においても社会、経済、文化の急激な変化にともなって建築と呼ばれる領域が著しく拡大され、その結果フリーアーキテクトが次第に力を失い、それに代って大組織の設計集団による活動が主力を占めるようになってきた。近代においては建築設計の目標はその建物が持つ機能的、芸術的価値の普遍性、永続性にあったが、現代においては設計の評価はその建物が社会に与える指導的影響力の大小によって決定される。現代人は魅力を感じる組織に自らを投入し、その所属する組織の力を利用して自己の個性を最大限に発揚しながら社会に寄与するよろこびを感じ始めている。このような組織人を志向する設計技術者達によって活動している建築設計集団は、その仕事の性格上社会への影響が極めて大きいだけに強力な統卒者を求め、また自己の組織を絶えず向上成長させる必要性に駆られている。彼らはまた建築の領域外のあらゆる専門分野との思想、技術、感情の交流を切望し、ここで摂取した精神的栄養剤は彼らの思考を柔軟にし技術的決定にバイタリティを与える。

日々に変動する社会的情況に対して鋭敏に対応し、先見的な深い洞察力と広範な専門技術に裏付けされた建築提案を活発に生産できる組織こそ現代社会が求める設計集団のイメージではなかろうか。（Y）

□ものの原像

大阪府下の石川と大和川流域の平野部は、堂々たる大前方後円墳の群集地として有名である。かつて、これらの古墳は、坦々として開いた田園景観の中に濃い緑色の島の姿をして点綴し、見るものに強い印象を与えた。最近、府下一帯の市街化の進展にともなって、これらの景観の多くは、屋根瓦の海の中に埋ぼつしかけている。それらの多くは、今後は市街地の中の緑の島として生きつづけていくであろう。

いずれにせよ、私の意識の中の古墳は、ものごとの始めから常に、森あるいは緑の島として、開いた風景の中の充実した拠点として焼きつけられていた。ところが、この印象は、先日、1/25,000の地形図を前にして、とつぜん私の中でくるりと裏を返したのである。ものの始まりにおける古墳は緑の島であるはずはなかった。それどころか、前方後円墳は、これらの平野をおおってうちつづく常緑広葉樹の樹海のただなかに切り開かれた真空地帯、個々の広場のなかに白々と輝いているに違いない。地形図は、突然その真の姿を私の意識の中に復活させたのである。それはまさに、現代の風景の裏返しの観念であった。私は、これまでネガを見ていたにすぎないのである。（K）

□断絶珈琲

行きつけのコーヒー店が改装した。板壁が白いビニールクロスに…、ベンチと呼んでいた木製椅子が、朱色のソファーに変った。女主人は得意である。そして80円のコーヒー代はしばらく据え置くとして、いずれ100円にしたいという。改装してからこれ迄のように通わなくなった。折角、あんた達の為にキレイにしたのにとママさんは機嫌が悪い。私達の為なら改装しない方が良かった。コーヒーが安くて、うまくて、気楽に座れるところさえあればそれで結構。ママさんはそれがわからないという。

一種の断絶である。先日、ある病院を見学した。この病院の自慢の１つに特別食堂がある。眺めも良い。チョッとしたレストラン位の設備とメニュー、値段もチョッとしたもの。給食が患者の気に入らなくて……という事だった。食堂はもう１つある。地下室であまり気持ちの良い部屋ではない。しかし、いつも混んでるとみえた。特別食堂の利用度はマアマア。それも医者と見舞客が殆んど、との事だった。それで……とわが喫茶店経営者はいう。それだけの事や、どっちもキレイにしたらいいのにネエ……〝コーヒー値上げ近し〟常連の口がやかましいこの頃である。（M）

□建築科の教員

今年度も残り少なくなり、学校でも新年度の諸準備が始められるようになったが、その中で一番頭の痛いものの１つは教員の欠員補充である。特に工業高校では各専門の分野に分かれているのでかなりむづかしい問題を含んでいる。ことに建築科のような学科では有資格者の絶対量が他の学科に比べて少ないからその苦労はひとしおである。ところで、大学の建築学科卒業生は年間6,000人だということであるから、教員の補充ぐらいには事欠かないように思われるが、毎年の採用試験の受験者数は少く、しかもその大半は実業界に流れてしまうのが例であり、他学科に比べて建築科特有の現象であると関係者をなげかせている。それでは、どうして若い人達がこの職業を避けようとするのであろうか。案外「食わず嫌い」ではないのかとも思われるが、いつか本当の意見を聞いてみたいものと思っている。

教育という仕事の成果は長い年月を経なければ目に見ることはできないけれども、いつの日か、必ずその喜びをつかむことのできるものである。有能な建築界の後輩を育成するこの職業に飛込んでくれる若い人達の１人でも多いことを切望するゆえんである。（I）

山本純孝
安井建築設計事務所神戸事務所長

紙野桂人
大阪大学工学部助教授

森谷晋作
近畿地建営繕設計官

乾亮三
大阪府立西野田工業高等学校定時制主事

一月号より六月号まで上記四氏で担当



建築用仕上げ材料

マルチタイル
multitile

つやのある表面と深い立体が生みだすゴージャスなふんい気
高級意匠壁を演出するシームレスタイルです――――
＜牧場・高原・山脈・富士＞四種のデザインを用意しました。

関西ペイント

建築と社会

1972
Vol.53

冬季オリンピックと札幌 1

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 島村 昇

The Architectural Association of Japan

年頭のことば　72年を迎えて……日本建築協会会長　塚本　猛次… 1
昭和46年度中に竣工した新建築…… 2
本年の抱負　……日本建築協会常設委員会…26
会告　阪急ターミナルビル新築工事の見学会。灘の生一本菊正宗嘉宝蔵の見学会。会員の受賞。オール建築人ボウリング大会。第6回若い会員の集い―ふるいまちとあたらしいまちシリーズ(3)ゲストを囲んで総括座談会。建築データシートの『バックナンバー』の販売について。建築データシートの継続発行について。『未来の生活とインテリア』でイメージされるものを募集……27
法令コーナー53.　建築基準法第38条の建設大臣の認定基準について(案)（伊地知徳春）……45
建築と社会ニュース　京都の景観はみんなのもの。「難波宮址を守る会」要望書。近鉄学園駅駅前総合開発計画の表彰式。文化・芸術を発展させる行政を要望。虹の街と滝の街オープン。セキスイハウスPACシステム。大阪科学シンポジウムで都市問題。市庁舎建設をめぐる中の島問題。新建大阪も要望書提出。ライト設計の旧山邑邸保存の動き……47
読者の頁　鼓動の年から躍動の年へと誓う「新建」第1回大会（蓮佛亨）。―建築家第2回大会開かる「建築家の危機」をテーマに（蓮佛亨）。新刊紹介・札幌オリンピック施設……51
レポート　都市再開発と地下街問題……角橋　徹也…55
データー通信と建築3.　DEMOS FRAP (GEN) ……守谷　一彦…61
スケッチブック　最近竣工した新建築9点（№721～729）……65
クラスメート80.　京都大学・昭和12年卒……67
（大賀郁夫・村島彰・白石博三・渡辺道輝・斎藤次郎）
建築の眼　組織を考える（山本純孝）　ものの原像（紙野桂人）……69
断絶珈琲（森谷晋作）　建築科の教員（乾亮三）
海外写真　マオリの家と彫刻1……写真と文・岩宮　武二…73
コンクール　第17回工高生デザインコンクール入選作品
（設計課題　住宅団地にたつ集会所）……74

特集＝冬季オリンピックと札幌

札幌オリンピック競技施設の特色……遠藤　明久… 78
札幌オリンピック冬季大会競技施設の紹介…… 80
札幌オリンピック村の基本計画……太田　実… 91
札幌市の道路計画・地下鉄計画……十楽寺直彦… 97
札幌市の都心部および団地の地域暖房……堀江　悟郎…101
札幌周辺の新建築……北海道開拓記念館・厚生年金会館・市庁舎・明治生命ビル・札幌テレビ・その他15点 …105

都市の開発的保存 3.　DUBROVNIK―無用のシンボル・城壁……加藤　晃規…115
技術の頁 113.　構造部門　特殊高力ボルトの種類と特長……脇山　広三…119
月報　日本建築協会月間の動き（昭和46年11月分）……122

編集人　松井昭光
印刷　昭和47年1月20日
発行　昭和47年1月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3―37
電大阪231―9648
振替口座大阪39975
印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電大阪361―2091
売価　1部300円・送料共

昭和46年度編集委員会名簿

編集委員長　知見義夫　岩口勝　小林満
鳥田家弘　安田誠一　中山富久　片口幸彦
山田勝成　永谷二郎　塚本正司
小沢信嘉　藤沢隆
編集理事　小島孜　垂水英司
岡橋作太郎　安田丑作　池田恵次　荒谷信保
北垣智造　安田孝　森埜和枝　松尾純
西嶋徳太郎　竹鳴祥夫　安永耕二　松原徹雄
小林清　片方信也　永井一彦　鈴木俊世
奥島正一　森本信明　森本千之祐　三谷真喜子
浅沼猪之吉　三輪嘉男　平内祥央　中谷麻差男
白井周二　加藤満　中馬宗武
今元康彦

◀次号特集予告：600号記念号
大正6年創刊以来2月号で600号を数えるので創刊から昭和前年までを中心として，都市・住宅・防災・コンペの論文の復刻・解説を収録。

◀3月号特集予告：インテリアデザイン
A　インテリアデザイン論・インテリアデザイン分野における職域・インテリアデザインを構成するエレメント・人間生活の演出とインテリアデザインインテリアとエクステリア
B　未来の生活とインテリアのイメージ図案

KENTIKU TO SYAKAI

Cover design: N. Simamura

(Architecture and Society)
A Journal of "The Architectural Association of Japan"
No. 1 Vol 53, January 1972

Editor: *Akimitu Matui*
Publisher: *Teisaburo Hukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-tyome, kitahama, Higasi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price* ¥ *300*

CONTENTS

New Year's wording ..... by *T. Tukamoto* 1
New Buildings completed in 1971 2
This Year's Aspiration by the Standing Committees of The Architectural Association of Japan 26
Column for Laws & Ordinances about Architecture ..... by *T. Ijiti* 45
News for Architecture and Society 47
Column for Readers 51
Report : Urban Redevelopment and Problem of Underground Shopping Towns ..... by *T. Kakuhasi* 55
Data Communication and Architecture ..... by *K. Moriya* 61
Column of New Buildings 65
Class-mates 67
Essayes ("Kentiku no Me") ..... by *S. Yamamoto, K. Kamino, S. Moritani & R. Inui* 69
Photograph: The MAORI Build and its Sculpture 1 ..... by *T. Iwamiya* 73
Accepted plan of Technical High School Student's Design Competition. 74

SPECIAL FEATURES ON WINTER OLYMPIC AND SAPPORO

Distinction of Sapporo Winter Olympic Game Facilities ..... by *A. Endo* 78
Introduction of Sapporo Winter Olympic Game Facilities 80
Master Plan of the Sapporo Olympic Village ..... by *M. Ota* 91
Road and Subway Plan of Sapporo Ctiy ..... by *N. Jurakuji* 97
District Heating of the Heart of Sapporo City and Housing Area ..... by *G. Horie* 101
New Buildings of Sapporo Area 105

CONSERVATION OF HISTORICAL ENVIRONMENT IN DEVELOPPING URBAN SPACE 3—DUBROVNIK ..... by *A. Kato* 115

COLUMN OF ENGINEERING

113 Classification and Characteristic of Special High Tension Bolts ..... by *K. Wakiyama* 119

BULLETIN 27, 122

日本建築協会図書案内

お申し込みは日本建築協会へ。〒 541 大阪市東区北浜3—37 TEL 06—231—9648・9649・9640・5936

既刊

■設備技術者のための 建築の知識
■B5判 9P活字一段横組400頁（折込図面50枚）
■定価 2,300円 会員特価 2,000円 送料 250円
■発刊 44年9月

■鉄骨のデザイン ■実例と考え方
■B5判 8P活字一段横組 400頁（設計図面 88枚）
■定価 2,500円 会員特価 2,200円 送料 250円
■発刊 45年2月

■建築の風力係数
執筆者 工学博士 石崎澄雄（京都大学教授）
■A5判 9P活字一段横組 100頁
■定価 350円 会員特価 300円 送料 55円
■発刊 42年10月

近刊

■建物および設備の保全
■編集：清水寿栄次

最新刊

■建築基礎工法と実例
■B5判（182×257mm）9ポイント活字一段横組 約500頁，本文 特別上質紙，表紙 特クロース上製，特製函入
■定価 3,500円 送料 250円
■発刊 昭和47年1月末
■編集 委員長 山肩邦男，幹事 宮川達郎・山口安男・多々見市蔵



海外写真

マオリの家と彫刻 1

写真と文 岩宮武二

ニュージーランドのロトルアは、オークランドからバスで約8時間、諸諸に湖があり、温泉が湧き、間歇泉が空中高く吹き上げる、といった景勝の地だ。ここはまた原住民マオリ族（ポリネシア系）が多く住むところでもある。マオリ族は特有の建築様式、独自の木彫技法をもっている。家の内外は朱塗りで、異形の人像や、微妙かつ不思議な文様がいっぱい。その呪術的ともおもえる木彫、文様の諸相を見ていただこう。

第17回工高生デザインコンクール入選作品

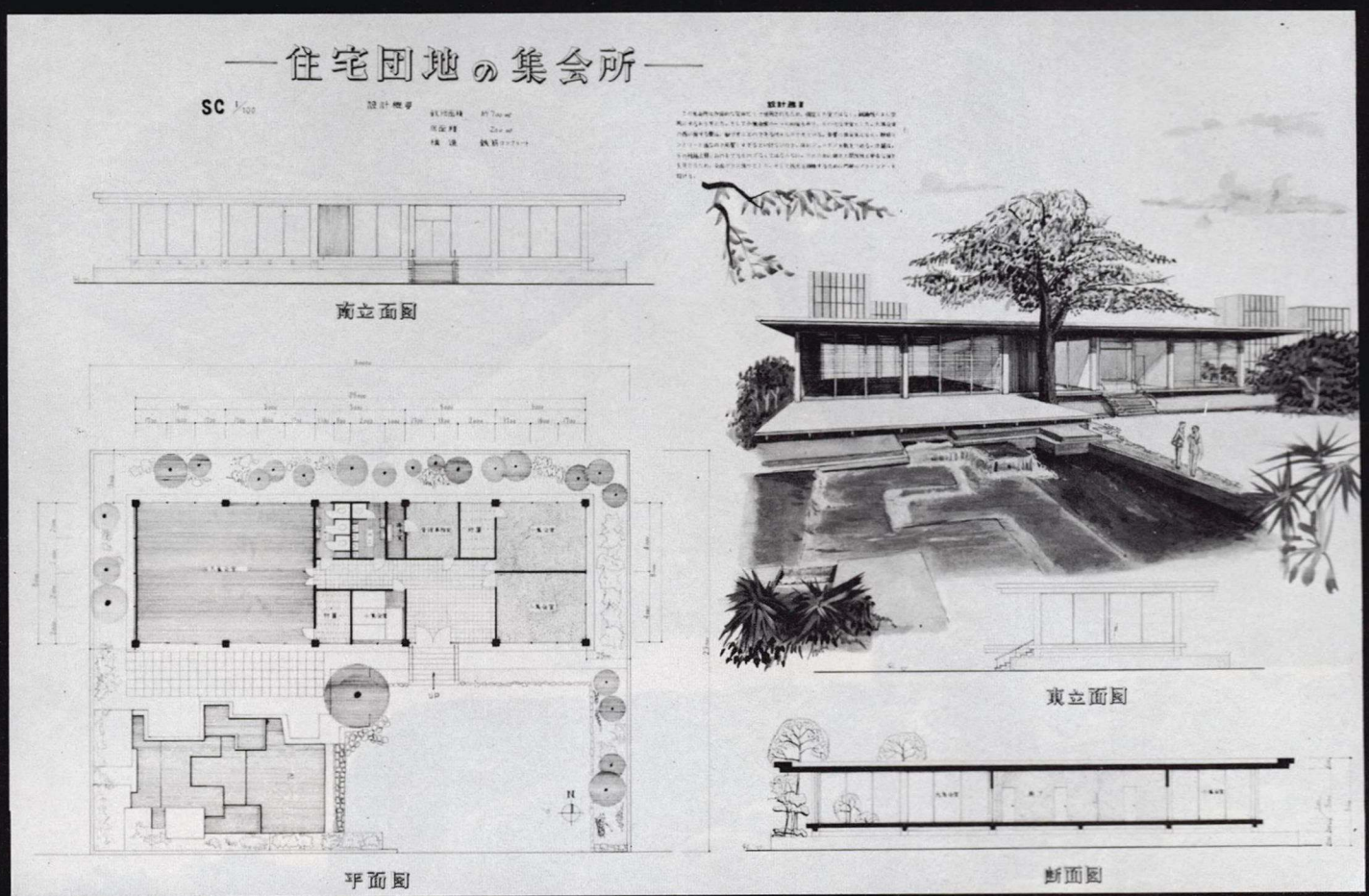
設計課題：住宅団地の集会所
主　　催：日本建築協会

総評

応募作品のうち、規定に多少違反するものもあったが、実際上は全作品が審査の対象となった。審査はなかなか難行した。その理由の一方には、審査委員各自の観点のちがいもある。たとえば構造・施工上のリアリティをもつべきであるという見解、造型的な意欲をかうべきであるという見解の対立など。しかし、一方には作品自体にも原因があった。芥川賞詮衡の例にならえば、今回は最優秀なしというところに、おちつきたかったのが、委員の多くの気持であっただろう。というのは、デザインとしてユニークなところがあっても、他にかなりの欠陥をふくんでいたり、すべてに難がなくても、あまりに優等生的あるいは陳腐な造型であったり、要するに衆目のおすきわだったものがなかったことに原因がある。優秀な技能をもっている高工生諸君が、そのわざとともに、意欲的なデザイン力を身につけるようがんばってもらいたい。
なお、審査員の短評を入選作品に併記したので参照していただきたい。短評をお寄せいただいたのは、小角亨、斉藤有弘、下河内勇、西村源之助、山地英雄各審査員と扇田である。　（扇田　信）

審査経過

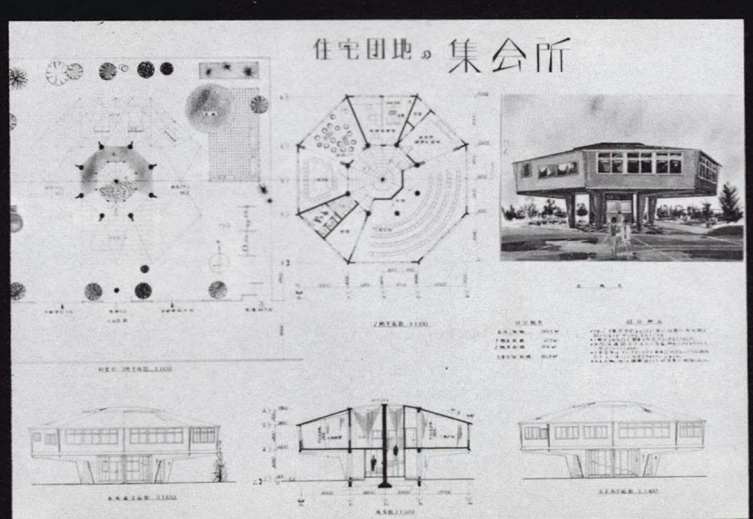
応募作品の内募集規定不適合作品33点は、内容を重視する立場から一応審査の対象とする。ただし審査段階の進むに伴って考慮することとした。1次審査は総合的観点で全応募作品より審査員1人10～12点を選出し得点のあった作品数25点の内得票1、2点を協議の上審査対象から除外した。2次審査は作品18点について審査員1人10点を選出し得点7、6、5の作品4点を入選とした。３次審査では、先の投票で得点4、3の作品12点について審査員1人6点を投票し得点6、5、4の4作品を入選とした。最終審査は先の投票で得点3、2の5作品を対象に意見交換の上投票で得点7、4の2作品を入選と決定した。最優秀作品は入選作品10点より審査員の投票で決定した。
（審査会は、昭和46年10月27日に開催、扇田審査委員長外７審査員が出席した。応募13校・応募作品66点）



最優秀作品　大友茂春

神奈川県立神奈川工業高等学校３年

プランは単純明快に処理、造庭も考えているが、ちょっとパースで点をかせいだ感あり。（扇）
簡明なプラン。秀れた製図技術。（小）
図面の迫力、説得力が抜群。それだけに、内容の乏しさ、若さのなさは充分反省してほしい。（斉）
シンプルなデザインで、プランもよくまとまっているが、外部空間のこなしかたに一工夫ほしかった。行儀よくて、逆に物足りなさを感じる。（下）
空間の捉え方が日本建築の解放性を生かした良さがあり常識的な案として無難であるが、若い世代のデザインとしては夢がなさ過ぎる。（西）
環境、内容、形態とも無難におさめている。（山）



入選作品　磯田延一

岡山県立津山工業高等学校３年

ピロティ部分の利用が十分考えられていない。だからこの形の必然性が感じられない。（扇）
ピロティ案グループの代表として。ピロティ部分は駐車場以外の活動スペースとして使用できそう。（小）
画一的な団地の環境を考えると、素直に、しかも、シンボリックに適合している。が、やはり、パンチがたりない。（斉）
ピロティを使って、外部空間の利用を工夫したおもしろさはあるが、大集会室は実際に使えない。（下）
ピロティ案としては一応まとまっているがピロティが十分生かされていない。また、平面上に無理が見られる。（西）
内容にいくらか欠点はあるが、形態が優れている。（山）

設　計　要　項

1．環　境：都市近郊の４～５階建の共同住宅または独立住宅で構成される団地。約500戸を１区域とし，その中にある集会所とする。

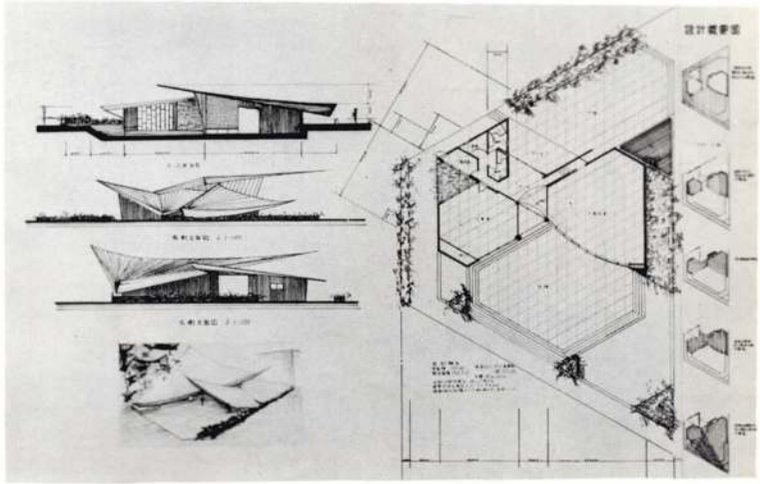
2．敷　地：幅員6mの道路に面し，面積約700㎡，平担またはゆるやかな傾斜地。敷地内に集会所建物を配置し，車輛２台分位の駐車スペースをとる。その他の外部空間は自由に考えてよい。

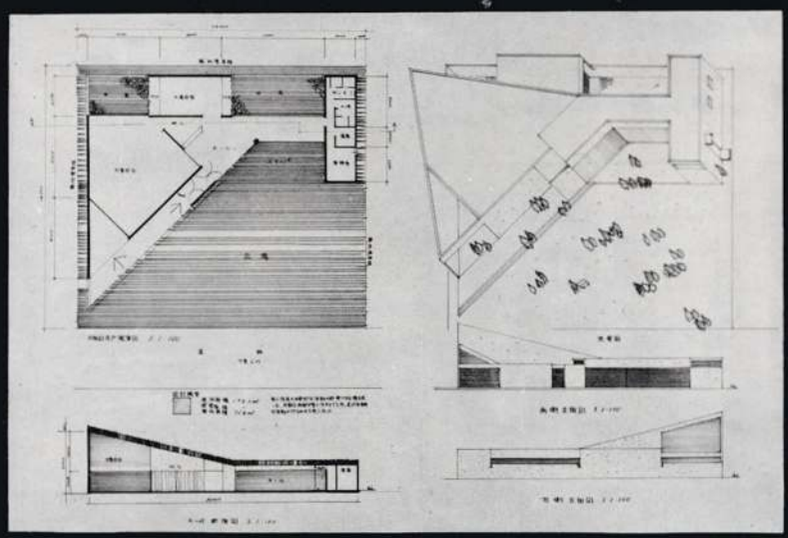
3．構　造：鉄筋コンクリート造。

4．規　模：床面積200㎡以内，階数地上２以下。

5．所要室：**大集会室**・洋室で床面積80～100㎡。多人数集合の場合の構座などのための設備を考慮する。可動間仕切を設けて分割使用できるようにしてもよい。
小集会室・和室または洋室。
便所，手洗，物置，湯沸場，管理事務室（執務１～２名）。

6．その他：集会室には折たたみ式机・椅子・塗板などの家具を適宜設備し，これを収納する場所を設ける。
なお集会室は住民自治活動の会議や行事，親睦のための囲碁・将棋・懇談会，手芸・料理教室など，健康診断などの公共目的，住民の結婚式・葬式，幼児教室・保育教室，成人および老人教室などの使用例が考えられる。





▲入選作品　十文字洋一　横浜市立鶴見工業高等学校３年

造型的におもしろく団地のオブジェ効果があるだろう。空間利用のフレキシビリティも考えているが、構造・デザインとスケールに問題あり。（扇）
団地の中にあえて三角形の敷地と建物を計画した着想のユニークさ。庭と建物との楽しげな空間。（小）
造型的に非常に柔軟に把えていて好感がもてるが、完全なものにするには、構造的にもディテールの面でも、さらに綿密なチェックが必要だ。（斉）
ともすれば閉鎖的な団地空間に、ユニークなデザインでまとめた点は、どの案にもない特色となっている。（下）
外部空間への発展性を考慮した考え方は良いアイデアであるが、屋根の造形的・技術的な扱い方に問題がある。（西）
環境にいくらか欠点はあるが、形態が優れている。（山）

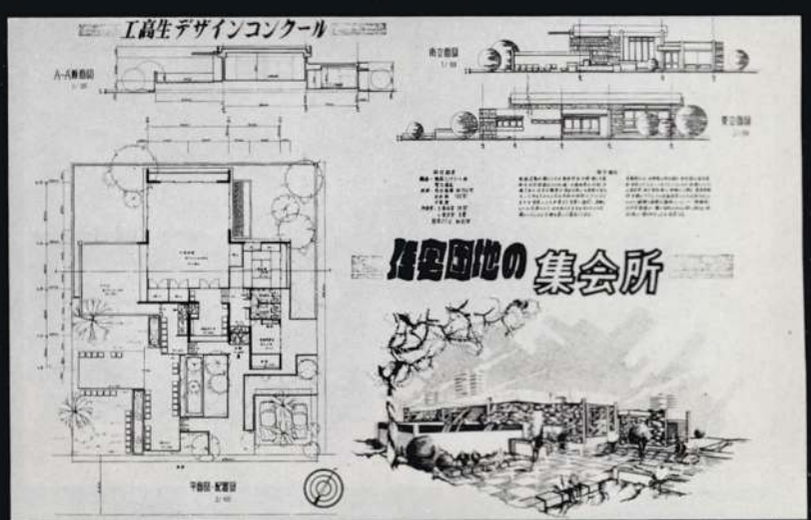
◀入選作品　宮田義弘　横浜市立鶴見工業高等学校３年

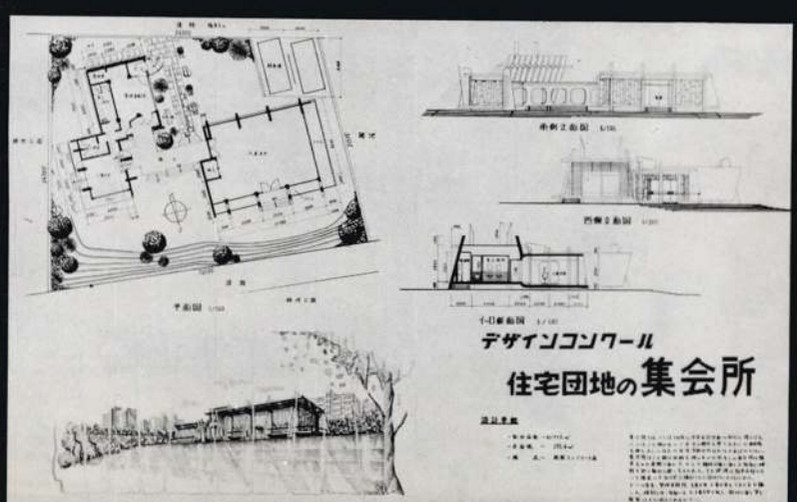
造形・空間のあつかいがユニークであるが，もう少しかきこんでほしかった。（扇）
このようなコンペ型式では、図面が意志伝達の唯一の言語であり、良い構想を十分伝える努力がほしい。（小）
着想は、そのまま生地で出すものではなく、全体のすみずみに至るまで、綿密に、昇華発展させてから表現してほしい。非凡な才能を感じさせるだけに、なげやりな表現に対して猛省をうながしたい。（斉）
単純明快なデザインで抉いが、プランニングに努力がほしい。（下）
広場と建物の扱い方にはアイデアとして秀れているがこの点の処理および考え方の説明があまりにも簡単過ぎてその良さが生かされていない。（西）

入選作品　吉井和男▶

大阪市立都島工業高等学校３年

プラン・外部空間の処理よく考えている。図もかきこんであるが、デザインがごてごてしすぎる。（扇）
作図上の技術にのみ頼りすぎてはいけない。建売住宅のパンフレットの感じで、作者の思索の跡がにじみ出るような図面とは程遠い。（斉）
緻密に設計された努力は、大いに買われるが、もう少し、のびのびした計画が欲しかった。（下）
常識的な案であり待合スペース・外部の１部の考え方などに苦心が見られるが小細工過ぎるようである。（西）
環境、内容は一応おさまっているが、形態に不足がある。（山）

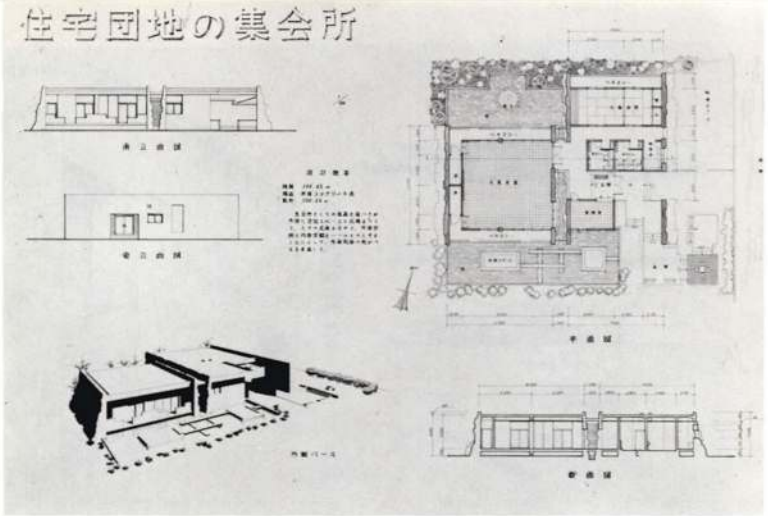




◀入選作品　石田俊二郎

大阪市立都島工業高等学校２年

プランはよいが、フャサードはこのていどの規模の建物に対して、スケールアウト、造型過剰。（扇）
のびやかなプラン。（小）
平面構成のうまさで選ばれた。この程度の規模のものに、これほど錯そうした立面をつけると、おそろしくガチャガチャしたものになるはずだ。スケールミスである。（斉）
平面計画の素晴らしさに較べて、その良さを立面図に表現しきれなかったのが惜しまれる。（下）
外観の扱い方に多様なテクニックが用いられてまとまっていない。この点をもっと素直に考えて欲しい。（西）



入選作品　石田章宏

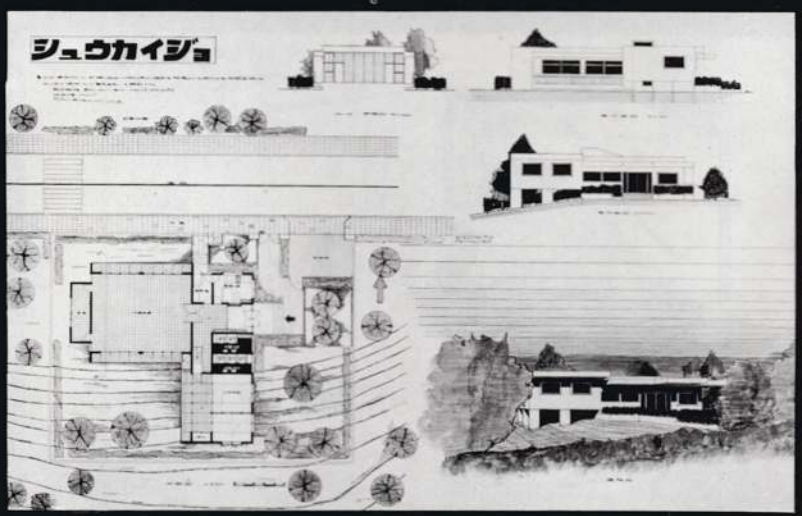
大阪市立都島工業高等学校３年

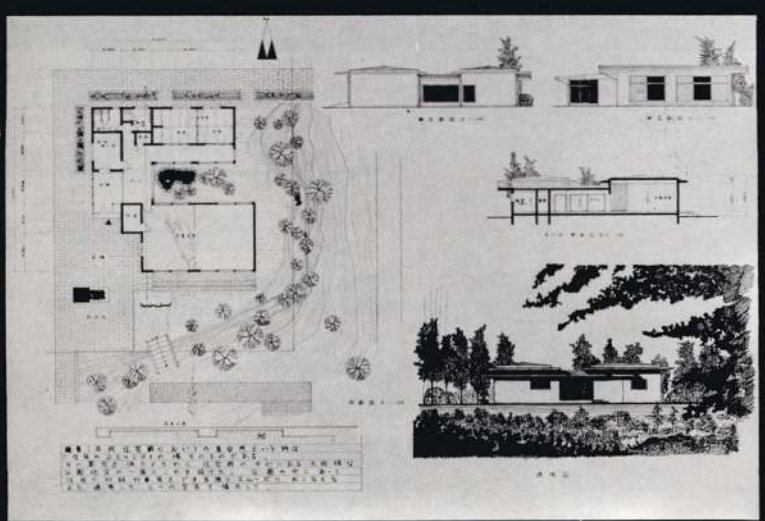
プラン・外部空間の処理もなかなかよい。エレベーションも相当考えているが、ちょっとすっきりしない。（扇）
プランは最もよくまとまっていたが、外壁の取扱いおよび光庭のスケール等再考を要す。（小）
全体的に着実に構成しており、それだけに、ゴワゴワした壁が批判のまとになった。（斉）
環境を軽視しがちな計画の多い中で、最も手際よく計画された一つである。（下）
平面的にはよくまとまっているが外壁の壁の扱い方には疑問を感じる。（西）
環境、内容は一応おさまっているが、形態に不足がある。（山）

入選作品　西田幸男

大阪市立工芸高等学校３年

プランはよいが、エレベーションももう少し冒険してほしかった。（扇）
住宅の感じ、難点をつけにくいというだけで、全然面白さがない。（斉）
敷地の高低差をうまく利用したプランで、立面としても、よくまとまっている。（下）
環境、内容は一応おさまっているが、形態に不足がある。（山）





入選作品　大友靖史

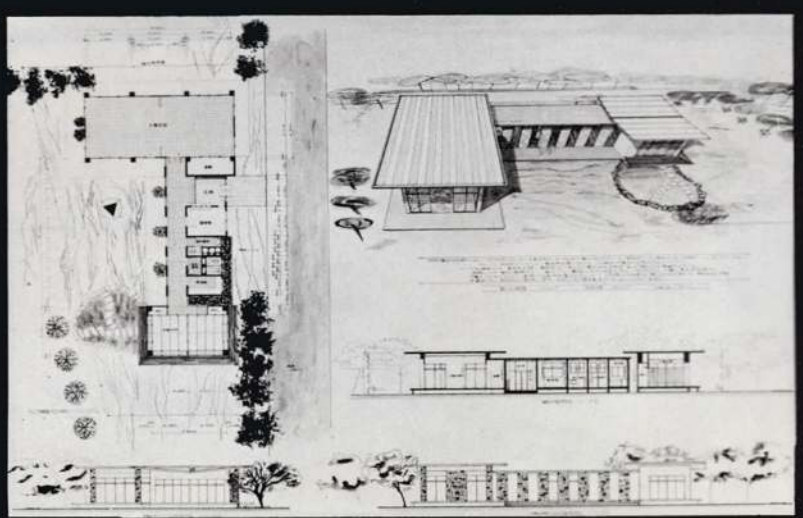
大阪市立工芸高等学校３年

中庭案グループの代表として。（小）
建築的な魅力に欠ける。（斉）
特に新しさはないが、三つのブロックを巧みに配置されていて興味深い。（下）
環境、内容、形態とも無難におさめている。（山）

入選作品　増田喜延

大阪市立工芸高等学校３年

庭に面して広くとった廊下の魅力。（小）
スパッと明快に構成しているのが良い。しかし、外部に対する思慮がまるでない。索漠としている。（斉）
単純な平面計画の良さを買ったが、もう一つデザインに納得出来なかった。（下）
環境、内容は一応おさまっているが、形態に不足がある。（山）



雪の朝に

港野喜代子

風を　たぐり
風を　汲みあげ
風を放しつつ　風を切り
風を流しつつ　風を結び
風を追いつつ　風に逆らい
風を打ちこみ　風を積み
風を織り　風を縫い

風を　くぐりつつ
風を　はかりつつ
風と風をつなぐ
サンビーム
雪の朝に
そびえる
鉄の柱の
風の旗

札幌オリンピック競技施設の特色

遠藤明久

1972年2月、札幌で開催される第11回冬季オリンピックには、6競技35種目が実施され、これに14競技場が用意された。スキー競技場6、スケート・アイスホッケー競技場4、バイアスロン競技場1、ボップスレー競技場1、リュージュ競技場2で、スキーの大倉山ジャンプ競技場が大改造であるのを除き、すべて新設である。

招致が決定した1966年から計画を始め、92億円余の建設費をもって工事を進め、アイスホッケーの月寒屋内スケート競技場を除き、1970年末に主要工事を終了し、翌71年2月開催のプレ大会で性能をチェックし、施設の一部改修と残余工事を行ない、同年末に全部の工事を完成した。

14競技場中13競技場が札幌市中に所在し、隣接の千歳市内にただひとつ所在するスキーの恵庭岳滑降競技場も、選手村から35kmの距離しかない。過去の冬季オリンピックでは前例のない至近距離に、全競技場が配置されている。

各競技場とも、国際競技規定に基づく施設条件を具備しているが、その内容は、世界的にみても最新、最良の水準のものが多く、わが国の冬季競技施設としては、画期的といえる。また、大会後の利用形態および維持管理を勘案して、大会時のみの必要施設と恒久的存続施設とを区別し、前者は、建設費の如何にかかわらず、すべて仮設として計画した。前者が大きな割合を占めることも特色のひとつとなっている。

施設のいまひとつの特色に、全会場に設置のオンライン方式のコンピューターに直結した電光掲示板がある。オリンピックとしては、初めての採用である。また、世界的に定評のある国産の計時・計測装置も、低温時の使用にたえる、新規開発の冬季競技用の新鋭機が使用されることとなっている。

各競技場の施設概要については、特色点だけを簡単に述べると、次のとおりである。

スキーのジャンプ台は、その縦断面に、今までFISの規定上だけに存在し実現したことがなかった抛物線が、世界で初めて採用され、理想的な形態の構造となっている。従前は、設計上簡単な円曲線が採用されていたもので、この実現は、FISの故クロッファー、SATの伊黒正次、東大航空研の穂坂直弘の三氏の協力になるものである。また、設計断面保持のための雪面整備用ゲージ、スタート位置調整台の形式などにも創意が加えられ、前記の電光掲示板の存在と並び大きな特徴となっている。

大倉山90mジャンプ競技場は、観客収容50,000人、宮ノ森70m級ジャンプ競技場は、観客収容30,000人、前者は、世界的に著名なベルクイーゼル(オーストリア)、サンニジェ(フランス)、ホルメンコーレン(ノルウエー)に匹敵する、壮大なスケールを誇るものである。

スキーのアルペン競技の回転、大回転両競技場は、手稲山（標高1,023m）の北斜面、滑降競技場は、恵庭岳(標高1,319m)の西斜面に設けられたが、国際競技規定に適合し、かつ、競技に最適のコースを造出することは、なかなか難事であった。3競技は、名前どおりアルプス地方に発達したもので、競技規定もアルプス高地の条件を前提として、コース長、標高差、斜度等を定めており、これを緯度、標高の低い札幌地方の山で造出することは、容易でないためである。また、コースには、選手の危険防止のための施設工事が、種々要求され、これまた、わが国では経験したことがないものが多かった。

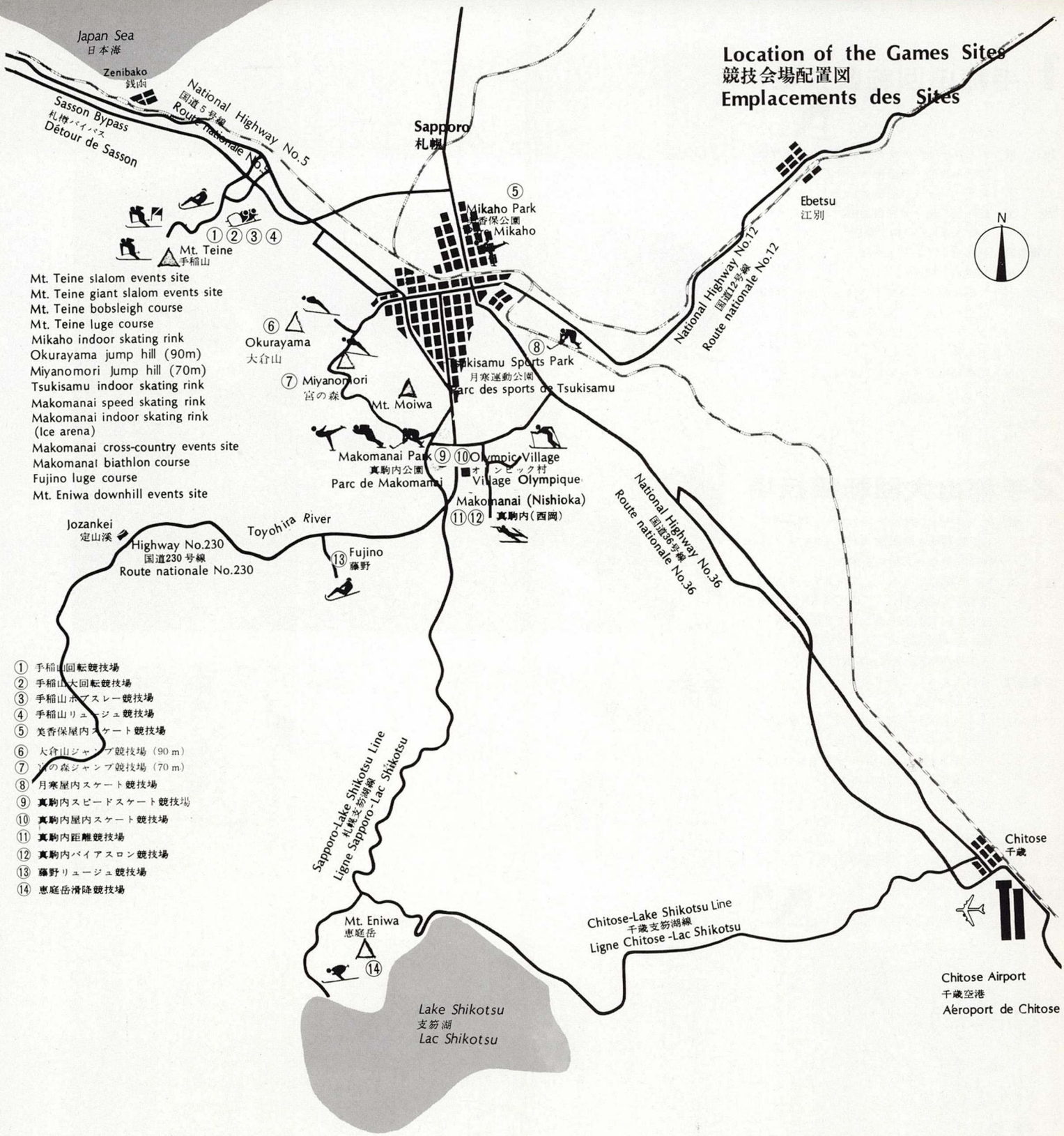
コース以外の施設としては、スタートハウス、ゴールハウス、ワックスルーム、運営本部、サブプレスセンター、放送ブース、整備要員宿舎等の建築、観客スタンド、電光掲示板、計時装置、撮影台、ロープウエイ、リフト、駐車場の施設が設置され、また、特異な施設として手稲の回転、大回転競技場に、コース整備用大貯水槽（アイスバーン状の雪とするため散水）、恵庭競技場に、大規模自家発電装置、電話局、ヘリポート（救護用）が設置された。いずれも、わが国のアルペン競技会場では、考えられたことがない内容のものばかりである。

スケート・アイスホッケー競技場のうち、真駒内スピードスケート競技場は、開会式場を兼ねるものとして計画され、観客収容50,000人の規模をもつが、大会後の使用を考慮し、17,000人分のみを座席とし、残余は立見席として、大会後は芝生張りに改造する設計とした。またシーズンオフの利用に備えて、インフィールド、アウトフィールドに全天候舗装がなされ、球技等の各種スポーツに使用することを予定している。トラックは全長400m、巾員16m、本コース2、練習コース1とし、ターボ冷凍機による間接冷凍方式の人造結氷設備としている。冷却温度は−18℃。使用後の所見としては、ヨーロッパの屋外スケート場で採用している、氷温の下りすぎ防止のための急速融解装置の必要性を痛感している。

屋内スケート競技場は、フィギュアフリーとペアスケート、およびホッケー競技、さらに閉会式場に使用される収容力12,000人の真駒内屋内、ホッケー専用で収容力6,000人の月寒屋内、フィギュア規定専用の美香保屋内の3競技場であるが、リンクは、いずれも60×30m、冷凍方式は、スピード競技場同様、間接冷凍方式である。

3競技場とも大張間の屋根処理に苦心し、真駒内屋内は、径103mの円形平面を24面体の大屋根構造(想定積雪高1.6m)にまとめ、月寒屋内は、80mの方形平面を陸屋根とし、内どいに融雪装置を設け、美香保屋内は、片流れ方式を採用した。また、設備面では、真駒内は、観客席に空調設備と閉会式用のアイドホール装置（仮設）を有する点に特色があり、月寒は、パイプヒーターによる蒸気暖房、美香保は、パイプヒーターによる温水暖房とした。さらに、オフシーズンの利用として、美香保は、温水プールの設計となっており、真駒内は、多目的使用、月寒は、地区総合体育館への転用が予定されている。

ボップスレーおよびリュージュ競技場は、わが国では初めて建設するもので、それだけに施設については、ほとんど知られていない。



金属製そりを使用するボップスレーのコースは、1,500m、木ぞりを用いるリュージュは1,000mで、それにアウトランを加えたものが、コンクリートまたはコンクリートブロックで構築される。

コースの斜度、カーブ数、カーブ半径、カーブの種類、滑走中の加速度の上限などが競技規定で定められており、コースの側壁の平面および断面は、複雑に変化するカーブと直線の組合せとなり、その設計はきわめて面倒である。今回の設計では、コンピューターで加速度の数値を求め、これによって各部断面の最終決定を行ない、さらに工事終了後、氷張りの上、試走して安全性を点検し、所要の補修を行なった。

両競技場には、スタートハウス、ゴールハウス、中間ハウス、コース監視塔、そり庫(ボップスレー)、計量機室、コース横断橋、照明設備、コース整備給水設備、計時、計測装置、コース日よけカーテン、防雪さく、拡声設備等のほか、運営本部、サブプレスセンター、放送ブース、観客スタンド、電光掲示板等が設置される。

ボップスレーおよびリュージュ競技場は、外国にも数カ所しか存在しない由で、札幌大会の手稲ボップスレー競技場、手稲リュージュ競技場、藤ノ沢同競技場（予備会場）に匹敵する各種施設を整備したものは存在しないようである。

最後に、冬季競技場と陸上・水上競技場等との相違点をあげると、冬季競技場は、多くが大自然の中に設置され、スケールの点で、比較にならないことである。また、工事完成後、直ちに使用できず、かならず降雪または結氷し、かつ高度に整備した後でなければ使用できないことである。このことは、施設の性能のチェックが、降雪または結氷後でなければ、できないことも意味している。

（筆者：(財)札幌オリンピック組織委員会事務局施設部長代理兼計画課長）

1 手稲山回転競技場

設　計　サンコーコンサルタントKK・吉田建築設計事務所・岡設備コンサルタント・札幌オリンピック組織委員会

施　工　KK 松村組・東京索道KK・コロナ電業KK・KK三ツ輪工務店

工事監理　札幌市オリンピック局

所在地　札幌市手稲山

建築面積　コース長　男子 501m　女子 449m
山頂ハウス　144 m²
ゴールハウス　118.3 m²
その他

工　期　昭和43年8月～昭和46年11月

使用競技種目　スキー回転競技

観客収容人員　11,180人

2 手稲山大回転競技場

設　計　サンコーコンサルタント KK・吉田建築設計事務所・岡設備コンサルタント・札幌オリンピック組織委員会

施　工　KK 松村組・日本ケーブル KK・東京索道 KK・北電 KK・三新工業 KK・勇建設 KK・KK 田中組・タツヲ電気 KK・KK 三ツ輪工務店・コロナ電業 KK・宮永工務店 KK・KK 丸竹竹田組

工事監理　札幌市オリンピック局

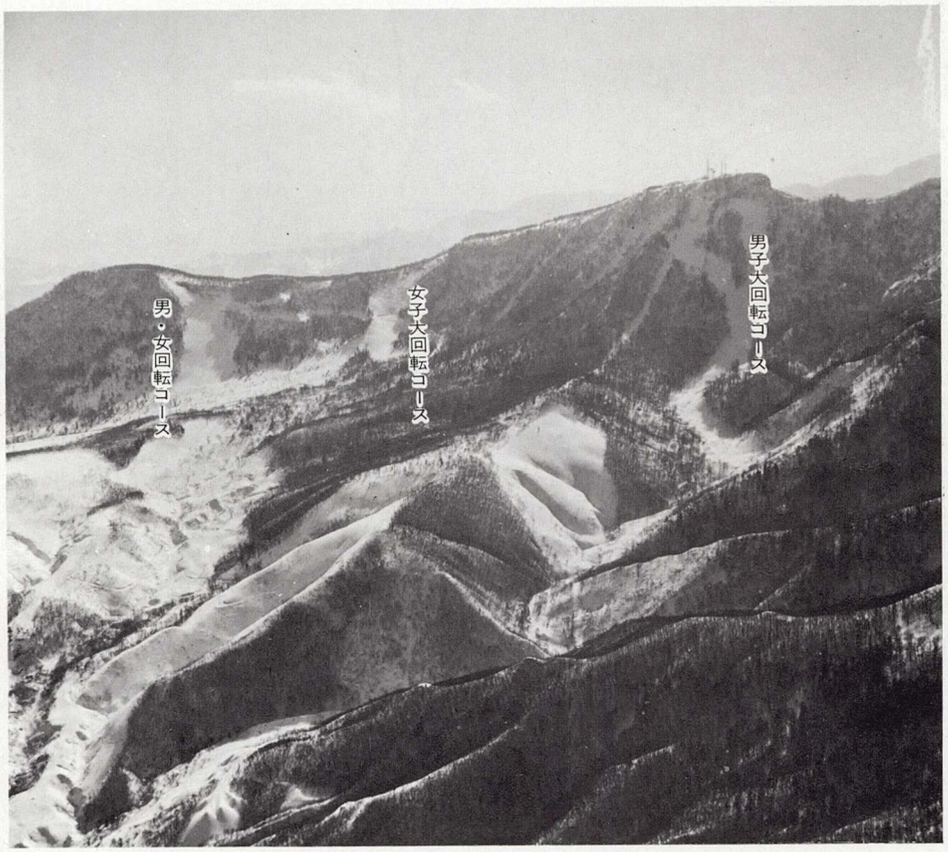
所在地　札幌市手稲山

建築面積　コース長　男 952m　女 982m
スタートハウス　男 66.96m²　女 84 m²
ゴールハウス　男118.3 m²　女118.3m²
運営本部　1,178.6 m²
その他
ロープウェイ　水平長　1,000m
リフト　水平長　606m, 577m

工　期　昭和43年7月～昭和46年11月

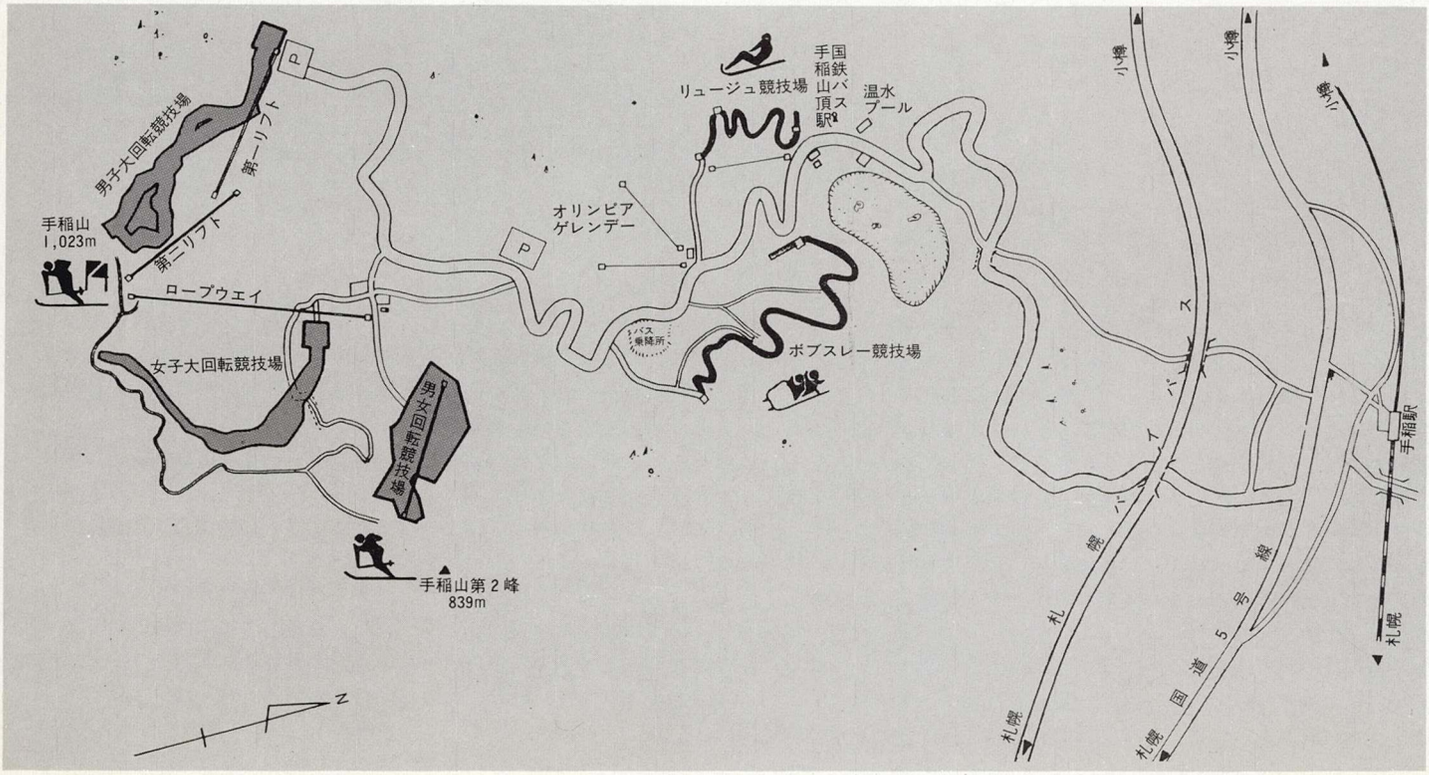
使用競技種目　スキー大回転競技

観客収容人員　男11,750人　女11,475人

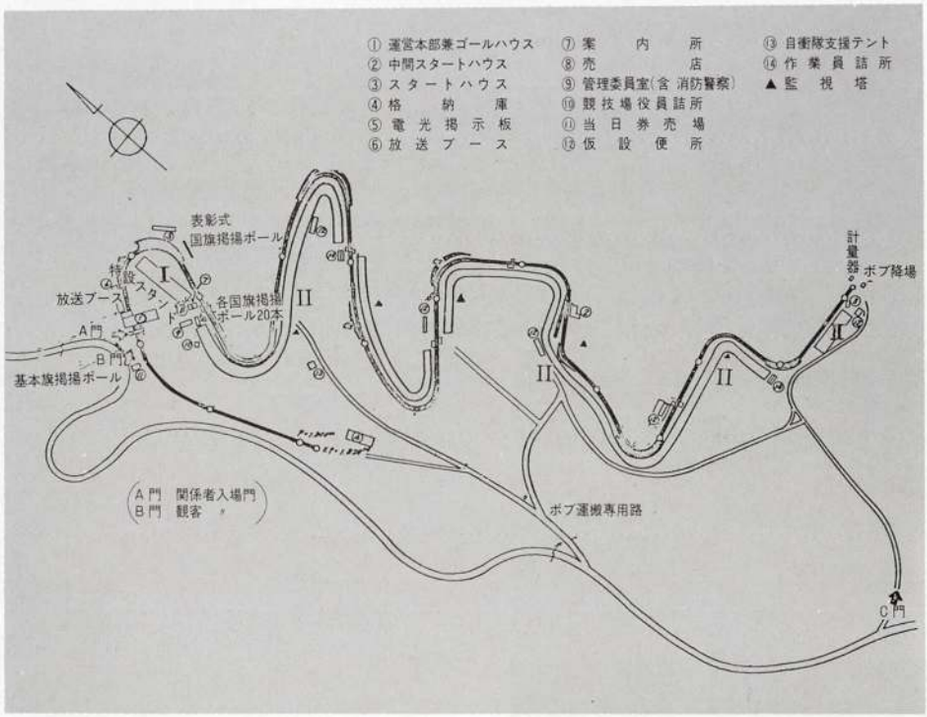








3 手稲山ボブスレー競技場



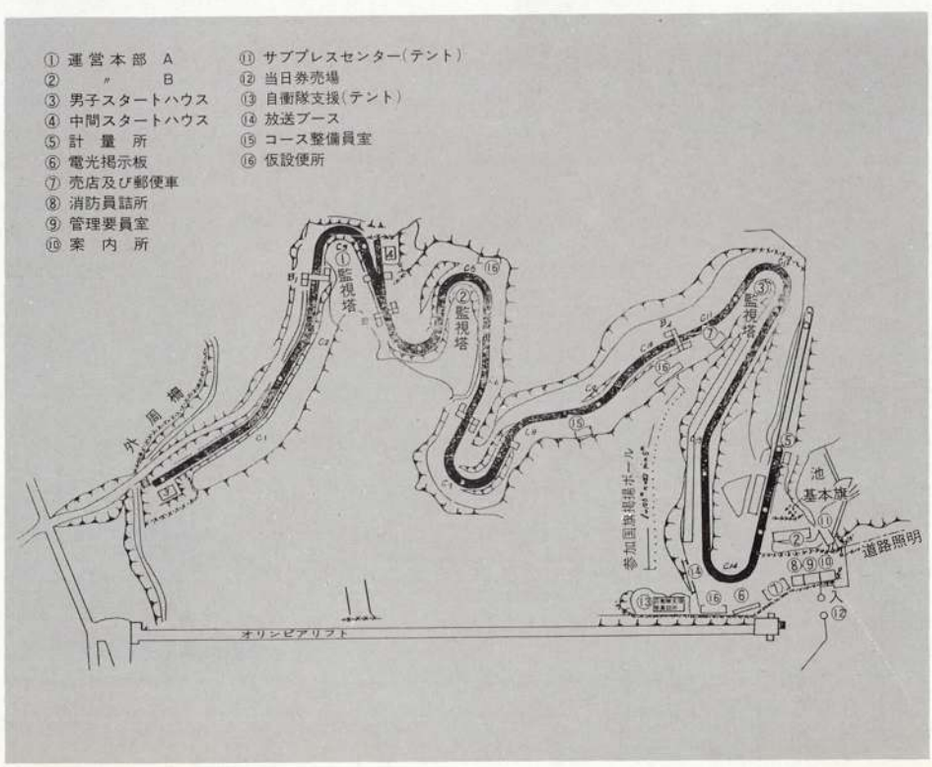
設　計　総合設計研究所・北海道開発コンサルタントKK
施　工　KK 松村組・北海電気工事KK
工事監理　札幌オリンピック組織委員会施設部
所在地　札幌市手稲本町 手稲山麓
建築面積　コース全長　1,580 m
運営本部　635 m²
中間スタートハウス　95 m²
スタートハウス　190 m²
その他
工　期　昭和43年10月～昭和46年11月
使用競技種目　ボブスレー競技
観客収容人員　5,107 人





4 手稲山リュージュ競技場

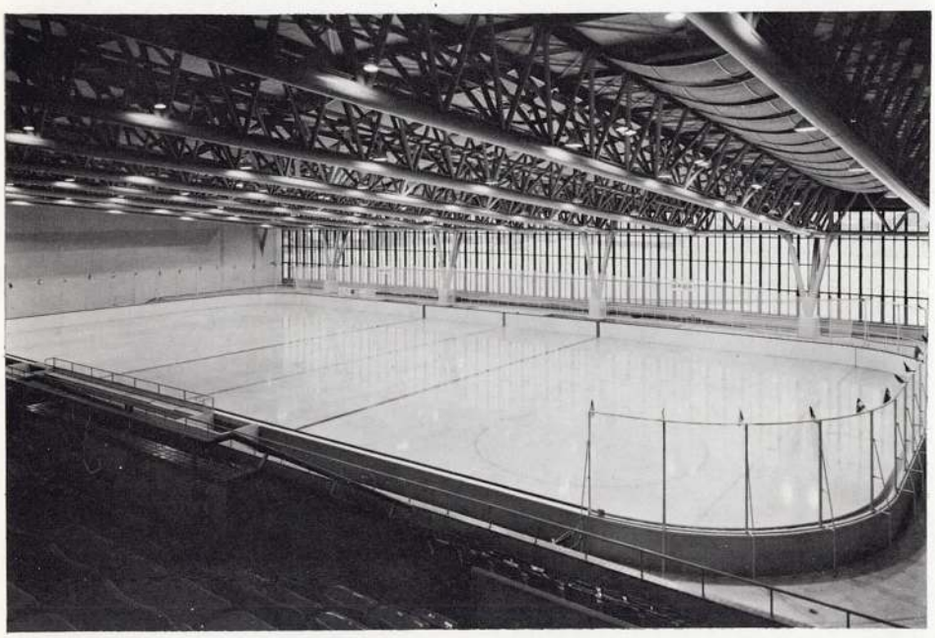
設　計　総合設計研究所・北海道開発コンサルタントKK ・札幌オリンピック組織委員会
施　工　KK 松村組・振興電気KK
工事監理　札幌オリンピック組織委員会施設部
所在地　札幌市手稲本町手稲山麓
建築面積　コース全長　1,630 m
運営本部　A棟 360 m²　B棟340 m²
中間スタートハウス　77 m²
スタートハウス　100 m²
その他
工　期　昭和43年10月～昭和46年10月
使用競技種目　リュージュ競技
観客収容人員　2,892 人





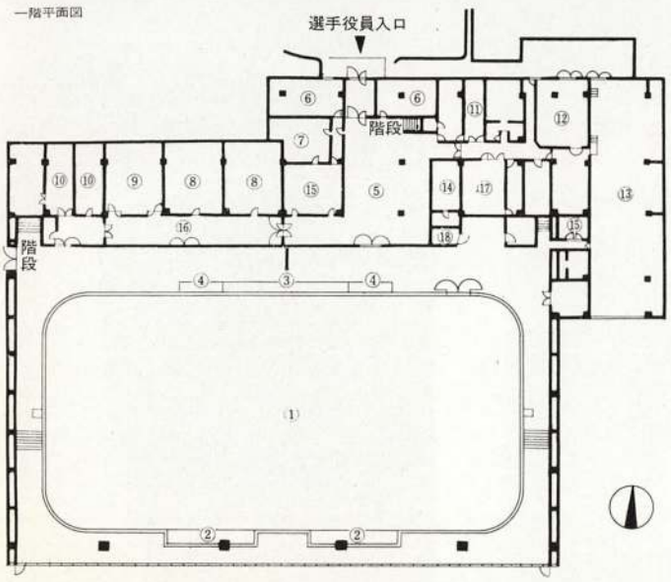
5 美香保屋内スケート競技場



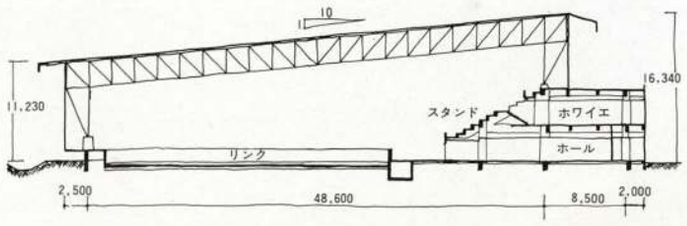


設　計	KK 久米建築事務所
施　工	KK 地崎組・三共電気工事 KK ・浜田電気工事 KK ・三菱電機KK ・昭和温調 KK ・大信工機KK・北海道電力KK
工事監理	札幌市オリンピック局・KK久米建築事務所
所 在 地	札幌市北22条東５丁目 美香保公園内
建築面積	4,455.791 m²
延 面 積	6,267.489 m²
構造規模	スタンド　ＲＣ造、２Ｆ 屋　根　Ｓ造 アイススケートリンク　30×60m
工　期	昭和44年５月～昭和45年10月
使用競技種目	フィギュアスケート スクール
観客収容人員	2,000 人

一階平面図

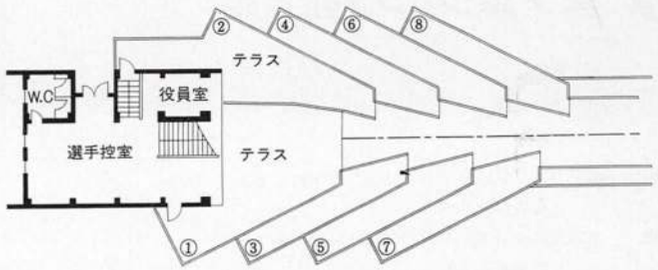


① スケートリンク（30m×60m）
② プレイオーズベンチ
③ オフィシャルボックス
④ ペナルティボックス
⑤ ホール
⑥ 事務室
⑦ レフェリー室
⑧ フイギュアー控室
⑨ シャワー室
⑩ ロッカー室（アイスホッケー用）
⑪ 医務室
⑫ 電気室
⑬ 機械室
⑭ 記録通信印刷室
⑮ W.C
⑯ 廊下
⑰ サンボニー車庫
⑱ 放送室

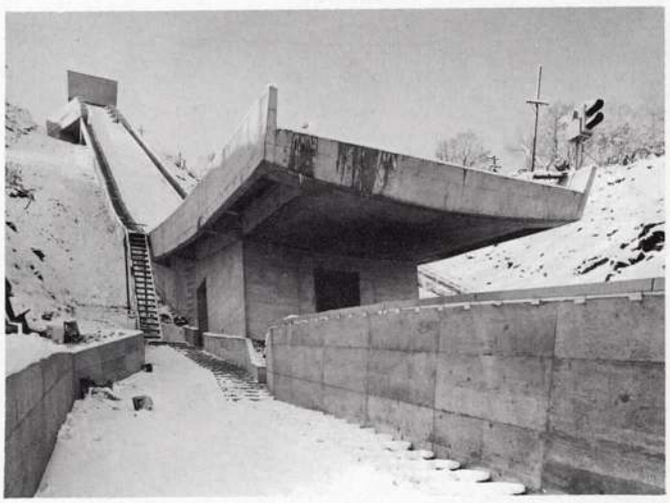


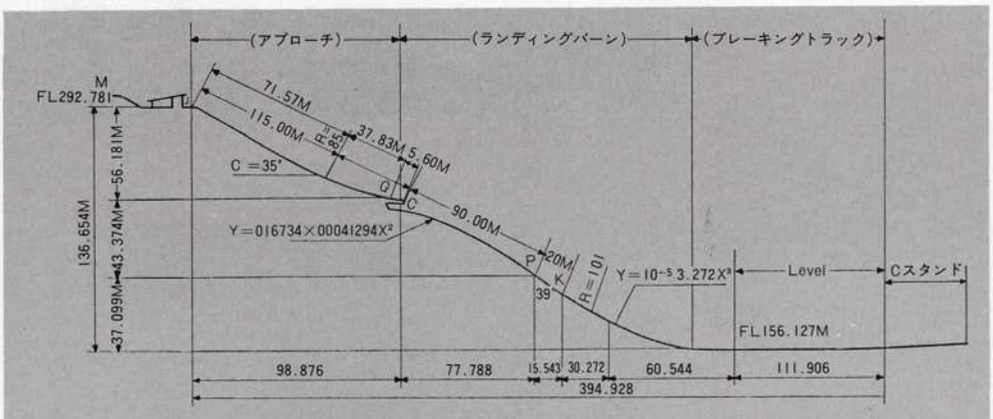
6 大倉山ジャンプ競技場

設　計　坂倉準三建築研究所・北海道開発コンサルタントKK
施　工　大成建設KK・北工電気KK
工事監理　北海道開発局
所在地　札幌市琴似町宮ノ森1274－1
建築面積　ジャンプ台
　アプローチ
　　落差56.181m　水平 98.876m
　ランディングバーン
　　落差80.473m　水平165 m
　ブレーキングトラック
　　水平131.125m
　スタートハウス　236m²
　ジャッジタワー　85m²
　運営本部　918m²
　その他サブ運営本部
工　期　昭和44年5月～昭和45年11月
使用競技種目　スキー90m級純ジャンプ
観客収容人員　50,000人

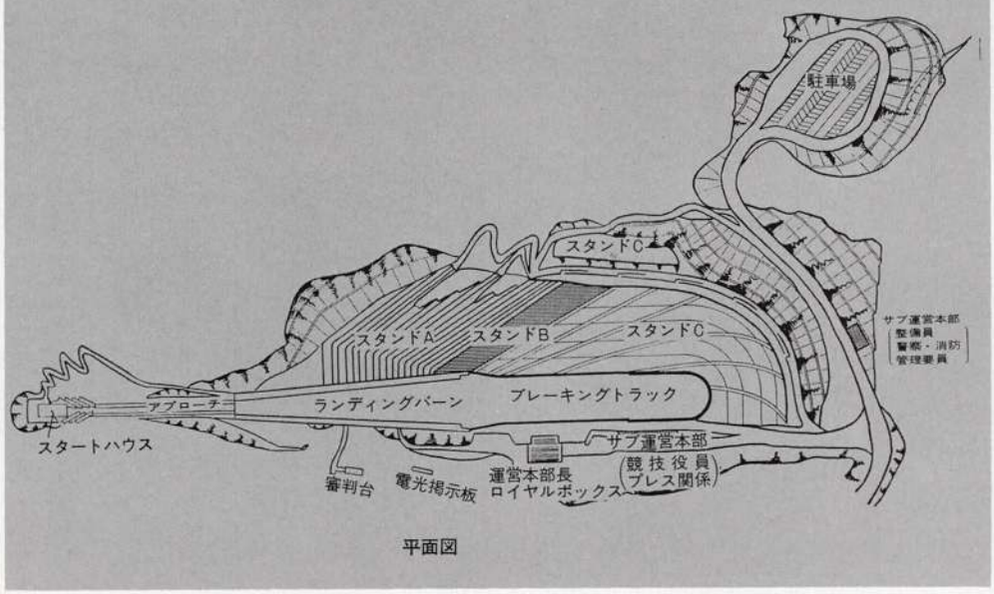


スタートハウスおよびスタート台

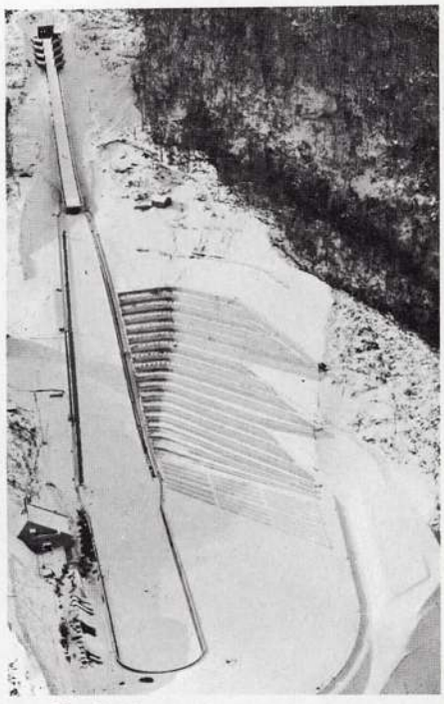

ジャンプ台



断面図



平面図

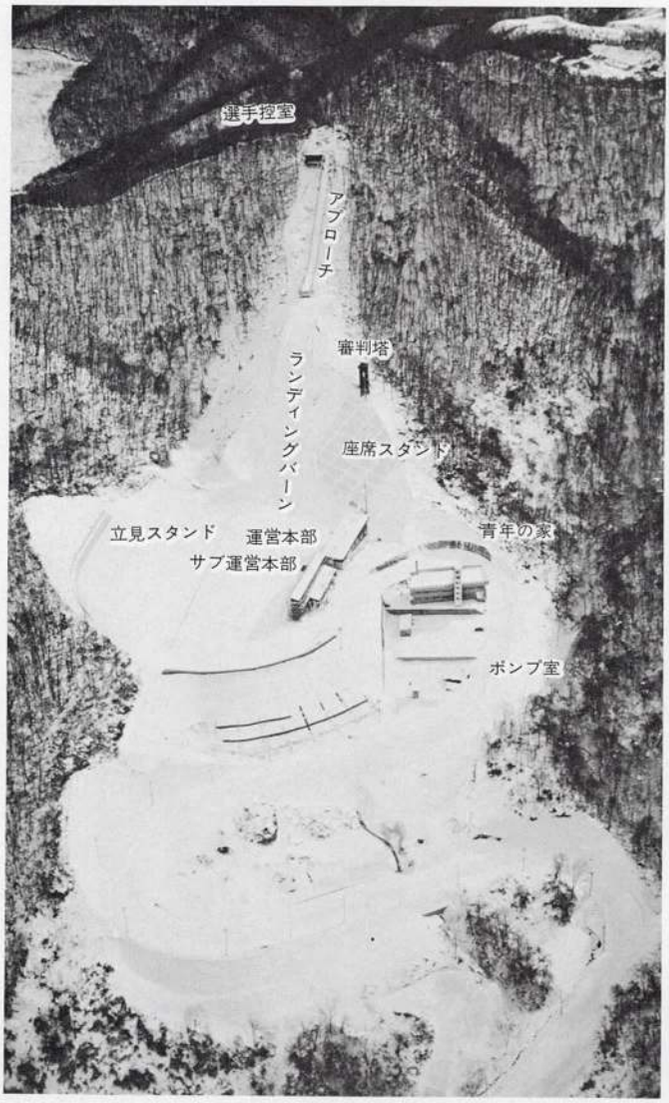

▼運営本部およびロイヤルボックス



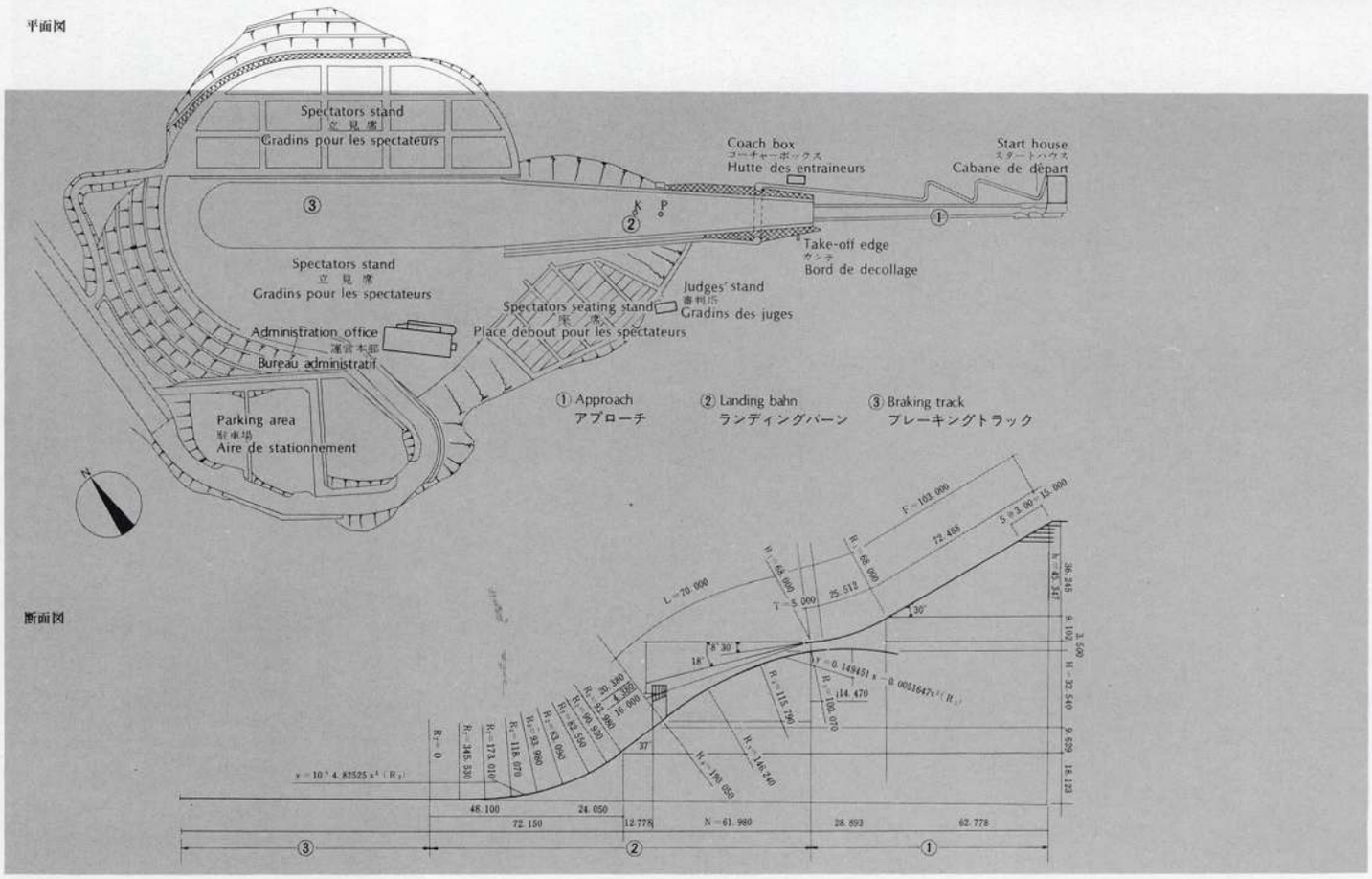
7 宮ノ森ジャンプ競技場



設　計	パシフィックコンサルタント KK ・北洋設備設計事務所
施　工	北炭建設 KK ・大和電業・花松工業 KK 北海道電力 KK
工事監理	札幌市オリンピック局 パシフィックコンサルタントKK
所在地	札幌市琴似町宮ノ森1277－1
建築面積	ジャンプ台
	スタートハウス　64.04m²
	ジャッジタワー　106.63m²
	運営本部　436.41m²
	その他サブ運営本部
工　期	昭和43年10月～昭和45年10月
使用競技種目	スキー70m級純ジャンプ 複合競技ジャンプ
観客収容人員	30,000人



平面図

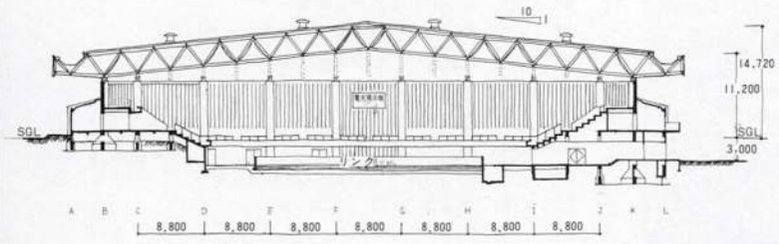


断面図

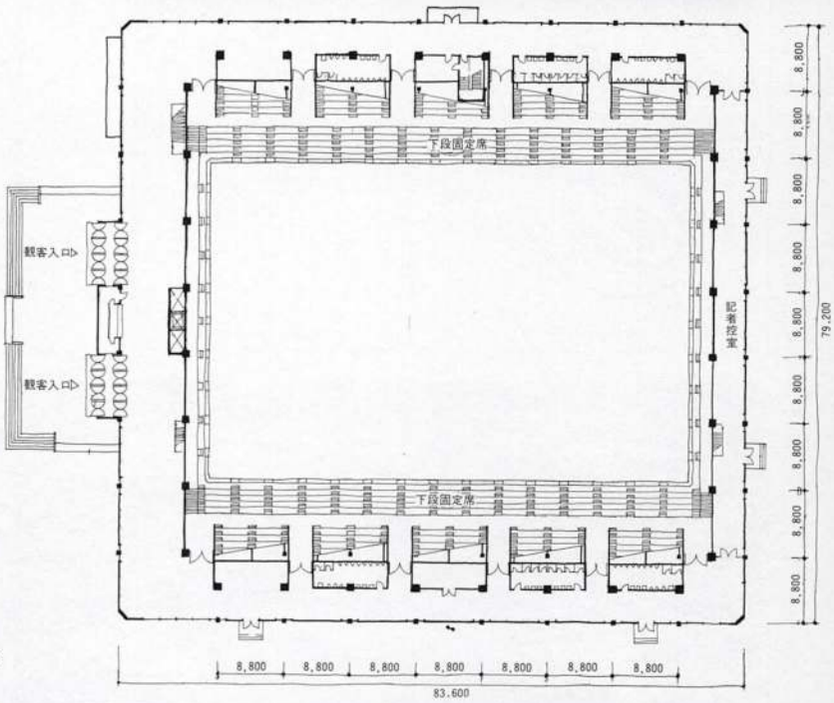
8 月寒屋内スケート競技場



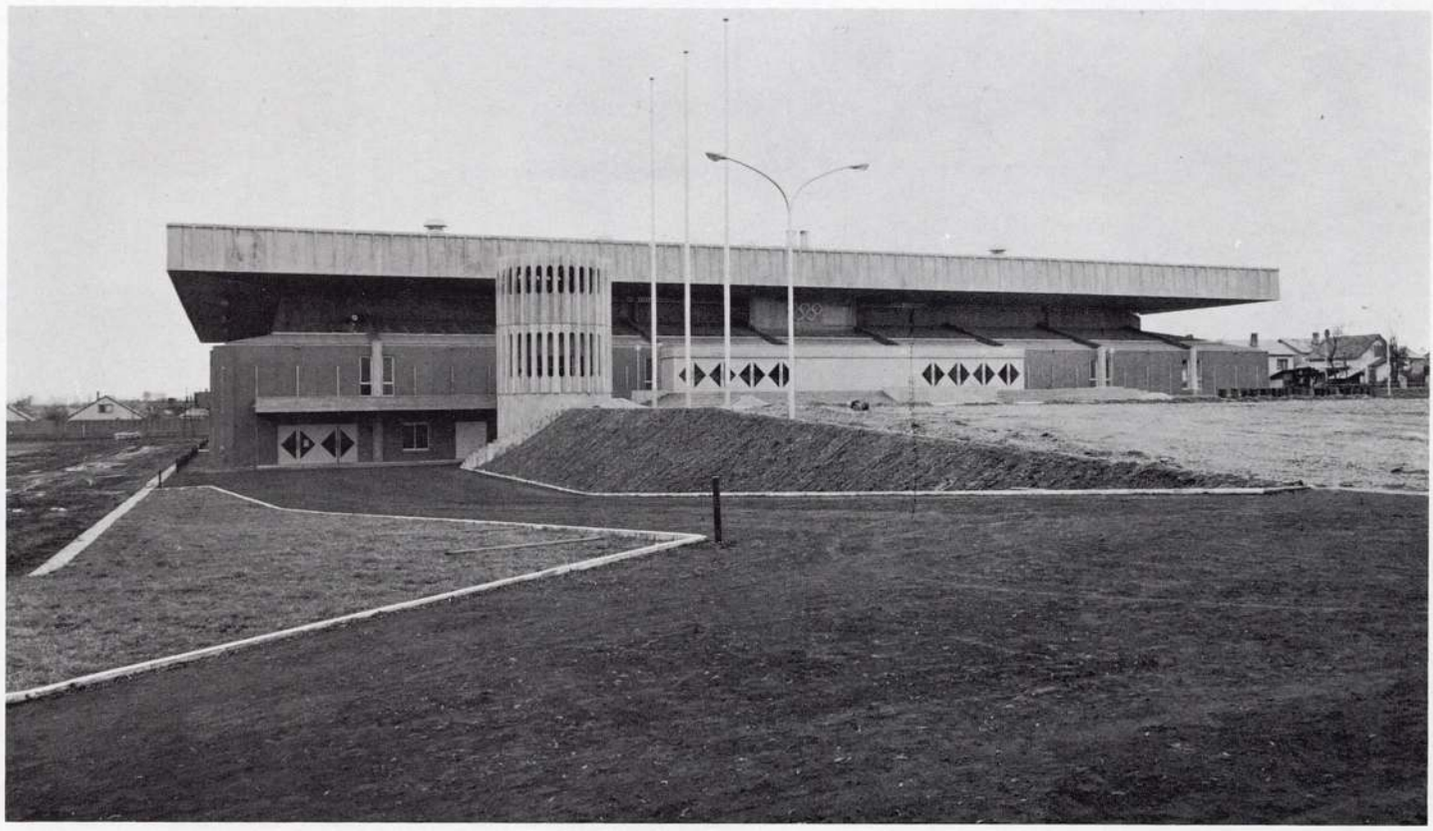
設　計	KK 北海道日建設計
施　工	丸彦 渡辺 木田共同企業体・三建設備工業KK ・荏原製作所・斉藤省三商店・(北)弘電社・電光電気・北海道電力KK
工事監理	札幌市オリンピック局 KK日建設計北海道事務所
所在地	札幌市月寒東１条８丁目月寒運動公園内
建築面積	7,088.84 m²
延面積	9,678.44 m²
構造規模	RC造、屋根S造、B１、１F、R段床
工　期	昭和45年３月～昭和46年11月
使用競技種目	アイスホッケー
観客収容人員	6,000人



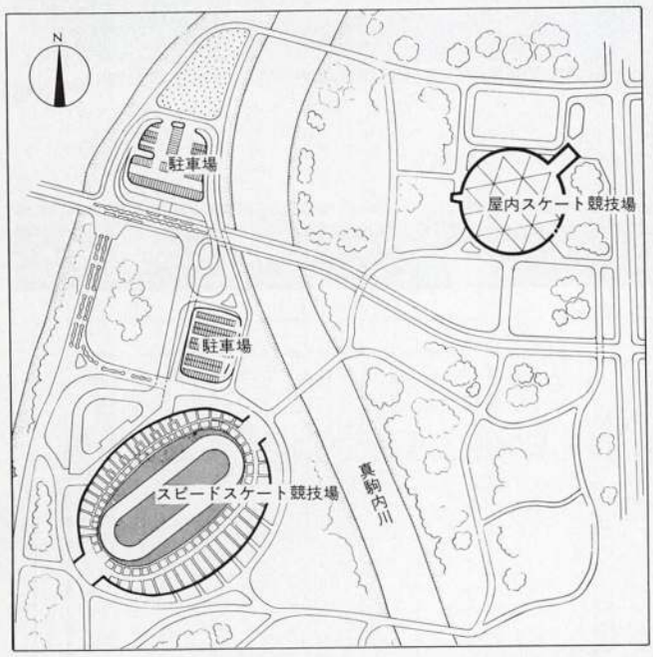
東西断面図 1/1000

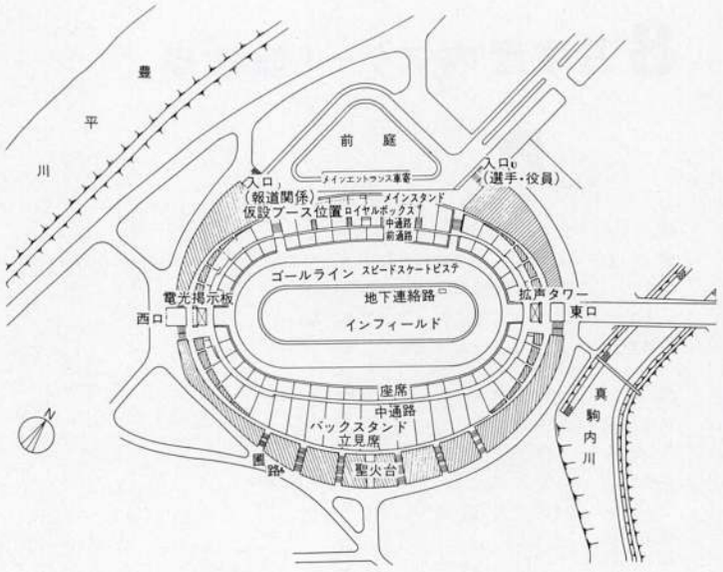


1 階平面図 1/1000

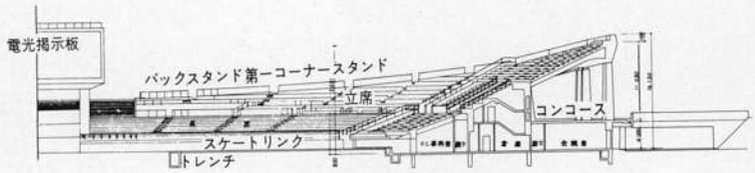


9 真駒内スピードスケート競技場





平面図



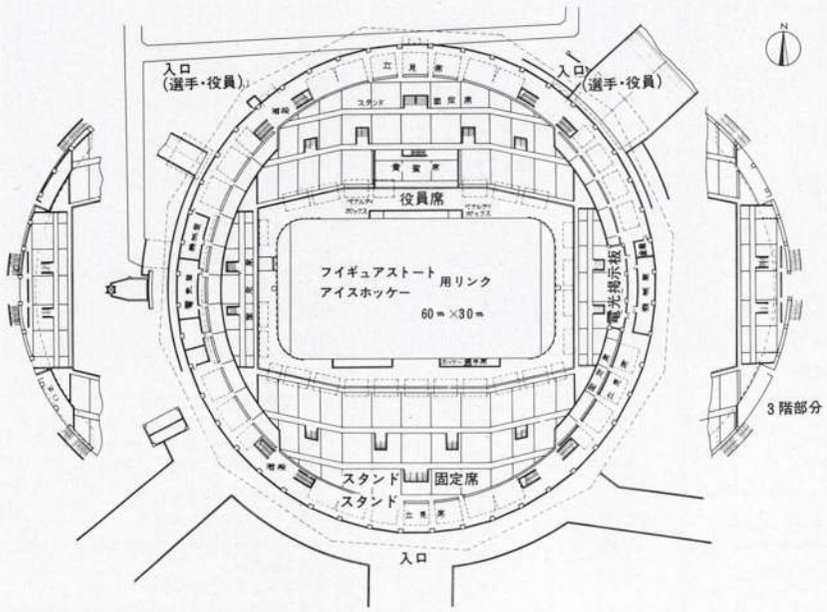
スタンド部分の立面図



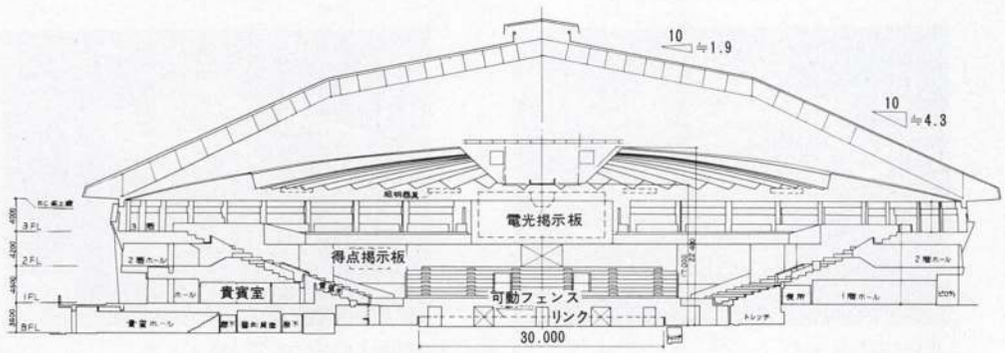
設　計	前川国男建築設計事務所
施　工	鹿島 伊藤 岩倉組共同企業体・末広屋電気KK・北海電気工事KK・協和建設工業・日本熱学工業KK・富士通KK三菱重工KK
工事監理	北海道開発局
所在地	札幌市真駒内17－90 真駒内公園内
建築面積	施設総面積　41,290m²
	グランド面積　15,157m²
構造規模	メインスタンド　RC造、2F　7,711m²
工　期	昭和44年5月～昭和46年12月
使用競技種目	スピードスケート　開会式場
観客収容人員	50,000人

10 真駒内屋内スケート競技場

設　計	中山克巳建築設計事務所
施　工	清水建設KK・東芝電気工事KK・日本電設KK・北王鉄工建設工業所・日建設備・富士通KK・KK日立製作所
工事監理	北海道開発局
所在地	札幌市真駒内17－89 真駒内公園内
建築面積	10,134m²
	21,973m²
構造規模	ＳＲＣ造
工　期	昭和44年3月～昭和45年12月
使用競技種目	アイスホッケー　フィギュアフリー　ペアスケート
観客収容人員	12,000人



平面図



断面図

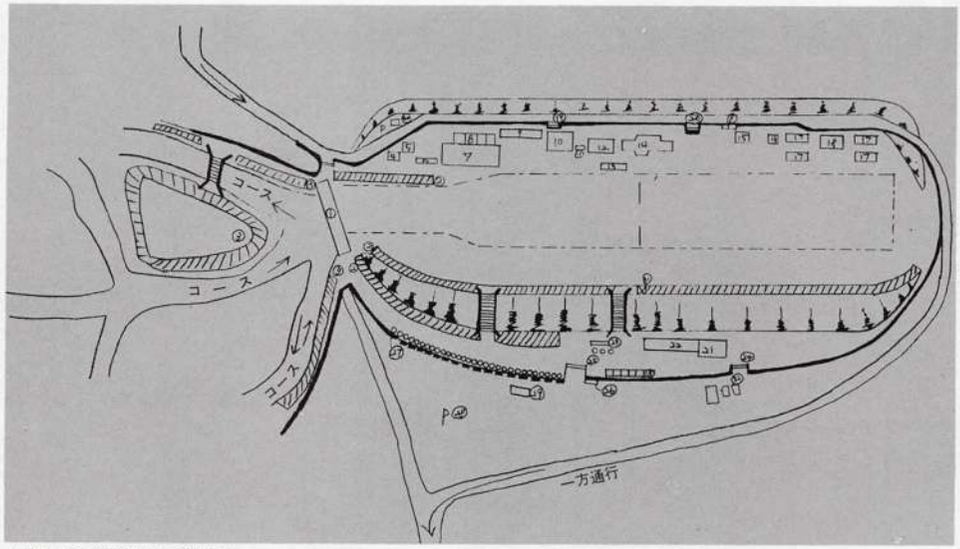




11 真駒内距離競技場



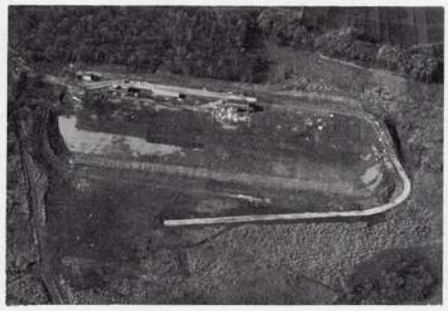
設　計　土木施設　札幌オリンピック組織委員会
サンコーコンサルタントKK
建築施設　栄建築設計事務所
札幌オリンピック組織委員会
施　工　陸上自衛隊・中山組・サンコーコンサルタントKK
工事監理　札幌オリンピック組織委員会施設部
所在地　札幌市真駒内
建築面積　コース全長　37km
運営本部　470m²
ワックスルーム　233.2 m²
選手控室　103.68m²
その他
工　期　昭和44年6月～昭和46年10月
使用競技種目　スキー距離競技
観客収容人員　10,041人



真駒内距離競技場　配置図

①アンダーパス巾2m高さ2.3m
②一般立見席　2m×280m＝560m²(1680人)
③コースサイド立見席（1000人）　(1000人)
④案内所　3m×4m＝12m²　(1500人)
⑤㊀バス　2m×6m＝12m²
⑥売店
⑦仮設スタンド　9m×31m＝279m²(800人)
⑧便所
⑨プレハブ　27m×5.40m＝145.8m²
⑩サブプレスセンター12.6m×18m＝100.8m²
⑪掲示板
⑫ローヤルスタンド
⑬カメラマンスタンド
⑭運営本部
⑮支援テント
⑯修理コーナー
⑰ワックスルーム
⑱選手控室　-
⑲関係者ゲート（プレスマンゲート）3m巾
⑳選手、本部関係ゲート　3m巾
㉑調整室
㉒放送ブース
㉓電光掲示板
㉔報道ゲート　4m巾
㉕一般、団体ゲート　6m巾
㉖入場券売場
㉗フラッグポール
㉘駐車場
㉙〃　詰所
㉚発電キ室
㉛NHKカメラ
㉜NHK中継車

（註）1 ▨ の部分は立見席として
①65m×5m＝325m²(約1000人)
②280m×2m＝560m²(〃1680人)
③100m×5m＝500m²(〃1500人)
2 ▤ の部分は階段として巾2m×長20m
3 フラッグーポールは電光掲示板5mの地点で3旗掲げる
4 仮設スタンドは約800人
5 参加国旗は一般・団体・ゲート左側から外周棚にそって掲げる
6 ▬ の部分は外周棚とする



真駒内距離競技場

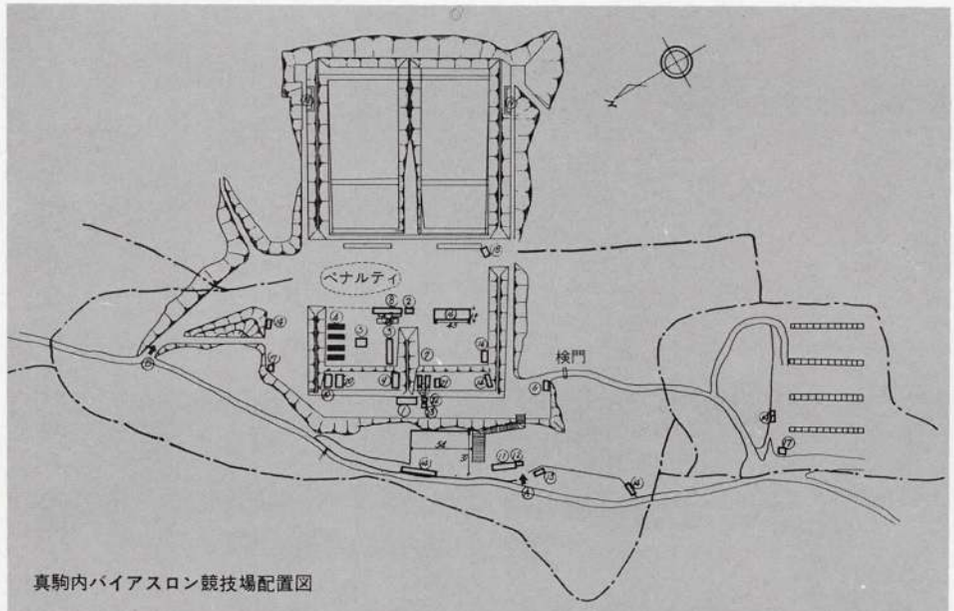


真駒内バイアスロン競技場

12 真駒内バイアスロン競技場



設　計　防衛施設庁・田上建築創作事務所・札幌オリンピック組織委員会
施　工　大成建設KK・大成道路
工事監理　防衛施設庁
所在地　札幌市西岡
建築面積　射場　150m×60m　48的
運営本部　324　m²
サブ運営本部　181.44m²
ゴールハウス　79.38m²
選手控室　84.24m²
ワックスルーム　233.28m²
工　期　昭和44年7月～昭和45年12月
使用競技種目　バイアスロン競技
観客収容人員　9,669人

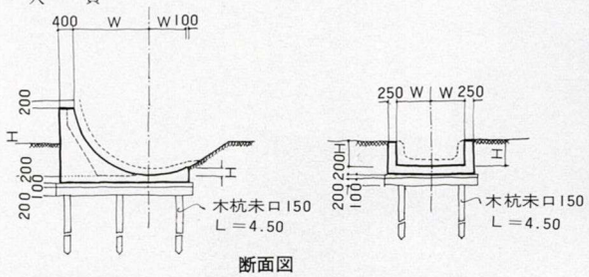


真駒内バイアスロン競技場配置図

①運営本部
②ゴールハウス
③サブ運営本部
④ワックスルーム
⑤選手控室
⑥自動発電室
⑦NHKテント
⑧放送ブース
⑨物品庫
⑩支援隊テント（自衛隊）
⑪売店
⑫案内所
⑬当日券売場
⑭仮設便所
⑮NHK中断車
⑯仮設スタンド
⑰駐車場ハウス
⑱電光掲示板
⑲監的事ム室
⑳救急車
㉑郵便車
㉒油庫
㉓小型発電機室
㉔広報、報道テント

13 藤野リュージュ競技場

設　　計　北海道開発コンサルタントKK
施　　工　KK 松村組・北海道電力KK
工事監理　札幌市オリンピック局
所 在 地　札幌市藤野
建築面積　コース全長 1,000m
工　　期　昭和42年10月～昭和45年12月
使用競技種目　リュージュ競技
観客収容人員　2,892人



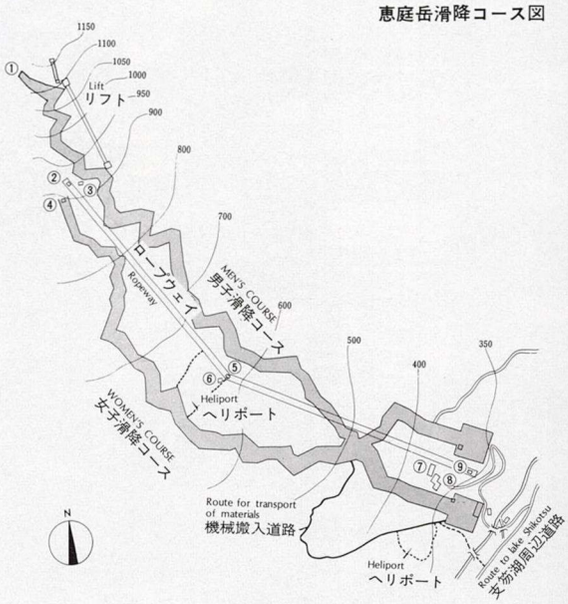
断面図


藤野リュージュ競技場S字型カーブ附近

14 恵庭岳滑降競技場

設　　計　パシフィックコンサルタントKK・
田上建築創作事務所KK
札幌オリンピック組織委員会
施　　工　岩倉組・安全索道KK・三菱電機KK・
パシフィックコンサルタントKK
工事監理　札幌オリンピック組織委員会施設部
所 在 地　千歳市オコタン
建築面積　コース全長　男2,636m 女2,095m
スタートハウス　男 86.4m² 女 77.7m²
ゴールハウス　男144.3m² 女105.5m²
運営本部　874.8m²
山頂ハウス　182.2m²
中間ハウス　155.5m²
その他
ロープウェイ　水平長858.63m＋788.47m
リフト　285m
工　　期　昭和43年6月～昭和46年12月
使用競技種目　スキー滑降競技
観客収容人員　男 6,374人　女 7,434人

恵庭岳滑降コース図





① 男子スタートハウス　④ 女子スタートハウス　⑦ 運営本部
② 山頂ステーション　⑤ 中間ステーション　⑧ サブプレスセンター
③ 山頂ハウス　⑥ 中間ハウス　⑨ 山ろくステーション



オリンピック村選手女子棟―「札幌オリンピック施設」工業調査会発行より

札幌オリンピック村の基本計画

太田　実

オリンピック村というのは，大会時に参加する各国選手団や役員を一定の場所に集めて同一のコンディションのもとに国際的な共同生活を送らせる宿泊施設であり，他の競技施設とならんで，オリンピック憲章に規定され，主催地で準備しなければならないことになっている。

大会の期間が短いので（会期11日間，開村期間42日間），どこの国でも，それを機会にその開催都市の公的な住宅供給事業の一環として新しい住宅地を建設して，必要な住棟分を一時，村として借用することになっている。

昨年のグルノーブル大会では，新しい大規模な都市計画に基づいて市域南方の約100万坪の敷地に1万6,000戸を収容するオリンピック・シティが計画され，その中の一部にＨＬＭの賃貸住宅や大学寮などが建設され，オリンピック村や要員宿舎に充当された。ただ，グルノーブル大会ではいくつかの競技場が都市から30〜70㎞も離れた遠距離のところに分散していたため，本村のほか，4分村を設けざるを得ず，連絡上の不便で苦情もあったようである。この点，札幌大会では14競技場のうち13会場が札幌市内に置かれることになったので，分村のわずらわしさがなく，幸い村を1カ所に集約して扱うことが可能になった。

しかし，今度の札幌オリンピック村は，まったくの新開発地に造られたわけではない。村の位置としては，札幌市街地の南にある道営真駒内住宅団地の中心部が選定された。この真駒内団地は，かつての道立種畜場用地で戦後米軍キャンプ接収解除後に，昭和35年頃，道によって計画的に建設された集団住宅地である。造成，建設事業はほとんど終了し，今度の村敷地になった中央部を除きすべて入居済みの住宅市街地になっていた。団地の中央部にあった警察学校と宿舎群が団地の南はずれに新築移転して，その跡地が更地のままになっていたのを選手村として活用することになったのである。

大会時の開，閉会式場ともなるアイスアリーナ(屋内スケート場)やスピードスケート競技場は，この団地の西側に隣接する道立真駒内公園に建設されたが，村敷地との間の距離はわずか1㎞足らずでしかなく，歩いて10分足らずの近距離にある。

この警察学校跡地（Ａブロック）は約15.7haで，これでは面積的に十分でないので，さらにその南西にまだ更地のままになっていた団地中心施設予定地（幸町２丁目の街区，Ｂブロック）の2.6haを加え，約18haを選手村とその関連用地に使用することになった（図１参照）。

オリンピック村に必要な施設の種類や規模，建設主体などについては，札幌オリンピック冬季大会組織委員会の施設専門委員会に設けられたオリンピック村小委員会および同基本計画分科会によって，昭和43年５月以降，種々審議の上，逐次決定され，それが村の計画条件となった。

しかし，村の施設は多種多様な建設主体や利用主体の混成からなるものでもあり，肝心の村運営本部棟ですら，その面積や内容が確定したのは46年になってからといった状態で，村の各施設は配置基本計画の作成を通じてその内容や規模が確定してゆくといったフィードバック操作のくりかえしのなかで具体化してきたものである。

村計画の基本方針として決まった重要事項を列挙すれば，つぎのごとくである。

(1) 開催都市地域の公的な住宅供給計画の一環として建設される公的施策住宅を村の宿泊施設として使用すること。

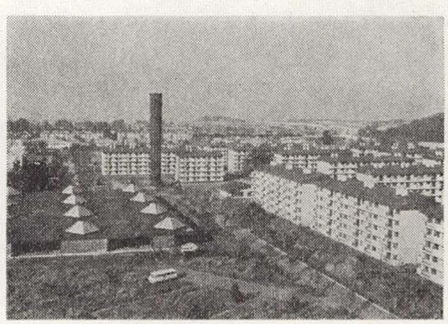
(2) 日本住宅公団の賃貸住宅を主体に，さらに特定分譲住宅をも建設する。公団の賃貸については，管理上，家賃などのこともあり，従来の中層の公団型をほとんど変えられないが，特定分譲住宅については高さ，平面型，規模などについて，ある程度の自由度が認められたわけである。

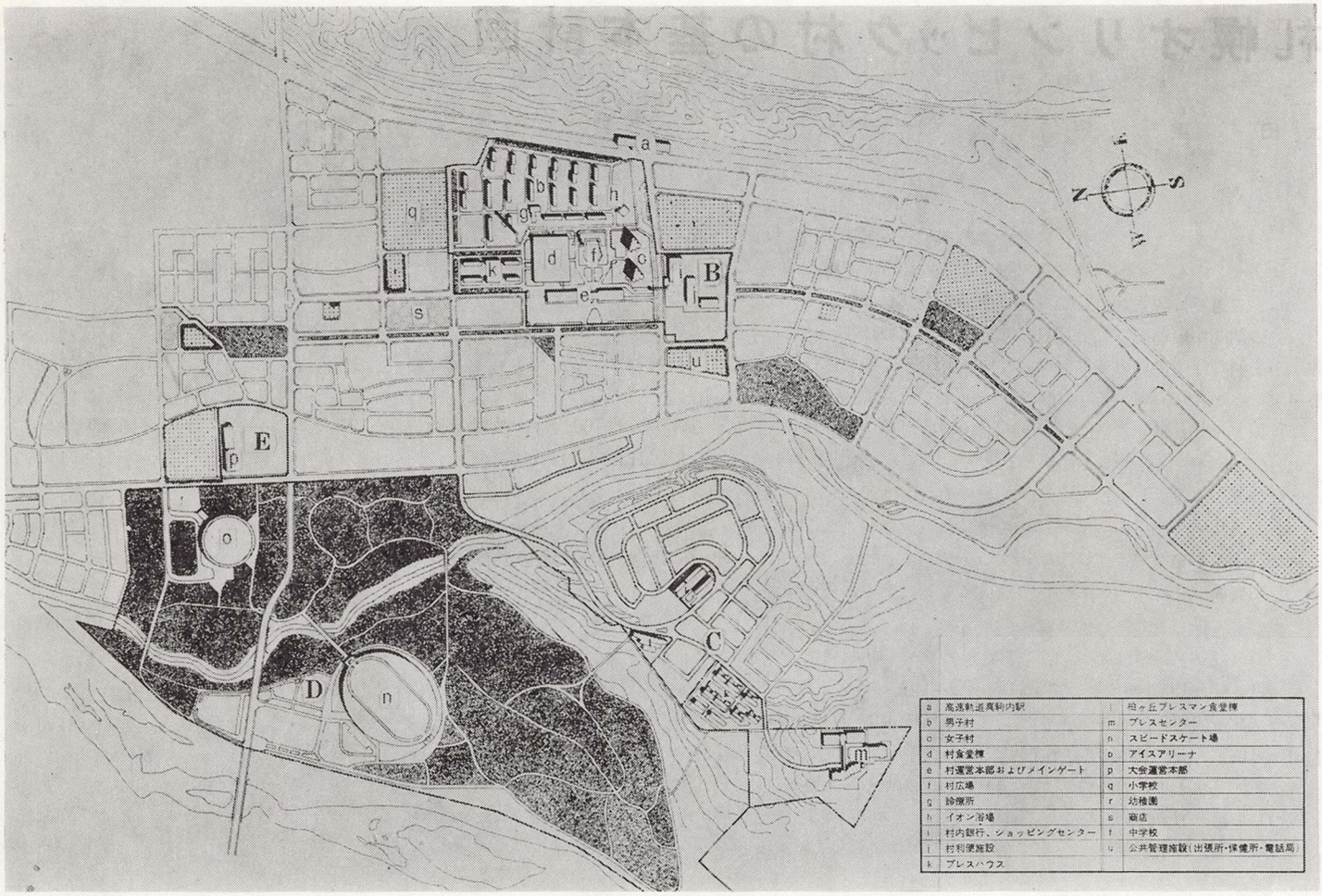
(3) 村の敷地が，すでに開発された住宅団地内の残された一画という理由で，既存団地の基本計画に合致した扱いが要請された。

(4) 宿泊施設のほか，村内で選手・役員の利用する関連施設については，大会後にも恒久施設として活用できるものがあれば，それを利用するのが望ましいということで，当初より関係機関間で協議検討された。しかし，予め引受先を見付けるのは困難で，結局，２，３を除き，ほとんどが仮設建物として建設され，大会後の撤去を前提に計画されることになった。

(5) 村の配置計画上，周辺の交通流が大会時点および大会後にどうなるかは重要な計画課題であった。大会時点までに建設される高速軌道の駅を村計画に合わせて修正し（当初案より100m南に移設），主に大会後を念頭にバスターミナルの規模や駅前の歩行者専用プロムナードの幅員（11mと14m，大会時の観客の主要動線となる）などが定められた。観客動線と選手役員動線が交錯しないように，村のメインゲートは村敷地の西側に置き，団地内を南北に走る幅員30mの修景幹線道路に面して設けられることになった。

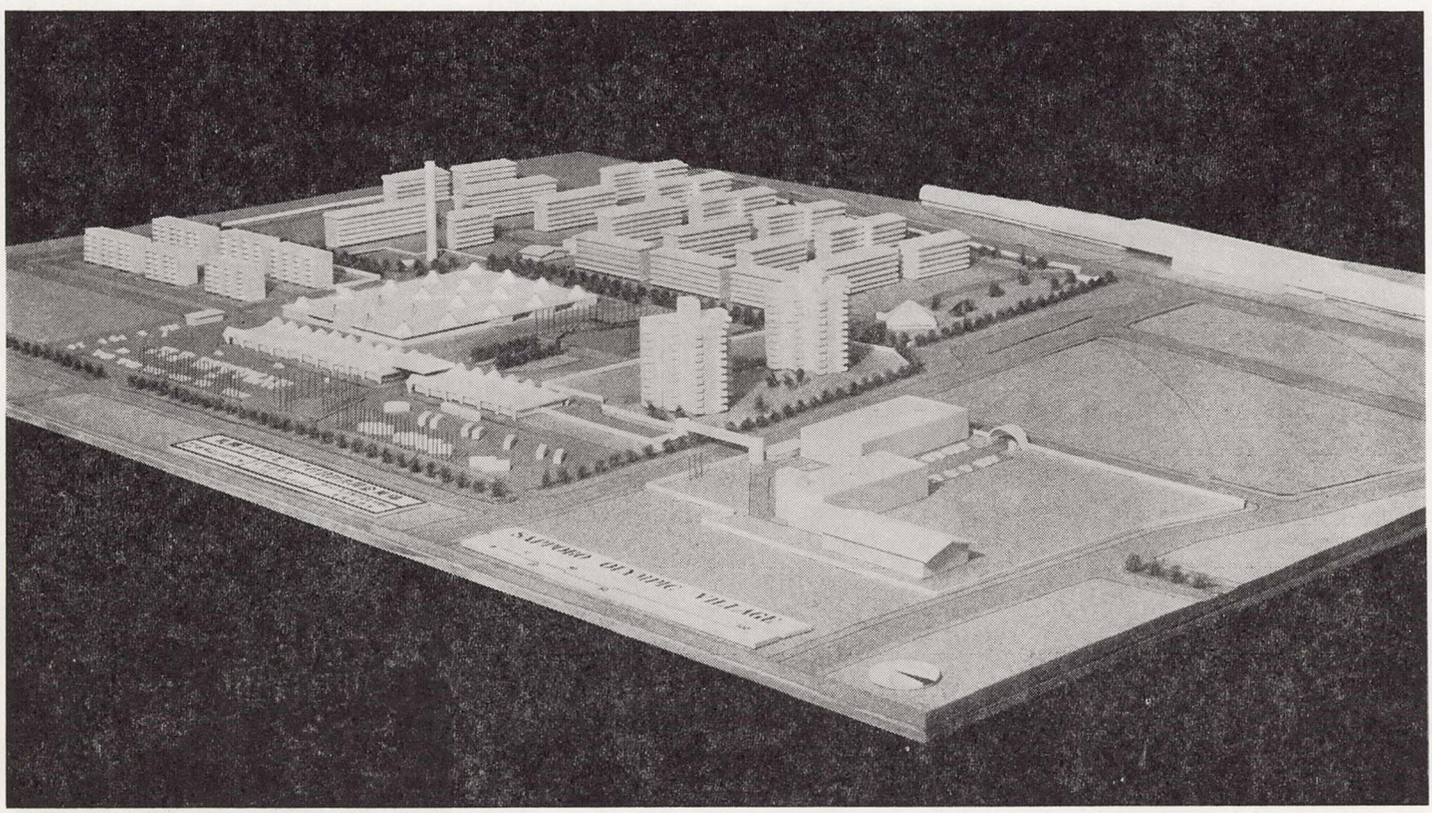
(6) 村内施設の配置計画としては，大会時の選手・役員の宿泊機能の充足もさることながら，大会





a	高速軌道鉄軌内駅	l	祖ヶ丘プレスマン食堂棟
b	男子村	m	プレスセンター
c	女子村	n	スピードスケート場
d	村食堂棟	o	アイスアリーナ
e	村運営本部およびメインゲート	p	大会運営本部
f	村広場	q	小学校
g	診療所	r	幼稚園
h	イオン浴場	s	商店
i	村内銀行、ショッピングセンター	t	中学校
j	村利便施設	u	公共管理施設(出張所・保健所・電話局)
k	プレスハウス		

図1　村周辺オリンピック関連施設配置図



オリンピック村模型

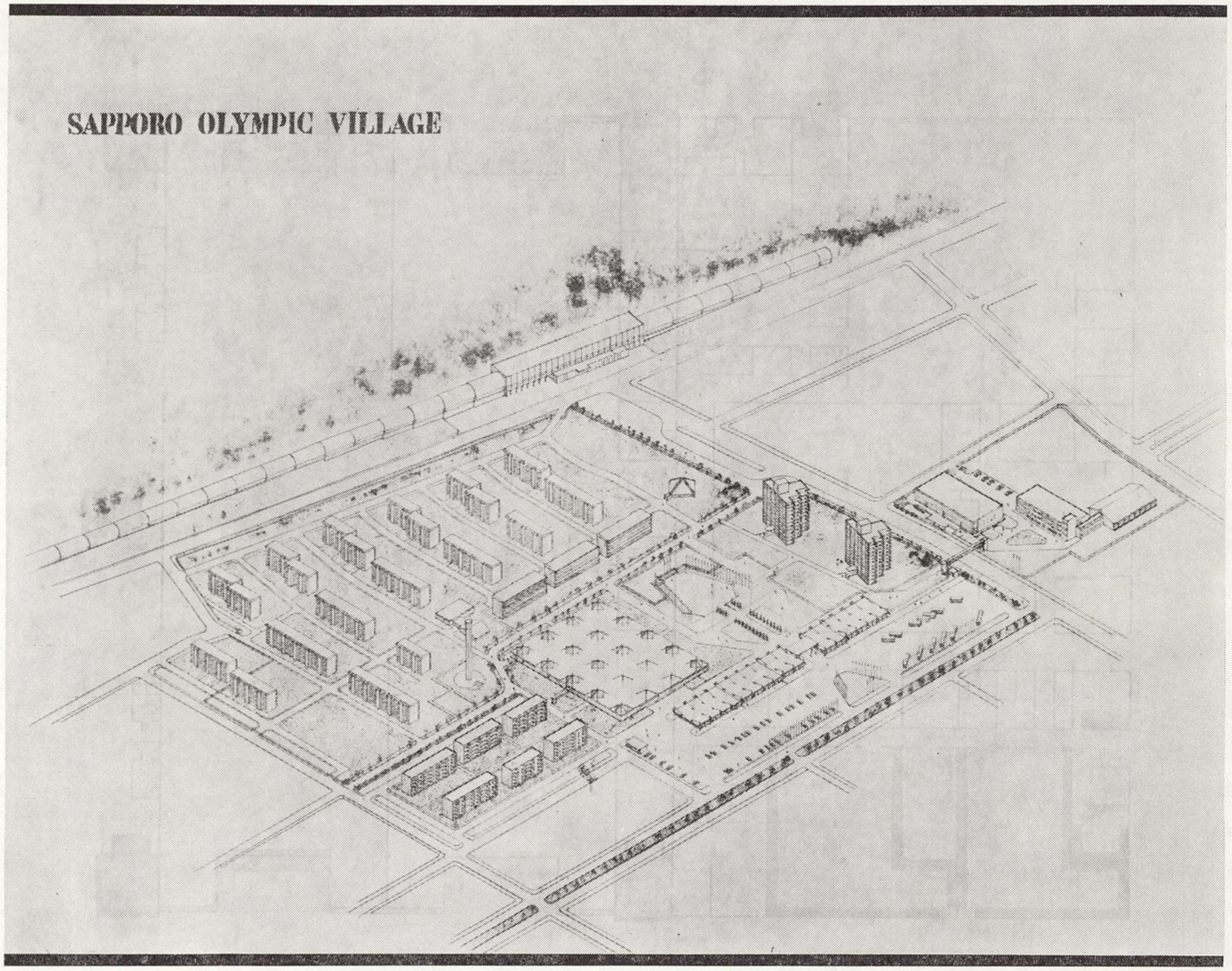


図2　村内施設配置計画の鳥瞰図

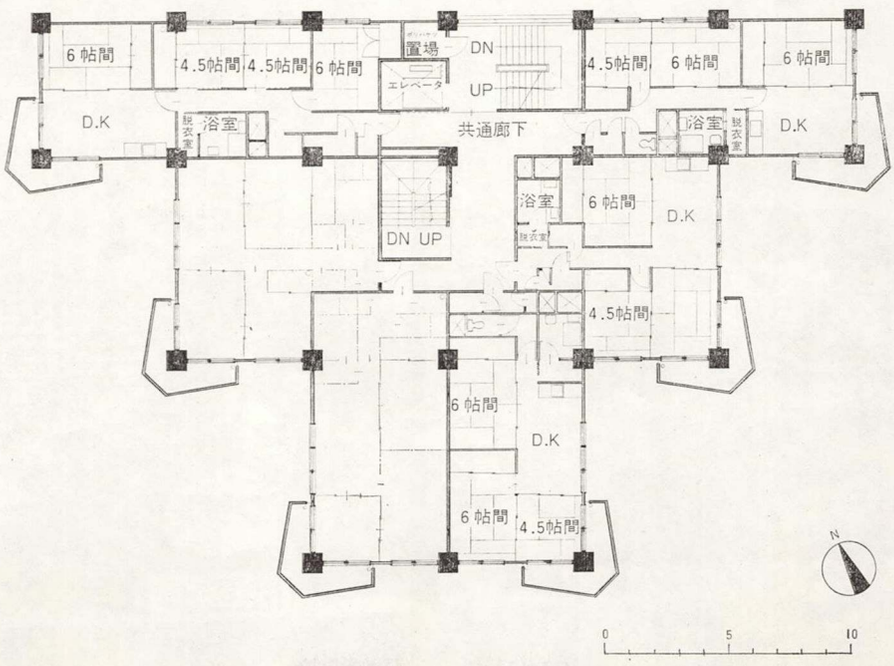


図3　女子村に利用される公団特定分譲住宅の標準平面（縮尺　1：300）

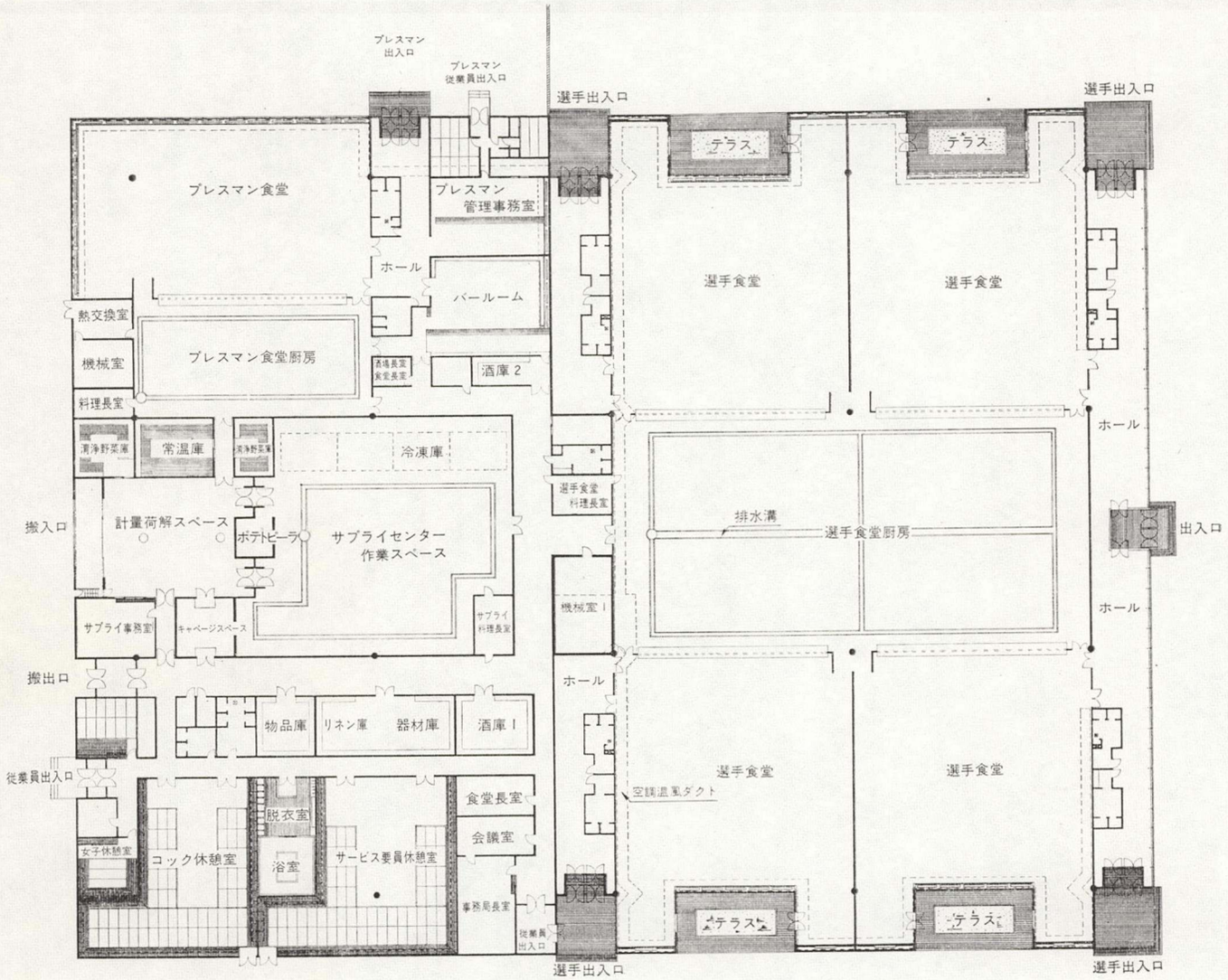


図4　村食堂棟の平面図（縮尺 1：1500）と外観



村食堂棟の俯瞰。右手に男子村の一部，北に隣接してプレスハウスが見えるが，他はすべて村外の既成市街地である。

後の住区計画に支障がないようにするのが主眼であった。

村内施設配置計画の骨子（図2参照）

約400m四方のAブロックを南北に走る中央の緑道（13m）で分割し，東半分に中層の男子村，西半分の南側に高層の女子村を配し，それらにはさまれた西側中央部に仮設の食堂・運営本部・村広場をまとめて設けることになった。Bブロックには選手のレクリエーション・利便施設を置き，歩道橋でA，B両ブロックを連結している。

中央の緑道は，大会後の住区に隣接する小学校，幼稚園，中学校などへの通学・通園および駅への通勤道路として活用される重要なモールとなるはずのもので，緑道に接して，集会所や児童公園なども設けられ，ナナカマドや常緑樹の植樹帯が住区内の環境にまたとない自然のうるおいを与えることになろう。

以下，村の各施設についてその概要を説明しておこう。

男子村と女子村（図3参照）

大会に参加する各国選手，役員は男子で42カ国約2,000名，女子で32カ国約300名と推計されているが，このうち男子用の宿泊施設としては，日本住宅公団の賃貸住宅ＲＣ５Ｆ18棟660戸（２ＤＫ570戸，３ＤＫ90戸）を充当し，男子村を構成する。配置は東西棟を主に南北棟をも一部加えて，住棟間のプレイロットなどを囲んで空間的にまとまりをつくりだすように意図しているが，すべて5階建の公団賃貸住宅ということで，戸数密度も限定され，家賃を高くするようなタイプは極力排除されて，結果的には公団の配置原則に準拠した形態になっている。

大会時の宿泊には6帖間に2ベッド，4.5帖間に1ベッドという方針で，現在のわが国の住宅事情からくる空間の絶対的な狭さが気になるが，大会時には押入をつくらず，浴室，トイレなどの寸法を外人向けに多少大きくしている。客室にカーペットを敷きつめ，ベッドなど必要なファーニチャを入れて使用し，大会後，内装の補修をした上で公団に返還することになっている。

女子村はもともとフェンスで囲まれた村内でさらに二重にフェンスで仕切られた別格の地区である。村内の住棟配置に変化をもたせるため，特定分譲住宅を充当し，11階建のＲＣ２棟計132戸として建設された。住戸規模も大会後の入居者の希望が規模の大きなものに多く，３ＤＫ，４ＤＫになっている。11階ではあまり高層とはいえないが，真駒内団地にとっては結構，ランドマークとして役立つはずである。各階6戸の住戸を戸ごとにずらして2～3面の開口を可能にし，バルコニーとともに周囲への眺望をひろげ，外部空間に独特の形姿をつくりだすことになった。



男子棟

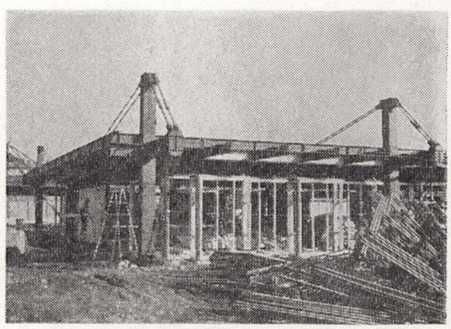


女子棟

村運営本部とメインゲート

村運営本部は大会期間中の選手，役員に対するあらゆる宿泊関連事務やサービス面での窓口である。この配置設計ではこの村本部棟を横長の平面として，中央にメインゲートを置き，建物全体で塀を兼ねた門構えになるように扱った（Ｓ１Ｆ3,202㎡）。この棟にはゲートから南側に選手用バスの待合室，面会室，電信電話室，郵便局分室，記者クラブ室，インタビュー室など主として選手のインフォメーション関係の施設を収め，ゲートから北側に村長室，事務室，保税倉庫，日通事務室，警備員詰所，営繕詰所などの運営管理部門が収められている。

この村本部棟は仮設建物だが，鉄骨の吊り構造でスパン23.040mの柱と吊り材を横に並列し，全長184mの長い門構えを構成している。本部棟の前面は駐車スペースで，選手送迎用バス40台，選手団長用ジープ40台，選手団付乗用車75台が駐車する予定である。



メインゲート（工事中）

村　広　場

村広場(1,716㎡)は各国選手団の入退村の儀式の行なわれる村の中心広場である。メインゲートを入ったところにエゾマツを整然と並べ，その先に各国旗を両側に配し，正面のメインポールに日本の国旗，大会旗を立てた村広場が眼に入ってくるようになっている。当初，赤色の舗装を施したサンク・ガーデン式の梯形広場を想定していたが，実施段階で予算上の困難から変更されることになった。

村　食　堂　棟（図4参照）

村内で利用しやすい位置で，しかも外部からのサービスの便も考えて，男子村と女子村の間に，村広場に面して7,950㎡の広大な食堂棟が配置されている。各国の食習慣の相違に対応して，選手役員用食堂は4ブロックに分けられ，それぞれ228席ずつ計912席があり，2.5交替で処理される。

この食堂棟には，村の北西に隣接する放送関係プレスハウスのための食堂（200席）とバールームも北西隅に設けられている。なおこの食堂棟には大きなサプライ・センターが組み込まれていて，食料品の使用期間分のストックのほか，各食堂（選手食堂のほか上記プレスマン食堂および他地区の柏カ丘プレスマン食堂分も含む）の厨房に下拵え材料を送り出すことになっている。

この食堂棟の建築は，多様な諸室をひとつの大屋根の下につつみこむ形になっていて，傘状の吊り構造による空間単位（架構の柱間23.040m×23.040m）を20並列することによって構成されている。突出した傘状の屋根の一部はトップライト用でもある。内・外装ともストラミットにスプルースなどの木の横羽目板を張ったパネル（960㎜×1,920㎜）をほとんど全面的に使用して木肌の素材感を行きわたらせている。



後方右手に高速軌道駅，前方右手にイオンハウス，左手に男子村。

診　療　所

村内の医務診療所としては，村の中央の公団管理事務所兼集会所（ＲＣ１Ｆ170㎡）を活用し，さらに不足分を仮設（Ｓ１Ｆ373㎡）で増築して充当することになった。5科の診療に当り，ベッド数は男子12床，女子5床が用意されている。

レクリエーション・サービス施設

村敷地の南側のＢブロック（幸町２丁目）は，真駒内団地の中央に当り，もともと団地の中心施設用地として予定されていた街区である。この街区は道有地と市有地，一部拓銀用地で，村計画時点には一隅に警察派出所とガソリンスタンドが建っていただけで，他は大きく更地になっていた。ここに将来とも住居地の中心施設（コミュニティ・センター）となる施設群を建て，それを大会時に必要な選手達のレクリエーション・サービス施設に充当する方針で計画が進められた。

各施設の決定には，土地の交換や用途上の問題もあり，道・市をはじめ誘致企業，周辺地区住民などの間の意見調整のため，タイムリミットぎりぎりまで内容が固まらず，幾多の紆余曲折を経たが，最終的には市立の小学校，拓銀の銀行とスーパーマーケット，区役所の一部を建てて，村施設に充当することになった。

村内銀行とショッピング・センター（ＲＣ２Ｆ，鉄骨屋根，1,700㎡）

銀行は大会時にも外貨両替銀行として使われ，スーパーマーケットは１階を選手達のための土産品・日用品店舗にし，２階を国際的な社交場としてのインターナショナル・ホールに使用し，喫茶コーナーやラウンジ，さらに理容・美容室も設けられている。

その他利便施設

容れ物として本来ふさわしくはないが，小学校の建物（校舎ＲＣ３Ｆ，2,900㎡，屋体Ｓ１Ｆ800㎡）には，校舎に読書室，卓球室，ビリヤード，サウナなどのレクリエーション施設のほか，会議室，競技用具修理室，従業員食堂などが収容され，体育館は劇場に利用されることになった。

地域暖房プラント

このオリンピック村には，寒冷市街地での暖房方式改革の先鞭として全面的に地域暖房を適用することになっており，そのボイラー・プラントを将来の区役所となる建物の地階に収容している。

イ オ ン 浴 場

なお，このほか，今大会の特別のレクリエーション施設として，選手達の疲労恢復の一助にするため，酵素利用のイオン浴場（Ｓ１Ｆ243㎡）がＡブロックの南の一隅に仮設で建てられ，持込まれた観葉植物とともに村内生活にうるおいを与えることになっている。

お　わ　り　に

村の各施設が出揃って，ようやく開村を迎えようとしている現在，当初を振返って考えさせられる問題点としては，わが国なりの建設制度上の諸制約のため，この村の建設計画が，意図はさておき，実質的には一元化された事業計画ではなかったことにある。各施設の決定は，各管理主体ごとの予算計画や建設プログラム上の判断に委ねざるを得ず，村という地域の施設複合体に統一した斉合性をつくりだすことの困難であった。また施設の建設企画が決定したあとでも，それぞれの配置計画と設計面での統合を図るために特別の組織上の配慮が必要であった。

今度の村の基本計画と設計については，一部施設を除き，このためにとくに組織された「札幌オリンピック村設計共同企業体」によって設計上の一体性と外部空間構成上の有機的統一性をつくりだすための努力が払われた。しかし，そのような試みも幾多の困難な諸条件のなかで，初期の十分な成果を挙げ得たかどうか，関係者一同，謙虚に反省をしている次第である。（1971年11月）

オリンピック村関連諸施設の設計組織

- 村基本計画，配置設計
- 女子村に利用される公団特定分譲住宅の設計
- 村運営本部およびメインゲートの設計
- 村食堂棟の設計
- 村内銀行およびショッピング・センターの設計
- 歩道橋，イオン浴場，診療所の設計
- 村広場および外構の基本設計

札幌オリンピック村設計共同企業体

構成員　監修・北海道大学教授　太田　実
㈱都市設計研究所
北海道開発コンサルタント㈱
㈱集団制作建築事務所札幌事務所

協力事務所　構造　㈱ハガネ建築事務所札幌事務所
設備　㈱桜井建築設備研究所北海道支所

- 男子村に利用される公団賃貸住宅および集会所，揚水塔の設計

北海道開発局営繕部

- 村利便施設に利用される市立小学校の設計

札幌市建築部・㈱石本建築事務所札幌支所

（おおた　みのる　北海道大学教授・札幌オリンピック冬季大会組織委員会施設専門委員会，村小委員会委員）

札幌市の道路計画・地下鉄計画

札幌の都市計画と関連して

十楽寺　直　彦

古い時代，それは紀元前15世紀頃ということであるが，古代オリンピックがギリシヤで始まった。その頃オリンピックは，ギリシャ市民にとって生活の重要な一部となっていた。競技は，彼らの信仰を生んだ神に捧げるための祭典競技であって，競技は神域を離れることがなかった。しかし，キリスト教の布教にともなって，この神への祭典は中断した。

一般に，近代オリンピックはクーベルタン男爵（仏）を創始者としているが，古代オリンピックの復興は，ルネッサンス時代の人間精神解放の頃から叫ばれ，細々とした動きがあったが，広く民衆に受け継がれるものにならなかった。クーベルタン男爵は，古代への憧憬と世界的なスポーツ振興に心を打たれ，スポーツを通して世界の融和を計ろうと，1894年6月23日「国際オリンピック委員会（I.O.C）」を組織し，1896年を新しいオリンピァードの起点とし，以後4年目ごとに開催することを決めた。

さて，第11回オリンピック冬季大会を札幌で開催することに身を挺して尽力し，これを成功に導いた最高の栄誉者の一人と称される，前札幌市長原田与作先生の著書"自治体生活50年(時事新書，昭和46年刊)"の中から要約すると，「昭和34年に先生がはじめて札幌市長に立候補するときの3つのスローガン『明るく正しい市政・近代的な市政・計画的な市政』は，先生の青年期東京市役所勤務時代に，後藤新平――永田秀次郎市長から受けた強烈な印象と考え方を延長したものであるが，先生は，市長に当選後第一着手として，街づくりの総合計画の立案にとりかかった。そこで，この10年計画は，札幌が満足すべき状態に達しないまでも，少なくとも現状よりはるかに改善された効率的な都市活動を期待し得るものにしたいと，意欲的に取組み，約287億円の事業費に達したが，さて，この事業費の財源となると，当時の地方財政の状況からみて，通常のやり方ではとても手が出ない。

オリンピック競技を開催するということは，オリンピック憲章により，スポーツの祭典を通じて世界の平和に寄与することが目的であることはもちろんであるが，第二義的には，この機会に開催国の国威を宣揚しようという意図から，どこの国でも開催市のあらゆる施設に国費を投入し，あるいは援助することが通例であった。そこで，10カ年計画の達成をひかえ，思いついたのが冬季オリンピックを招致しようということであった。しかし，オリンピック招致とは，きわめて難事業で，立候補から招致決定まで6年かかった。」と述懐しておられる。

スポーツの歴史ひとつをみても，長い時代をかえりみるとそれなりに時の流れを反映したいろいろの姿がある。全市にオリンピック協力会が生まれている世界唯一の百万SNOW都市SAPPOROでは，時代が時代だけにすべてが機械力を中心に準備完了の状態で，市民が直接土くれのひとつに奉仕する機会がなかったことは，残念といえば残念といえるが，土方作業ばかりが協力ではない。プランから施工・運営そしてムードの盛り上げまで，100万人の力は偉大なものである。総投資額約2,000億の関連事業を見事にこなし，国の内外の協力に感謝しつつ，今，世紀の祭典を目前にしている。

その中から，私は主として道路と地下鉄計画について，以下ご説明申し上げたい。

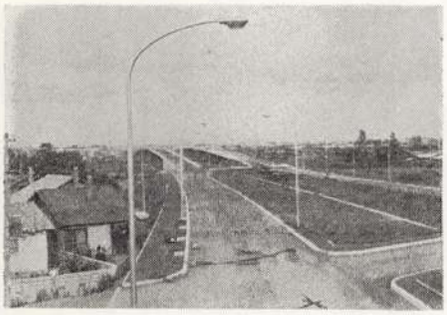
1. 道　路　計　画

札幌の都市造りは，明治維新後，新政府の手により計画的に始まったものであり，日本における代表的な新都市として知られている。当時，開拓使という今の道庁の主席判官であった島義勇は，他日五州第一都になる土地柄だと確信して，雄大なる計画のもとに幅100mの大通りを南北の，幅約56mの創成川通を東西の基線とする街造りを始めた。その後，札幌市街の土地区画については，明治4年，岩村判官によって推進され，一里四方にわたって縦横11間（20m）道路とその間に6間（11m）の小路を配した碁盤目状の市街地を造った。その後，ケプロンなどの外人雇技師によって車道・人道の設備，運河，下水，橋梁，洋式建築，公園，加工工場，文教機関の設備がなされた。この碁盤目状市街は，都市空間が豊かで，最近までほとんど手を加えなくともよいほどの規模であったが，全国的な都市化現象による市街地の拡大とモータリゼーションの普及に対応するため，昭和11年の都市計画決定により近代的な放射・環状型道路を組み合せて，格子型を補完する計画を定め，さらにそれを拡大発展させつつ，オリンピック決定以来，これら都市計画道路の整備を進めてきた。

1－1　将来道路計画の概要

現在の都市計画・道路計画は，昭和40年に昭和60年を目標年次として計画されたものであり，その主要指標は第1表のとおりである。

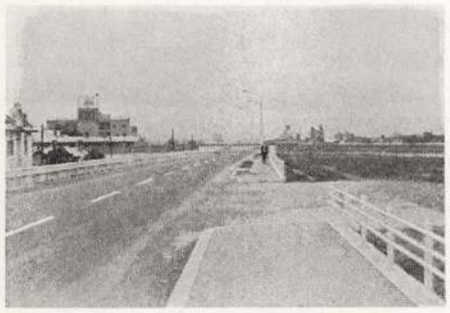
札幌新道



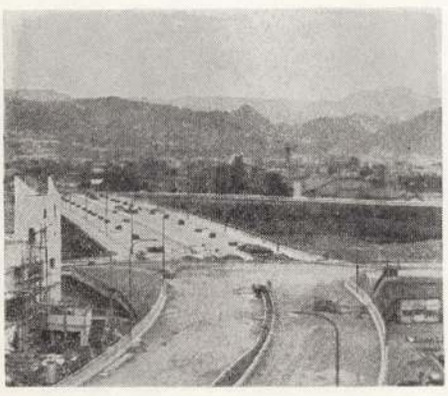
創成川立体交差



豊平川通



南19条大橋（環状通）



自動車台数は，１日当りの運行回数の少ない自家用乗用車の増加が著しいものとしているため，総運行回数は自動車台数の伸びほど増加しないものと推計している。交通計画は，この運行回数とどの方向に需要があるのかを適確に把握することが重要であるので，土地利用計画と一体となって計画を進めている。道路網の基本パターンとしては，１環状・５大放射・１バイパスを基本としており，これらは広幅員道路として計画されている。すなわち，

１）都心方向に集中する大量の放射交通に対しては，広幅員の放射道路で集約的に受けもたせる。

２）放射交通を直接，都心部に導入するのを避けるために，半径約３kmの環状通を設けて交通の分散を計る。

３）長距離交通は，バイパス（札幌新道）によって処理する。

である。道路網として都市計画決定をしているのは，87路線，総延長540kmに及び，これら幹線計画道路の面積率は，昭和45年７月に決定された市街化区域内の6.3％に相当する。さらに，行政区域にとらわれることなく，札幌都市圏としての一体的計画をたてるということで目下，札幌圏（２市２町）で主として土地利用，道路計画を再検討中である。思想的には，昭和40年の計画と大差ないが，若干違う点は，土地利用の面からは単一都心からの脱皮を計るため，副都心構想があることと，道路計画の面からは，防災緑地帯の配慮と既成市街地の平面的な再拡幅を避けることおよび交通の効率化を計るために，都市高速道路の導入を考慮している点にある。都市高速道路の実現手段としては，再開発事業を併用しなければ困難なことから，今後，ますます土地利用や建築計画との斉合性が要求されるものと思われる。

第１表　主　要　指　標

項目＼年次	昭和40年	昭和45年	昭和60年
人口	82 万人	101 万人	145 万人
自動車台数	6.3 万台	13.2 万台	32 万台
総運行回数（トリップ数）	万トリップ 40	万トリップ 100	万トリップ 190

第２表　オリンピック関連事業計画

名称		事業路線数	事業総延長	金額
国道		6路線	34.9km	百万円 18,520
道道	道路事業	3	43.6	4,162
	街路事業	7	17.6	6,135
	計	10	61.2	10,290
市道	道路事業	5	21.1	2,328
	街路事業	15	42.4	19,755
	計	20	63.5	22,083
合計		36	159.6	50,900
有料道路		2	48.3	26,988
総計		38	207.9	77,888

１－２　オリンピック関連道路の整備

オリンピックという国家的行事のため，道路整備５カ年計画に関連道路事業などの推進が計画の柱として取入れられ，国の強力な援助のもとに実施された。この全体計画は**第２表**のとおり，総額にして779億円にのぼっている。このうち，オリンピック関連道路の路線の選択に際しては，

１）選手村と各会場間

２）各会場相互間

３）都心部交通機関と選手村および各会場

を結ぶものを主体とし，街づくりとしての投資効果を高めるため，会場周辺道路を除いては，原則として都市計画道路の整備に重点をおいた。

関連道路のうち，主なものを紹介すると，

１）札幌新道（国道）：札幌小樽道路（札樽バイパス）から国道５号線で分岐し，手稲宮の沢から北部，東部をバイパスして国道36号に連絡する総延長23.7kmのうち，オリンピック関連として手稲宮の沢～国道231号線間6.6kmについて，幅員50mで両側，側道（２車線ずつ）を83億円をもって整備した。本線部分は，将来国土開発幹線自動車道が通る予定で用地確保している。

２）創成川幹線（国道，市道）：札幌新道から都心への乗入れのために，創成川の西側に３車線道路を新設したもので，平行している現在の国道231号線とペアの一方通行として使用する。さらに，都心部の主要幹線である国道12号と国道36号とは，アンダーパスの立体化を計った。

３）豊平川幹線（市道）：創成川幹線からさらに南の真駒内会場と都心を連絡するため，札幌の母なる豊平川の両岸堤防の上に各２車線の一方通行路を新設した。

４）大通（市道）：市の中心部を東西に貫通する大通りは，都心部においては幅員105.45mで，外側を道路，中をグリーンベルトとして公園的に使用している本市のシンボルであるが，西13丁目以西の20m区間を円山公園まで延長して27mに拡幅し，大倉ジャンプ台会場と都心との連絡を計った。

５）北24条通（市道）：大倉会場と真駒内会場の連絡のため，南西部の藻岩山，円山の山麓沿いに幅員15mの道路建設を行なった。この地域は，閑静な住宅街ということもあって，地元の強い抵抗にあったが地形的に起伏の激しい所であるので，原案再々の説明を行ない住民の協力を得た場所である。

６）環状通（市道）：国道12号線～西７丁目間（幅員27～36m）の整備であり，都市計画として最重要の道路である。この道路には，豊平川に南19条大橋を新設したが，幅員は30.5m，延長236mと全国的にみても特筆すべき規模のものである。



図―1　オリンピック関連道路整備計画図

以上，代表的なものを紹介したが，その他にも図―1のとおり，31路線がオリンピック関連道路として整備された。事業の執行にあたり，やはり何といっても用地買収に困難をきたし，住民側抵抗としては，全国的にみられる公害問題に多く集まり，その説得に苦慮した。平面街路の使命を，ともすれば自動車交通のみを捌く，このようにとらえられがちであるが，このスペースは数少ない都市空間であり，都市供給施設のためのスペースでもあるという多目的利用の再認識の上に，今後取組まなければならないと考えている。

1―3　道路案内標識

札幌の都心部は格子状の街並みが整然としており，分りやすいことで定評のあるところだが，新市街地は必ずしも分りやすいとはいえない。そこで，国際的行事のため地理不案内の多数の外訪者が予想されることと，新設道路の有効利用を計るために，交通信号機の下に現在位置を知らせるための地名表示板を635枚設けると同時に，主要交差点に200基の道路案内標識を設置した。この案内標識は，国道，市道，道々が表示方法を統一してあるので，目的地別に交通流が定着化することも期待される。

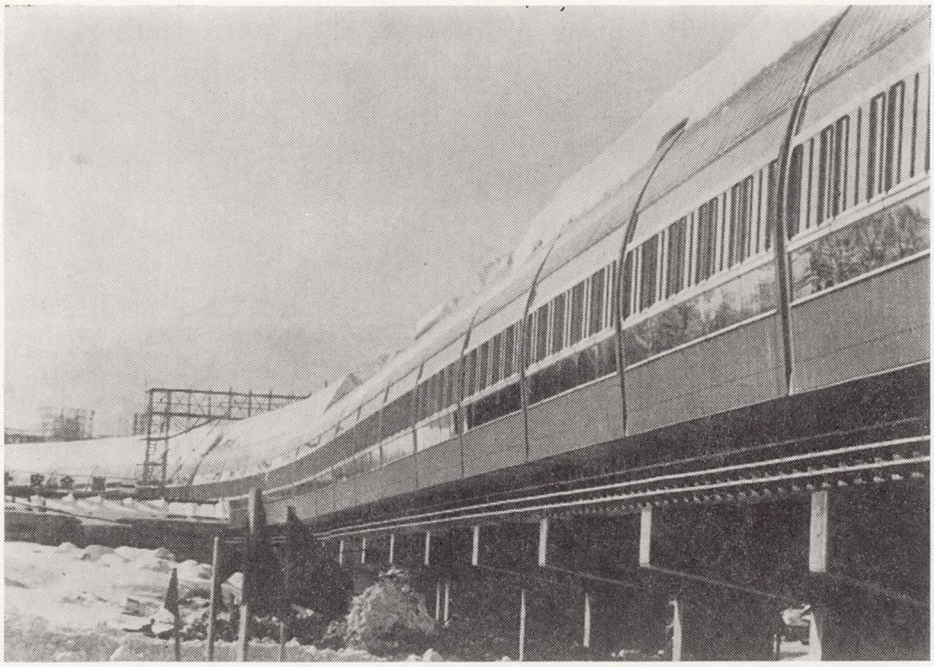
道路案内標識（国道5号線）



2.　地　下　鉄

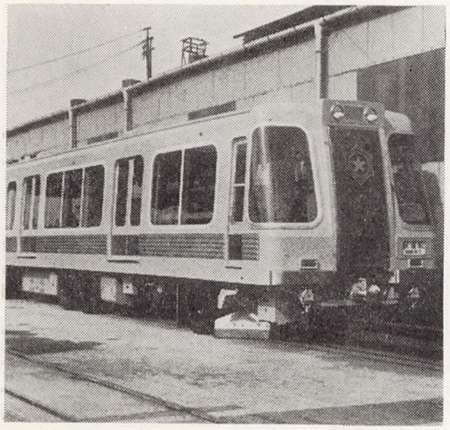
札幌は，公営企業としての市電，市バスを経営しているが，市電については，混合交通としての限界に達しており，とくに都心部は歩いた方が速いという慢性的麻痺状態に陥っている。冬季においては，まさに雪との闘いであり，大量輸送機関としての使命に限界をいっそう感じさせ，これが自家用車による通勤を促して交通を混雑させているという悪循環を呈しているとも受けとれる。一般に100万人以上の人口を有しない都市は，地下鉄を建設してもペイしないというのが通説であったが，すでに古くから市電経営に乗り出した当時冒険とも思われる勇断が，現在まで市民の足として結果的に貢献したことを思い浮かべると，将来的にみて，地下鉄経営に乗り出すのは決して誤ちではないとの確信のもとに建設に着手した。われわれは，仕事をする場合，先人の雄大かつ大胆な業績を思い起して，たえず模範とする必要があるとつくづく感じさせられる。

札幌の地下鉄は，無雪地帯と異なる使命をもっている。雪に災されない市民の足の確保，これが



高架部のシェルター

ゴムタイヤ方式車輌（札幌方式）



最大の使命である。このような期待を担った地下鉄南北線12㎞の建設も終了し，12月15日の開業を前に走行試験を実施中であるが，他に見られない数々のユニークさをもっている。まず第一に，車両は案内軌条 ゴムタイヤ方式（札幌方式）を開発したことである。これは高架部分が相当あるので，今までの鉄輪では沿線への騒音公害が問題となることを予想したことと，加減速性能の向上，急勾配に強いことを考慮したものである。このために，コンクリートレール面には試験的に特殊の舗装を施したところもある。第二は，高架部分を雪から守るためのシェルターの設置である。これは鉄骨に耐しょく性アルミ合板を取付け，軌道をトンネル状に覆っている。シェルターは，採光および車内から外を見通せるよう透明窓を大きくとってある。シェルターに決まるまで当初，雪をどうするかで軌道上の雪を電熱で溶かすなどの種々の比較検討を行なったが，溶けた水の処理や氷結が問題となり，最終的に㎞当り２億円 の投資の方が有利 ということで決定したものである。第三は，駅事務の省力化を計るため，世界で初めての出改札業務を中心とする自動化構想である。この自動出改札システムは，乗降駅名，日付，有効期間などが磁気膜に記録されており，自動券売機，自動改札装置，自動精算機とこれらを制御するコンピューターによって，人間の手を借りずに出改札が行なわれる。将来は，案内放送，精算業務を含めたトータルシステムとする計画もある。この南北線12㎞の総事業費は約 434億円（１㎞当り建設費　地下部41億，高架部 23億）と莫大な経費がかかっているが，完成後は交通体系もバスルートの地下鉄駅への結節などによって，再編成されるので輸送効率は高くなくなると予想している。その際に運賃が割高になるとの市民の声に応えて，バス・地下鉄乗継ぎ割引定期券の発行など，市営企業ならではのサービスも実施されるが，輸送という目的から交通体系一元化の議論のある現状において，注目すべきことと思う。

3. 地　下　街

地下鉄の建設による路面掘削を契機として，同時に地下街を併設する公共地下歩道，駐車場を建設したいという要望が商工会側から強く盛り上った。行政的には「公共スペースに私権をおよぼすのは好ましくない。」とする意見が多かったが，市民としては反対はほとんどなく，むしろ「冬季における買物に寒さから解放されたい。」とする希望を背景に強い支援があって，ついに建設に着手し，地下鉄完成と同時に営業開始の段取りとなっている。

以上，本市の道路計画と地下鉄などの概要を述べたが，札幌はまだまだ開発途上にあり，今後の課題も沢山ある。なかでも次のものがあげられる。

１）国鉄函館本線の高架化

市街を南北に分断している函館本線は，均衡ある市街地形成と交通におよぼす影響から，是非，高架にしなければならない。

２）都市高速道路の建設

自動車専用，歩行者専用，自転車専用道と交通を機能的に分離し，安全かつ合理的な交通確保を計るうえからも，都市高速道路の建設と今後取組まなければならないと考えている。しかし，この道路は，物理的に平面街路と違い，計画を誤まると都市そのものの破壊にもつながるので，今後広く意見を聞き慎重を期していくつもりである。

（じゅうらくじ　なおひこ　札幌市建設局計画部長）

札幌市の都心部および団地の地域暖房

堀　江　悟　郎

1.　札幌における地域暖房の導入

地域暖冷房あるいは集中暖房といえば，今は耳新しい言葉と思う人もいないであろうけれども，一般に都市施設が不備のままそれに耐えてきたわが国の事情のもとで，少し以前までは地域暖房など専門家の間でも遠いよそのことのように考えられていたものであった。20年ほど前に札幌市にはじめて相当規模の住宅団地建設の計画が起されたとき，経済性に関して個別ストーブ暖房との比較データまで添えた集中暖房計画が作られたことがあるが，もちろん陽の目を見なかった。うちわの話では，たとえストーブより経済的であるとしても，庶民住宅に温水暖房とはお役人の観念ではぜいたくということになるのだということであった。貧乏人根性というものは合理性よりも一文惜しみをよろこび，他人のしあわせには足を引っぱりたがるのであるけれども，当時としてはこれがむき出しの世相であったからしようがなかったともいえる。

昭和37年になって，札幌ではばい煙防止に関する市条例が施行された。戦後の札幌市の人口増加率は国内で最大級に属する方で，経済的発展もこれにともない，市内での燃料消費は急激に増加した。そのためばい煙の発生がいちじるしく，早くから冬季のスモッグが市民の間でも問題になっていたわけである。しかし条例の対象となっているのは大型燃焼器のみであり，冬季のばい煙の全発生量の60～80%をうけもつと思われる家庭用暖房器は放置されていたし，そのころから大型燃焼器は重油に切りかえられる傾向が強くなってきたので，条例の効果があまり期待できないばかりでなく，新しくSO_2公害のおそれがでてきた。

そこで札幌市の公害対策委員会は昭和41年に，すでに専門家のあいだで検討のすすめられていた地域暖房方式の市街地への適用を市に対して申入れることになった。このような情勢については，すでに37年以前に条例の検討を行なっているころから見通しがあったので，市ではそのころから地域暖房について研究委員会のような形を推進していたし，北海道庁でも37年度より道の科学研究費によって住宅団地の集中暖房について経済的可能性の研究をすすめていた。これらの成果をふまえ，道および市当局は積極的にこれを取り入れる方針をきめたわけである。もちろんさまざまな紆余曲折はあったが，まず42年秋には道住宅公社と住宅公団との手で180戸の集中暖房つき団地が建設されて，このような温水暖房設備つきのアパートが，決して高所得層を対象とするときや，企業体によって供与されるときのみ成立つのでなく，公営住宅の対象となりうることが実証された。

今回冬季オリンピック宿舎として使用される約1,000戸の住宅に集中暖房の採用が決定されるについてはこの実績がかなり物を言ったであろうことは当然である。このとき住宅公団担当分の賃貸住宅では２ＤＫで14,100円（5階は13,400円），３ＤＫで19,500円(18,500円)を家賃として決められたが，そのうち，暖房設備が加わったために増加された分は11～12%に相当する。暖房費は家賃とは別に徴集するが，これは従量制ではなく２ＤＫ：4,300円／月，３ＤＫ：5,700円／月を７カ月(10月半ばより5月半ばまで)均等に割あてられた。この額は概算で，暖房期間の終りに精算されることになっている。ひと冬３万～４万円という暖房費は当時の一般水準として安いとはいえないが，全室全日暖房という条件をそろえれば個別のストーブ暖房でもこの額を上まわることになるであろうから，札幌市民のあいだでアパートには暖房設備つきということが，水洗便所つきというのと同じくらい常識的になってゆくのは当然のことと思われる。

市街地の地域暖房については，41年度公害対策として検討が進められるようになって，技術的な面のみでなく経営主体や建設費の出所などについてだんだん具体的な折衝が行なわれるようになった。本来このような大きなプロジェクトに対しては綿密な調査と周到な計画が当局の手で充分な時間をかけて行なわれることが望ましいのであるが，わが国の役所の常としてこの方面は業者のサービスで間にあわせ，もっぱら政治的折衝を重視する傾向があって，43年末には北海道熱供給公社が設立されて，いよいよ正式に地域暖房が発足したが，計画に不充分のところがあって，工事が始まって以来配管敷設に大変な苦労をすることになった。そのため熱供給単価も当初の心積りよりは値上りした様子であるが，ともかく第一期工事を終え，46年10月１日運転開始に至ったことは，わが国の暖房史上画期的な一事といえる。

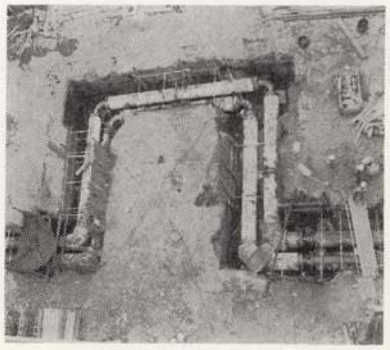
今冬はじめての供給については工事上のミスによる故障などはないものと確信するが，運営上いろいろな問題がおこるだろうから，会社側にとっては頭の痛いことだが，われわれには大へん興味のある話題を提供してくれることと思っている。現在のボイラ容量は50Gcal/hであるが，つづいて第２期，第３期以降の工事に入ることになっており，完成時は一応170Gcal/hの大きさを予定している。単独の専用プラントとしては世界でも最大級に属するであろう。熱媒は高温水（往220℃，還140℃，蒸気加圧）を用い，



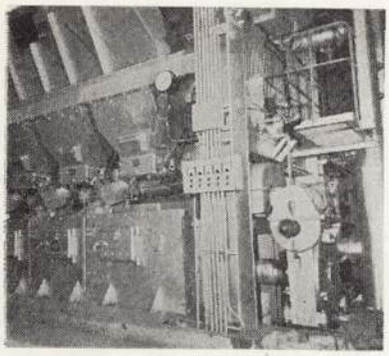
第１図　札幌市地域暖房プラント



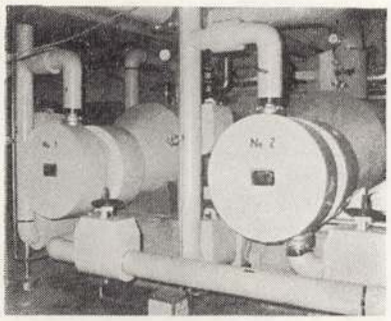
第２図　埋設配管工事
主配管サービスパイプ電気溶接作業



第３図　埋設配管工事
膨張継手Ｕループ部



第4図　プラント内 石炭ボイラー



第5図　需要家施設 熱交換器（蒸気用）

二次側との接続はすべて熱交換器により，計量はカロリーメーターを使用する。供給温度はかなり高く，市街地の地域暖房としてはあまり例がないし，このような高圧の安全性については地震などのさい問題があるかも知れないが，技術的には保証されているし，経済性その他の理由から採用されたものと思われる。還りの温度はもっと低くてもよいのであるが，二次側に蒸気使用が多いことなどでこの高さになったものであろう。将来負荷が増加した場合には還り温度を下げることによって流量を変えずにこれをまかなう可能性もある。なにしろわが国でははじめてのことなので，負荷の変動状態について正確な予想をたてることができないというのが本音であろう。建物個別の暖房運転方式は千差万別で，まとまった調査資料がなく，また調査しようにも管理がずさんで，運転日誌その他の資料をもっているところがほとんどない。諸外国の例を参照しても，給湯負荷のないことや生活習慣のちがいなどのため役には立たないから，どうしても安全率を大きくとりたくなる。ピークがどのように現われるか，diversity factor がいくらくらいになるかなどは今後の課題であるが，これが明らかになれば経済性は向上するであろう。また地域暖房への加入によって二次側の管理方式も変るので，それによって負荷変動の様相も変化するし，負荷の自然増もあるので，毎年詳細な資料の発表されることが望ましい。

2.　オリンピック村の集中暖房

オリンピック開催については，当然招致運動のときからおよその構想があったわけであるが，施設に関しては41年9月からオリンピック組織委員会中に施設専門委員会が設けられてここで議決せられることになった。選手村などの位置や規模は42年度中にはおよそまとまり，43年から基本計画にとりかかった。

暖房については主催者側で集中暖房を強く望んでいたので43年にはその計画資料となるべき調査と研究とを実施して準備を進めた。44年度のはじめには配置基本計画の大綱もでき上ったので，暖房施設についても具体的検討に入ることになったが，宿舎は主として住宅公団の賃貸住宅が充当されるので，選手村約800戸（女子用は特定分譲）とプレスハウス（特定分譲）約450戸が開催時までに，その後，仮設の付属施設撤去の跡地と隣接空地に700戸あまりの建設が予定されているので，合計約2,000戸の暖房つき住宅を公団がどう考えるかということがいちばんの問題であった。設備工事による家賃の値上りや年間暖房費については先に180戸の例があるとはいえ，46年ごろの工事にはかなりの値上りが予想されるし，温水暖房つきの公営住宅というものが果して建設主旨にそうものであるのか，入居資格などの考え方がこれまでと同じでよいものかなどというやっかいな問題がでてきはしないかという心配があったからである。公営住宅といえばこれまでは共用煙突のついているだけが暖房設備で，あとは自前であるから，たしかにその差は大きすぎる。これを機会に住宅団地には集中暖房設備がともなうことが常識化するであろう一方で，これまで建てられた団地の相対的価値がたちまち下落することを考えると確かに大きな問題であることはまちがいない。石炭は論外として石油，ガス，電気など個別暖房の可能性も比較検討されたが，設備費はかなりにつき，オリンピック後にこれが使用されないで一部石炭ストーブなどに代わると，設備としては短期間のため大変な無駄をすることになるし，もしそのまま使用させるとすれば，温水暖房の場合と同じでいわゆるぜいたくを許すことになる。いずれにせよ開催期間中の選手村の管理上，このような個別暖房は問題があるとして，当事者側から強い反対があった。これはもっともなことで，一般家庭におけるよりも暖房器の使用法がだらしなくなりがちであるから，危険性が最小で中央制御の可能な温水方式が最善であることは明らかである。これと，先にも述べたように，すでに180戸の前例が成功していることもあり，集中暖房を採用するという大綱は一応承認されることとなった。

しかし具体的計画ができなければ家賃や暖房費も決定できず，その額次第ではまた変更もありうるから，早急に実施計画に近い計画案がたてられなければならぬ。それには資金その他も当然考慮されねばならないから経営主体をきめねばならぬが，これにはずいぶん曲折があった。札幌市としてはすでに市街地の地域暖房を担当する熱供給公社が発足しているのであるから，これが引受けてくれることが望ましかったのであるが，公社としてはようやく誕生したものの，先に書いたように配管工事が難行中で，その他にも多くの問題を抱え，おまけに人手不足でとても新しい仕事を引受ける余裕がない。また市街地の地域暖房は公害防止から発案されたものだけに，資金面では政府施策にそった低利融資をうける途があったわけであるが，オリンピック村はそれができないので，何か大資本の後楯がなければならないという事情もあって，なかなか引き受け手がなかった。ようやく北海道瓦斯㈱が重い腰をあげて実施計画を進めていてくれたのであるが，この時期になってもなお報道関係宿舎や付属施設など，内容位置ともまだ決定していない部分があり，暖房プラントも一カ所にするか分散するか，給湯を含むかどうかなど未決定のところが多くて計画はなかなか進捗せず，最終的には熱販売単価の面で公団との折衝が残されているだけに，技術的な面においても綿密な比較検討が必要なので，北海道瓦斯の担当者は大変な苦労であったと思う。

話は別だが，このような団地の計画に際して，配置計画や建物の計画の担当者が，暖房計画について何の考慮ももたない場合が多いというのはどういうことであろう。たとえば後に述べる下野幌団地なども建物配置はもとより，プラント位置や建設順序まであらかじめ決定された段階で，はじめて暖房計画が開発された。一般に設備計画上不経済な点が見出されても変更申し入れはまず取り上げられたことがない。将来の居住者にとっての暖房費の数%の出入りなどは設計事務所の計画家さんには無関心のことであろうかと思わせられることが多い。設備の合理性についての認識のうすいのは一般の人々よりもむしろ建築設計者でなかろうかと言いたいくらいである。

話を戻して，44年末になって北海道瓦斯の計画案ができ上がり，暖房費が1戸当り平均年間56,500円強，熱単価にして，5.55円/1,000Kcal という値が提出された。この計画は大変周密なもので，技術的には問題はないように見受けられたが，公団側（というより公式には組織委員会の意見である）はこれが高価にすぎるという考えをもった。内容的にはこれは安全性に関する考え方の相違であるから致し方はない。ついに協議は成立せず，着工時期は目前に迫り，一刻の猶予も許されなくなった45年6月に，組織委では再び北海道瓦斯をも含め，数社をあつめて再計画，再見積りを提出させる方法をとった。

当時，後に述べる札幌市の下野幌第二第三団地の集中暖房計画がすすめられており，田熊汽缶㈱を技術担当とする住友商事を主としたグループがこれを担当することになりつつあったが，そのような事情のせいか，再計画の結果はこれら住友グループ提出のものが主催側の意図にもっとも多く合致点が見出されるものとしてとり上げられた。このような選定方法は入札形式などとは異なり，委員の間でもいろいろ意見が分れるし，選に落ちた側にも言い分は残ることであろうと思うが，無事に話しあいがついてよかったと思っている。その後，住友グループでは新たに北海道地域暖房会社を設立して，オリンピック村および下野幌団地の工事およびその後の経営を担当することにした。担当後の実施計画はまた少しづつ変更があって，とくにプラント建設については地域住民の強い反対にあい，公害対策上最善の方法であるからということでようやく納得してもらういきさつもあった。

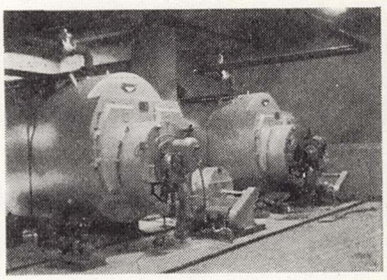
選手村のボイラプラントは12Gcal/h の出力をもち，地下に建設されている。騒音防止には万全の考慮が払われていて，地上部分には将来市の出張所が建設される予定である。現在の供給対象は賃貸中層19棟690戸(男子村)，分譲高層2棟132戸（女子村），分譲中層6棟140戸（TV報道者）および仮設の食堂および本部の一画と，銀行，郵便局，講堂，娯楽設備などに転用されるはずの中学校の一部と店舗などの建てられる一画で，ここにプラントが置かれている。なおちょっと離れた一画にはNHK用の一棟があり，この部分の空地と，選手村の仮設建物の跡地とあわせて約800戸の増築計画があって，最終的には約1,800戸の住宅といくつかの公共建物とに熱供給をするわけであるが，平均1戸当りの需要を5,000Kcal と見込んでいるので，プラントでは2,400戸分の出力があり，給局オリンピック時の仮設建物などの熱需要量が，将来増築予定分にあてられるよりも多過ぎる結果となっている。経営者側としては何らかの需要増その他の形でこれをカバーしてゆくようになるであろうが，これもやはり計画の不徹底さのひとつである。

供給方式は窒素加圧による150℃温水を用い，二次側はブリードイン方式で95℃におとす。還水温度は80℃で，負荷に対する制御は変速循環ポンプによる。サブステーションは数棟分づつまとめ，全部で7カ所となっている。NHK棟のある一画は道路が曲っていて直管埋設が困難なので，わが国ではじめて「地域暖房ケーブル」が使用された。これはコルゲートパイプを用いた二重管で，間隙には発泡樹脂保温材を充填し外側に防水防蝕被覆を施したもので，数百メートルを1単位として巻かれたものを現場で引きのばしつつ土中に直接埋設するようになっている。数年前に開発され欧米でぼつぼつ使用されている。耐圧，耐熱，管路抵抗などに問題が残っており，単価も高いが，交通確保のため工期短縮がやかましく，人件費の高価な欧米では，けっこう敷設工事費節減になるといわれている。

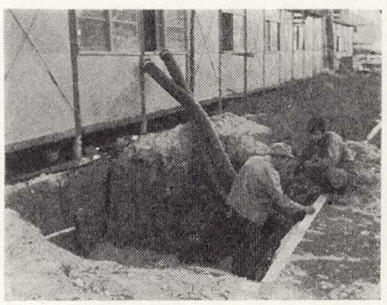
柏ケ丘のプレスハウス230戸は選手村のボイラープラントから直線距離では600～800m 離れているにすぎないが，山の上なので道路沿いには1,600m をこえる距離があり，別にボイラープラントをおくことになった。すぐそばにはプレスセンターにあてられる勤労者福祉センターも建てられたが，これはまたこれで数棟まとめて別のボイラー室をもっている。これらは管理系統のちがいや配管の先行投資額などいろいろな問題があって，総合プラントにまとめることが必ずしも有利でなかったことによると思うが，全体としての統一的な計画が筋を通して推進されたわけではないので，やはり場当り的な要素の多いものになったことは否定できない。



第6図　オリンピック選手村
ボイラープラント（地下）
（煙突の背後は女子選手宿舎）



第7図　オリンピック選手村
ボイラープラント（重油ボイラー）



第8図　地域暖房ケーブル管

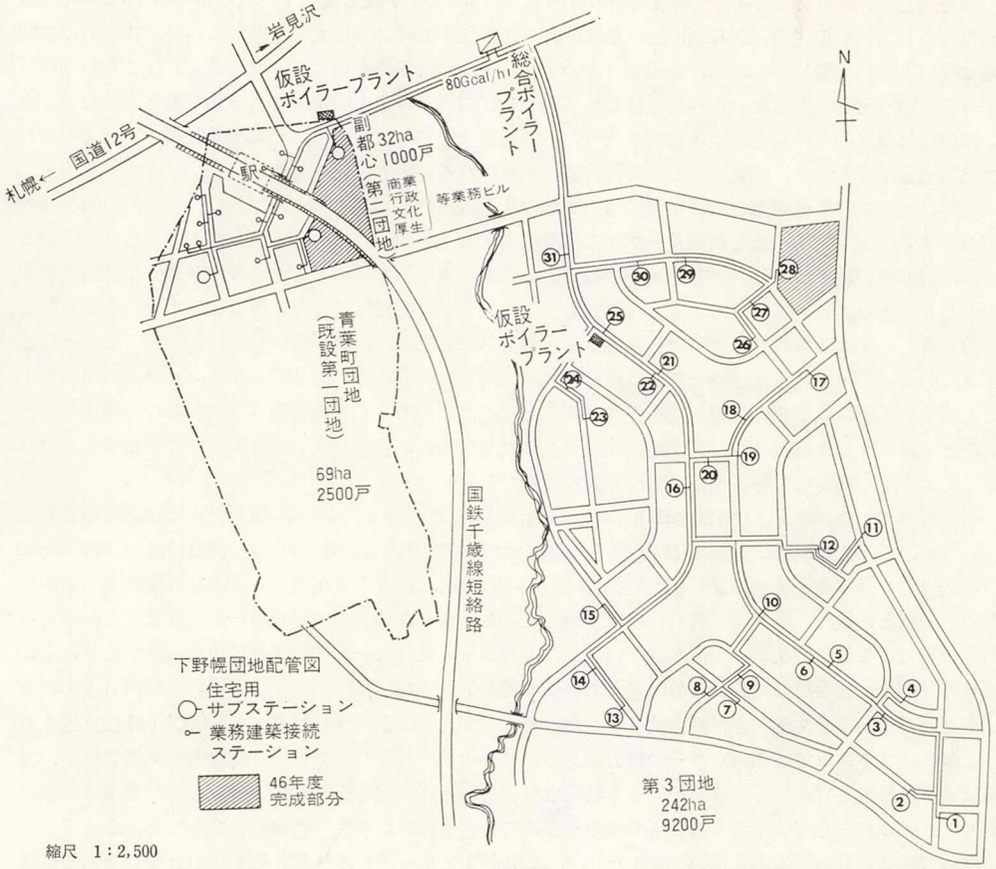
3.　下野幌団地の地域暖房

下野幌は札幌市街からは東南10㎞余りのところにある丘陵地で，すでに市営団地が開発されて（第一団地）24,000人ほどの居住人口をもっている。今度は既設地区に隣接して副都心施設（第二団地1,000戸，8,500人）と，谷ひとつへだてた斜面242haに第三団地（9,200戸，32,000人）とを建設中であって，これに全面的に地域暖房施設を備えようというものである。

実のところこのような大規模な一団地全体に対する地域暖房計画は，これまで述べたものとかなり違った様相をもっていて，その意味ではやはり始めてのこころみと言えるであろう。

そのひとつは負荷密度の問題である。これは配管延長当りの需要量を指すが，地域暖房では経済的にも技術的にも配管がもっとも問題のあるところなので，負荷密度の高いことが経済的成立条件の第一である。市街地では一般に容積率が高く，寒冷地方ではその90%以上を暖房空間とみられるから，加入率さえ充分ならば負荷密度については申し分がない。これにくらべると住宅地は建ぺい率が低く，その上個別需要単位の負荷が小さいため配管延長が増加するという条件が付加するので負荷密度は極度に小さくなる。オリンピック村の場合は，対象が中・高層に限られ，しかも大団地内の一画であるため公園緑地などが配管区域内に入っていないので，負荷密度は決して低い方ではなく，住宅地としては好条件なのである。下野幌第三団地ではいくつかの緑地を含むほかに，個人分譲地が混在しており，これは供給側からみるとそれぞれ個別の需要単位として接続サブステーションを設けることになって枝管延長が増加するばかりか，加入率を100% とみることができないのに，主管は必ず埋設しておかねばならないから全くやっかいな対象である。諸外国の例では地域暖房総工事費のうち配管工事費は20～30%ていどが普通であって，札幌市街地





では先にも述べたように非常な難工事であったため51%に達したといわれているが，この団地の計画では54%におよぶことになった。個人分譲地を対象からはずせばこれは45%になるといわれ，そのために熱需要量は全体の18.6%を失うにすぎない。このように個別住宅は暖房サービスにとって重荷になるばかりか，料金制を同条件とすれば実際には1戸当り配管コストが個別住宅の⅓ていどですむ中高層アパートの住民が，個人分譲住宅分のコストを何割か引っかぶっていることになる。水道，電気，都市ガスなどの供給事業ではもちろん大口需要への割引きはあるが，供給範囲がひろいため，それ以下の需要量の差によるコスト負担の差は無視しても問題はないけれども，供給範囲の限定された一団地の中では，この差は問題となりうる性質をもっている。このように，住宅団地は一般に負荷密度が経済限界ぎりぎりか，またはそれ以下となることがあり，給湯負荷が増すことと24時間暖房の習慣が普及すれば，わが国でも地域暖房の経営がだんだん楽になると思われるが，現在では問題が多いのである。

第二は工期の問題で，下野幌の場合第三団地は毎年約1,500戸づつ6カ年，第二団地は15カ年にもわたって完成される計画であるが，この建設計画がボイラプラントとの相対位置に関係なく順序を決めたため，配管埋設のための先行投資がかさむ結果となっている。それでなくても総合プラントの位置が第二・第三団地の中間にあって，供給地区とはかなり距離があるので，主管延長がのびて工事費が高くなっている。このような理由から初年度は両団地に仮設のボイラープラントを置き，とりあえずこれから熱供給を行なって，全団地の建設が60〜70%進行したころに総合プラントを開設するという方法をとることになった。一般に新しく計画される地区では工事が数年にわたることは当然なので，これにあわせてボイラーを増設し，配管を延長するのは最初からの計画であるが，初期に埋設する場合の主管径は最終負荷に見合うものでなくてはならないから，その延長がなるべく短かい方が先行投資額が小さくなって都合がよい。つまり地区建設の年次計画がボイラープラントに近いところから順次遠方へとおよんでいるのが望ましく，遠い地区が先に建設されると途中の配管工事費がそれだけ早期にかさむことになる。このような設備工事の合理化に対する理解が，基本配置計画において欠けている場合には，結局最後は住民の負担になるわけであるから，あらかじめ充分な考慮が望ましいのである。

熱料金は，一般には工事費などの償却分が契約金または定額分に，燃料費運転費などが従量額分に充当されることが多いので，工事精算額によらねばならないはずであるが，この団地の場合は経営主体である地域暖房会社が，オリンピック村の方も引うけているので，どちらも一応5円/1,000kcal以下という約束ができている。最初にのべた42年度完成の180戸団地についてもその後暖房費は数10%以上も値上りしている状態からみて，1戸あたり平均年間5万円は上廻ると思われるが，最近は一般家庭でも石油ストーブが普及してきて，一冬の石油代5万円というのは驚くほどのことはないから，結果的には集中暖房はやはり将来必須のものとなるであろう。しかしこれはあくまで北海道のことであって，暖房期間が短かく年間稼動率の小さい本州の都市では，まだ庶民用住宅の集中暖房は採算がとれないのではなかろうか。

（ほりえ　ごろう　京都大学工学部建築学科・教授）

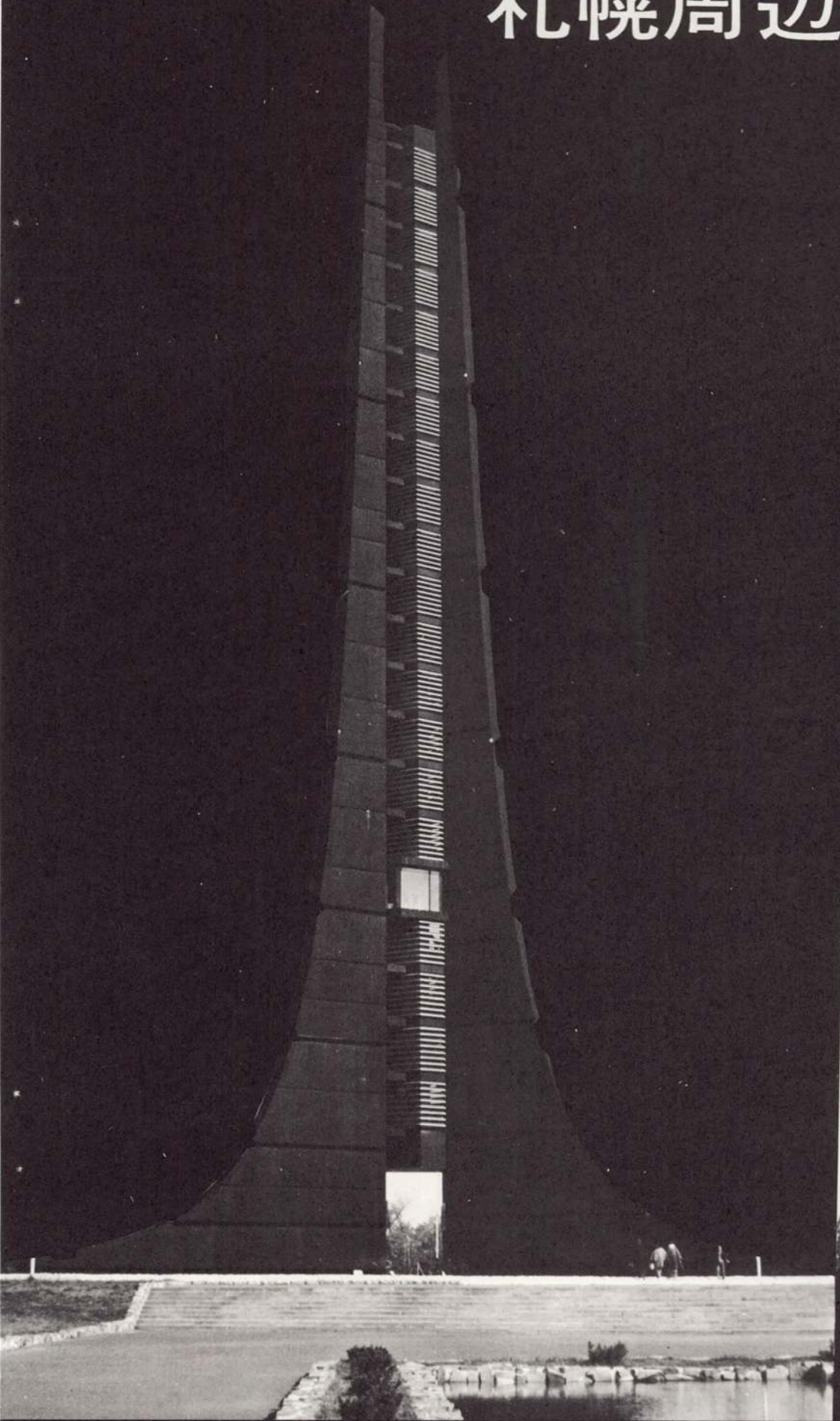
札幌周辺の新建築

去る10月中旬に、作品作風小委員会のメンバーは、2～3日間にわたって、札幌市内及びその周辺の最近1・2年間に竣工した新建築を調査して廻った。今回のこの「札幌周辺の新建築」調査は、以前の「四国の新建築」調査（昭和42年10月号）、「東海の新建築」調査（昭和44年3月号）、「九州の新建築」調査（昭和44年12月号）、および「山陽・山陰の新建築」調査（昭和45年12月号）、につづく第5回目の試みである。

あらかじめ、関係者にあたってリストアップした新建築の資料をもとに、調査した新建築数は約40点におよんだが、そのうち約20点を選んでここに紹介することにした。予算と紙面の都合上、ずいぶん制約された掲載の仕方しかできなかったのは残念であるが、札幌周辺の新建築の一応の傾向は知ることができよう。もとより調査もれの優秀な新建築があるかも知れないが、この点はご了承ねがいたい。写真は、委員が撮影してきたものと関係者より提供のものを使用した。

この企画ならびに調査にあたって、札幌市内の官公庁、設計事務所、建設会社などのご協力をえたことを感謝いたします。

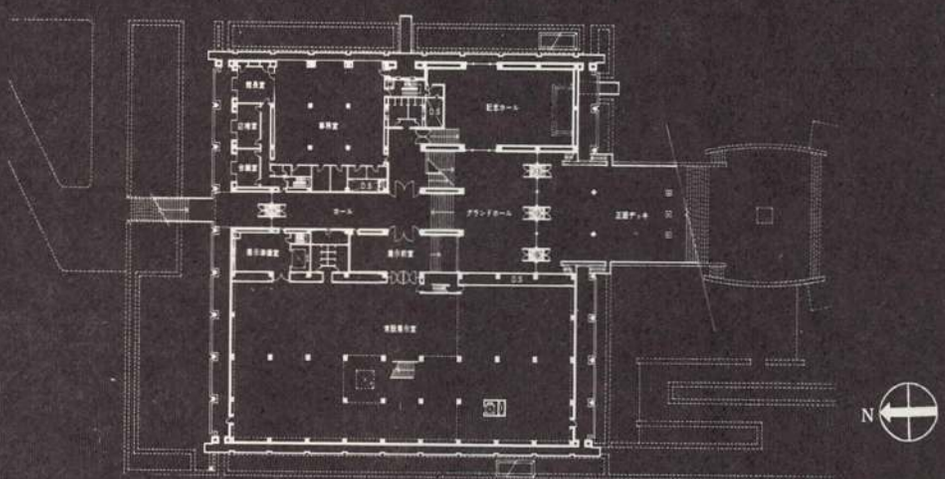
46年度作品作風小委員会メンバー
（順不同）※札幌調査委員
※平内祥央・※永井一彦・※池田恵次・※中山富久
※安永耕二・※森木千之祐・岩口　勝・永谷二郎
小沢信嘉・小島　玫・藤沢　隆・中谷麻差男











1階平面　縮尺1／1,000　一階平面図

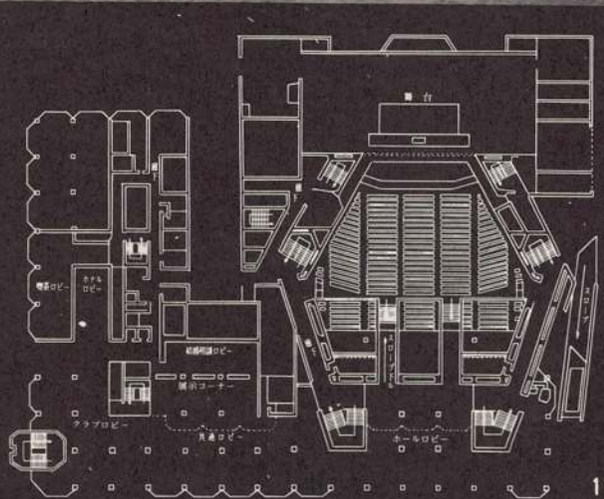
北海道開拓記念館

設計　佐藤武夫設計事務所
施工　丸彦渡辺建設ＫＫ
　　戸田建設ＫＫ

所在地　札幌市厚別町下野幌
　　道立自然公園　野幌森林公園内
建築面積　4,107.34m²
延面積　12,945.04m²
構造規模　ＲＣ造一部ＳＲＣ造、２Ｆ、Ｂ２
工期　S43. 12～S46. 4







1階平面図

北海道
厚生年金会館

設計　三菱地所ＫＫ
施工　鹿島建設ＫＫ

所在地　札幌市北１条西12丁目
建築面積　7,800.47m²
延面積　31,933.22m²
構造規模　ＳＲＣ造、８Ｆ、Ｂ１
工　期　S45．２～S46．９

設計者のことば

日本で第三番目の年金会館の設計に際して、我々担当者の留意したのは次の諸点である。

1．この会館の特質上、利用者の層が、非常に広範囲に渉ることが考えられるので、開放的で明るく、人々に威圧感を与えないものであること。

2．寒地に適応して、氷雪に耐える細部設計、結露、凍結への配慮、広い地下駐車場、前庭のロードヒーティング。
多数の人々を寒さから護るガラス張りの大ロビー。

3．多目的ホールの様々な種類の催物に適合する室内音響及びインテリア、デザイン。

4．一流ホテル並みの設備のビジネスホテル、宴会、会議室、結婚式場、学園、食事、喫茶、等の複雑な内容と動線の整備。

5．厳しく限定された予算内で、上記の内容を実現するに当っては現場施工面よりの協力に俟つことが大であった。

この種の施設の比較的少ない地域にあって、この会館が地方の人々の期待に沿うものになればうれしいことである。

明治生命ビル

設計施工　大成建設ＫＫ

所 在 地　札幌市大通西４丁目
建築面積　　275,645m²
延 面 積　3,641.019m²
構造規模　ＳＲＣ造、13Ｆ、Ｂ２
工　　期　Ｓ45．４～Ｓ46．９







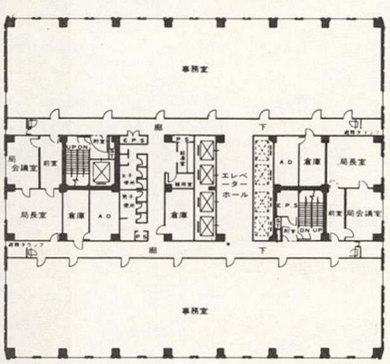
札幌市庁舎

設計　札幌市
　　三菱地所ＫＫ

施工　ＫＫ大林組、ＫＫ地崎組、
　　岩田建設ＫＫ

所在地　札幌市北１条西２丁目
建築面積　4,310.67m²
延面積　42,204.80m²
構造規模　ＳＲＣ造、19Ｆ、Ｂ２
工　期　Ｓ44．５～Ｓ46．10

基準階平面図（一般事務室）



札幌テレビ

設計　KK石本建築設計事務所
施工　鹿島建設ＫＫ

所 在 地　札幌市北１条西８丁目
建築面積　2,436.159m²
延 面 積　13,063.012m²
構造規模　SRC造、6F、B1、PH3
工　　期　S44．6～S46．2



A 琴似市街地住宅

設計　北海道住宅供給公社
施工　ＫＫ地崎組

所 在 地　札幌市琴似2条6丁目504
建築面積　2,017.18m²
延 面 積　12,225.00m²
構造規模　SRC造（6F上RC造）
　　11F、B１、PH１
工　　期　S46．5～S47．9

B ４丁目プラザ

設計　ＫＫ石本建築設計事務所
施工　鹿島建設ＫＫ、
　　ＫＫ竹中工務店

所 在 地　札幌市南１条西４丁目
建築面積　1,433.16m²
延 面 積　17,242.71m²
構造規模　ＳＲＣ造、９Ｆ、Ｂ３
工　　期　S44．8～S46．8



▲A



▲B　▼C

C 札幌競馬場スタンド

設計　日本競馬会施設部
　　梓建築事務所
施工　大成建設ＫＫ

所 在 地　札幌市北14条西19丁目
建築面積　5,371m²
延 面 積　7,143m²
構造規模　ＲＣ造及びＳ造
工　　期　S45．8～S46．8





▲D

D 高速電車真駒内駅

設計　北海道開発コンタルタントKK

施工　大成建設ＫＫ

所 在 地　札幌市真駒内
建築面積　2,258m²
延 面 積　3,065m²
構造規模　ＲＣ造　上家Ｓ造
工　　期　Ｓ45．4～Ｓ45．12



▼E



▼F

E 三越札幌支店

設計　横河工務所

施工　清水建設ＫＫ
鹿島建設ＫＫ

所 在 地　札幌市南１条西３丁目
建築面積　2,843.206m²
延 面 積　36,830.150m²
構造規模　ＳＲＣ造、10Ｆ、Ｂ３
工　　期　Ｓ43．9～Ｓ46．10

F 国際ホテル

設計施工　伊藤組土建ＫＫ

所 在 地　札幌市北４条西４丁目
建築面積　1,014.805m²
延 面 積　11,632.556m²
構造規模　ＳＲＣ造、９Ｆ、Ｂ３
工　　期　Ｓ44．10～Ｓ46．7



▼G

G 大通電々ビル

設計　電々公社

施工　戸田建設ＫＫ

所 在 地　札幌市大通西７丁目
建築面積　2,547.77m²
延 面 積　33,015.02m²
構造規模　ＳＲＣ造、10Ｆ、Ｂ３
工　　期　Ｓ44．3～Ｓ46．10

H 西野ハイツ

設計施工　大成建設ＫＫ

所 在 地　札幌市手稲62－３
建築面積　470.7m² ×２棟
延 面 積　2,262.7m² ×２棟
構造規模　ＲＣ造及びＢ造
工　　期　Ｓ45．７～Ｓ46．６

I 中村脳神経外科

設計施工　ＫＫ地崎組

所 在 地　札幌市南１条西13丁目
建築面積　980.4m²
延 面 積　7,590.3m²
構造規模　SRC造、9F、B2、PH1
工　　期　Ｓ44．４～Ｓ45．４

J 北海道大学工学部 教室実験室

設計　教育施設研究所
施工　大成建設ＫＫ

所 在 地　札幌市北12条西８丁目
建築面積　2,548m²
延 面 積　4,200m²
構造規模　ＲＣ造
工　　期　Ｓ45．４～Ｓ45．12

K 朝日毛糸札幌営業所

設計施工　大成建設ＫＫ

所 在 地　札幌市北３条西13丁目
延 面 積　1,983m²
構造規模　ＲＣ造及びＳ造
工　　期　Ｓ45．５～Ｓ45．11

L 札幌パークマンション

設計　ＫＫ日建設計
施工　三井建設ＫＫ

所 在 地　札幌市北３条西12丁目
建築面積　1,410m²
延 面 積　7,599m²
構造規模　ＲＣ造、７Ｆ
工　　期　Ｓ44．８～Ｓ45．８

M 本願寺札幌別院本堂

設計　ＫＫ日建設計
施工　ＫＫ地崎組

所 在 地　札幌市北３条西19丁目
建築面積　1,893m²
延 面 積　4,852m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　Ｓ42．４～Ｓ43．10

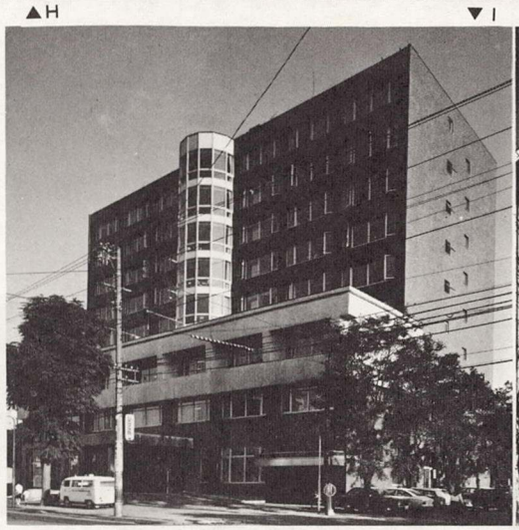
N 宗教法人ＰＬ教団 北海道教正本庁

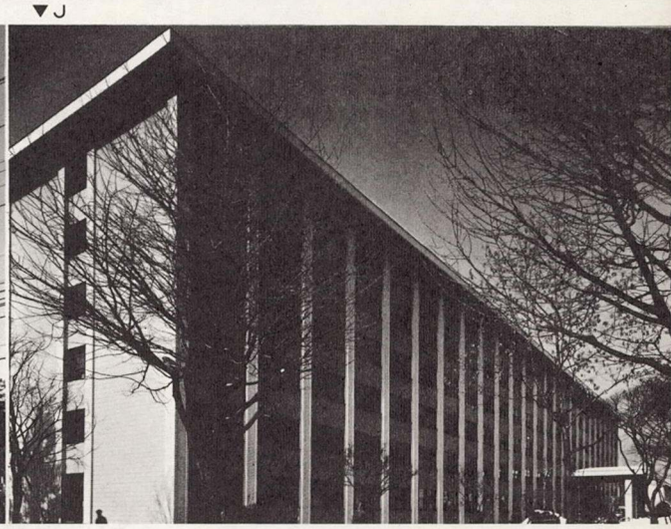
設計施工　ＫＫ地崎組

所 在 地　札幌市平岸171の１
建築面積　1,398.71m²
延 面 積　3,564.00m²
構造規模　ＲＣ造一部Ｓ造、3F.B1.PH1
工　　期　Ｓ44．６～Ｓ45．６



▲H　▼I　▼J



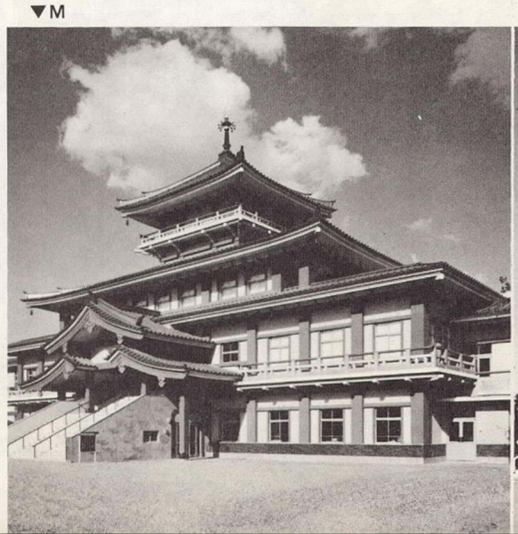


▼K　▼L





▼M　▼N





札幌の街と新建築

北海道は若い。100年前、その大部分はほとんど原始状態ともいえる未開地であった。開拓使の設置、屯田兵制、北海道庁の新設等の明治政府によって始められた開発。内地に対する資源、原料供給地として利用された大正、昭和期の内国植民地的発展。そして第2次大戦後は日本の唯一の開発地域であった。これらの歴史をへて、札幌市は北海道の中心都市として 100万人都市に成長してきた。広大な、そしてきびしい自然と100年の歴史を背景とした計画的な街づくりは、文化史上からみて非常に興味のあることである。

札幌の市街は豊平川扇状地と石狩沖積平野の両面に展開している。市の面積は 1,000平方キロ余。大阪平野と同程度の広さである。街の景観から受ける第一印象は碁盤目状の直線的街路と、赤と青の鉄板屋根のはてしない広がりである。内陸型大都市であるためであろうか、街並みは単調である。幾何学的な街区の構成は大自然を切り開いていった人工の術を強く感じさせる。

北海道の自然は美くしい。それと比較して札幌中心部の緑の少なさは対照的であった。人々の意識には、すぐ近辺に広大な自然がひらけているというお・らかさ、悪くいえば緑の少ないのが都会であるといった低くさが感じられる。しかし歩道の中央に意識的に残こされた樹木、株立ちや寄せ植えの街路樹などいくつかの配慮もみられた。出発にあたって私達は北海道の美くしい自然を生かした建築あるいは街造りが数多くあるものと期待していたが、その期待は裏切られた。北海通開拓記念館はそういった意味で、非常にすぐれた作品だと思われる。

新しい建物の全体的な印象としては設計の質の悪るさ、とくにディテールのまずさが目についた。東京で基本計画を行ない、細部まで面倒をみていないものが多いのではなかろうか。一テンポ遅れた東京のひな型であり、ニュース性、地方性に乏しい。その原因は何であろうか。経済的な特殊性、資本蓄積の少なさのためであろうか。個々の建築のロケーションとのかかわりあい方、配置計画、アプローチの仕方等にも不満を感じるものが多かった。群としての建築計画では冬季オリンピック選手村の他には見当らなかった。選手村は積雪時の美くしさを感じさせる色彩計画である。

北海道の冬の気候は大変きびしいといわれる。自然条件がきびしければきびしいほど、人々が助けあって生きていく空間が求められる筈であるが、そのような意図でデザインされた充実した空間は見当らなかった。北陸地方には雁木といった施設があり、人間的な情緒が感じられる。それに比べて札幌の街のつくりは荒けづりであり、繊細さがない。歴史の浅さ、生活文化の積み重ねの少なさが感じられる。そういった点で、すぐれた宗教建築が少ないことも特色の一つである。成長期の都会にありがちな腰かけ意識、一世代だけといった姿勢が、注文者の意のまゝにストーリーの無い即物的な建物を生む原因になっているのではなかろうか。100年間に人間がなし得る力の限界を感じさせられた。

札幌は青年期の街である。北海道の原野をいまやっと征服した段階でありこれから充実期に入るともいえる。北海道の自然条件と地域性をデザインソースとした街づくりを期待したい。今回の調査を通じて、私達が日頃あまり意識していない生活文化の蓄積、文化遺産、歴史的伝統といったことの重要性を改めて認識したことは、貴重なことであった。

数名の委員が短時日に経験した印象をまとめたものであり、失礼な的はずれもあるかと思うが、その点はご容赦下さい。



DUBROVNIK—無用のシンボル・城壁

共同研究 都市の開発的保存 3

加藤晃規



1.はじめに

ある〈もの〉のかたちや単純な記号、あるいは人間の行動等が、その現象以上の世界を語るとき、すなわち意味の世界を語るとき、それはシンボルと呼びうるであろう。ドゥブロブニクの町の空間構成をみるとき、この意味において町全体が一つのシンボルにまで昇華しているとみることができる。なかでも町をめぐる城壁は1,200年のこの町の歴史的存在様式を語りかける中心的シンボルなのである。

一般にヨーロッパの都市では、これらの古い城壁は近代的な町の生成過程で取り払われたり、車のための環状道路に作り変えられたりしている場合が多い。とくに都市内交通手段の変化と、古い町のパターンとの間に起る葛藤は、しばしばこの城壁を、もっとも不必要な障害物として浮かび上がらせている。軍事的な意味合いを剝脱された城壁は機能的には、もはや邪魔物として存在するのみというわけであるが、このドゥブロブニクの城壁もまた、その意味で本来の機能をまったく失っているといえる。

しかし観点をかえてみると、この町の城壁は、いままでとは全然異なった次元で新たなる現代的意味を獲得しており、いまや、これなくしては町があり得ないといった、まさに町にとって不可欠の要素になりつつある。それは、ひとつには1,200年続いた小自治都市の存在を語るという側面であり、いまひとつは現在の町の空間構成の一体性を保持するというえで重要な役割りを担うという側面である。そして、この両側面は、この町が現在では観光都市や避暑地という、いわば生産よりも消費や休息の町として存在しているだけに、いっそう意味をもつものになっているといえよう。

2.城砦都市ドゥブロブニク〈Dubrovnik〉

町の位置は、ユーゴスラビアの西海岸に面し、アルバニアに近く、この地理条件からして町がきわめて地中海的な性格を有していることが想像される。町の魅力を一言でいえば、風光明媚、温暖な気候ということであり、観光地としては、まことに良い条件といえよう。

しかし　この地理上の位置は、町の歴史にも大きく影響している。ほぼ7世紀から19世紀の初め、ナポレオンの侵攻を受けるまで、およそ1,200年間共和政が続き、自由都市的な性格を保ってきたが、しかし、それはつねに西側文明と東側文明（バルカン・トルコ）との接触点であり、かつ地中海の小都市という点で決して安定したものではなかった。つまり自分でかせぎ、自分で守らねばならないという小独立国の歴史なのである。

最初このドゥブロブニクに住みついたのはSlav Dubrovnik と呼ばれるスラブ民族と、Latin Ragusium と呼ばれるラテン民族であり、合わせてDubrovchani（ドゥブロブニク人）と呼ばれている。このDubrovchaniは、その地理的位置の有利さから商業を発達させ、12世紀には、この町を地中海貿易の主要中継地にまで発展させ、当時、同様に興隆をきわめていたベニスと並ぶほどの商業中心地にのし上がった。それは、西側の加工品をバルカンの地へ運び、逆にバルカンの原材料を西側へ運ぶという中継的な機能であり、西はフローレンス、ベニスから東はベオグラード、南はDurazzo（アルバニア）といった広範な商圏をおさえ、ドゥブロブニクは、これらから集まる物資が安全に中継される一種の取引所であった。

中世におけるこの繁栄の裏に考えられるのが、Dubrovchaniの海賊性である。つまり、中世の地中海貿易は、半ば商業、半ば海賊の歴史として理解されるが、彼らも徒党をくみ、商業をするかたわら海賊的行為もし、そしてこれによる戦利品が彼らの本拠地であるこの町に運ばれ、商品として散っていったであろうと推測できることである。これらの象徴として町をとりまく堅固な城壁や、独立して建てられた城塞を見るとき、この町の性格がいっそうはっきりとするが、もちろんこれは確たる根拠が



写真1
Mt. Srdjからのドゥブロブニク



写真2　MincetaTowerの北側城壁

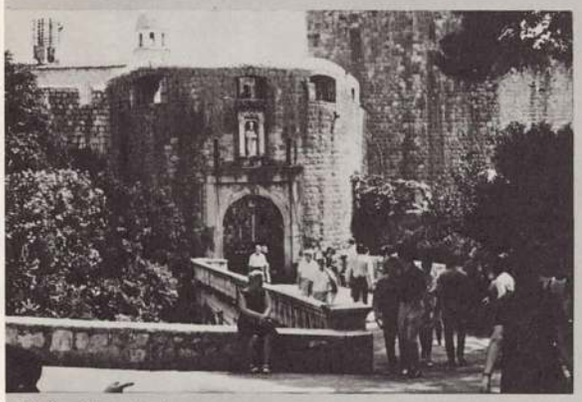


写真3　シティゲート



写真4　城壁とワンウェイ

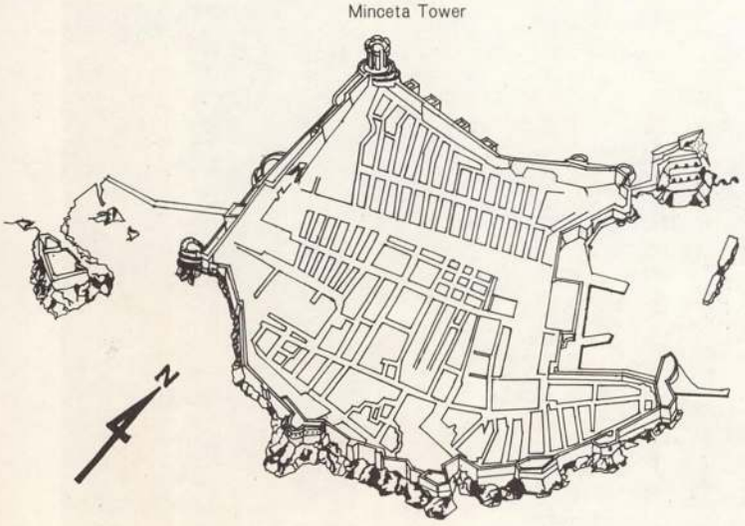


図2　町のインフラストラクチャー

あるわけではない。

町が城砦化されたのは、ビザンチン帝国の勢力下にあったときとされており、かなり古いが、後に14世紀と16世紀に再建強化されて今日にいたっている。1667年、この町は大地震にみまわれ、人口の約半数を失い、町の大部分は破壊されてしまったが、しかし城壁だけは壊れなかった。

3.町の空間構成とその都市計画

アドリア海の東海岸は、石灰質の山なみが海の近くまでせまり、このため海岸線は複雑で島が多い。ドゥブロブニクも、北側の山のスロープが海に突き出るその先端に、コンパクトなかたちで広がっている。昔は町の南半分は孤立した島（Labes）であり、大陸との間には細い水路があったそうである。ところが、ここへ住みついたラテン系民族が、この水路の狭い部分を埋め立て大陸と地続きにし、ここから現在の町の特徴的な凹断面の基礎ができあがったのである。この凹断面の底部に中央通りである〈Stradun＝Placa〉があり、これが西のシティゲートと東の港とを一直線で結んでいる。Stradunの両端には広場があり ゲート側にあるのが〈泉広場〉港側にあるのが〈教会前広場〉である。〈泉広場〉にはマッシブなかたちをしたOnofrioの泉があり、昔、大陸を旅してきた人々は、この泉の水を飲んではじめて、その緊張から解放され、ここが彼らにとって安全な気分になりえた休息の場であったことを物語っている。いまでは旅行者のたまり場になっており、まわりには、みやげもの屋が建ち並び、ゲートを入ってきた人々が最初に歩をゆるめるところである。〈教会前広場〉には、Cropelliの作によるSt. Blasiusの教会とOrlandの柱がある。ここには鳩が住みつき、訪れる人とたわむれている光景をみることができる。〈泉広場〉に比べて、町の奥まった場所にあるせいか、どことなくよそよそしさの少ない広場である。

このふたつの広場と、それらをつなぐ〈Stradun〉のもつ空間構成は、ここを歩く人間にとって適切なスケールであり、城壁とともに歩行者空間の中心的空間たる魅力を反映している。

〈Stradun〉の道幅はゲートから港の方へと少しづつ広くなっており、それはゲート側でほぼ10メートル、港側でほぼ16メートルに達し、その両側には石造りの二層建、三層建の建物が軒線をつらねて並び、一階は店舗、上階は住宅という〈ゲタばき住居〉が集まっている。共和国の時代には、この通りが、すべてのものや人が集まる広場的性格をもっており、商業の盛んなとき、海から陸揚げされるもの、大陸から運ばれるもの等が渾然一体となり、もっとも活気のあった場所であり、まさに都市活動の中心地区であった。

〈Stradun〉に平行して走る数本の道路と、これらに直交し、これらを相互に結びつけている階段状の小路とが、町の規則的な網目になっている。階段状の小路は幅2メートルほどしかないが、かなりの住宅が、これに面して入口をもつ。老人には少々おっくうになると思われるこの階段は、町の魅力のひとつでもある。〈Stradun〉に平行する道路の方は、もう少し幅が広く、町が南北に凹断面をもつため、それは城壁に近い道路ほどレベルが高い。この道は子供のかっこうの遊び場であり、サッカー等のちょっとした球技もできる。

〈Stradun〉を軸にした格子型の道路網は、町の北側でよりはっきりとみられる。これに比べると、町の南側の道路網は、かなり不規則になっており、ブロック群も、その大きさはまちまちであるが、その原理は同じである。これは貴族の私邸・宗教建築物、公共建築物等が集まっているためであり、このなかには中庭をもち、そこに植樹を施してあるブロックもみられる。そして、これらが町にとっては貴重な緑を提供しているのである。

さて城壁内の空間構成には、かなり整合的な性格がみられるが、これは同時代のローマン・ゴシックの都市と比べると特異な性格であろう。〈Stradun〉の空間スケール、規則的な道路網とブロック割り、地形を巧みに利用した三次元的構成、いずれも中世都市としては、ユニークな性格であるが、この空間の一体性（規則性と構造性）は13世紀につくられたものである。そして自治共和国として、封建君主や宗教権力の影響をいっさい受けずにつくられた町であることが、この聖なる中心のない合理的な空間を生み出したゆえんといわれている。この計画を押し進めたのは、地元の建築家、大工、石工であり、彼らの基本となった考え方は、純然たる都市的要求にのみ基づいて全体の都市組織体をつくり出すことであった。そして同時に、町全体が、守りやすいということでもあったろう。つまり日々の諸生活から生じる日常的な要求に応じた空間をつく

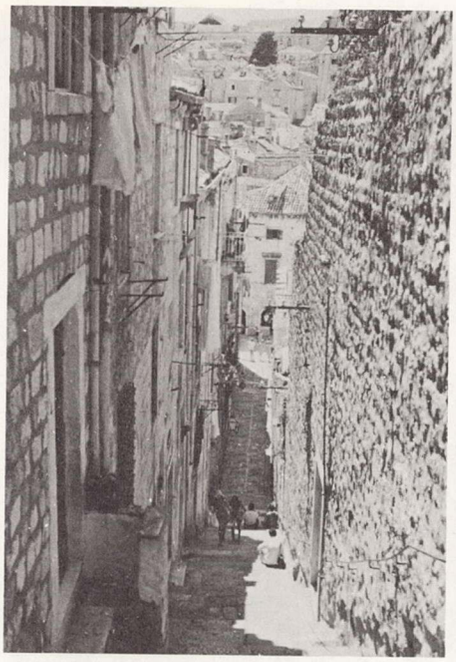


写真5　階段小路（Stairecase road）

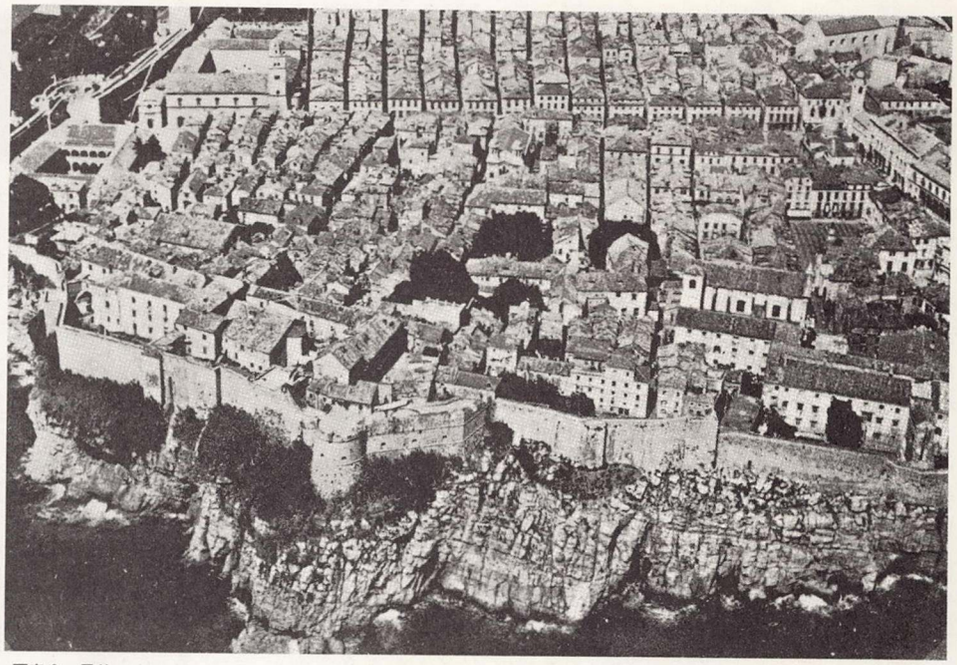


写真6　屋並



写真7　Stradunと教会前広場



写真8　泉広場とOnofrioの泉



写真9　城壁内道路

るというきわめて合理的・機能的な概念の具体化であったといえる。

まず東西方向には主要道路が設定され〈Stradun〉を軸に、他の平行な道路には、これの補助的機能が与えられた。これらの道沿いには店舗や仕事場が集められ公共的な用に具されたのである。また南北方向の階段状小路は住宅用とされ、この住宅地区も財産の有無により三つのランク（華族・金持の市民・単なる平民）に分けられ、その住み手が限定された。現在〈Stradun〉の北と南のブロック割りの違いをみれば、これがうなづける。

宗教建築や公共建築は、まわりを威圧するスタイルで独立に建てられることはなく、すべてこのブロックのなかにはめ込まれて建てられた。城壁と一体となっているものもあり、一般にこれらの建物が、町の空間構成の中心的存在になることはなかった。

実は13世紀の、この町のパターンは、地震で城壁を除く大半が壊れてしまったのであるが、その再建にあたって、この論理的かつ機能的な町づくりの考え方はそのまま引き継がれることになり、その結果、町のおもな骨組はそっくり再現されたのである。そして地震で残されたローマンゴシックやルネッサンスの建築様式の中へ、バロック的な建物が入り込むのであるが、この場合も、その表現性は極力押さえられたといわれる。

このように町の生成過程では、個々の建物の自立性がおさえられ、常に町全体の空間構成の整合性に注意が払われてきたといえるが、この整合性を成功させているもう一つのエレメントが城壁である。不思議と現在の城壁は〈ガッチリ〉としたものではない。ある部分では高くて二重の城壁であるが、他の部分では低くて一重壁である。また壁そのものの厚みもまちまちで、全体にフレキシブルなかたちを持ち、変化に富んでいる。そもそも初期の城壁は、その商業都市的性格からして、また海賊商船の本拠地として、実用的な必要物であり、そのかたちも当然実用一点ばりのものであったはずである。それが14世紀、16世紀と改築されるにつれ現在の洗練された姿にかわったのである。このプロセスで、イタリアルネッサンスの構成法が大きく作用していることは疑いないが、この抽象的パターンの導入にあたった諸建築家（Onofrio della cave, Paško Miličević, Michelozzi）の問題意識は単に強固な城壁をつくるという以上に、この凹凸のある複雑な地形に、イタリアの図形主義をいかに応用するかということであった。したがって、そこにあった自然的・人工的条件をできるだけ包括しようとする意図があり、この結果、生き生きとした三次元的様相の城壁ができたのである。

そしてこの城壁の完成をみて町の空間的一体性の根本的な骨組が完成したのである。

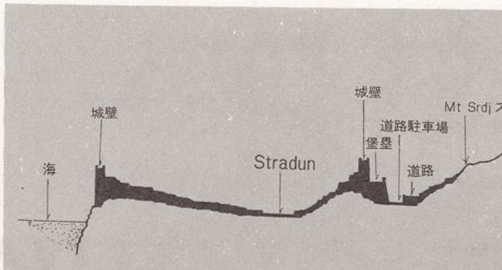


図3　町の断面－南北方向－

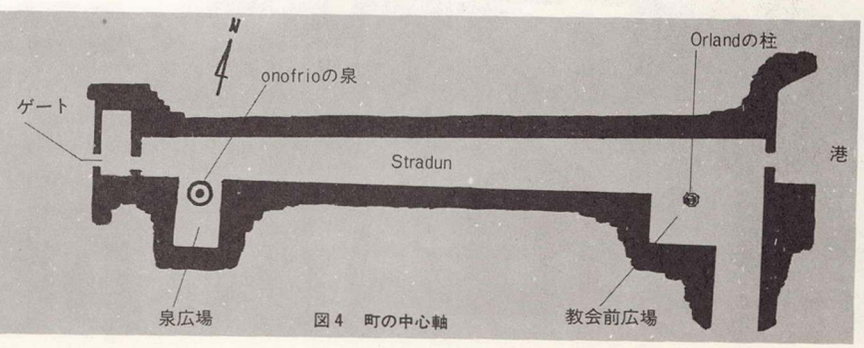


図4　町の中心軸

4.博物館都市の生命〈ミュージアム・タウン〉

現在、城壁の外、丘陵地の斜面には南向きの住宅が多く建ち並んでおり、それはVjlla 風（邸宅風）や別荘風のものが多い。いずれも庭や、緑を多く取り込み、大半はその平側を海へ向け、いかにも太陽の光を享受するべく建っている。空間の物理的密度にしても、城壁内にくらべるとやや二次元的な広がりである。しかし、この城壁外にはサービス用の店舗は非常に少なく、都心的な機能は、まだ城壁内の〈Stradun〉が引き受けているのである。

交通システムは、城壁の近くでは、ワンウェイシステムをとっている。市電もあり、近くの町とも連絡されており、この地の人にはよく利用されている。城壁の外側には堀がめぐっており、いまは道路と駐車場に使われている。一般にゲートを通過して、この城壁内に車は侵入できないことになっており、それは店舗のための最少限の搬出、搬入に限られている。しかも、それは早朝に行なわれるから、日中には、この〈Stradun〉に車の姿をみることは、ほとんどありえない。この中で日常生活を営む人も多く、裏通りや、階段小路の干し物が、これを示しているが、彼らもこの中へ車をもち込むことはない。

いまこの町は、さまざまな意味で観光地、避暑地として生きているといえるが、とくに城壁の内側では、時間をかけて獲得された空間の緻密性と一体性が、その三次元的美しさゆえに、ここを訪れる人に大きな感銘を与えている。それは町のあちこちに、そしらぬそぶりで散在するゴシックやルネッサンスやバロックの各様式建築群が、ここを一種の博物館的様相に仕立てあげているから、なおさらのこと魅力を増す。しかも、これがきわめて日常的な生活と共存して、オープンな広がりの中に人間的なスケールでセットされているからおもしろい。

城壁はこの上が散歩道になり、町をひと廻りでき、ここから町全体の屋並が一眺にできる。その景色は歩くにつれてさまざまに変化する。この回廊は博物館の外わくであり、かつ〈Stradun〉の延長でもある。

シンボリックな町の空間構成の総仕上げとして、この城壁の上の散策道がある。人はここを歩くとき、町の構成を鳥瞰図として体験し、城壁の意味を納得し、そして雄大なまわりの景色を楽しむのである。

この城壁や点在する城塞では、また野外劇の舞台に使われることもある。夜、照明に浮かび上がった城壁の上で、昔ながらの戯曲が演じられるとき、これらの背景は最高のセットとなるのである。

5.おわりに

町の軍事上のインフラストラクチャーであった城壁がいまや歩行者空間を構造づけるインフラストラクチャーとして新しい意味を獲得した、といえば聞えがよいが、むしろこんな古い城壁など、こうしか使いようがないという方が当をえた評価かも知れない。たまたまこの城壁が生きのびていて、消極的な意味あいで利用されているに過ぎない、と考えられないこともない。

だが、この城壁のないドゥブロブニクの町をイメージするとき、それは

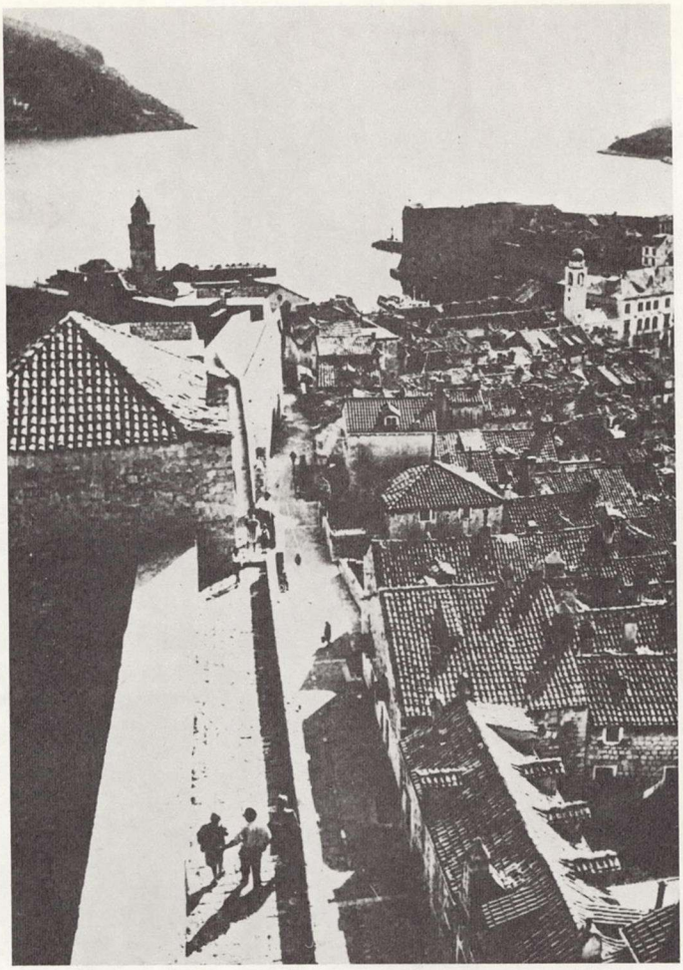


写真10　城壁の上の散策道

少しばかり昔のニオイのするごくありふれた町に堕してしまう。そしてかりにこの城壁がなくなれば、観光も避暑もあったものではなく、町の空間の一体性はたちまちにしてくずれ、せいぜい数点の文化財が残されて、他はどうでもよいものとして、しだいに個々バラバラに分解されてゆくであろうことが想像できる。当然町の魅力は半減し、ここを訪れる人も減るであろう。

これは機能的な用をなさない、ムダなものの存在理由を示す一例である。積極的な機能をもたない城壁も、実は、それをなくしてしまうと真の町の全体性が失われてしまうという点で、そのレーゾンデートルをもつのである。

しかしこの〈無用の要〉に関しては、機能論のように明快にいいきることがむつかしい。そして人によれば、この町の場合も単に観光地という特殊性がこの〈無用の要〉を可能にしていると反論されるかも知れない。だが私は、この町の城壁を通じて、現代の生産的都市が忘れかけた非機能的なものの意味を垣間みることができるといいたいのである。つまり、それはムダなもの、余分なもの、さらにいえば人間にとって遊戯的な空間すらも、存在しなければならぬという展望である。

しばしば世界的レベルのフェスティバルや会議が開かれ、多くの人々を魅了するこの〈ミュージアム・タウン〉は入場無料であり、島的性格を存分に発揮した、現代的な意味の〈城砦都市〉といえよう。

注1　ここでは城壁の中に限っていう。

（かとうあきのり　京都大学大学院生・生活空間学会会員）

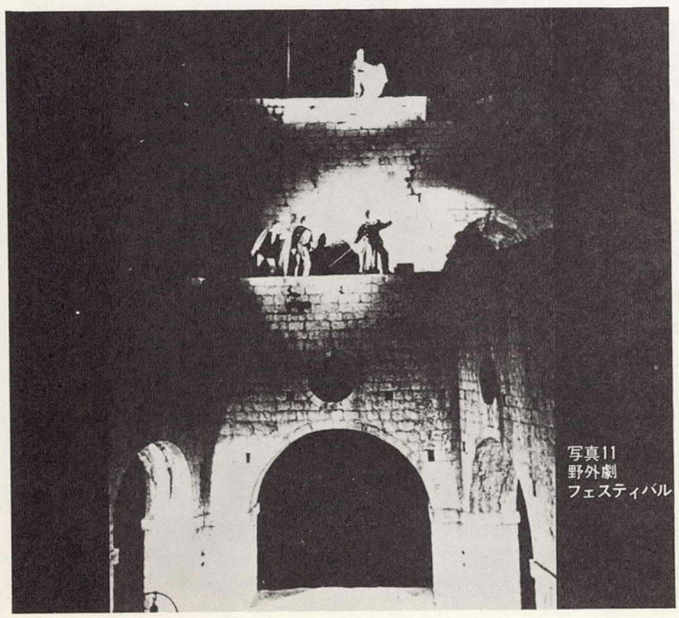


写真11
野外劇
フェスティバル

DUBROVNIK

特殊高力ボルトの種類と特長

脇山広三

高力ボルトは，摩擦接合あるいは引張接合の場合でも，高い一定な締付力を与えて使用される。このために高力ボルトを使い始めたときに，その使用方法や現場管理が，むずかしいということにつき当る。

しかし，幸いにもこの困難さは高力ボルトの使用をやめようということにはならず，多くの人々が高力ボルトを勉強し，ボルトそのものの性質を知る機会を与えたようであり，また，人々にこのやっかいなものをより使いやすいものにしようと努力するように作用したようである。

この開発の最初のものとしては，昭和36年頃に日本に紹介されたグリップボルト（アメリカのHUCK社の製品で当初HUCKBOLTと呼ばれた）がある。このボルトはわれわれに，工夫によってボルトが使いやすくなり得るものであることを暗示するとともに，ボルトは少なくともボルトと締付機械が一体となって構成されるもので，ボルト単体で，ファスナーの役目をはたし得るものではなく，ファスニングのシステムとして役立つものであることを教えてくれたようである。

このあと，高力ボルトの締付け，現場管理を容易にするために，JIS B1186をベースとして，種々なボルト・ナット・座金・締付機械などが開発された。まず，ボルトに工夫したものとしては，トルクコントロールボルト（TCボルト），ナットに工夫したものとしては，トルクコントロールナット（PIナット），座金を六角にして反力を得る油圧レンチ（エスパーレンチ）がある。アイデアとしては簡単であるが，ボルト頭下に共廻りを防止するクサビのついたGボルトというのもある。

また，グリップボルトのピンテールを変えたファスタックボルトもあり，これらは認可上の取扱いも高力ボルトと同じである。

日本では試験的使用例のみであるが，締付力の安定性の優れたHUCKRIMPというのが，アメリカのHUCK社で開発されている。

このようなボルトとは異なったものに，ワンサイドボルトというブラインドボルトもあるが，あまり使用例がない。

また，JIS B1186高力ボルトとは接合部耐力に対する考え方の異なるものに，支圧接合用打込式高力ボルトというのがある。このボルトは，一本当りの耐力が大きくとれる利点があるが，一般の建築鉄骨としては，高い加工精度の要求されるのが難点であろう。しかし，大型構造物，超高層構造物には使用の適性があるものと考えられる。このボルトに関しては，日本鋼構造協会機関誌：JSSC. vol.6 No. 58 1970 に規格・規準，調査・実験研究が詳細に報告されている。

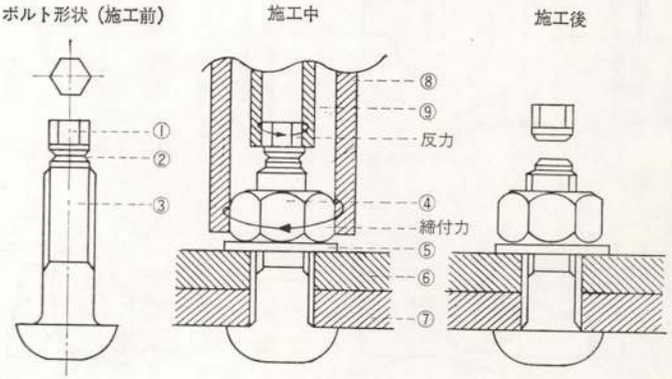
締付機械の日本における工夫としては，先に述べたエスパーレンチ，KN型トルクコントローラーがよく使用されている。ナット回転法用のレンチも開発中であり，近い将来，現場で使用されることになるものと思われる。

つぎに，これら特殊ボルトの特長などについて記した。

1. TCボルト

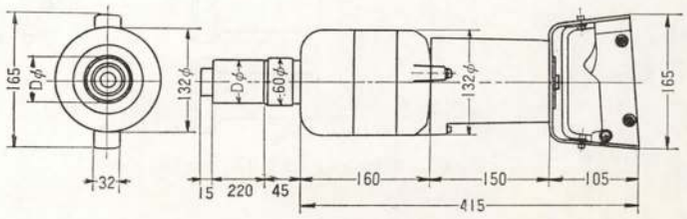
TCボルトは図—1のような六角のピンテールと破断溝をもつボルトで，ピンテールはナットを締付けるときに，締付機械に生ずる反力による回転を止めるように働き，破断溝は，締付トルクが適当な値になったときに破断する。ナットには普通の6角ナットが使用され，座金は頭が丸頭で，受圧面が大きいため，ナット側だけに使用される。

このボルトには，図—2に示すような特別の締付機械が使用され，この機械は100Vまたは200Vの単相の電源でも使用できること，締付トルクが正確なこと，締付後の検査が簡単なこと，騒音のないことなどが特徴として上げられる。しかし，ちぎれたピンテールを落下させると危険なので注意を要する。



図—1　TCボルトの締付け

①つかみ部　④ナット　⑦被締付け体
②ノッチ部　⑤座　金　⑧アフタースリーブ
③ボルトネジ部　⑥被締付け体　⑨センタースリーブ



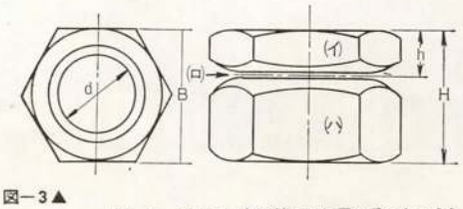
図—2　TCボルト締付け機の一例（同軸型）

	W5/8	W3/4	W7/8
D	40	50	54

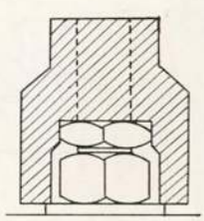
電源	AC 200V 用
最大締付けトルク	83kg-m
機体重量	約 12kg

2. PIナット

PIナットは，図—3のごとく標準のナットと薄いナットがブレークネックで結合されたナットで，2重ナットのような形をしている。締付



図—3▲

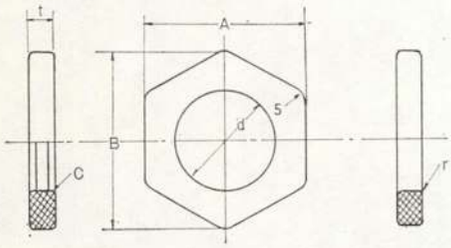


図—4　PIナットの締付けに用いるソケット▶

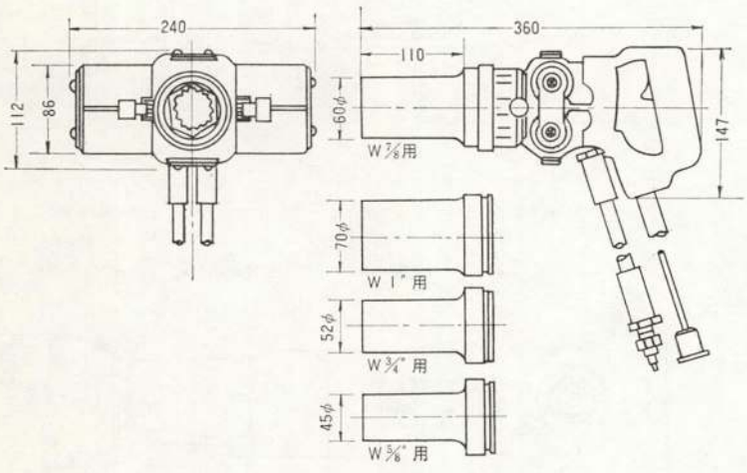
けには，図—4のように特殊なソケットを用いて薄手ナット側に締付けトルクを与え，ブレークネックが，捩り破損し，上下のナットがズレを生じたときに，締付けが終了する。特別な機械なしに，簡単に適当な締付けトルクを与えることができること，締付け検査が容易なこと，などの特徴があるが，破断溝の捩り強さがバラツキやすいので，品質管理を十分に行なう必要がある。

3. 6角座金（図—5）

静的にナットに締付トルクを与えようとすると，締付け機械に反力が生じ，人間の手でささえるときには種々の困難がある。この6角座金はボルト締付時，機械に生ずるナット回転と反対方向のトルクを吸収し，機械を固定するために使用される。もちろん，この座金の使用時には，座金とナットの両方に咬合う特殊な2重構造ソケットをもった，油圧の締付け機械が使用され，この機械はエスパーレンチと呼ばれている（図—6参照）。その特徴は騒音のないこと，締付けトルクが正確で，かつ大きくでき，大径ボルトにも使用可能なことである。



図—5 六角ワッシャー形状寸法

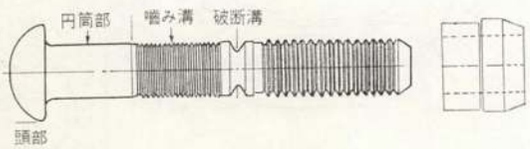


図—6 エスパーレンチの主要寸法 重量10kg

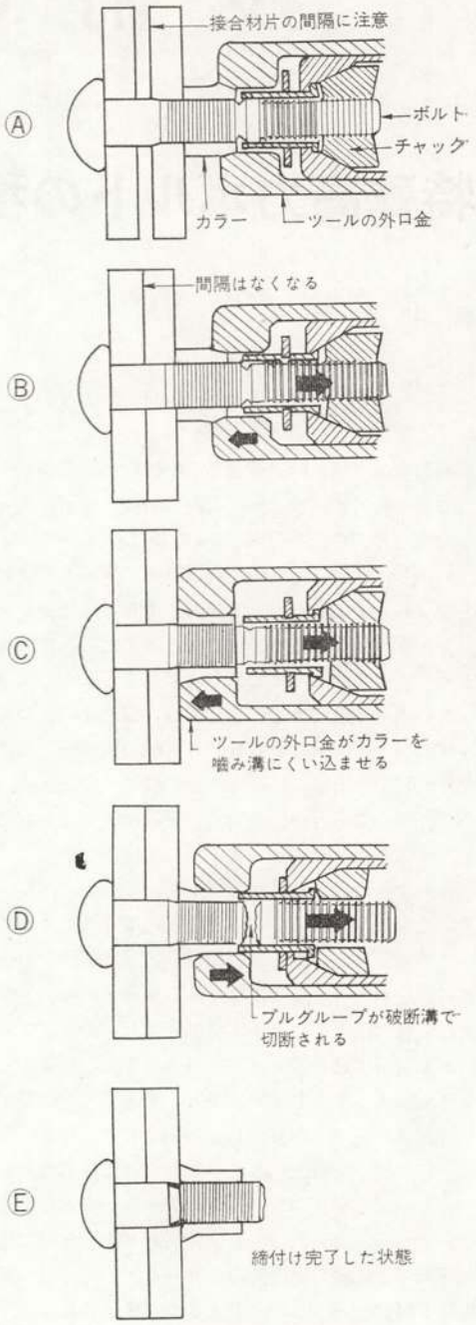
4. グリップボルト

このボルトは，普通のネジをもったボルトとは異なり，ナットに相当する部品，カラーを締付け工程中に，塑性加工して締付けるものである。その形状，寸法は図—7に示すようなもので，ボルトはかなり大きな引張溝をもったピンテールと破断溝をもっており，その噛み溝はラセンのネジでなく輪状のもので，締付後の回転ゆるみの問題はないが，ゆるめることは困難である。締付工程を図—8に示す。

締付けには，特殊の油圧機械を使用し，締付け時騒音の少ないこと，締付けの確実なこと，締付け後の検査の容易なこと，などが特徴である。



図—7 グリップボルト

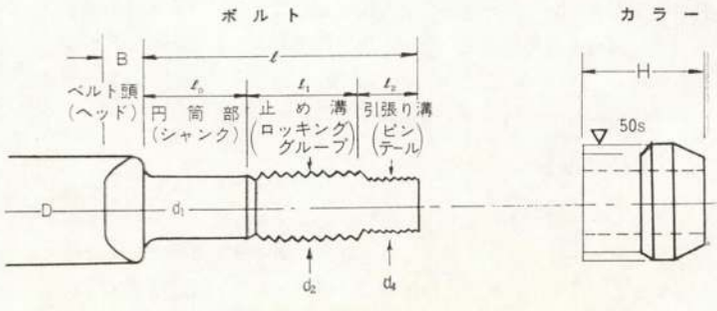


図—8 グリップボルトの締付過程

5. ファスタックボルト

形状寸法は図—9に示す破断溝をもたないグリップボルトでピンテールが短かいこと，締付完了時に生ずる衝撃音がないのが利点である。しかし，締付後も，カラーからピンテールがかなり出るのが若干の欠点である。

締付けには，グリップボルトとほとんど同じ油圧機械を使用する。

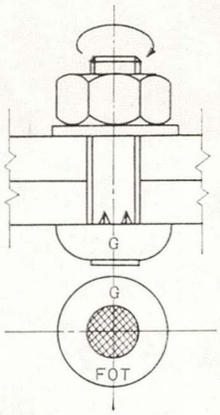


図—9 ファスタックの形状と寸法

6. Gボルト

形状は図—10に示すボルトで，JIS B 1186の高力ボルトの頭部を丸頭とし，首のR部に数個の小さなリブを持ったもので，他の形状寸法はJIS B 1186と全く同じである。

これらのリブは，ボルト取付け時に母材にくい込み，ナット回転にともなう軸の共廻りを防ぐように働く。これによって，ボルト頭は丸頭でよくなっており，共廻りを防ぐための人手の必要もない。また，座金はナット側の一枚だけでよい。



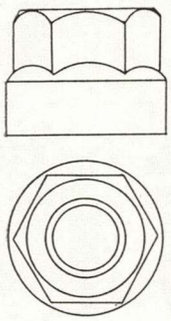
図—10 Gボルト

7. ハックリンプ

JIS B 1186の高力ボルトに特別な形のナットを組合せて，最終締付け工程をナットの回転によらず，ナットの一部を塑性加工して締付けるようにしたものである。

ナットの形状は図—11に示すようなものであり，その締付け工程を図—12に示す。

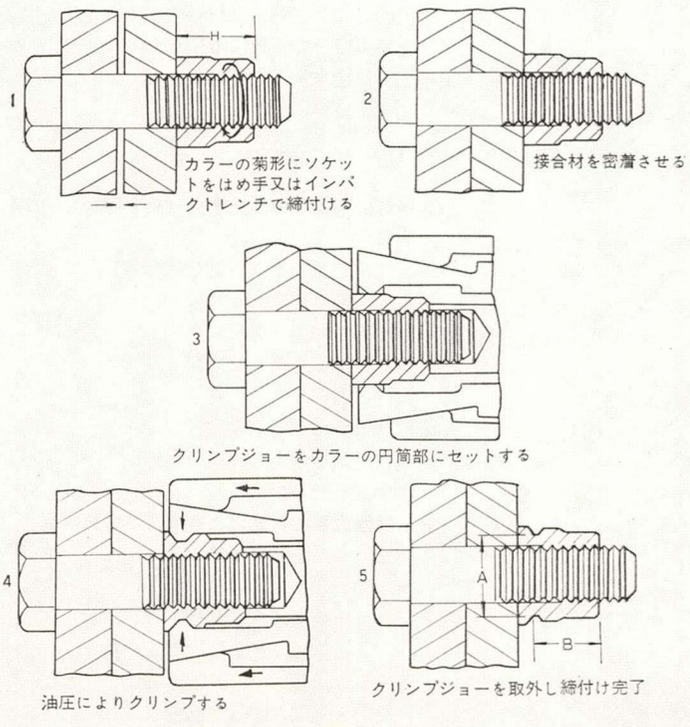
締付け工程は，最初に仮締めをナット回転によって行ない，本締めは特別の油圧機械（グリップボルトに類似）を用いて，ナットの部分的塑性加工によって行なわれる。


図—11 ハックリンプナットの形状

これに使用するボルトナットは，トルク係数の管理は不要であり，本締め時にボルト軸にはほとんど捩りトルクは働かない。

その特徴は，締付け時騒音のないこと，施工速度の速いこと，振動に対しゆるみを生じないことなどである。

日本においては，文献などにより，その性質の優秀なことは認められているが，施工例が一，二例あるにすぎず，目下，製造されていない。

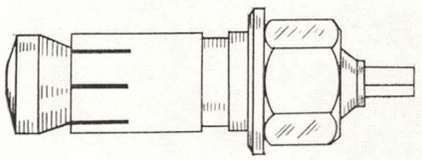


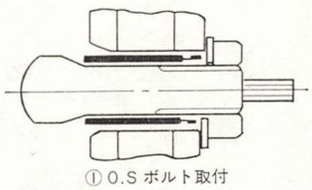
図—12 ハックリンプの締付け工程

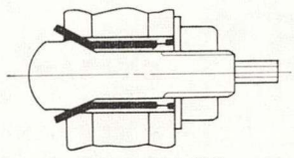
8. ワンサイドボルト

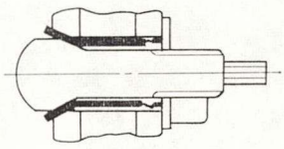
これは，片一方の側からしか施工できないような場所に使用することを目的として考案されたもので，ブラインドボルトの一種である。

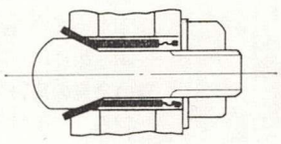
その特徴を発揮するのは，クローズ断面部材の接合に用いたときである。ボルトのセットの形状寸法を図—13に示し，締付け工程を図—14に示す。このボルトを使用する場合には図—15に示すようなボルト穴をあける必要があること，頭側のプレートがあまり薄いとボルト軸力が導入できなくなることがある。


図—13


① O.S ボルト取付


② O.S ボルト仮締


③ O.S ボルト本締


④ 完 了

図—14 機能と作業方法

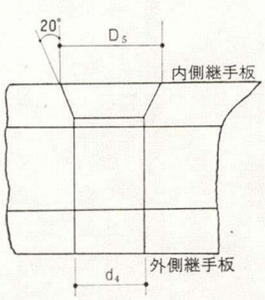
① ボルトセットを継手板の外側からボルト穴に挿入する。

② ボルトのツマミ部を固定し，ナットをねじ込むと，シースにボルトの頭部が圧入され，シース切込部はボルト頭部の20°のテーパーに沿って開き，添接板に押しつけられる。
この状態になると，もはやボルトセットは抜けなくなり，仮締めが終る。

③ 添接板に締付力を与えるためにナットのねじ込みを続けると，シースの切欠部が座屈し始めると同時にボルトには大きな軸力が作用し，規定のトルク値まで締付けを行なえば，所定の軸力が得られる。

④ 本締終了後ツマミ部をハンマー等で軽くたたき落とす。

⑤ ボルトを除去する場合は，ナットを逆方向に回転し，ナットと座金を取りはずし，ボルト，シースを内側に押し出す。



ボルトの呼び	d_4 孔径 (mm)	D_5 皿孔外径 (mm)
M 22	31	36
M 24	33	40
W 1	35	41

ボルト穴は内側継手板に左の図の通り皿穴を取付ける。

図—15 ボルトの穴径寸法

（わきやま こうぞう 大阪大学工学部建築工学科・教授）

日本建築協会

月間の動き

昭和46年11月分

定時評議員会

24日　4時～5時　於会館集会室
出席者　小川，星正副議長ほか14名
委任状　72名　計88名
理事　塚本，福田正副会長
議事(1)細則一部改正の件（会費改定）
(2)細則一部改正の件(評議員選出数の変更)
(3)昭和47年度評議員選出数決定の件
(4)名誉正会員推挙の件

理事会

24日　3時～4時　於会館集会室
出席者　塚本，福田正副会長ほか11理事
神谷，小西各監事
議事(1)建築6団体新年交礼会開催の件
(2)オール建築人ボウリング大会開催の件
(3)会勢委員会委員委嘱の件
(4)出版物の委託可否の件
(5)事務局職員下期賞与支給の件
(6)12月定例理事会開催日変更の件
(7)「建築と社会600号」記念号に特別広告依頼の件
(8)入退会者承認の件
(9)報告事項

編集委員会

3月号インテリアデザイン特集編集幹事会
1日　4時～9時半　於会館集会室
出席者　山内陸平（高島屋設計部），江藤暢英（竹中工務店設計部）両特別幹事，鳥田委員長ほか2名
議事　昭和47年3月号の企画

委員会
8日　4時～7時　於会館集会室
出席者　鳥田委員長ほか6名
議事(1)12月号＝「自然とレジャ空間」特集経過報告
(2)正月号＝「冬季オリンピックと札幌」特集経過報告
(3)2月号＝「600号記念」経過報告
(4)3月号＝「インテリア」特集企画
(5)4月号企画
(6)5月号以降の企画

表紙デザイン小委員会
11日　12時半～1時　於会館集会室
出席者　島村昇氏，三谷委員
議事　47年正月号表紙デザインについて

作品作風小委員会
17日　6時～8時半　於会館3階会議室
出席者　平内主査ほか6名
議事　札幌周辺新建築調査ディスカッション

事業委員会

見学会小委員会
1日　6時～7時半　於会館3階会議室
出席者　金子幹事ほか2名
議事(1)本年度4月～10月に実施した見学会の総括報告
(2)11月～47年1月の見学会企画について
(3)2月以降の見学会企画について
(4)そのほか

若い会員の集い小委員会
4日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　柳副委員長，奥尾，佐々木各幹事ほか8名
議事(1)「大和の民家集落を訪ねて」の報告
(2)「オール建築人ボウリング大会」の実施について
(3)「船のできるまでをみる会」の企画について
(4)「日本の伝統工芸をみる会」の企画について
(5)次年度の事業企画について
(6)そのほか

広報小委員会
5日　6時～7時20分　於会館集会室
出席者　三品副委員長，小泉幹事ほか3名
議事(1)10月に開催した講演会の報告
(2)第13回展示写真（明年1月～2月）の実施企画について
(3)各種説明会の本年度第2回の実施企画について
(4)本年度の事業企画について
(5)そのほか

委員会
11日　6時～8時　於会館集会室
出席者　北垣委員長，大橋，田村，三品，柳各副委員長，奥尾，佐々木各幹事
議事(1)各小委員会の事業報告
(2)11月～明年1月までの事業企画について
(3)本年度の事業企画について
(4)そのほか

若い会員の集い分科会
12日　6時～8時　於会館集会室
出席者　奥尾幹事ほか2名
議事　「船のできるまでをみる会」の事業企画について

若い会員の集い
ふるいまちとあたらしいまちシリーズ(2)
――住宅団地の歩みを訪ねて――
13日　9時半～午後6時
千里ニュータウン・逆瀬川団地・高級分譲住宅・御影団地・西宮北口団地見学
現地解説者
山地英雄氏(大阪府建築部住宅建設課長)
工博　多胡　進氏（大阪市立大学講師）
参加者　38名

忘年懇親会小委員会
26日　6時～8時半　於太閤園
出席者　大橋副委員長ほか13名
議事(1)忘年懇親会計画全般について
(2)賛助会費・寄贈品について
(3)そのほか

各種説明会打合会
27日　11時～12時半　於会館集会室
出席者　川崎重工 須清技術課長，神戸製鋼大石開発部次長，田中幹事，篠田委員
議事　第2回説明会「建築鉄骨の現場溶接」についての全般打合せ

出版委員会

委員会
9日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　小林委員長，池田，伊藤，宮川各幹事ほか6名
議事(1)出版委員会の目的（性格）について
(2)委託出版について
(3)出版企画について
(4)そのほか

建築データシート編集委員会

委員会
17日　6時～8時　於会館集会室
出席者　松村副委員長ほか7名
議事(1)№36の発行計画について
(2)バックナンバアの販売について
(3)こんごの発行計画について
(4)そのほか

住宅委員会

委員会
22日　6時～8時　於会館集会室
出席者　岡橋，黒谷正副委員長ほか11名
議事(1)各小委員会の編成替について
(2)そのほか

建材委員会

委員会
26日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　堀内委員長ほか8名，藤森産業3名
建材説明　軽量金属下地ロンドロック
議事(1)委員会今後の議題について
(2)そのほか

見学会

南禅寺の茶室その他見学会（第2回）
6日　2時～5時
金地院の八窓席（重文3帖台目）
慈氏院の看雲席（4帖）
天授院の松関（2帖）
本坊と不識庵（4帖半）
山門と書院
講師　帝塚山学院大学教授
工学博士　岡田　孝男氏
参加者　33名

PL教団大平和祈念塔と錬成道場の見学会
13日　1時半～4時
大平和祈念塔
設計・監理　株式会社　日建設計
施工　東急建設株式会社
第一錬成道場
設計・施工　清水建設株式会社
参加者　18名

修学院離宮の拝観

24日　3時～4時
参加者　14名
26日　3時～4時
参加者　13名

講　習　会

建築へのコンピューター利用講習会

1日，8日，17日，19日，25日（5日間）
各日共　1時～5時（19日は1時～4時）
受講者　159名

講　師

1日　コンピューター入門
富士通大阪営業所情報処理販売部ＩＳＥ課
仁木　弘氏
建築とデーター通信
日本電信電話公社建築局専門調査役
桑形　松夫氏

8日　建築へのコンピューターの利用概要
竹中工務店電算センター主席電算員
村田千之助氏
建築計画へのコンピューターの応用
大阪大学工学部講師　笹田　剛史氏

17日　構造設計へのコンピューターの利用
〈構造解析入門〉
昭和設計事務所開発室主任
石川　太信氏
〈架構解析／ＲＣ自動設計／鉄骨断面自動設計〉
新日本技術コンサルタント企画部
電算室長　藤野　長士氏

19日　設備設計へのコンピューターの利用
〈空気調和設計／その他の設備〉
日建設計コンピューター室次長
牧　英二氏

25日　積算へのコンピューターの利用
大林組建築部次長　白沢　立身氏
工程管理へのコンピューターの利用
大成建設電子計算部開発部主査
竹中　達夫氏

第17回工高生デザインコンクール表彰式

20日　2時～3時　於会館集会室
出席者　扇田審査委員長，斉藤教育副委員長ほか3名
清水一の会代表　入選者9名

入選者に対し賞状，賞牌を，また最優秀作に対し関西建築家懇談会一の会より「一の会賞」を授与した後，茶話会を開催した。

建築6団体事務局長打合会

1日　2時～3時半　於会館集会室
出席者　各団体事務局長等7名
議事　6団体共催の新年交礼会開催について打合せ

3会事業委員長打合会

25日　正午～1時　於会館集会室
出席者　事務局員5名
議事　12月以降の共催事業について打合せ

建築業務基準関係団体連絡会

1日　3時～5時 於日本建築学会会議室
出席者　建設省担当官ほか関係団体事務局員
議事(1)委員会規程（原案）の検討
(2)事務局の設置について
(3)建築業務基準原案についての意見交換およびその措置方法
(4)そのほか

26日　3時～5時 於日本建築学会会議室
出席者　関係団体事務局員
議事(1)委員会の今後のあり方について
(2)委員会規程（原案）の検討
(3)事務局の設置について
(4)そのほか

11月の入会者（敬称略）

〔団体会員　1社〕
阪急エンジニアリング株式会社

〔個人会員　9名〕

岩津林一	西原伴款	藤井与志雄
中西淳一	橋田繁文	藤田正清
中山晴義	浜津　稔	村山衛弘

工高生デザインコンクール表彰式



追悼誌「政岡さん」発刊

建築界に多くの業績を残された政岡基次氏をしのんで，今般，その追悼誌「政岡さん」が発刊された。発刊準備委員長の田中良太郎氏らが中心となって編集にあたったもので，政岡さんと親しかった人々の追悼記事や資料が数多く収録されている。
連絡先は　大阪市北区堂島中2—37
双星社竹腰建築事務所（福田気付）
電 06—341—6671

1971建築家作品年鑑

今般，日本建築家協会関西支部より，標記年鑑が出版された。関西支部所属の会員による作品で，参加59事務所，掲載作品169点写真211葉，図面171点が集録されている。
Ａ4版 約180頁。出版図書委員長は福永薫氏。非売品ではあるがお申込は下記へ。
大阪市東区上町5（建設保証ビル）
日本建築家協会関西支部
電 06—763—2902



第18回 大阪府建築コンクール 作品推薦(自他薦)のお願い

大阪府知事の建築士表彰にかかる建築コンクールは昭和28年（第１回）を実施以来17回を画し、今日に到りました。
この間府下の建築士の技術水準と建築物の質の向上は目ざましいものがあり、又都市と建築の機能も複雑多様化の様相を示しております。

本年第18回建築コンクールを実施するに当り、本会ではこのような状況の進展に即応した新しいコンクールのありかたを検討し、別掲要項の通り想を新たに新機軸をもつてのぞむことと致しました。

会員各位におかれては、何卒趣旨ご諒承のうえ別添推せん書によりふるって作品を推せん（自・他せん）下さるよう会告致します。

昭和46年11月

社団法人 大阪府建築士会
会長 小河吉之助

大阪府建築コンクール実施要項

大阪府
(社)大阪府建築士会

趣旨

このコンクールは大阪府下における建築物の質的向上によって、地域社会に寄与した作品を選び、大阪府知事がその設計に関与した代表建築士、並びに施工を担当した施工者を表彰するとともに、その建築物等を企画し、建築士の職能を理解し支えた建築主を称えんとするものであるこのコンクールが、建築文化の向上と建築士の職能についての関心と自覚を深め、ひいては豊かな生活環境を築き上げることともなることを念願する。

規定

1. 審査対象範囲
最近数年間に大阪府下に竣工したもので次の３分類とする
第１類　一般建築物（工作物を含む）で種類・規模を問わない
第２類　企業団地、住宅団地、都市再開発事業等。（一部竣工且つ全体計画が進行中のものを含む）
第３類　構造、設備、建築生産合理化等の技術面で特に進歩的業績が認められる建築物。

2. 応募資格
１級及び２級建築士

3. 推薦方法
自薦　応募者が自薦したもの
他薦　地区別に委嘱した推薦委員、その他個人又は法人、団体が推薦したもの
推薦をうけた作品については本会はその設計者に対し、規定に基く応募を依頼する。

4. 審査
下記の審査員によって行なわれる。

審査員長	小西　岬	㈱田中小西建築事務所代表取締役
審査員(設計)	小川　正	㈱竹中工務店常務取締役
〃	小笠原祥介	㈱大建設計取締役
〃	片倉健雄	大阪大学工学部助教授
〃	椚座正信	大阪府建築部市街地建築課長
〃	松村慶三	㈱浦辺建築事務所取締役設計室長
〃	薬袋公明	㈱日建設計大阪事務所副所長
〃	山本　晃	大阪市住宅部建設課長
〃（構造）	小泉　昇	㈱新建技術研究所代表取締役
〃	塩路寅雄	㈱塩路建築事務所副所長
〃	須賀好富	近畿大学理工学部助教授
〃（施工）	近藤義雄	清水建設㈱大阪支店次長
〃	庭屋浩二	㈱大林組建築第四部長
〃（設備）	相川三郎	大阪府立東住吉工業高校教諭
〃	佐藤邦昭	須賀工業㈱設計第一課長

5. 表彰
入選建築物の設計に関与した代表建築士並に施工を担当した施工者を表彰するとともに、その建築物を企画し建築士の職能を理解した建築主を称える。

入賞３点	大阪府知事賞	副賞
設計に関与した代表建築士	賞状、トロフィー賞金	大阪府建築士会会長賞メダル
施工者	賞状	同上
建築主	感謝状、建築物に取付けできる賞牌	同上
佳作数点	大阪府知事賞	
設計に関与した代表建築士	賞状 賞金	

6. 提出図書
イ　建築概要書　建築名称、位置、建築用途，建築主名、設計者名（代表建築士）、建築士登録番号、施工者名、構造、設備、建築面積、竣工年月日
ロ　附近見取図、配置図、平面図、立面図、断面図、写真（キヤビネ大以上としアルバムに整理）
ハ　工費　（建築工費及び設備工事費）　総工費及び平方米当り
ニ　構造、設備に関し設計、施工上特に意を用いた点の概略説明書（又は設計図）
ホ　第３類については推薦趣旨説明書
ヘ　イ及びハニの記載用紙は推薦書受理後送付する。

7. 提出期限
推薦書提出期限　昭和46年12月18日（土）正午　郵送の場合は当日消印迄有効
図書提出期限　昭和47年１月17日（月）正午　同上

8. 提出先
〒541　大阪市東区博労町２—41（中博ビル）
社団法人　大阪府建築士会　建築コンクール係
TEL 262—1861

9. 発表
審査の結果、入選者には３月中に通知するとともに、会誌「近畿建築士のひろば」並びに新聞紙上に発表する。

10. 表彰式
表彰式は昭和47年３月中に大阪府庁において行なう。

賀　正

1972

設計事務所有志

RIA建築綜合研究所大阪支店

所　長　山　口　文　象
支店長　山　家　啓　助

大阪・大阪市北区太融寺町33　大阪合同ビル 406　電話 312－9154
東京・270－5861　名古屋・262－3941

青田設計事務所

所長　青　田　豊　吉

姫路市坂田町54（姫路建設会館内）　電話　代表 0792（24）9012
〒 670　直通 0792（22）7126

株式会社 赤松菅野建築設計事務所

代表取締役
大阪事務所長　赤　松　　修

大阪市北区梅ヶ枝町123（瑞穂ビル）　電話（364）5651
東　京・横　浜・大　宮・富士ノ宮

株式会社 浅野建築設計事務所

代表取締役　浅　野　真　澄

本　社　大阪市天王寺区城南寺町9－27　電話 768－0201（代）
768－1870
分　室　奈良県北葛城郡香芝町下田256　電話（0745）77－7805

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　秀　保

大阪市北区天神橋筋3－68　三海ビル　電話（358）5598・3497

株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井　上　達　明

〒530 大阪市北区鶴野町51番地　電話 372－2821代表

株式会社伊東建築設計事務所

代表取締役　伊　東　正　也
取締役　竹　原　永一郎
大阪市浪速区幸町通り2－6 清光ビル　電話(562) 4343～4

石川建築事務所

石　川　寛　三
石　川　　宏
大阪市天王寺区茶臼山町111　電話 06 (779)9491～2
東京都豊島区駒込1－11－9　電話 03 (946)5431～2

株式会社 泉設計事務所

代表取締役　長谷川元耶
代表取締役　宮　川　達　郎
大阪市南区横堀7－4（新田ビル）電話 251－7691(代)

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史
大阪市東区瓦町5丁目42番地　新瓦町ビル　電話 (231)2064～5

株式会社 今西建築デザインルーム

代表取締役　今　西　茂　雄
大阪市西区北堀江通2－47　TEL 541－3051～3

株式会社 入江三宅設計事務所

代表取締役 三 宅 晋

東京都港区芝西久保桜川町２８(第10森ビル) 電話 501－０２８６㈹
大阪市東区本町１－24(ニューホンマチビル) 電話 271－０２５７

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役 浦 辺 鎮 太 郎

大阪市北区梅田八番地・新阪急ビル 電話 大阪(341)１７２７・１６８０
東京都中央区日本橋室町２の４ 電話 東京(279) ４９３９ (代)

株式会社 栄和設計事務所

取締役社長 小 泉 善 重

本 社 大阪市福島区堂島浜通４丁目14 ＴＥＬ大阪 (452) 1651～3

株式会社 小河建築設計事務所

代表取締役 小 河 吉 之 助

本 社 大阪市南区瓦屋町４番丁８番地 電話 大阪(763)２３０１
東京事務所 東京都中央区日本橋両国50番地 (ニッセンビル内)
電話東京(866)9606・2349
分 室 箕面・船場・和歌山

株式会社 海上静一建築事務所

代表取締役 海 上 静 一

本 社 大阪市東区博労町２－41(中博ビル) 電話 大阪(261)4428～9
三重分室 三重県津市船頭町２０４４ 電話 津(８)９６２７

コータケ建築設計事務所

所長 高 武 主 計

大阪市西区江戸堀５－１５５(新山越ビル) ＴＥＬ 488－0178・2408

株式会社 小林得志建築事務所

代表取締役　小林得志

大阪市北区堂島北町20　藤田ビル内　電話(341) 5658(代)

有限会社 河内義就設計事務所

代表取締役　河内義就

広島市上幟町2番37号　電話(0822) 28−2271

株式会社 坂倉建築研究所

代表取締役　西澤文隆

東京事務所　東京都港区赤坂9−5−12　TEL03−403−3551
大阪事務所　大阪市西区京町堀2−122　TEL06−443−0021



株式会社 桜井建築設備研究所大阪事務所

取締役所長　長谷川幸雄

大阪市西区靱本町1−50(第2富士ビル)　電話06−443−7891(代)
大阪事務所九州支所　福岡市那の川2−9−32　電話092−52−3036(代)
本社・東京事務所　東京都新宿区四谷1-4(野原ビル)　電話03−353−4711(代)



株式会社 三座建築事務所

代表取締役　徳永恒夫
専務取締役　吉岡凡夫

大阪市北区中之島4−33〈443〉0051〈代〉受電略号オ、サカ三ザケンチク

株式会社 清水和彌設計事務所

代表取締役　清水和彌

大阪市北区万才町43(浪速ビル)　電話　大阪(312)4616・7278(代)

株式会社 篠田川口建築事務所
株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川口喜代枝

名古屋市東区富士塚町3－2
TEL 962－7581(代)
TEL 971－2255(代)



株式会社昭和設計事務所

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役専務　林唯夫

設計・監理

大阪事務所　大阪市西区西長堀北通1－8 四ツ橋ビル　TEL代表 532－0415
神戸事務所　神戸市葺合区八幡通5－6　久徳ビル　TEL078－251－0651
姫路事務所　姫路市竪町54番地　滝川ビル　TEL姫路 24－2926
姫路事務所長　河野豊蔵



株式会社 田中/小西 建築事務所

取締役社長　小西岬

本社　大阪市西区阿波座南通2－60　電話 (532) 4051大代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3ノ3(大木ビル内)　電話 (256) 9301代表
名古屋事務所　名古屋市中区丸の内1の8番39号(三信ビル内)　電話 (211) 4035
大津事務所　大津市梅林1丁目4番15号(滋賀県教育会館内)　電話 (22) 5373～4番

株式会社 大建設計

取締役社長　高橋慶夫
取締役副社長　西嶋徳太郎
取締役副社長　千原大五郎

本社　大阪市西区京町堀2丁目75番地　大阪(441)9351代
大阪本社　大阪市西区京町堀2丁目75番地　大阪(441)9351代
東京本社　東京都港区新橋1丁目10番7号(大和銀行新橋ビル)　東京(572)4595代
名古屋事務所　名古屋市中区丸ノ内2丁目2番15号(東照ビル)　名古屋(221)8566代
九州事務所　北九州市小倉区魚町4丁目3番8号(九源ビル)　小倉(52) 4285代
分室　水島・大分

株式会社 竹内建築事務所

代表取締役　内藤一真
専務取締役　林茂

大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1(日亜ビル)　電話 (211)2706～8番

東西建築サービス株式会社

取締役社長　布袋國雄

本社　大阪市東区横堀2－48 〒541　電話 06 (202) 3626
事務所所在地　東京・名古屋

株式会社 東畑建築事務所

代表取締役　東畑謙三

本社・大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話　大阪(06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2(永田町ビル)　電話　東京(03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区堀内町2(堀内ビル)　電話名古屋(052)571-8471
北九州支所・大分支所

東電設計株式会社

取締役社長　石亀力
専務取締役　富塚卓三

東京都千代田区内幸町2－1－1(飯野ビル)電話　501－2191代
506－2905代

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役社長　内藤資忠

本社　京都市左京区田中大堰町189番地　電話075(781)6195代
事務所・出張所　青森・仙台・東京・松本・静岡・名古屋・京都
滋賀・奈良・大阪・四国・福岡・大分・鹿児島

有限会社 中西建築事務所

代表取締役　福田亨吉

大阪市北区中之島3－3(朝日ビル)　電話　231－9531

株式会社 日建設計

取締役社長　塚本猛次

大阪市東区横堀2丁目38番地　電話203－2361(大代表)

株式会社 根津建築事務所

代表取締役　根津耕一郎

本社　大阪市東区安土町2－15(佐々木ビル)　電話(06)262－0595(代表)
東京事務所　東京都港区赤坂8丁目11番21号　電話(03)408－8477
(乃木坂マンション603号)

株式会社 彦谷建築設計事務所

代表取締役 彦 谷 邦 一

大阪市東区高麗橋３－３９(柳湖堂ビル) 電話 231－2810・7634

株式会社 福永建築設計事務所

代表取締役 福 永 薫

専務取締役 福 永 健 一

大阪市南区順慶町通４ノ６１ 電話 (06) 251－3102・5189

株式会社 宮後建築事務所

代表取締役 宮 後 健

本 社 大阪市天王寺区上汐町６－３５ 電話 772－０１６５(代表)
分 室 大阪椎寺町・大阪横堀・大阪本町・茨木

村野・森建築事務所

村 野 藤 吾
森 忠 一

大阪市阿倍野区阿倍野筋２－３－８ 電話 (624) ０９２６代表
研 究 所 大阪市南区心斎橋筋１－４３ 電話 (253) ０８７５代表
東京事務所 東京都中央区日本橋茅場町２－３ 電話 (661) ７１５８

株式会社 安井建築設計事務所

代表取締役社長 佐 野 正 一

本 社	大阪市東区島町２丁目７番地	電話06(943)1371(大代)
大阪事務所	大阪市東区島町２丁目７番地	電話06(943)1371(大代)
東京事務所	東京都千代田区平河町１丁目１番地	電話03 (261) 5101(代)
名古屋事務所	名古屋市中区錦３丁目２４番(日本生命ビル)	電話052(961) 1861(代)
神戸事務所	神戸市生田区三宮町2丁目18番地(阪神相互ビル)	電話078 (321) 1533(代)
九州事務所	福岡市渡辺通３丁目６番地 (福岡フコク生命館)	電話092 (75) ３５６８

株式会社 U.A.(ユー エー)建築事務所

代表取締役 上 田 良 治

専務取締役 浅 井 潤 一

大阪市東区谷町５－３０(新野村ビル) 電話 768－２９４１～２

株式会社 洋建築事務所

代表取締役　設楽貞三

大阪市北区松ヶ枝町88(大徳ビル)　電話 358－6372(代)

株式会社 吉田建築事務所

取締役会長　吉田信武

取締役社長　佐治誠次

大阪市西区北堀江上通3－22(久竹ビル)　電話 (538) 2991 代表

渡辺建築事務所

渡辺道輝

〒541 大阪市東区今橋2丁目21番地(藤浪ビル)　電話 06 (231) 1696番(代)

〒102 東京都千代田区平河町二丁目16-6番地(第3工業ビル)　電話03(262) 4567番

賀正

1972

造園設計事務所有志

株式会社 荒木造園設計事務所

代表取締役　荒木芳邦

大阪府池田市鉢塚2丁目8番21号　電話 0727 (61) 8874 (代表)

EDA

ENVIRONMENT
DEVELOPMENT
ASSOCIATION

株式会社 エダ造園・地域計画研究所

代表取締役　吉村元男

東集盛　大山雄三　芝原幸夫　古田恭一　糸谷正俊　山本郁子　吉村清子

本　社　大阪市東区内淡路町2の16　恵口ビル　電話 (942) 4577

アトリエ　京都市左京区北白川下池田町67　電話 (781) 4418

株式会社 大塚造園設計事務所

代表取締役　大塚守康

大阪市北区北同心町2－37(正善院ビル)　TEL 351－9332

駒井造園設計事務所

庭園設計
設計管理
庭園施工

代表者　駒井隆雄

京都市北区大宮薬師山東町10番地　電話　京都(075) 491－3786

中根庭園研究所

所長　中根金作

建設コンサルタント（造園部門）　（建設省認定　第445号）

京都市左京区下鴨糺の森電停前　生産開発科学研究所内　電話 075 (781) 1107
自宅　京都市右京区谷口唐田の内町1の6　電話 075 (463) 5548
造園設計・施工・監理

花豊造園株式会社

代表取締役　山田米治郎
代表取締役　山田昌次

京都市下京区大宮通五条下る　TEL075－341－2246(代)
宇治市木幡南山畑14　TEL0774－31－8236
滋賀県栗太郡栗東町字手原170　TEL 07755－2－3536

阪急園芸株式会社

造園土木設計施工
フェニックス芝刈機製造販売
各種園芸用品の販売

取締役社長　茂原祥三

大阪市北区芝田町35番地の4　(〒530)
電話　大阪(06)(372) 4817・4824・4829・4926・4934

阪神造園建設業協同組合

理事長　木村源次郎
副理事長　坂上種博
同　木山匡司
組合員一同

事務所　大阪市北区神山町27の2　造園会館内　電話大阪(312)4553

賀　正

1972

建設業者有志



株式会社 **青　木　建　設**

（旧ブルドーザー工事株式会社）

取締役社長　青　木　益　次

本　社　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06 (458) 5851
東京本社　東京都渋谷区渋谷2－17－3　TEL 03 (407) 8511
大阪支店　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06 (458) 5851



株式会社 **淺　沼　組**

取締役社長　淺沼猪之吉

本　社
本　店・大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 代表 (762) 0251
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・福岡・広島
営業所・秋田・岩手・水戸・千葉・立川・横浜・新潟・北陸・静岡・岐阜・長野
三重・奈良・京都・郡山・和歌山・神戸・岡山・高松・徳島・高知・熊本



株式会社 **新（アタラシ）工　務　所**

取締役社長　新　昭　一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三　電話 代表 大阪 (313) 1331番
支　店・東京都千代田区猿楽町二丁目一番十四号　電話 代表 東京 (291) 3741番
営業所・名古屋市中区大須四丁目一番七一号（時計ビル）　電話　名古屋 (262) 1725番
神戸市灘区倉石通一丁目二　電話　神戸 (87) 6119番



株式会社 **あめりか屋**

取締役社長　前野慶太郎

本　社　大阪市北区常安町17番地　電話 代表 (444) 1501番



安藤建設株式会社大阪支店

取締役大阪支店長　村　田　隆　次

大阪市福島区上福島北通1－17－1　電話　代表　453－2190
本　社・東京都中央区八重州四丁目七番地　電話 大代表 (272) 7411
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 井上組

取締役社長　井上福蔵

本社　大阪市都島区網島町6番25号　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町三丁目二番地　電話　神戸(33)1780

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町七丁目二番地ノ一　電話06(772)1251
支店　東京都新宿区内藤町一番地　電話03(354)0581～5
営業所　神戸市生田区下山手通四丁目四番地ノ一　電話078(33)6060
埼玉県所沢市大字中富字北見元秋津分990番地　電話0429(22)0180

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3の1　電話　大代表(292)1111番
本　店・大阪市東区京橋3丁目75番地　電話　大代表(941)0861番
支　店・札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・岡山・広島・高松・福岡

株式会社 奥村組

社長　奥村俊夫

大阪市阿倍野区松崎町1の2の3　電話　大阪(621)1101(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・四国・北九州

鹿島建設株式会社

会長　鹿島守之助

取締役社長　渥美健夫　常務取締役大阪支店長　橋本正二

本　社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話東京(404)3311(大代)
大阪支店　大阪市東区瓦町五の七一(瓦町ビル)　電話大阪(203)3381

株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長　佐伯武男

大阪市北区曽根崎新地1丁目21　電話(341)7371(代表)
本店・姫路市北条口86－3　電話　姫路(23)2021(代表)

株式会社 近畿建設

代表取締役　川崎敬三

本　社　大阪市西区鞠本町４の１０３　電話大阪(代)（532)0081(代)
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡１９３の１　電話（07755)(２)1361～２

株式会社 熊谷組大阪支店

専務取締役支店長　泉　治郎一

大阪市西区西道頓堀通二丁目一番地　電話(538)1841番（大代表）
本　社　東京都新宿区筑土八幡町二二番地　電話(260)2111番（大代表）
支　店　札幌・仙台・北関東・東京土木・東京建築・横浜・名古屋・広島・四国・福岡

株式会社 小坂井組

取締役社長　小坂井正夫

本　社　大阪市北区太融寺町五六番地　電話 代表（311）９３３１
営業所　京都市
出張所　東大阪市・和歌山市・堺市

株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本　店　大阪市東区北久宝寺町４－２７　電話 代表(252) ３１００
支　店　東京・名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・横浜・札幌・神戸・京都

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原　精一

本　社　大阪市東淀川区十三西之町４丁目３　電話(06)302－1551代表
営業所　尼崎市南塚口町２丁目２９番３４号　電話(06)429－４５６９
神戸市葺合区八幡通5丁目6番地(松井ビル)　電話(078)22－６２９３
堺市宿屋町東３丁１番１９号　電話(0722)2－５４２３
東京都中央区越前堀１丁目８番地　電話(03)551－４５０１

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤欣治・常務取締役大阪支店長 山本良勝

本　社・東京都中央区日本橋本町４－８　電話 東京(662) 2331(大代)
大阪支店・大阪市東区北浜１－２５　電話 大阪(203) 7221(代表)
支　店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島



三和建設株式会社

代表取締役　竹下文武

本　　社　大阪市東淀川区加島町４３１　TEL　(301) ６６３６代
東京支店　東京都港区西新橋２丁目19番１号　TEL東京 (436)１２７１代
京都営業所　京都市右京区西大路五条上ル　TEL京都 (311)８８９７
東京工場　川口市仁志町１～２４１　TEL川口 (52) ４１００
高槻工作所　高槻市芝生町５の２　TEL高槻 (74) ０３８１



島藤建設工業株式会社大阪支店

支店長　樽田光男

本　社　東京都港区赤坂８丁目５番34号　電話　東京 (403) １５１１
支　店　大阪市北区茶屋町３１番地の２　電話　大阪 (372) ６００１代表



清水建設株式会社

社長　吉川清一

本社東京都中央区宝町二ノ一
支店　大阪・名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌



住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長　野村太郎

大阪支店　大阪市東区北浜５丁目２２番地(新住友ビル２号館)電話　(202) 代表7421番
本　店　東京都新宿区荒木町13番地　電話　(353) 代表5111番



株式会社 錢高組

取締役社長　錢高輝之

本　店　大阪市西区阿波座上通３丁目２番地　電話 大阪 (531) 6431番(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡
営業所　青森・秋田・盛岡・前橋・新潟・千葉・横浜・静岡・津・京都
神戸・岡山・高松・松山・松江・北九州・熊本・長崎・大分



大成建設株式会社

取締役社長　南幸治
専務取締役支店長　菅澤英夫

本　　社　東京都中央区銀座２丁目５番11号　TEL東京 (567)1511大代表
大阪支店　大阪市東区本町４丁目２７番地　TEL大阪 (262)1131大代表
支　　店　東京・名古屋・横浜・福岡・高松・新潟・仙台・札幌

大日本土木株式会社大阪支店

関西駐在常務取締役　山田　豊

常務取締役支店長　高木政夫

530 大阪市北区堂島北町9　電話 06(341) 代表5931
東京本社　162 東京都新宿区市ヶ谷田町2丁目35　電話 03(268) 5511
本　店　500 岐阜市六条1483番地5　電話 0582 (72) 3141
支　店　東京・名古屋・九州
営業所　神戸・京都・奈良・滋賀・和歌山・上六・岡山・広島・宮崎
熊本・静岡・長野・中津川・三重・横浜・多摩・千葉・仙台

株式会社竹中工務店

取締役社長　竹中錬一

本　店　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)
営業所　札幌・仙台・東京・横浜・千葉・静岡・名古屋・富山
京都・神戸・岡山・広島・高松・福岡・北九州

鉄建建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　勝田頼春

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地(天六阪急ビル)　電話 (358) 0321(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話東京 (262) 3411(代表)

東海興業株式會社大阪支店

取締役社長　中西小一　　専務取締役 大阪支店長　小松英二

本　社　東京都千代田区丸の内3−4−2 日石ビル　電話 東京 (212) 3261
大阪支店　大阪市北区梅田町27 サンケイビル　電話 大阪 (343) 0451
支　店　東京・名古屋・仙台・札幌

戸田建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　加納秀雄

大阪市東区本町3丁目27の1 (センバ・セントラルビル)
電話(252) 6311(大代表)
本社・東京都中央区京橋1丁目3番地
支店　名古屋・札幌・仙台・関東・横浜・広島・福岡

飛島建設株式會社大阪支店

常務取締役支店長　篠原忠治

大阪市東区島町2丁目28番地　電話 (942) 2481(代表)
本　社　東京都千代田区九段南2丁目3番28号

明日をささえる

西松建設

大阪建築支店　大阪市東区釣鐘町2丁目41番地
取締役支店長　島田勢喜
本　　社　東京都港区芝西久保桜川町13番地

日東建設株式会社

取締役会長　長久保俊夫
取締役社長　石澤六郎
取締役支店長　本澤平八郎

本社　102 東京都千代田区平河町1丁目4番地9　電話東京　03（265）（大代表）4281番
支店　530 大阪市北区末広町12番地（新末広ビル）　電話大阪　06（351）代 0623 番

日本建設株式会社

社　長　生田重政

本　社　大阪市東区安土町4－5　TEL（261）7591－6
支　店　東京・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・四国

野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本　社　大阪市東区高麗橋二丁目九番地　電話（202）代表4791
東京支店　東京都千代田区大手町二丁目一番一号　電話（241）代表4171

株式会社 間組大阪支店

専務取締役　吉村幾蔵
常務取締役 支店長　神部節男

大阪市東区横堀町二丁目七〇番地　電話（203）代表2821
本　店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地　電話（402）代表8171
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・新潟・海外工事局・札幌・広島・高松

長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本　社　大阪市天王寺区大道町四丁目一三〇
電　話（771）（代表）4148・4149・4140
工作場　大阪市生野区巽四条町103の2
電　話（791）2744番

阪神土木工業株式会社

取締役社長　藤原正一

本　　社　大阪市北区梅田町93番地　電話（341）5445(代)
神戸支店　神戸市東灘区御影本町2－18－1　電話078(851)5362
西宮営業所　西宮市甲子園高汐町2－29　電話0798(41)4908
尼崎営業所　尼崎市昭和南通3－26　尼崎松本ビル内　電話（412）1866
和歌山営業所　和歌山市3番丁　電話0734(36)0231
岡山営業所　岡山市鹿田町1丁目4番9号　電話0862(24)6689
出張所　芦屋・京都・川西・寝屋川

飛騨建設株式会社

代表取締役　清涼信泰

本社　大阪市北区富田町38番地　電話（06）363－1741代表

未来をひらく フジタ工業

常務取締役大阪支店長　古賀文之介

大阪市北区堂島中2丁目38番地　電話（345）代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ヶ谷4－6－15
支店・東京・札幌・横浜・名古屋・大阪・広島
九州・仙台・リマ・カラカス・サンパウロ

不二建設株式会社

取締役社長　山口吾郎

本社　大阪市西区阿波座上通4丁目8　〒550 電話 大阪（06）541－5534代表・9301代表
支店　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160 電話 東京（03）377－5171代表
名古屋市中区千代田4丁目11番17号　〒460 電話名古屋（052）321－8481代表
出張所　大垣・京都・神戸・広畑・大分

不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

大阪本社　大阪市東区平野町5丁目30番地　電話 大阪（201）1121
東京本社　東京都中央区銀座4丁目2番16号　電話 東京（567）1751
支店　北海道・仙台・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・九州・大分
営業所　岡山・福岡・長崎・山口・水戸・姫路・高崎

株式会社 藤木工務店

本店・大阪市東区両替町一丁目一三・電話 大阪 06(942) 1461(代)
支店・東京都新宿区三栄町二三番地・電話 東京 03(357) 1611(代)
倉敷市鶴形一丁目十ノ三二・電話 倉敷0864(22) 3330(代)
高松市丸ノ内十一番地ノ十三　電話 高松0878(51) 7272(代)
出張所・京都・名古屋・津・静岡・岡山・新居浜・徳島・福岡・熊本

真柄建設株式会社大阪支店

取締役
支店長　佐々木孝治

大阪支店　大阪市西区京町堀3丁目12番地　電話 大阪（06）443－0641(代表)
東京本社　東京都千代田区麹町5丁目1番地　電話 東京（03）263－1211(代表)
支店・営業所　東京・名古屋・金沢・富山・福井・京都・大津・神戸・新潟

前田建設工業株式会社大阪支店

常務取締役支店長　島田光富

支店　大阪市東区石町2丁目7番地　電話大阪(942) 1301 (代表)
本社　東京都千代田区富士見2丁目10番地の26号　電話東京(265)5551番(代表)

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄二

本　社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話 大代表 大阪(353)1131
支　店・東　京・札　幌・名　古　屋・広　島・福　岡

三井建設株式会社 大阪支店

常務取締役
支店長　竹内慶久

大阪支店　大阪市北区中之島3－7(三井ビル2号館)　電話大阪（443）代表1321
本　社　東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(270)大代表8651
支　店　東京土木・東京建築・札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

株式会社 村上工務店

取締役社長　村上秀二

本　社　大阪市大淀区豊崎東通り3丁目16番地の16　TEL（372)2924
営業所　東京・神戸

村本建設株式会社

代表取締役社長　村本豊嗣

本　社　奈良県北葛城郡広陵町安部547　電話　大和高田　（55）1151(代表)
大阪支店　大阪市天王寺区上本町9丁目49　電話　大　阪　（779)1571(代表)
東京支店　電話 東京（265)5851(代)
名古屋支店　電話 名古屋（241)1511(代)
福岡支店　電話 福岡（74)0119

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　　社　大阪市北区堂島上1丁目18　電話大阪(344) 8651(代表)
工 作 所　豊中市小曽根4丁目900　電話 (332) 4831～2
豊中倉庫　豊中市島江1丁目1番7号　電話 (333) 7430

株式会社 森組

取締役社長　森　幸治

本　社　大阪市東区横堀2丁目14番地　電話 (231) 8283～7番
(支店) 東京・名古屋・奈良　(営業所) 和歌山・尼崎・神戸・岡山

株式会社 森本組

代表取締役社長　森本積善

本 社　大阪市天王寺区夕陽ケ丘町三番地　電話 大阪 (779) 1451
支 店　東京・名古屋・広島
営業所　松江・神戸
出張所　奈良・米子・下北山・西明石・和歌山・河内・相生・木曽福島

株式会社 盛工務店

代表取締役　盛道雄

本　社・大阪市北区南森町47(成興ビル)　電話 (364) 1581(代)
営業所・神　戸・福　岡・西　宮

矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三

本　社　東京都中央区銀座七丁目11－3　電話 東京 (572) 代1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話 大阪 (271) 代5837
取締役副社長
支店長　仁平信也
支店・営業所　仙台・福岡・蒲郡・和歌山

株式會社 米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本　社　大阪市天王寺区逢坂上ノ町7　TEL 大阪(06) 771－7771代表

賀　正

1972

建材・設備・工事業者有志

浅野スレート株式会社

取締役支店長　谷　幸一

本社　東京都港区芝浜松町4の2　電話 (434) 1211
支店　大阪市大淀区中津浜通り3の11の1　電話 (372) 5351

日本電気硝子㈱代理店　**営業品目**　鉛硝子・ガラスブロック・光り壁
㈱各務クリスタル製作所代理店　ゲージグラス・レンズ・サンストップ

株式会社 伊勢谷特殊硝子製作所

代表取締役　伊勢谷圭作

本　社　大阪市西区鞠本町4丁目83　電話　大　阪 (541)9161代
支　店　名古屋市北区駒止町1丁目64　電話　名古屋 (912)3962代
支　店　東京都港区高輪1丁目3番20号　電話　東　京 (443)1376

株式会社 井上浄夫商店

取締役社長　井上浄夫

本社　大阪市西区江戸堀1－101　電話 441－8531(代)
支社　東京都中央区八丁堀4－2－2　電話 551－6756

タイル・瓦工事

井上窯業株式会社

代表取締役　井上秋次

大阪市天王寺区生玉町40番地　電話 771－2825(代)
営業所　豊中・奈良・寝屋川

株式会社 梅彦

代表取締役　松永彦太郎

本　社　大阪市北区舟場町20番地　電話 06 (371) 4036代
営業所　大阪市北区道本町40番地　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市字清水246番地　電話0726 (43) 6149代
寝屋川工場　寝屋川市河北一番地　電話0720 (21) 4338代

大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本　社　大阪市西区京町堀2丁目64番地　電話代表 06（441）0931
営業所　東京都豊島区東池袋1丁目45番地　電話代表 03（984）7725

陶磁タイル・オリエンタルモザイコ
（陶磁・ガラスを主材とする壁画構成・立体構成）

関西タイル商会

大阪市西区江戸堀北通1ノ19（オカダビル）　電話　（443）9131（代表）

冷暖房・空気調整機器専門製作

木村工機株式会社

代表取締役　木村悦造

本　　社　大阪市東区上町13番地　電話(06) 761－6921
東京営業所　東京都中央区八重洲4丁目5番地（新光ビル）電話(03) 273－8821
名古屋営業所　名古屋市中区錦1丁目4番27号（高野ビル）電話(052)211－5048
福岡営業所　福岡市大名1丁目12番52号（内藤ビル）電話(092) 77－0628
八尾製作所　大阪府八尾市北久宝寺2丁目2番7号　電話(0729)23－0621

電気・計装・空調・土木

近畿電氣工事株式會社

取締役社長　今元康彦

本　店　大阪市北区南扇町11　電話 312－1281（大代）

アルミサッシ・ドア、住宅用サッシ、ストア・フロント
アルミ流し台、フレクサラム、スパンドレル

三協アルミニウム工業株式会社大阪支店

取締役支店長　川中正道

本社・工場　富山県高岡市早川70　電話0766－22－5030
大阪支店　大阪市西区靱1-123（近畿富山会館）　電話 443－9601～7

建築・金物総合メーカー

渋谷金属産業株式会社

SHIBUTANI

取締役社長　渋谷幸雄

本　社　大阪市南区鍛冶屋町52　電話　大阪（211）－7333㈹
支　店　東京都渋谷区千駄ヶ谷5－16　電話　東京（356）－7671㈹
営業所　札幌・名古屋／出張所　高岡・広島

株式会社　シエル石油大阪発売所

フリントコート施工販売部

部長　栗山　和三

本　社　大阪市北区堂島浜通り１－２５　電話 大阪(363) 0441大代表
分　室　大阪市東淀川区西中島町2－76　電話 大阪(303) 7131 代表
事務所　東京・福岡

神東塗料株式会社

社長　山口由美

本　社　尼崎市南塚口町６－１０－７３　電話 429－6261(大代)
東京支店　東京都中央区八重洲3－3(八重洲口会館)　電話 272－4011(大代)

新日本空調株式会社大阪支店

支店長　堀田雅邦

大阪支店　大阪市北区堂島浜通１－２５－１(新大ビル)　電話大阪 (344) 6031(代)
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第2別館)　電話東京(279)5671(大代)

須賀工業株式会社

取締役社長　須賀　孝

本店　大阪市西区土佐堀通１丁目　電話 (06) 441－５１７１
支店　東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡・千葉・横浜・広島・高松

精研冷機株式会社

取締役社長　木内清三
専務取締役　和田正八郎

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル)　電話768-5031㈹
東京営業所　東京都千代田区九段南２丁目２番５号（九段ビル）電話262-3241㈹

建築用接着剤・各種コーキング材製造，責任施工・販売

セメダイン株式会社

大阪支店長　大山昭典

大阪市南区大宝寺町東之丁41　06－(251)3555　(大代表)
本社　東京都品川区東五反田４－５－９　03－(445)1311　(大代表)

西日本アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221（代）

大阪ガス風呂ショップ

タナカ風呂

代表者　田中照雄

大阪市浪速区元町1丁目747　（但し国鉄湊町駅南へ50メーター西側）
電話（649）3726（ミナフロ）代

工場　守口市大宮通り4丁目25　電話（997）0171代

田島応用化工株式会社
大阪営業所

大阪営業所　大阪市西区京町堀1－74　電話　06（441）－5951代
東京営業所　東京都千代田区岩本町3－11　電話　03（866）－6101代

鉄骨・鉄塔
橋梁・製缶　鉄構造物設計施工

株式会社 大成鉄工所

代表取締役　高杉善久

本社工場　枚方市出口383　電話(0720)31－7001～8
広島営業所　広島市横川町新町8-19(ライトビル)　電話(0822)32－8859

暖・冷房・空気温湿度調整装置設計施工

高砂熱学工業株式会社

大阪支店　大阪市北区芝田町55　北阪急ビル　電話 372－2511（代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4－2　電話 255－8211(代)

株式会社 高村電機製作所

取締役社長　副島栄八

本　社　大阪市北区河内町2－28　電話06(358) 6351(代表)
工　場　大阪府八尾市佐堂町3－3－12　電話0729(99)0151(代表)

創業50周年

株式会社 立花商會

取締役社長　佐竹孝雄

営業品目　冷暖房機器・昇降機器
照明器具・電子機器
住宅機器・産業機械
空調・電気・クレーン工事

本　社　大阪市西区阿波堀通2－47　電話 541－9521(大代)
支　店　東京・名古屋・堺・神戸
営業所　町田，鹿島，四日市
工　場　茨木クレーン工場

東邦パーライト株式会社

取締役社長　橘　泰治

本　社　大阪市東区森之宮西の町594　電話(941)9243～7(代)

NABCO

自動ドアーはこのマーク

ナブコドアーエンジン株式会社

取締役社長　竹下義雄

本　社　〒550　大阪市西区阿波堀通2－7　TEL(代) 532－5841
営業所　名古屋・広島・高松・金沢・京都・神戸/和歌山・岐阜・津・富山
主要都市に代理店あり

NAIGAI

保温・保冷・設計・施工
サーモパネル板による
空調機ケーシング
設計・施工
サーモテックス吹付 ｜ 耐火被覆
サーモ耐火板 ｜

内外アスベスト株式会社大阪支店

大阪市都島区善源寺町2丁目3番14号　電話(06) 922－1371(代)
高松営業所　高松市木太町新関2813　電話(0878) 62－8916
本　社　東京都北区東田端町1-4-8　電話(03) 800－2111(代)
支　店　札幌・名古屋・広島　出張所　福岡・仙台

ダイヤラス・鉄筋ラス・親子ラス・ラスシート・リブラス・溶接金網

中川ラス製作所

代表者　中川楢栄

大阪市南区鰻谷仲之町31　但し十合百貨店北ノ辻東へ入ル南側
電話　(271) 5228～9・(252) 8861～3　〒542－91

特許 強力ギルソイド・アスタイト防水

西日本アスファルト事業協同組合

東　京・千代田区岩本町3の11の13　田島応用内　TEL代表(866) 6101
大　阪・大阪市西区京町堀1の74　TEL代表(441) 5951
名古屋・TEL(571) 6361　広島・TEL(21)0266　福岡・TEL(28)2807

株式会社 西原衛生工業所大阪店

取締役社長 伴 一 郎

大阪市大淀区中津南通4丁目11番地 電話大阪(458)代3531番

日本アスファルト年限保証防水（日本アス協組員）
ニトルーフシート防水 } 冷工法 ナショナルポリプルーフ防水
NPシート2号防水 }
ウレタン、N.S塗膜防水工法（冷工法）

日新工材株式会社

代表取締役 井 場 績

大阪市西区新町北通1－17 電話(541)3785～6・2721

建設省東計
第240号認可

日本アスファルト防水工業
協同組合 関西支部

大阪市東淀川区瑞光通り4-30-2 日新工業株式会社大阪支店内
電話(329) 7737～40

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K. K.

代表取締役 長尾正大

本 社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目 天六阪急ビル 電話 06(351) 4927代
東京営業所 東京都北区田端町311 東京建築興業ビル 電話 03(822) 0995代
工 場 大阪市東淀川区小松中通5丁目6番地 電話 06(328) 0363代

社団法人 日本サッシ協会関西支部

関西支部長 福 田 好 雄

大阪市浪速区敷津町3の20(建団連会館) TEL 06(641)5859
本部 東京都港区南青山5の11の2共同ビル(南青山) TEL 03(409)1308

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

本 社	京都市南区西九条豊田町20－1	電話 681－5101～5
大阪営業所	大阪市北区天満橋筋1－37	電話 352－3501～3
四日市営業所	四日市市浜田西末広町	電話 53－7431～3
大津出張所	大津市打出浜13－15	電話 22－9738
津営業所	津市栄町2－111	電話 8－3610

日本建鉄株式会社

取締役社長　橋本幸雄

本社・東京支店　東京都千代田区大手町2−6−2(日本ビル)　電話 東京270−6511(大代表)
大阪支店　大阪市北区梅田町47番地(新阪神ビル)　電話 大阪341−4331(代表)

考える会社

日本熱学工業株式会社

取締役社長　牛田正郎

大阪本社　大阪市北区万才町50番地　TEL大代表(312)8671
東京本社　東京都港区芝西久保桜川町2 第17森ビル　TEL大代表(501)7631

原田今商事株式会社

取締役社長　原田守蔵

本　社　電話06−541−7455(代)
水分営業所　電話06−541−3843〜4

HARDWARE HIGAKI

株式会社 日垣本社

取締役社長　日垣桂一

本社	大阪市南区安堂寺橋通2−3	電話 261−5091
東大阪支店	東大阪市稲田1141−1	電話 789−5481
東京支店	東京都墨田区向島3−35−6	電話 623−8311
名古屋営業所	名古屋市西区那古野町3−7	電話 561−9491
札幌営業所	札幌市北12条東5丁目223-46	電話 741−3111
福岡営業所	福岡市御供所町2−42	電話 27−1551

電気設備工事　計装工事

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65　電話(541)0564代表
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

室谷商事株式会社

取締役社長　室谷山水

本　社　神戸市生田区北長狭通4丁目　電話078 −33−0881
支　店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル)　電話06− 364−2031

製造 研 発売元

明研化学工業株式会社

代表取締役　村田鞆二

外内装材　特許　エマルリシン　プレハタイル　内装材　エマジュラク　エマソフト
エマレックスリシン　明研リシン　エマトップ　エマトップデラックス
エマルスキン　目地用エマル　エマーロール　防火レックス

本社　明石市中谷町888番地　電話明石代表(913)3456
第二工場　神戸市垂水区岩岡町野中字福吉564　電話　078083 18
大阪営業所　大阪市東区北久宝寺町2丁目6(三京ビル)　電話　06 (271) 3967代
東京営業所　東京都墨田区両国4丁目37 13(坂井ビル)　電話　03 (634)1756～8
名古屋営業所　名古屋市西区枇杷島通4丁目47　電話　052 (521) 6373代
広島営業所　広島市天満町11－23(内藤ビル)　電話　0822 (91) 5927
福岡営業所　福岡市博多駅南2丁目2－6(泉ビル)　電話　092 (41)4426

アルミ押出形材より…アルミ建材製品まで…

引戸用レール各種
階段スベリ止各種
アルミ窓格子、手すり
アルミ脚立、梯子
アルミスパンドレル

安田株式会社

取締役会長　安田誠一

本社　大阪市南区末吉橋通1－17　TEL06 (251)7091代
東京営業所　東京都中央区日本橋本町4-3-6 ニンジンビル　TEL03 (242)1741代

アルミ押出工場　**安田金属工業株式会社**　大阪市東住吉区加美絹木町4－97　TEL06 (791)3936代

四ッ板 カモイ
耐火建材・金属建材

株式会社 山本建材社

代表取締役　山本武雄

本社　大阪市西区西長堀南通1－1　電話 541－1861～7
東店　東大阪市金物町3号1番　電話 723－2277～8

山本窯業化工株式会社

取締役社長　山本泰通

本社・工場　大阪府摂津市東別府1-3-6　電話(06) 381－9131～5
営業所　東京・名古屋・広島・福岡・仙台

ラバシール
ウレタン・エポキシ系
合成ゴム塗膜防水剤
――責任施工――

O.K コン
モルタルで埋めない
省力化した
コンクリート型枠締付
金具

ラバレヂン工業株式会社

取締役社長　原淳

本社　大阪市浪速区桜川5丁目2番地の8田坂ビル　電話　06 (561)6601(代)
出張所　名古屋市北区清水町6の4　電話　052 (911)6801

株式会社 翼建築設計事務所

代表取締役　畠中繁

本社・大阪事務所　大阪市西区靱1-130(布亀ビル)　TEL06-441-2288・9595
京都事務所　京都市下京区五条通室町東入(木村ビル)　TEL075-361-8622

正　賀

1972

住宅タイムス

代表取締役　植田泰弘

大阪市東区北浜2丁目84　電話06(231)1441～3

日刊建設産業新聞・日刊建産速報

株式会社 **日刊建設産業新聞社**

取締役社長 花村茂彦　　取締役支社長 山邊敏郎

大阪支社	大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)	電話 (231) 8171(代)
本　社	東京都板橋区板橋町1丁目48－8	電話03(961)1691(代)
神戸支局	神戸市葺合区八幡通5丁目6－1	電話078(291)0541－2
京都支局	京都市右京区鳴滝本町11－4	電話075(463)0683

大阪で唯一の

株式会社 **日刊建設新聞社**

取締役社長　中山豊雄

大阪本社　大阪市東区高麗橋1丁目3（東洋ビル）　電話 202－6861(代表)

株式会社 **日刊建設通信関西支社**

代表取締役会長　田中　一

取締役支社長　福田(森)三郎

大阪市西区京町堀1－6－8　電話 (444) 4451代表

本社・東京都港区西新橋2－11－4　電話 (502) 8581代表

建築写真のアプローチからフイニッシュまで

● カラー・黒白の35㎜から8″×10″まで撮影及び仕上げまでの行程を自家処理により、安定した製品の提供をいたしております

● 建築写真・パース等の撮影から仕上げ・パネル張り・装飾用大伸し・記録アルバム・竣工アルバム・作品集等の編集・印刷

G.T.SUN OSAKA

〒541　大阪市東区北浜3—52　☎(06)231—1263・1264・6791

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364・代表 0206～9

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話221 2923）

OKUYAMA KAKOGYO WATER・PROOF OAM

新工法！
プレノテクト吹付工法

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

8対2の防水(冷工法)　デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

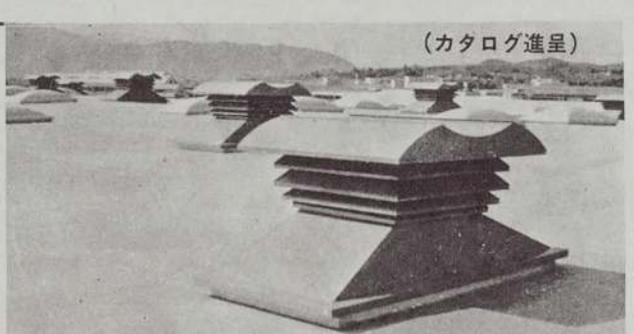
奥山化工業株式會社

本　社　東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811) 3660・3104
札幌出張所　札幌市北三条東四丁目　電話(231) 7　5　1　1

特許. 岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981) 0615～0618

電気設備工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都新宿区戸塚1－95－7
電話(200)5911代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・浜松・姫路・広島・高松

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(385)1361
営業所　吹田市垂水町3－34－6
TEL　代表　(385)1361
営業所　京都市右京区西京極郡葛野町21番地
TEL　代表　(311)1185

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役会長　西村庄市
取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06)452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06)462－1301(代)

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社 大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支　店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所2・2607・4259

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊊3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊊1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町2－7　電話(434)6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町375　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

冷暖房　給排水、衛生水道　電気　厨房
各種サッシ　環境衛生施設　荷役運搬機械　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　各務節
取締役支店長　濱川幸十郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水衛生設備
設計　施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳
本　社　大阪市西区江戸堀1－60　電話 (441) 8231代表
支　店　東京・名古屋・大阪・福岡
営業所　札幌・仙台・金沢・広島
出張所　盛岡・新潟・横浜・富山・豊田・福井・京都・神戸・岡山・高松・熊本・鹿児島

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市都島区都島本通4－10－30　電話 (922)6251(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話 (667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4945(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸341局5892

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃空調

本社・本店　大阪市北区富田町16番地　電話(363)大代表1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292)代表7751
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話(47)代表4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話(76)代表3795
出張所　名古屋・富山・福井・京都・神戸・松江

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊫(572)7411代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊫(203)3721代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊫(211)1535代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－千葉・横浜・広島　出張所－高松・北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話　大阪 (443) 5041～5番
東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話　東京 (270) 7411番(代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌 22 5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢 21 2074
福井出張所　福井市御幸2の1　電話 福井 24 2436
高松出張所　高松市2番丁9　電話 高松㉑5195
岡山出張所　岡山市大供380の1　電話 岡山 24 5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪 (06) 761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話　東京(03) 262－3241～4番

創業 暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年 病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

本　店　東京都千代田区丸の内2の4の1　丸ビル676号
電話 212代3751
大阪支店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル 616号
電話 443代3361
京都支店　京都市南区西九条春日町48　電話 681代1781
支　店　札幌・名古屋・福岡・千葉
営業所　宇都宮・横浜・熊本

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話 (364) 6661(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21) 44 91
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 36 21

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル9階)
電話　大阪(372)2511(代表)
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　**電話大阪(458)3531番**
出張所＝京都・福岡

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話　(06)　344－6031(代)
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話　(03)　279—5671(大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備　・　設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通2の2

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443)8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562)1351
支店　名古屋・福岡

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備　設計施工

不二熱學工業株式會社

本店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市川繁雄

本社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681)5101～5・夜間専用(691)1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話　(352)3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話㊲7431～3
大津出張所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443)代表8161～9
支店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ピークビル5階　電話(583)1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話(341)1778・4386

奉仕感謝の店

タイル工事施工

特許申請中・完全滑止タイル

サンエス
SSS　タイル新発売

(カタログ進呈)

株式会社 川岸窯業商店

本社　大阪市西区靱本町2丁目98番地(靱本町バス停前)
電話　大阪06(532)代0461
姫路営業所　姫路市北条口126番地(住友生命保険ビル3階)
電話　姫路0972(82)0999

青写真とマイクロフィルム

株式会社

内外写真

製図・トレース・複写写真

本社　大阪市北区堂島北町16　TEL (345)9055(代表)
本町営業所　大阪市東区本町4-27御堂ビル　TEL (252) 3906
横堀営業所　大阪市東区横堀2－36　TEL (202) 5260

株式会社 矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話 大阪 (202) 4905

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。
株式会社 吉田芳雄商店
本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4—78 電話(358)1790・1838

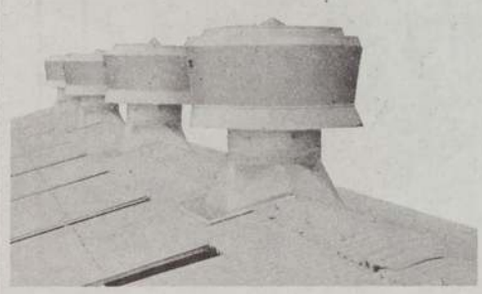
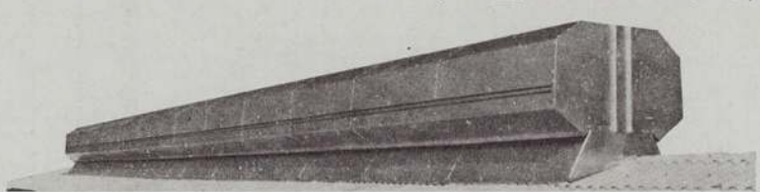
社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売……古代土器調高温〆タイル……大仏古代タイル
株式会社 大仏
本　社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　075(541)3344(代)
東京営業所　東京都渋谷区上原1丁目29の4　03(467)1641
工　場　京都清水・山城・瀬戸

FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物・船舶等の造作工事及び
室内装飾工事の設計施工
建具、パネル、家具、各種木工品の製作
内外装飾織物、窓掛、敷物、壁紙類一式
(創業大正7年)
二葉屋装備工業 株式会社
取締役社長　若林繁吉
大阪府知事建設登録 (る)第16216号
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
電話・大阪(371) 3321～3・3630

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目壱番電話(641)壱番

営業品目
●カネボウゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付
合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町3—54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

腐らない そして 燃えない
法定不燃材 829号
ケミカラーオーシマメタル
新しい型の
ひふくてっぱん
屋根材、壁材・谷樋棟包水切に
スタンダードメタルの大島応用化学
東大阪市新庄(782)4171代

特許　内外式電動ベンチレーター　特許　内外式コンチニアスベンチレーター
(大量自然換気方式)


内外建材株式会社
本　社　大阪市西区江戸堀北通1—25(相生ビル)
TEL(441)3983～5・4396
大阪工場　大阪市城東区天王田町1—141
TEL(962)1149
京都工場　京都市東山区山科東野井上町
TEL075(581)0126

発明賞に輝く各種特許235件所有

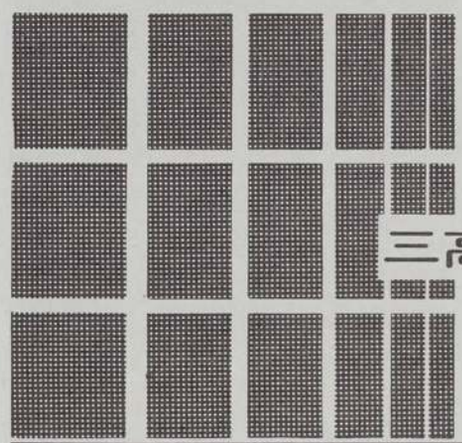
特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町303番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151~6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)21—2287



スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499) 8151 代表

近代建築の要求する

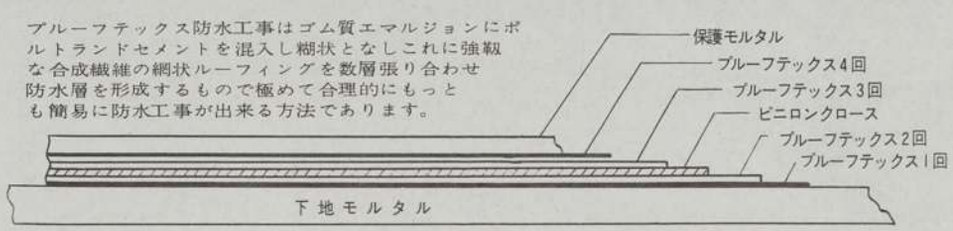
＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5211—5

プルーフテックス防水工事

プルーフテックス防水工事はゴム質エマルジョンにポルトランドセメントを混入し糊状となしこれに強靱な合成繊維の網状ルーフィングを数層張り合わせ防水層を形成するもので極めて合理的にもっとも簡易に防水工事が出来る方法であります。



《特長》
1)防水性が優秀
2)接着力が強大
3)火気を要しない
4)耐摩耗性
5)物理的強度優秀

耐酸工事・防水工事専門店 耐酸化学工業株式会社
大阪市北区高垣町80番地
電話大阪(06)361・0178代

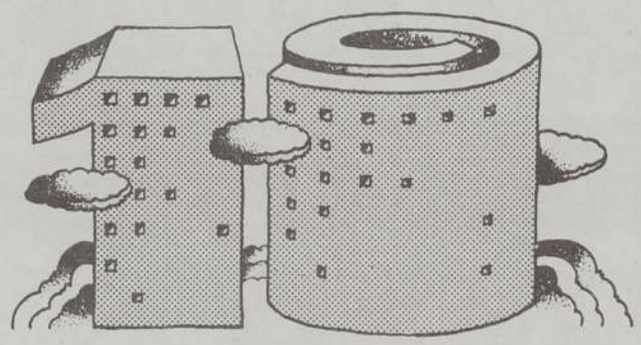
ユニオンボードは、旭化工板の製品です。

豊富な経験と実績が、その名を不動のものにしました。

ユニオンボードと名づけて19年。

旭化工板のユニオンボード…いまや、木毛板・スレートサンドイッチパネルの代名詞。19年前に、旭化工板の技術を結集したサンドイッチパネルを、「ユニオンボード」の名で、はじめて世に送り出して以来、各分野で経験と実績をつみ重ね、他に類をみない高品質パネルとして、ご好評いただいております。いわば、旭化工板はユニオンボードの生みの親。それだけに、ユニオンボードのすべてを知り尽しています。

〝ユニオンボードは旭化工板の製品です。〟



〈ユニオンボードの特徴〉

●耐火、断熱、遮音性にすぐれています。
●全国をネットする販売・施工管理体制
●現場野積安全養生のためにビニールシートで被覆しています
●旭化工板のユニオンボードの施工には、その性能に適合したUBコーキングを採用しています。

サンドイッチパネルの総合メーカー

旭化工板製造株式会社

JIS認可工場

本社・工場　尼崎市下坂部久々知前235　TEL大阪(06)491-6781(代)

東京営業所　東京都台東区駒形2-3-5（駒形武蔵野ビル）TEL 東京(03)842-9251(代)
名古屋出張所　名古屋市中区丸ノ内3-18-12（大興ビル）TEL 名古屋(052)961-5940
福山出張所　福山市松浜町1-1-4（福山不動産ビル）TEL 福山(0849)23-1491㈹
鈴鹿工場　鈴鹿市三日市町1859　TEL 鈴鹿(0593)78-1165~6
上野工場　上野市山出字柏ケ坪100の1　TEL 上野(05952)3-0205~6

●資料ご希望の方は、本社A係までお申し込みください。

Taniyama

送風機



営業品目

●LAF形　リミットロード送風機
●VAF形　可変式軸流送風機
●SAF形　ストリームライン送風機
●CAF形（特許）　遠心式静音軸流送風機

株式会社　谷山鐵工所

本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話　大阪（931）代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
東京(814) 6651～3

シヤッターの総合メーカー

豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本　社　大阪市東区谷町5－30 新野村ビル　TEL(762)5861代
本　社　東京（543）2281・名古屋（331）6171・大阪（352）4571
営業所　横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

品種
オリエンタルメタル(O.P.M)
オリエンタルスーパーメタル(S.P.M)
オリエンタルカラードメタル(C.P.M)
カラースーパーオリエンタルメタル(C.S.P.M)

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター

カタログ御請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

本社	兵庫県尼崎市昭和南通り3－26松本ビル	電話	大阪(412) 5131代表
東京支社及工場	埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号	電話	蕨 (42) 3115～8
大阪支社及工場	兵庫県尼崎市長洲稲川新田44	電話	大阪(488) 1081代表
九州支店及工場	福岡県遠賀郡水巻町頃末	電話	八幡(69) 2831～4
名古屋支店及工場	名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル	電話	名古屋(581)2781－4

全国で好評の……新興の内装壁材を！

新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材

ダイシンコート

(特長)

・塗吹付
・保温
・防音
・耐アルカリ
・耐水
・耐火

革新塗料現る

①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由

繊維塗料の
シンコゾール

全国有名建材店又は当社へ

繊維壁材(通称)わたかべ
耐水、耐アルカリ性時代来る

(特長)
・漆喰下地
・差支なし
・ドロマイドプラスター
・セメントモルタル
・落ちない
・塗り良い
・塗面が強く
・水に強く

・すゝき
・すゞか
・新いすゞ
・四香
・七宝
・錦紋
・王座

●カタログお送りします





(株)新興建材工業所
大阪市西区南堀江通6丁目39番地　TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町4丁目26番地　TEL 大阪(672) 1661～3

(株)九州新興建材工業所
福岡市上半田八田町26の1　TEL 福岡 (41) 5225～6

タイプ
TAIP工法
にはハンマー不要です
〈完全無音無振動既製杭工法〉

従来の既製杭を利用して杭打施工時の
振動・騒音を完全に追放しました!!



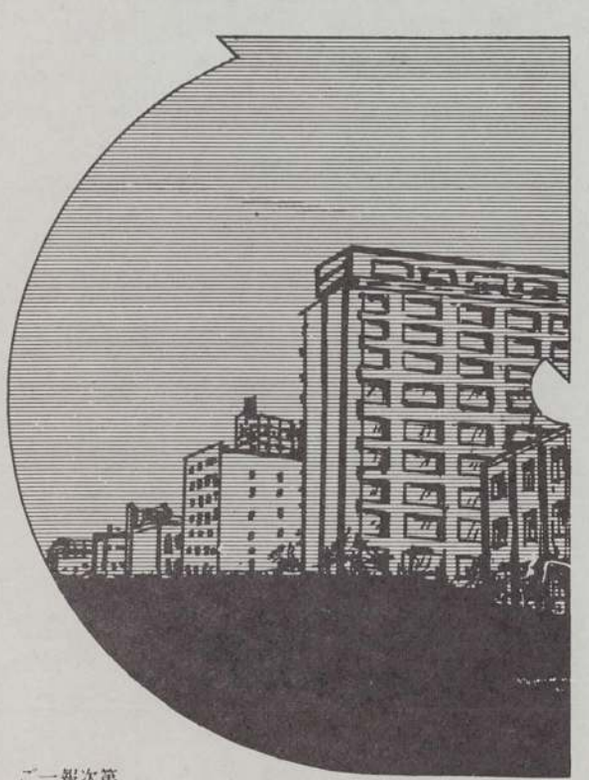
■主な特長

1. ネジ込力を杭押込力に変えるので完全無振動無騒音です。
2. 根入長さが長く安定した支持杭が施工出来ます。
3. スライムの沈積はありません。
4. 完全に支持層に岩着させるので大きな支持力が期待出来ます。
5. 何米でもヤトイ杭で納められ地下室のある建築に最適です。

株式会社 武智工務所

■本　　社　大阪市東区高麗橋2の20(高麗新ビル)　TEL大阪(202)3233(代)
■名古屋支店　名古屋市中区錦1－3－2(殖産ビル)
■福岡支店　福岡市赤坂1－15－33(第二菊陽ビル)
■営業所　東京・静岡・富山・広島・熊本・鹿児島　■工場　大阪・名古屋・鹿児島

モルタル・コンクリート用
マノール 防水剤



ご一報次第
カタログ進呈します

＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊AE効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

その他マノール製品
急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤
エスコート(セメント起泡剤)・**エアコール**(場所打ち杭工法添加剤)

セメント混和剤・助材綜合メーカー
株式会社 油脂化工社

東京都品川区大井1－15－1　☎ 東京 (774)4111代表

関東営業所	茨城県土浦市大町1213	☎ 土浦 (21)5189
東北営業所	福島県福島市下野寺字遠原	☎ 福島 (34)7111
盛岡営業所	岩手県盛岡市南大通3－12－50	☎ 盛岡 (24)0213
大阪営業所	大阪市東成区東中本2－17－26	☎ 大阪 (971)4765



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの4F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

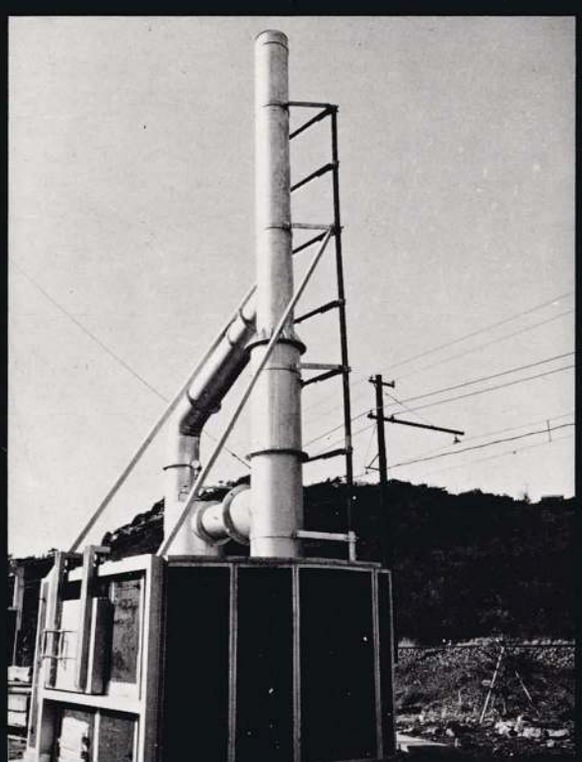
★規格＝333.3 ×333.3 ×2㎜ 9枚／㎡
333.3 ×333.3 ×3㎜ 9枚／㎡
★色数＝18色
★価格＝2㎜厚品 1,200円／㎡（300㎡以上）
3㎜厚品 1,800円／㎡（300㎡以上）
小部屋割増・階段40％高

製造元＝田島応用化工株式会社
東京／東京都千代田区岩本町3の11
電話 (866) 6101
大阪／大阪市西区京町堀1の74
電話 (441) 5951

建築と社会“ARCHITECTURE AND SOCIETY”第53輯第1号
■昭和47年1月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

SMOKELESS

公害に対処する
インシナーの
焼却炉



PAT. NO.
248182・583503
486791・486824
517838・655818

インシナー は……

煤煙除去器をセットすることにより
煙りと臭いの心配を完全に解決しました。

インシナー工業
インシナー商事

本　　社 東京都品川区東五反田2-8-7 ☎441-2291(大代表)
大阪支店 大阪市北区牛丸町55〈東洋ビル〉☎372-0481(代　表)
名古屋営業所 名古屋市昭和区恵方町2－8 ☎841-5874(代　表)
福岡営業所 福岡市春吉3〈春野ビル〉☎76-1880(代　表)

■ご入会のお申込は・社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3－37 電話大阪(06)231-9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

定価 300円 (送料共)